

HYPERP/OTO

Digital Photo Expert

ユーザーズガイド



Exif Print

ご使用前に必ずこのユーザーズガイドをお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

G-ZJ-157-V1

はじめに

このたびは、HYPERPHOTO Digital Photo Expert をご購入いただき、まことにありがとうございます。

このガイドでは、HYPERPHOTO Digital Photo Expert の操作方法について説明します。

- ※ ここ以降HYPERPHOTO Digital Photo Expertのことを「Digital Photo Expert」と表現します。
- ※ Digital Photo Expert は、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。Exif Print 対応のデジタルカメラと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、より美しい結果を得ることができます。

●ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
2. 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期していますが、万一、不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたら、最寄りのキヤノンお客様相談窓口までご連絡ください。連絡先は、本書巻末に記載してあります。
4. このソフトウェアを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

-
- ・ Canon および BJ、BJC、BJF は、キヤノン株式会社の商標です。
 - ・ HYPERPHOTO は、キヤノン株式会社の登録商標です。
 - ・ Adobe および Photoshop は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
 - ・ Zip は、米国アイオメガ社の商標です。
 - ・ Microsoft® および Windows®, Windows® ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標または商標です。
 - ・ 本書では、Microsoft® Windows® XP Professional を Windows XP と、Microsoft® Windows® 2000 を Windows 2000 と、Microsoft® Windows® 98 を Windows 98 と、Microsoft® Windows® 95 を Windows 95 と略して記載しています。
 - ・ その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。
 - ・ This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.
Copyright©1991-1998, Thomas G.Lane.

目次

はじめに	0-1
------------	-----

第1章 準備作業 1-1

コンピュータの確認	1-2
動作環境	1-2
プリンタの設定について	1-3
ソフトウェアのインストール	1-5
古いバージョンの Digital Photo Expert をお使いの場合には	1-5
インストール用のディスク	1-5
Digital Photo Expert のインストール	1-6
ネットワークのインストール	1-10
QuickCD ビューアのインストール	1-12

第2章 サービス共通の操作 1 - 基本 2-1

ソフトウェアの概要	2-2
ソフトウェアの構成	2-2
各ソフトウェアの役割	2-2
作業の進め方	2-3
「オーダーマネージャからの起動」と「サービス単独での起動」の違い ..	2-3
オーダーマネージャからの起動	2-3
サービス単独の起動と終了	2-3
ヘルプ機能	2-5
元に戻す	2-6
1つの画像が選択されている場合	2-6
複数の画像が選択されている場合	2-6
ツールバーの使い方	2-7
ツールバーの種類	2-7
ボタンについて	2-8
ツールバーのカスタマイズ	2-9
ツールバーの変更	2-9
画像補正ツールバーの変更	2-9
文字ツールバーの変更	2-9
カスタマイズのしかた	2-10
右クリックで表示されるメニューについて	2-11

第3章 サービス共通の操作 2 - 画像入力 3-1

画像入力について	3-2
2つの入力方法	3-2
画像入力の流れ	3-2

画像入力バーのボタンの追加と削除	3-3
ボタンの追加 - スキャナ (TWAIN デバイス) の場合	3-3
ボタンの追加 - ファイルデバイスの場合	3-5
ボタンの削除	3-7
名前の変更	3-7
順番の変更	3-7
スキャナ (TWAIN デバイス) からの入力	3-8
ファイルデバイスからの入力	3-11
ファイルデバイスが通常のディスクやフォルダの場合	3-11
デジタルカメラデータが保存されている場合	3-14
DPOF オーダーデータがある場合	3-14
Photo CD から入力する場合	3-16
画像一覧での操作	3-17
画像の追加と削除	3-17
画像の選択 / 非選択	3-18
画像の有効 / 無効	3-20
順序と番号の変更	3-21
画像の回転、反転	3-22
画像のプロパティの表示	3-23

第4章 サービス共通の操作 3 - 画像補正

4-1

画像補正について	4-2
3種類の画像補正	4-2
画像の選択	4-4
画像一覧での選択	4-4
画像の切り替え	4-4
画面内での色補正	4-5
画像補正ツールバーの機能	4-6
【画像補正】メニューの機能	4-7
左90度回転、180度回転、右90度回転	4-7
任意角回転	4-7
左右反転、上下反転	4-8
自動色補正	4-9
色補正	4-10
色点補正	4-11
光源色補正	4-13
赤目除去	4-15
ゴミキズ除去	4-18
モノクロ	4-20
セピア	4-21
シャープネス	4-22
ソフトフォーカス	4-23
切抜き	4-24
外部アプリ起動	4-28
設定	4-29

第5章 オーダーマネージャ

5-1

オーダーマネージャの起動と終了	5-2
オーダーマネージャの起動	5-2
オーダーマネージャの終了	5-3
オーダーマネージャの役割	5-4
オーダーマネージャの4つの機能	5-4
新規オーダー	5-4
オーダー管理	5-5
統計情報管理	5-5
アートワーク管理	5-5
新規オーダー	5-6
新規オーダーのツールバー	5-6
オーダー属性項目の入力	5-6
オーダーマネージャからのサービスの起動と終了	5-8
オーダー管理	5-10
オーダー管理のツールバー	5-10
履歴の確認	5-10
オーダーの再編集	5-12
画像の再利用	5-13
オーダー複製	5-14
新規オーダー	5-14
保存	5-15
復元	5-16
削除	5-17
明細	5-17
印刷	5-17
統計情報管理	5-18
統計情報管理のツールバー	5-18
3種類の情報表示	5-18
表示の変更	5-20
検索	5-20
保存	5-21
削除	5-22
環境設定	5-23
オーダーIDのリセット	5-23
オーダー属性項目の設定	5-23
サービスの表示設定	5-25
統計情報画面のパスワード設定	5-25
システムIDの設定	5-26
印刷項目の設定	5-26

アートワーク管理	5-27
アートワーク管理のツールバー	5-27
アートワークの確認	5-27
アートワークの更新と詳細情報の表示	5-29
アートワークの検索	5-30
アートワークの登録	5-30
アートワークの削除	5-32
カテゴリの操作	5-33
アートワークのバックアップ	5-35

第6章 デジタル同プリ

6-1

デジタル同プリについて	6-2
3種類のプリント方法	6-2
デジタル同プリの画面	6-3
表示の切り替え	6-4
同時プリント – 基本操作	6-5
同時プリントの操作の流れ	6-5
同時プリント – 応用操作	6-9
枚数の指定	6-9
サイズの指定	6-9
印刷範囲の指定	6-10
画像補正、全画像補正	6-11
複数の画像を選択しているときの操作	6-11
大伸ばし	6-12
大伸ばしの操作の流れ	6-12
インデックス	6-14
インデックスの操作の流れ	6-14
印刷	6-16
印刷設定	6-18
同時プリント	6-18
インデックス	6-20
大伸ばし	6-21

第7章 デジタル出力**7-1**

デジタル出力について	7-2
2種類の出力方法	7-2
CD-R/RW ドライブについて	7-3
デジタル出力の画面	7-4
表示の切り替え	7-5
基本操作 – シンプル出力	7-6
シンプル出力の操作の流れ	7-6
基本操作 – QuickCD 出力	7-10
QuickCD 出力の操作の流れ	7-10
応用操作	7-14
出力範囲の指定	7-14
画像補正、全画像補正	7-15
複数の画像を選択しているときの操作	7-15
出力設定	7-16
出力デバイスの設定	7-16
シンプル出力に関する設定	7-17
QuickCD 出力に関する設定	7-18
インデックス印刷	7-20
インデックス印刷	7-20
印刷	7-20
印刷設定	7-22
入力動作の設定	7-24

第8章 証明写真

8-1

証明写真について	8-2
証明写真の画面	8-2
基本操作	8-4
証明写真の操作の流れ	8-4
応用操作	8-8
画像補正、全画像補正	8-8
複数の画像を選択しているときの操作	8-8
新しい写真用途の作成	8-9
「写真サイズ」と「シート設定」の意味	8-9
写真サイズの編集	8-10
新しいシート設定の作成	8-12
一時的な写真用途の作成	8-14
写真用途の整理	8-16
環境設定	8-17
プリンタの設定	8-19
単独で起動した場合の機能	8-20
新規	8-20
再印刷	8-20
上書き保存	8-22
名前を付けて保存	8-22

第9章 フォトレイアウト**9-1**

フォトレイアウトについて	9-2
フォトレイアウトの起動	9-2
フォトレイアウトの画面と3つのボタン	9-3
テンプレートの画面	9-4
フレームの画面	9-5
フォトの画面	9-6
テンプレート、フレームについて	9-7
基本操作	9-8
フォトレイアウトの操作の流れ	9-8
応用操作	9-12
画像補正、全画像補正	9-12
レイアウトエリアの編集	9-12
大きな用紙サイズで印刷する操作	9-13
レイアウトエリアの編集 - テンプレート	9-14
テンプレートの選択	9-14
テンプレートの検索	9-15
レイアウトエリアの編集 - フレーム	9-16
フレームの追加	9-16
フレームの選択／選択解除	9-17
フレームの削除	9-17
フレームの編集	9-18
フレームの移動	9-18
フレームのサイズ変更	9-18
カレンダーフレームの編集	9-18
レイアウトエリアの編集 - 画像	9-19
画像の貼り込み	9-19
画像の一括挿入	9-20
画像の選択／選択解除	9-20
画像の削除	9-21
フレーム内の画像の移動	9-21
画像のサイズ変更	9-21
画像の回転	9-22
画像補正	9-22
レイアウトエリアの編集 - 文字	9-23
テキストフレームへの文字入力	9-23
文字の選択	9-23
文字の削除	9-23
文字の編集	9-24
文字の配置	9-24
フォントの指定	9-24

レイアウトエリアの編集 – ページ	9-25
ページの追加	9-25
ページの複写	9-25
ページの削除	9-25
ページの切り替え	9-26
表示倍率の変更	9-27
表示の切り替え	9-27
ページの詳細情報の表示	9-28
表示の単位設定	9-28
印刷プレビュー	9-29
単独で起動した場合の機能	9-30
新規作成	9-30
開く	9-30
上書き保存	9-31
名前を付けて保存	9-31
画像形式で保存	9-31

第10章 カレンダー

10-1

カレンダーについて	10-2
カレンダーの起動	10-2
カレンダーの画面	10-3
基本操作	10-4
カレンダーの操作の流れ	10-4
応用操作	10-9
画像補正、全画像補正	10-9
レイアウトエリアの編集	10-9
カレンダーの編集	10-9
カレンダーの編集	10-10
カレンダーのフォント指定	10-10
開始年月の変更	10-11
休日の設定	10-12

第 11 章 困ったときには 11-1

おかしいなと思ったら 11-2

- インストール 11-2
- 共通 11-4
- 画像入力 11-4
- デジタル出力 11-5
- デザインフレーム 11-5

エラーメッセージが表示されたら 11-6

- インストール 11-6
- 起動 11-7
- 共通操作 11-8
- 画像入力／画像一覧 11-10
- 画像補正 11-12
- デジタル同プリ 11-14
- デジタル出力 11-15
- 証明写真 11-18
- デザインフレーム（フォトレイアウト、カレンダー） 11-20
- オーダーマネージャ - 共通 11-21
- オーダーマネージャ - 新規オーダー 11-22
- オーダーマネージャ - オーダー管理 11-22
- オーダーマネージャ - 統計情報管理 11-26
- オーダーマネージャ - アートワーク管理 11-27

付録 12-1

ソフトウェアの変更と修正 12-2

- 用意する CD-ROM 12-2
- ソフトウェアの変更 12-2
- ソフトウェアの修正 12-5

ソフトウェアのアンインストール（削除） 12-7

- Windows XP、Windows 2000 の場合 12-7
- Windows 98 の場合 12-12

インデックスのロゴ 12-16

索引 13-1

第1章

準備作業

この章では、Digital Photo Expert を使い始めるために必要な準備作業について説明します。

コンピュータの確認

Digital Photo Expertは、以下のようなシステムを持つコンピュータのハードディスクドライブにインストールして使用します。
ご使用のコンピュータ環境が、以下の条件にあっているかどうか確認してください。

動作環境

■ 3072 x 2048ピクセル程度以下の画像でA4サイズ以下のプリンタを使用する場合

コンピュータ	IBM PC/AT、PS/2 互換機
OS	Windows XP Professional Windows 2000 Professional Windows 98 Second Edition
CPU	Pentium II 350MHz 以上 (Pentium III 800MHz 以上を推奨)
本体メモリ	128MB 以上
ハードディスク	4GB 以上 (20GB 以上推奨)
ビデオディスプレイアダプタ	24bit 表示以上 XGA (1024 × 768 ドット) 以上

■ 3072 x 2048ピクセルを超える画像を扱う場合や、大判プリンタを使用する場合

コンピュータ	IBM PC/AT、PS/2 互換機
OS	Windows XP Professional Windows 2000 Professional
CPU	Pentium III 800MHz 以上 (Pentium 4 クラスを推奨)
本体メモリ	512MB 以上
ハードディスク	4GB 以上 (20GB 以上推奨)
ビデオディスプレイアダプタ	24bit 表示以上 XGA (1024 × 768 ドット) 以上

- ※ ここ以降、Windows XP Professional のことを「Windows XP」、Windows 2000 Professional のことを「Windows 2000」、Windows 98 Second Edition のことを「Windows 98」と表現します。
- ※ 本書では、主にWindows 2000 の画面を使って説明しています。



メモ

- ・この他に、作成した画像を印刷するためにはプリンタが、プリントされた写真やフィルムを読み込むためにはスキャナやフィルムスキャナが、デジタル出力でCD-R/RWディスクなどにデータを書き込むためにはCD-R/RWドライブが必要となります。
- ・CD-R/RWドライブは、SCSIとATAPI接続のみ対応しています。USBやIEEE1394接続のCD-R/RWドライブでは、画像データを書き込めません。



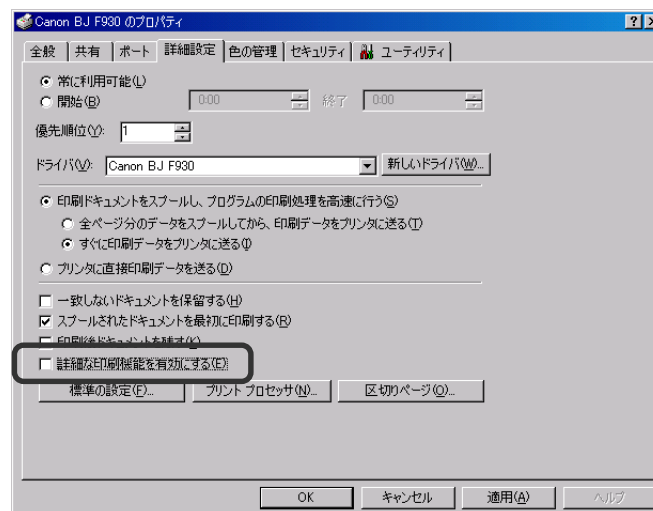
お願い

- ・Digital Photo Expertのオーダーマネージャ(→ P. 5-1)を使うには、Internet Explorer 4.0以上が必要です。古いバージョンをご使用の場合は、オーダーマネージャを起動できません。
- ・Digital Photo Expertソフトウェアは、リムーバブルメディア(リムーバブルハードディスク、MOディスクなど)や、ネットワークで接続されたディスクにはインストールできません。
- ・大きな画像を扱う場合や、大判プリンタを使用する場合には、仮想メモリの設定を適切に行い、十分なメモリ容量を確保しておいてください。また、スプールで大量のディスク容量を使用しますので、ハードディスクに十分な空き容量を確保しておいてください。
- ・大きな画像を扱う場合や、大判プリンタを使用する場合には、コンピュータの能力や環境により、画像処理や印刷処理に非常に時間がかかる場合があります。フリーズと早合点して内部処理の最中に電源を切ったりしないように十分ご注意ください。

プリンタの設定について

Windows XP、Windows 2000の場合には、お使いのプリンタのプロパティの[詳細設定]タブの画面で[詳細な印刷機能を有効にする]のチェックマークを外すことをお勧めします。

特に大きな画像や大判プリンタを扱う場合には、必ず[詳細な印刷機能を有効にする]のチェックマークを外してください。



■ プリンタのプロパティの画面を表示させる方法

Windows XP の場合：

[スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] を選択します。続いて [プリンタとその他のハードウェア] をクリックし、[プリンタとFAX] をクリックした後、お使いのプリンタを右クリックして表示される [プロパティ] を選択します。

Windows 2000 の場合：

[スタート] ボタンをクリックし、[設定] メニューから [コントロールパネル] を選択します。続いて [プリンタ] をダブルクリックした後、お使いのプリンタを右クリックして表示される [プロパティ] を選択します。



メモ

- ・ Digital Photo Expert のいくつかのサービスには、印刷時に印刷プレビューを表示する機能が用意されています。しかし、プリンタドライバで行った設定は、この印刷プレビューに反映されません。最終的な印刷プレビューを確認したい場合は、プリンタドライバの持つ印刷プレビュー機能で確認してください。
- ・ Digital Photo Expert では、1ページごとに1プリントジョブとしてプリントしています。したがってプリンタドライバでの割付印刷などの機能は使えません。

ソフトウェアのインストール

コンピュータにDigital Photo Expertをインストールする（ソフトウェアを組み込む）方法を説明します。



お願い

- ・ Digital Photo Expertをインストールする前に、スキャナとプリンタの接続、および、ドライバソフトのインストールを先に済ませておいてください。
- ・ Windows XPでご使用の場合には「コンピュータの管理者」の権限で、Windows 2000でご使用の場合には「Administrator」の権限でログオンしてからインストールを行ってください。

古いバージョンの Digital Photo Expert をお使いの場合には

すでに、古いバージョンの Digital Photo Expert（アプリケーション、QuickCD）がインストールされている場合には、古いバージョンのソフトウェアをアンインストール（削除）することなく、新しいバージョンのソフトウェアをインストールすることができます。

インストール方法は、通常のインストール方法と同様ですが、インストール先やオーダー管理ドライブなど、一部の設定画面が省略されます。（古いバージョンの設定が自動的に引き継がれます）

表示される画面のメッセージにしたがってインストールを進めてください。

インストール用のディスク

インストールするときは、次の CD-ROM ディスクを使います。

■ デジタルフォトエキスパートアプリケーション インストーラ

Digital Photo Expert をインストールするためのディスクです。

Digital Photo Expert をインストールすると、同時プリント、証明写真、デザインフレーム（フォトレイアウト、カレンダー）などの印刷や、CD-R/RW ディスクへの画像データの書き込みなどの各種サービスを行えます。

■ アートワーク インストーラ

Digital Photo Expert で利用するテンプレートやフレームをインストールするためのディスクです。

■ QuickCD ビューア インストーラ

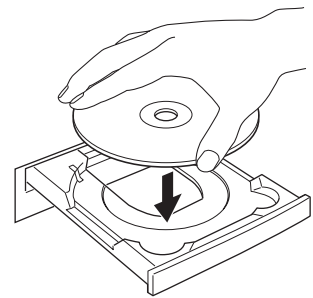
QuickCD ビューアをインストールするためのディスクです。

QuickCD ビューアについては、QuickCD ビューア インストーラに付属の説明書をご覧ください。

Digital Photo Expert のインストール

Digital Photo Expert をインストールします。

- 1 付属の「デジタルフォトエキスパートアプリケーションインストーラ」をコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。
 - ・しばらくするとインストーラが起動し、次のような画面が自動的に表示されます。

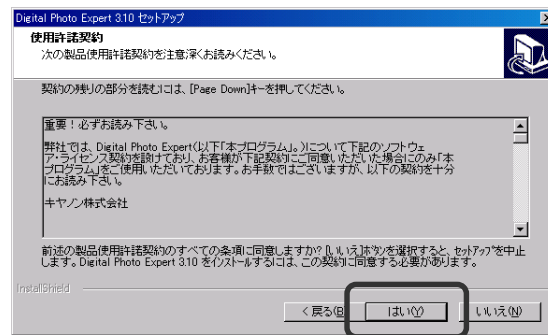


- ・この画面が表示されない場合は、[スタート] ボタンをクリックし [ファイル名を指定して実行] を選択します。表示された画面の「名前」に [E:¥Setup.exe] と入力し、[OK] ボタンをクリックしてください。「E:」にはCD-ROMドライブ名を指定します。詳しくは、「おかしなと思ったら」の「インストール」(→ P. 11-2) をご覧ください。

- 2 [次へ] ボタンをクリックします。

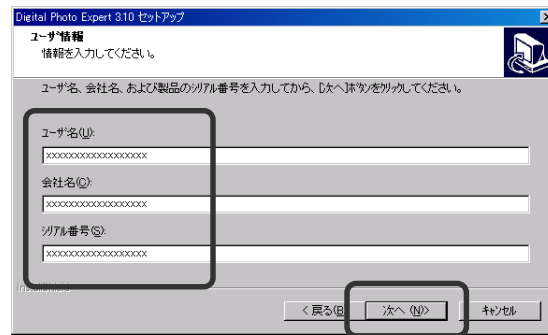


- 3 使用許諾契約の画面が表示されたら、内容をよく読んで、同意される場合は [はい] ボタンをクリックします。



4 「ユーザ名」「会社名」「シリアル番号」を入力し、[次へ] ボタンをクリックします。

- ・「シリアル番号」には、CD-ROM ケースのラベルに記載されているシリアル番号を入力します。

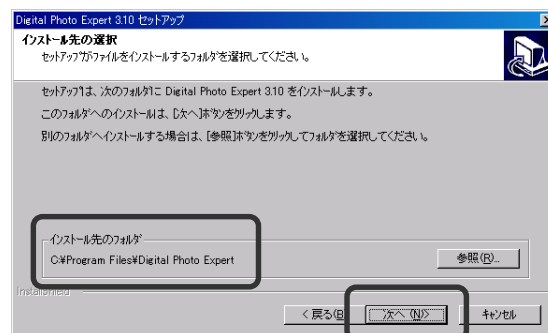


お願い

- ・シリアル番号は、半角文字で、次のことに注意をして入力してください。
大文字小文字の違い。数字の0「ゼロ」と英字のO「オー」の違い。数字の1「イチ」、英字のI「アイ」、英字のl「エル」の違い。

5 ソフトウェアのインストール先を確認し、[次へ] ボタンをクリックします。

- ・通常は、表示されたインストール先のまま [次へ] ボタンをクリックします。インストール先を変更する場合は [参照] ボタンをクリックし、表示された画面でインストール先を変更します。



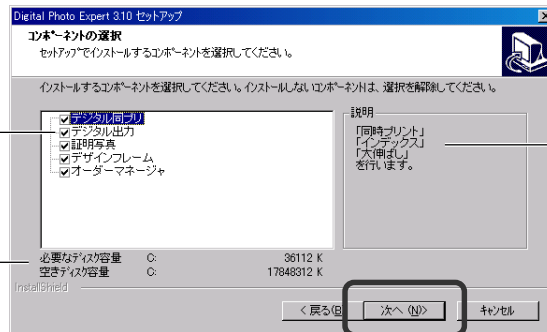
メモ

- ・リムーバブルメディア（リムーバブルハードディスク、MOディスクなど）や、ネットワークで接続されたディスクなどには、インストールできません。

- 6** インストールするサービスを確認し、[次へ] ボタンをクリックします。
- ・どのサービスを選択してよいかわからない場合は、このまま [次へ] ボタンをクリックします。
 - ・インストールしないサービスがある場合は、サービス名の前に付いているチェックマークをクリックしてマークを外します。

チェックマークをはずしたサービスは、インストールされません

ここで必要なディスク容量と空きディスク容量を確認できます



左側のサービス名をクリックすると、ここに説明が表示されます



メモ

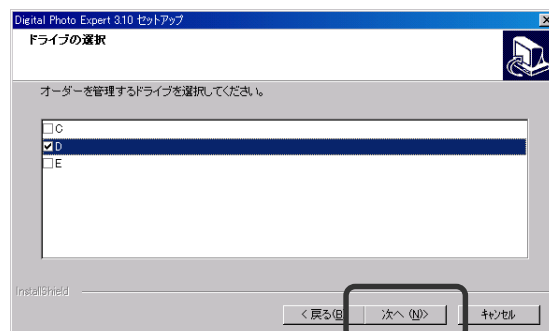
- ・ここでインストールしなかったサービスは、後で追加インストールすることができます。「ソフトウェアの変更」(→ P. 12-2)



お願い

- ・インストール先のドライブの空き容量が不足している場合はエラーメッセージが表示されます。この場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしていったんインストール作業を中止し、ハードディスクの空き容量を確保してから再度インストールを行ってください。「必要なディスク容量」と「空きディスク容量」は、画面で確認できます。

- 7** オーダーを管理するドライブを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。
- ・手順6で [オーダーマネージャ] を選択しなかった場合、この画面は表示されません。この場合は、手順8に進んでください。
 - ・ここで選択したドライブに、オーダーマネージャが管理するデータが保存されます。複数のドライブをご使用の場合には、Digital Photo Expertをインストールしたドライブとは別のドライブを選択することをおすすめします。



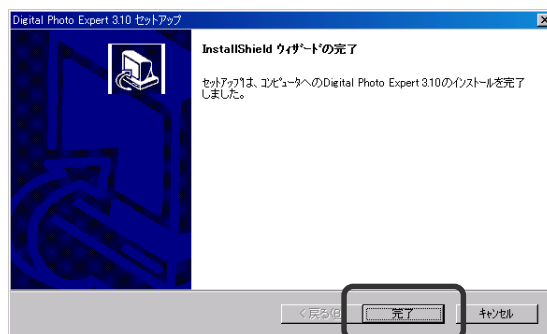
- ・ソフトウェアがインストールされます。



お願い

- ・インストール中は、CD-ROM を CD-ROM ドライブから抜かないようにしてください。

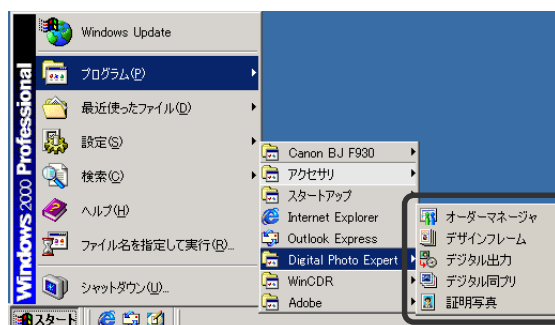
8 [完了] ボタンをクリックします。



- ・インストールが完了すると、Windows のデスクトップに、インストールしたサービスのショートカットアイコンが表示されます。



- ・また、[スタート] メニューにもショートカットが登録されます。



9 「デジタルフォトエキスパートアプリケーションインストーラ」をCD-ROMドライブから取り出します。

- ・取り出した CD-ROM ディスクは、大切に保管しておいてください。

これで、Digital Photo Expert のインストール作業は終了です。

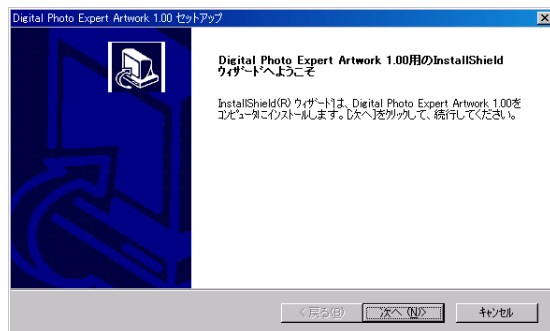
アートワークのインストール

アートワークをインストールします。

アートワークは、デザインフレーム（フォトレイアウトやカレンダー）で利用するさまざまなテンプレートやフレームを集めたものです。

1 付属の「アートワークインストーラ」をコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。

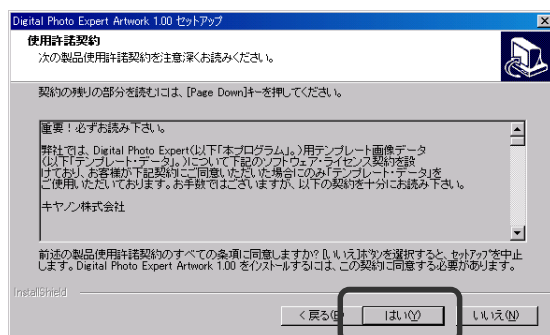
・しばらくするとインストーラが起動し、次のような画面が自動的に表示されます。



・この画面が表示されない場合は、[スタート] ボタンをクリックし [ファイル名を指定して実行] を選択します。表示された画面の「名前」に [E:¥Setup.exe] と入力し、[OK] ボタンをクリックしてください。「E:」にはCD-ROMドライブ名を指定します。詳しくは、「おかしいと思ったら」の「インストール」(→ P. 11-2) をご覧ください。

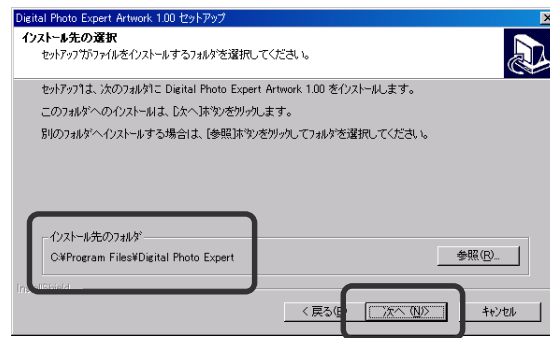
2 [次へ] ボタンをクリックします。

3 使用許諾契約の画面が表示されたら、内容をよく読んで、同意される場合は [はい] ボタンをクリックします。



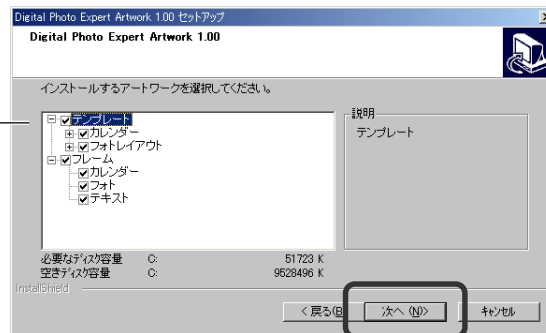
4 アートワークのインストール先を確認し、[次へ] ボタンをクリックします。

・通常は、表示されたインストール先のまま [次へ] ボタンをクリックします。インストール先を変更する場合は [参照] ボタンをクリックし、表示された画面でインストール先を変更します。



- 5** インストールするアートワークを確認し、[次へ] ボタンをクリックします。
- ・インストールしないアートワークがある場合は、アートワーク名の前についているチェックマークをクリックしてマークを外します。

チェックマークをはずしたアートワークは、インストールされません



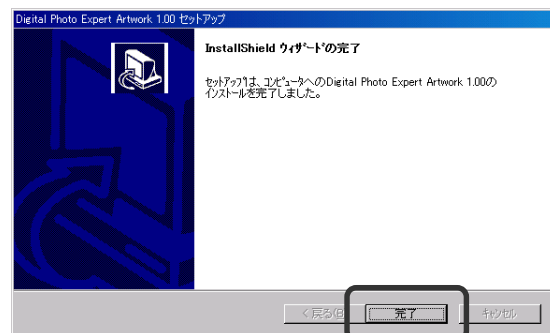
- ・ソフトウェアがインストールされます。



お願い

- ・インストール中は、CD-ROM を CD-ROM ドライブから抜かないようにしてください。

- 6** [完了] ボタンをクリックします。



- 7** 「アートワークインストーラ」を CD-ROM ドライブから取り出します。
- ・取り出した CD-ROM ディスクは、大切に保管しておいてください。

これで、アートワークのインストール作業は終了です。

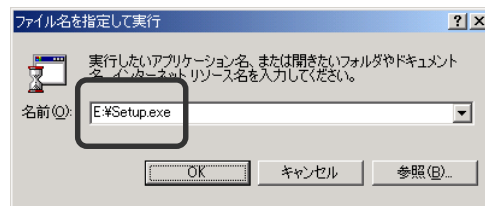
QuickCD ビューアのインストール

QuickCD ビューアをインストールします。

- 1 付属の「QuickCD ビューア インストーラ」をコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。
- 2 [スタート] ボタンをクリックして、[ファイル名を指定して実行] を選択します。



- 3 「名前」に [E:¥Setup.exe] と入力し、[OK] ボタンをクリックします。「E:」にはCD-ROM ドライブ名を指定します。



・ソフトウェアがインストールされます。



お願い

・インストール中は、CD-ROMをCD-ROMドライブから抜かないようにしてください。



メモ

・QuickCD ビューアがインストールされていた場合には、「インストール済みの Digital Photo Expert CD Viewer Dataをアンインストールしますか。」というメッセージが表示されます。アンインストール（削除）する場合は [OK] を、操作を中止する場合は [キャンセル] を選択してください。アンインストールの実行後、再度、インストールを行う場合は、手順2～手順3の操作を繰り返してください。

- 4 インストールが終わったら「QuickCD ビューア インストーラ」をCD-ROMドライブから取り出します。

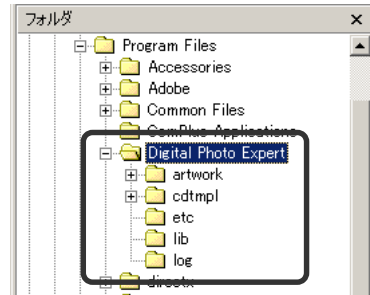
・取り出したCD-ROMディスクは、大切に保管しておいてください。

これで、QuickCD ビューアのインストール作業は終了です。



メモ

- すべてのソフトウェアをインストールすると、指定したドライブに [Digital Photo Expert] フォルダが作成され、さらにそのフォルダ内に [artwork] [cdtmp] [etc] [lib] [log] フォルダが作成されて必要なデータがコピーされます。



第2章

サービス共通の操作 1 – 基本

この章では、各サービスで共通する操作のうちの、基本操作について説明します。

ソフトウェアの概要

はじめに Digital Photo Expert のソフトウェア全体像を説明します。

ソフトウェアの構成

Digital Photo Expert は、以下のようなソフトウェアで構成されています。

オーダー管理をするソフトウェア	各サービスを行うソフトウェア
オーダーマネージャ	デジタル同プリ デジタル出力 証明写真 デザインフレーム

各ソフトウェアの役割

■ オーダーマネージャ

以下の各サービスを一括管理して効率的に運用するためのソフトウェアです。

■ デジタル同プリ

画像を同時プリント、インデックスプリント、大伸ばしをして印刷するソフトウェアです。

■ デジタル出力

画像をCD-R/RWやMOディスクなどに書き込んだり、インデックス印刷したりするソフトウェアです。

■ 証明写真

各種証明写真を印刷するソフトウェアです。

■ デザインフレーム

画像を自由にレイアウトして、アルバムのような作品やカレンダーなどを印刷するソフトウェアです。

オーダーマネージャから起動する場合には、[フォトレイアウト] または [カレンダー] を選択します。



メモ

・各サービスは、オーダーマネージャ経由で起動することも、単独で起動することもできます。起動の操作については、次の項で説明します。

作業の進め方

Digital Photo Expertには、最初にオーダーマネージャを起動し、オーダーマネージャから各サービスを起動して作業を行う方法と、各サービスを単独で起動して作業を行う方法があります。

「オーダーマネージャからの起動」と「サービス単独での起動」の違い

■ オーダーマネージャからの起動

オーダーマネージャを経由して各サービスを起動すると、オーダーマネージャはオーダーを管理するだけでなく、各オーダーのサービス履歴や使用した画像、編集データなどを自動的に保存します。

そのため、サービスを終了するときも保存作業を行う必要はありません。また、保存されたデータをオーダーマネージャの一覧から選択して、再編集することができます。

■ サービス単独での起動

サービス単独で起動した場合は、使用した画像や編集データなどが自動では保存されません。後でデータを再利用したい場合は、サービスの画面にある保存機能を使って保存する必要があります。(サービスによっては、保存機能がないものもあります。)

オーダーマネージャからの起動

オーダーマネージャから各サービスを起動する方法については、「オーダーマネージャからのサービスの起動と終了」(→ P. 5-8)で説明します。

サービス単独の起動と終了

■ サービス単独の起動

スタートメニューからの起動

[スタート]メニューの[プログラム](Windows XPの場合は[すべてのプログラム])から[Digital Photo Expert]を選択し、表示されたサブメニューから起動したいサービスを選択します。これで、選択したサービスが起動します。



アイコンからの起動

デスクトップのアイコンをダブルクリックします。
選択したサービスが起動します。



お願い

- ・起動時に「ハードディスクの残量が不足しているため、プログラムを起動できません。」などのメッセージが表示されることがあります。このような場合は、メッセージをよく読んで処理を選び、作業を進めてください。(→ P. 11-7)



メモ

- ・任意のサービスが起動しているときに、さらに同じサービスや別のサービスを起動することができます。また、オーダーマネージャからサービスを起動していても、さらに単独でサービスを起動することもできます。ただし、Windows 98の場合は、合計で5個以上のサービスを同時に起動しないようにしてください。
- ・単独で起動した場合とオーダーマネージャから起動した場合は、タイトルバーの表示、および使用できる機能（保存など）が一部異なります。
- ・「デザインフレーム」を単独で起動した場合には、起動後に利用するテンプレートの種別（フォトレイアウト／カレンダー）を選択できますが、オーダーマネージャから「フォトレイアウト」または「カレンダー」を選択して「デザインフレーム」を起動した場合には、起動後に種別の変更はできません。

■ サービス単独の終了

メニューからの終了

[ファイル] メニューの [終了] を選択します。
これで、サービスが終了します。

ツールバーで終了

ツールバーの [終了] ボタンをクリックします。
これで、サービスが終了します。



クローズボタンで終了

画面右上の (クローズボタン) をクリックします。
これで、サービスが終了します。



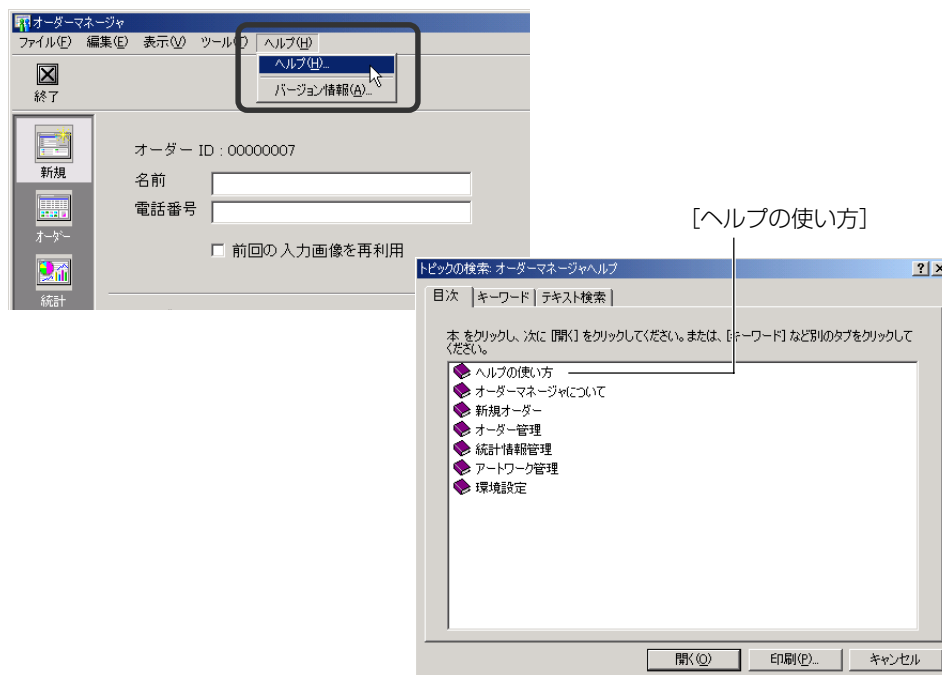
お願い

- ・サービスによっては、データの保存作業を行わずにサービスを終了しようとすると、データを保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。保存する場合は [はい] を、保存しない場合は [いいえ] をクリックしてください。

ヘルプ機能

Digital Photo Expertには、「ヘルプ機能」が用意されています。操作方法がわからなくなってしまう場合や、どんな機能があるか知りたい場合などにご活用ください。

ヘルプは、[ヘルプ]メニューから[ヘルプ]を選択すると、表示されます。ヘルプの使い方については、ヘルプの[ヘルプの使い方]で説明しています。





元に戻す

選択している画像に対して画像補正などの処理を加え、処理結果が思うような状態にならなかったとき、その処理を元に戻すことができます。



メモ

・「元に戻す」機能はプレビューエリアの画像に加えた処理を元に戻す機能です。
 (拡大)、 (縮小) ボタンを使った画像表示に対しては、元に戻すことはできません。

1つの画像が選択されている場合

[編集] メニューの [元に戻す] を選択 (またはツールバーの [元に戻す] ボタンをクリック) すると、直前に行った操作が取り消されます。さらに [元に戻す] を選択することで、さかのぼって処理を取り消すことができます。

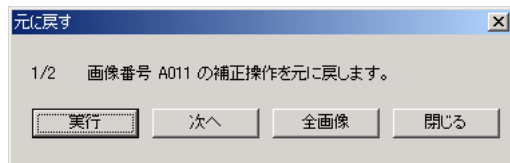


メモ

・前に、他の画像に対して行った処理を取り消す場合には、画像一覧などでその画像を選択してから、[元に戻す] を選択します。

複数の画像が選択されている場合

[編集] メニューの [元に戻す] を選択 (またはツールバーの [元に戻す] ボタンをクリック) すると、次のような画面が表示されます。



■ 実行

直前に行った操作が取り消されます。何度も [実行] ボタンをクリックすることで、さかのぼって処理を取り消すことができます。取り消す処理がなくなった場合は、[実行] ボタンを選択できなくなります。すべての画像に対して、取り消す処理がなくなった場合は、画面が閉じられます。

■ 次へ

操作を取り消す処理を、選択されている画像の次の画像に行いたいときにクリックします。

■ 全画像

すべての画像に対して、直前の操作を取り消します。

■ 閉じる

画面を閉じます。

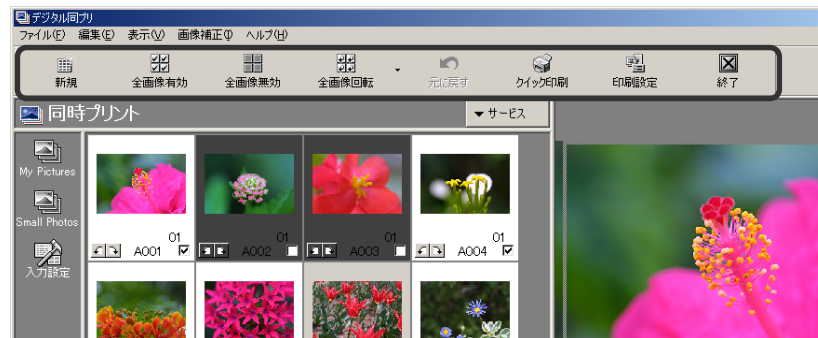
ツールバーの使い方

ツールバーには、メニューの中から比較的良好く使う機能が集められています。これらの機能は、ボタンをクリックするだけで実行できるのでとても便利です。

ツールバーの種類

ツールバーには、次のような種類があります。

■ ツールバー（標準ツールバー）



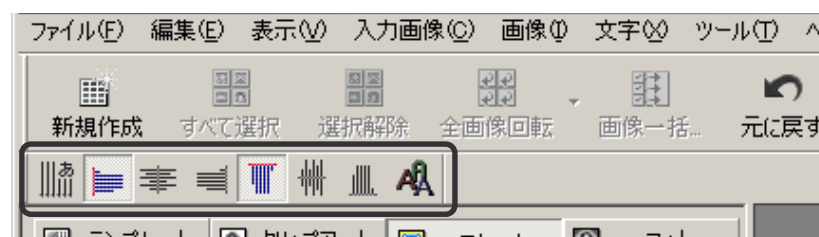
■ 画像補正ツールバー

画像に対して、画像補正を行うときに使います。（複数の画像が選択されている場合でも、プレビューエリアに表示されている画像に対してのみ画像補正が行われます。）



■ 文字ツールバー

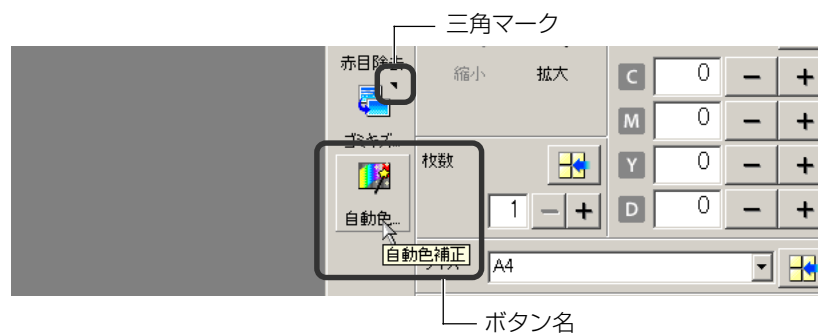
文字に対して、行揃えやフォントの変更を行うときに使います。この文字ツールバーは「デザインフレーム」（フォトフレーム、カレンダー）でのみ表示されます。



ボタンについて

右上に小さな三角マークがついているボタンの場合には、ボタンをクリックすると補正を行うための画面が表示されます。三角マークがついていない場合には、ボタンをクリックするとすぐに補正が実行されます。

また、ボタンにマウスポインタを合わせると、ボタン名が表示されます。ボタン名がすべて表示されていないボタンの場合には、この操作で名前を確認してください。



メモ

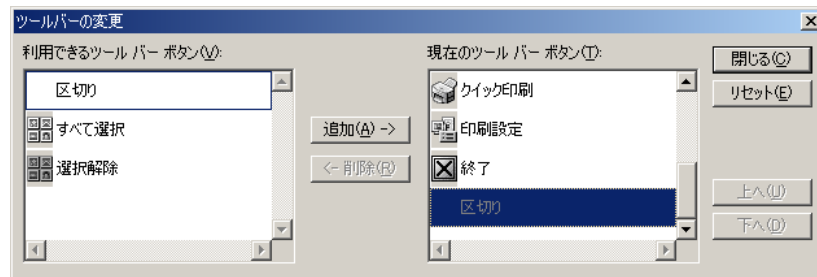
- ・各ツールバーに表示される項目は、使いやすいように変更することができます。この操作については、「ツールバーのカスタマイズ」(→ P. 2-9) で説明します。

ツールバーのカスタマイズ

ツールバーに表示されている項目をカスタマイズする（自由に変更する）ことができます。

ツールバーの変更

[表示] メニューから [ツールバー]（「デザインフレーム」の場合は [ツールバーの項目]）を選択し、サブメニューから [標準] を選択すると、ツールバーの変更を行う画面が表示されます。



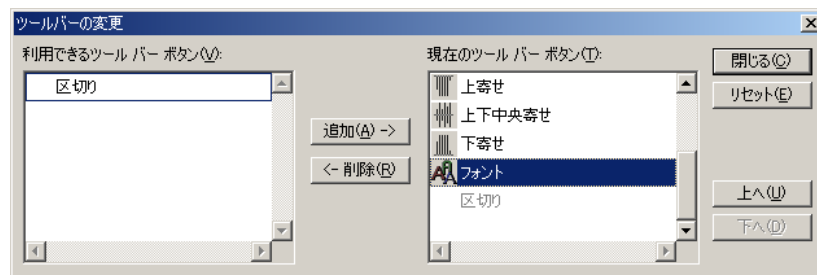
画像補正ツールバーの変更

[表示] メニューから [ツールバー]（「デザインフレーム」の場合は [ツールバーの項目]）を選択し、サブメニューから [画像補正] を選択すると、ツールバーの変更を行う画面が表示されます。



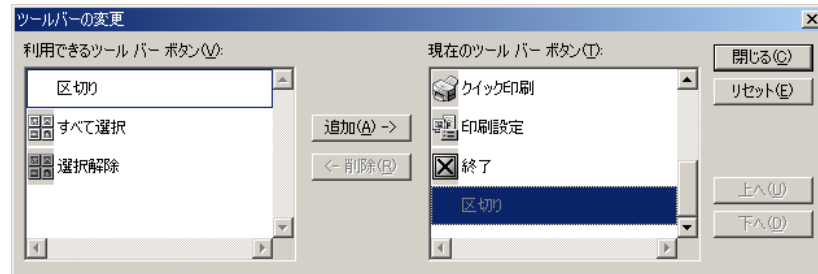
文字ツールバーの変更

[表示] メニューから [ツールバーの項目] を選択し、サブメニューから [文字] を選択すると、ツールバーの変更を行う画面が表示されます。（文字ツールバーは「デザインフレーム」でのみ表示されます。）



カスタマイズのしかた

画面右側の「現在のツールバーボタン」には現在ツールバーに表示されているボタンが、左側の「利用できるツールバーボタン」にはツールバーに追加することができるボタンが表示されます。



■ ボタンの追加

「利用できるツールバーボタン」で追加したいボタンを選択し、[追加] ボタンをクリックします。選択したボタンが「現在のツールバーボタン」に追加されます。

■ ボタンの削除

「現在のツールバーボタン」で削除したいボタンを選択し、[削除] ボタンをクリックします。「現在のツールバーボタン」から選択したボタンが削除され、「利用できるツールバーボタン」に表示されます。

■ 区切りの追加

「利用できるツールバーボタン」で [区切り] を選択し、[追加] ボタンをクリックします。区切りは「現在のツールバーボタン」で選択されている項目の前に追加されます。

■ 区切りの削除

「現在のツールバーボタン」で削除したい [区切り] を選択し、[削除] ボタンをクリックします。[区切り] が削除されます。

■ ボタンの順番の変更

動かしたいボタンを選択し、[上へ] [下へ] ボタンをクリックします。ボタンの順番が変更されます。

■ 設定を元に戻す

[リセット] ボタンをクリックすると、Digital Photo Expertをインストールした直後のツールバーの設定に戻すことができます。

■ 設定の終了

[閉じる] ボタンで設定を終了します。



メモ

- ・画像補正ツールバーに区切りを追加することはできません。

右クリックで表示されるメニューについて

Digital Photo Expertの各サービスでは、いろいろな場面で、右クリックを使うことができます。たとえば、画像入力バーのボタンの上で右クリックすると、次のようなメニューが表示されます。



右クリックすると表示される
コンテキストメニュー

この「右クリックで表示されるメニュー」を「コンテキストメニュー」といいます。このメニューには、ウィンドウ上のボタンやメニューに用意されている機能の中から、現在利用可能な機能や便利な機能が表示されます。

なお、このユーザズガイドでは、原則として右クリックを使った操作は説明しません。(これは、表示されるメニューのバリエーションを追っていくだけで大変なページ数になってしまうためです。)

右クリックからしか実行できない機能も少しだけありますが、これについては該当ページで説明します。

第3章

サービス共通の操作2 – 画像入力

この章では、各サービスで共通する操作のうちの、画像入力について説明します。

画像入力について

画像入力は、画像を読み込む操作です。通常、サービスを選択した後、各サービスの画面で行います。

読み込めるのは、デジタルカメラのメモ리카ードに保存してある画像や、CD-ROMやMOなどのディスクに保存してある画像、スキャナで読み込んだ画像などです。読み込んだ画像は、各サービスで活用したり、再利用したりすることができます。

2つの入力方法

画像入力には、読み込み先のデバイス（機器）の種類によって、次の2つの方法があります。

■ スキャナ（TWAINデバイス）からの入力

次のような TWAIN デバイスを使って、画像を読み込みます。

- ・フラットベッドスキャナ
- ・フィルムスキャナ

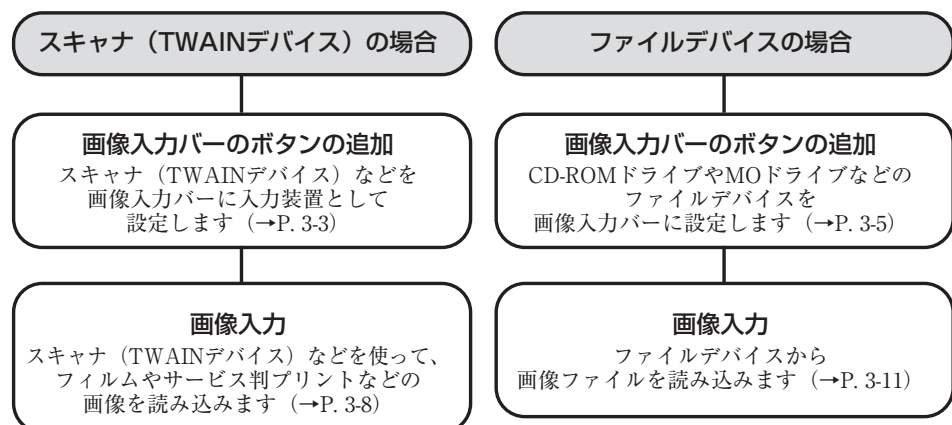
■ ファイルデバイスからの入力

次のようなファイルデバイス（画像をファイルとして保存している装置やディスク）の中から、画像を読み込みます。

- ・PC カードリーダー
- ・CD-ROM/CD-R/CD-RW ドライブ
- ・フロッピーディスクドライブ
- ・MO ドライブ
- ・Zip ドライブ
- ・ハードディスクドライブ

画像入力の流れ

画像入力は、次のような流れで行います。



画像入力バーのボタンの追加と削除

Digital Photo Expertをインストールした直後の状態では、画像入力バーには[入力設定] ボタンだけが表示されます。

まず、[入力設定] ボタンを使って読み込み先のスキャナやドライブなどを、新しい入力装置として画像入力バーに設定します。設定すると、画像入力バーにボタンが追加されます。



メモ

- ・デザインフレーム（フォトレイアウト、カレンダー）の場合は、画面左上部の[フォト] タブをクリックすると、画像入力バーが表示されます。

ボタンの追加 - スキャナ（TWAIN デバイス）の場合

フィルムスキャナのボタンを画像入力バーに追加する手順を紹介します。（ここではハイパーフォト・スキャナを例にしています。）



お願い

- ・ボタンを追加する前に、スキャナが正しく接続され、ドライバソフト（スキャナで画像をスキャンするためのソフト）が正しくインストールされているのを確認してください。

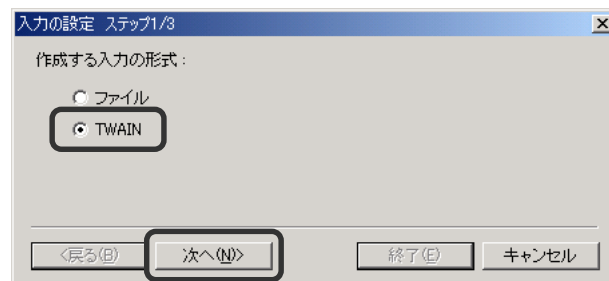
1

画像入力バーにある[入力設定] ボタンをクリックします。



2

[TWAIN] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



お願い

- ・スキャナなどのTWAINに対応した機器がコンピュータに接続されていない場合には、[TWAIN] を選択することはできません。TWAIN 機器を接続してから、この操作を行ってください。

3 ご使用の機器の機種名を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

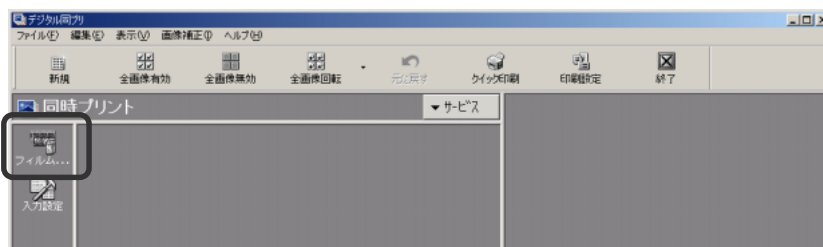


4 名前を入力して、表示したいアイコンを選択し、[終了] ボタンをクリックします。

- ・ここで指定した名前とアイコンが、画像入力バーのボタンに表示されます。画像入力バーには、入力した名前の全角で4～5文字までが表示され、それ以上の文字は省略されて「...」で表示されます。



- ・画像入力バーに、「フィルムスキャナ」という名前のボタンが新しく追加されます。



メモ

- ・同じような手順で、別のTWAINデバイスを追加することもできます。ボタンを追加しても、[入力設定] ボタンは常に最後に表示されます。
- ・ボタンは、[入力設定] ボタン以外に最大20個まで追加することができます。追加したボタンが画像入力バーに表示しきれない場合は、スクロールボタンが表示されます。
- ・追加したボタンは、すべてのサービスで表示されます。

これで、画像入力の準備ができました。

これ以降の操作は、「スキャナ (TWAIN デバイス) からの入力」(→ P. 3-8) で説明します。

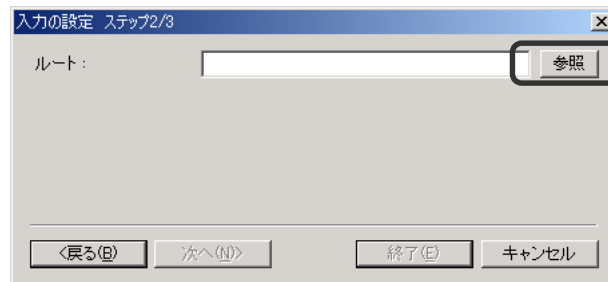
ボタンの追加 - ファイルデバイスの場合

ここでは、CD-ROMドライブを例にとり、CD-ROMドライブのボタンを画像入力バーに追加します。

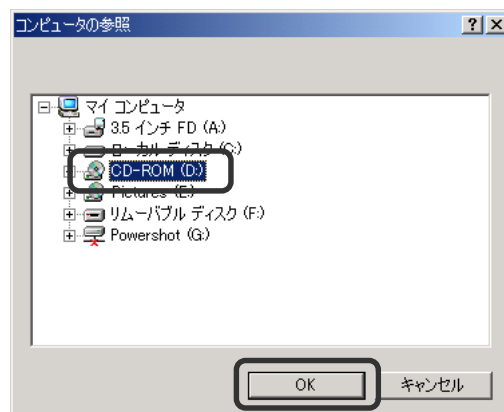
- 1 画像入力バーの「[入力設定]」ボタンをクリックします。
- 2 「[ファイル]」を選択し、「[次へ]」ボタンをクリックします。



- 3 「[参照]」ボタンをクリックします。
・「ルート」の部分に、目的のドライブを直接入力することもできます（例：G:ドライブの場合は「G:」と指定）。直接入力した場合は、「[次へ]」ボタンをクリックし、手順6に進みます。



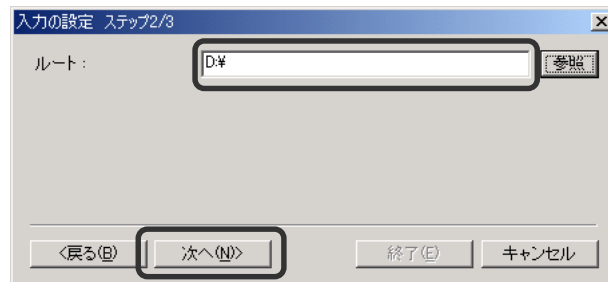
- 4 CD-ROMドライブを選択し、「[OK]」ボタンをクリックします。



メモ

- ・ドライブだけでなく、フォルダも指定することができます。また、ネットワーク上のドライブも指定することができます。

- 5** 「ルート」に指定したドライブまたはフォルダが表示されたのを確認し、[次へ] ボタンをクリックします。

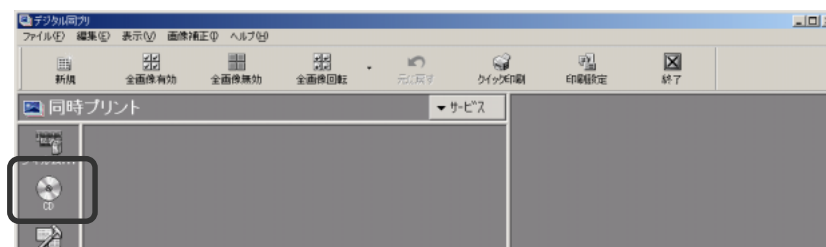


- 6** 名前を入力して、表示したいアイコンを選択し、[終了] ボタンをクリックします。

- ここで指定した名前とアイコンが、画像入力バーにボタンで表示されます。画像入力バーには、入力した名前の全角で4～5文字までが表示され、それ以上の文字は省略されて「...」で表示されます。



- 画像入力バーに、「CD」という名前のボタンが新しく追加されます。



メモ

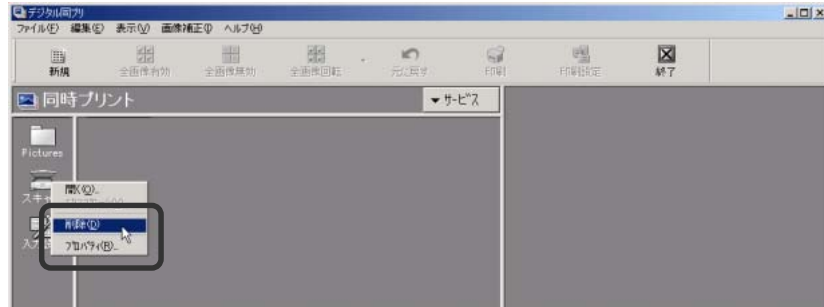
- 同じような手順で、別のファイルデバイスを追加することもできます。ボタンを追加しても、[入力設定] ボタンは常に最後に表示されます。
- ボタンは、[入力設定] ボタン以外に最大20個まで追加することができます。追加したボタンが画像入力バーに表示しきれない場合は、スクロールボタンが表示されます。
- 追加したボタンは、すべてのサービスで表示されます。

これで、画像入力の準備ができました。

これ以降の操作は、「ファイルデバイスからの入力」(→ P. 3-11) で説明します。

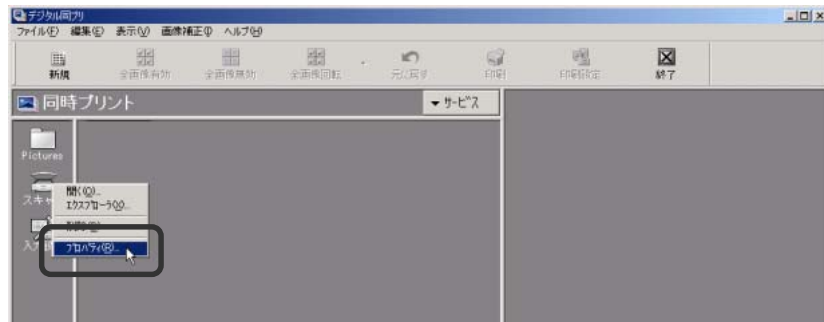
ボタンの削除

削除したいボタンの上にマウスポインタを合わせ右クリックすると、メニューが表示されます。そのメニューから [削除] を選択すると、選択したボタンが削除されます。

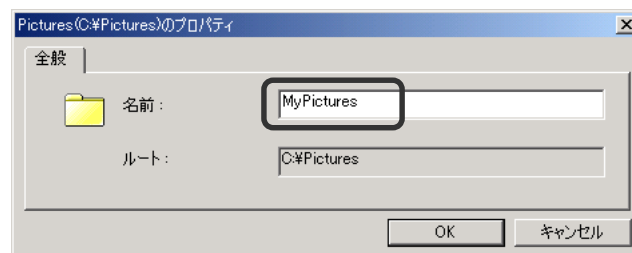


名前の変更

名前を変更したいボタンの上にマウスポインタを合わせ右クリックすると、メニューが表示されます。そのメニューから [プロパティ] を選択します。



表示された画面で新しい名前を指定し、[OK] ボタンをクリックします。ボタンの名前が新しい名前に変わります。



順番の変更

順序を変更したいボタンを選択し、移動したい場所までドラッグすると、順序を変更することができます。ただし、[入力設定] ボタンは常に一覧の最後に配置されます。



メモ

- ・ボタンがファイルデバイスの場合、右クリックで表示されるメニューから [エクスプローラ] を選択すると、ファイルデバイス内のフォルダやファイルがツリー表示されます。

スキャナ (TWAIN デバイス) からの入力

フラットベッドスキャナやフィルムスキャナなどのTWAINデバイスから画像を入力する手順を説明します。

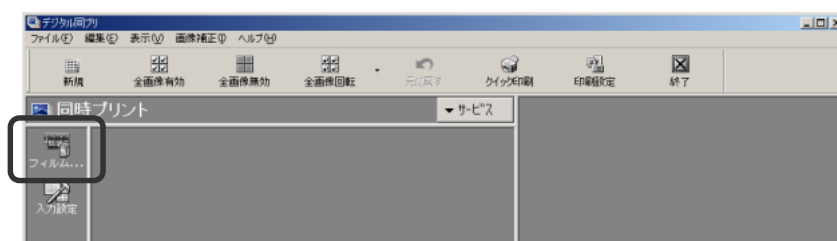


お願い

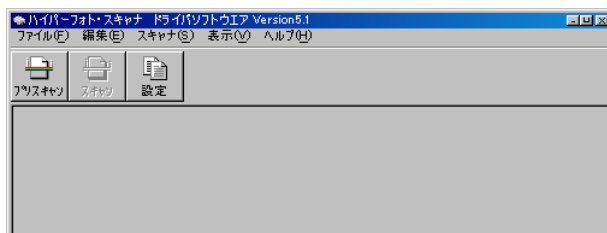
- ・画像の入力をする前に、TWAIN デバイスが正しく接続され、ドライバソフトが正しくインストールされているのを確認してください。

1

画像入力バーから [フィルムスキャナ] などのボタンをクリックして、入力装置を選択します。



- ・スキャナのドライバソフトの画面が表示されます。



メモ

- ・ここに表示されるドライバソフトの画面は、選択した入力装置によって異なります。ドライバソフトの画面、およびその画面での操作については、選択した入力装置に付属の説明書をご覧ください。(ここではハイパーフォト・スキャナのドライバソフトを例にしています。)

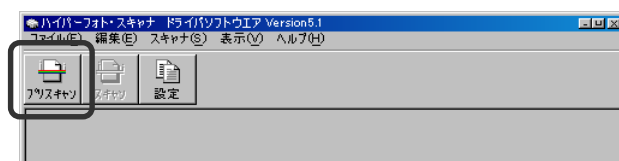
2

フィルムや反射原稿などをスキャナにセットします。

- ・フィルムや反射原稿の種類によって、セット方法は異なります。詳しくは、スキャナに付属の説明書をご覧ください。

3

[プリスキャン] ボタンをクリックします。



- ・原稿が読み取られ、読み取られた画像すべてがサムネイル画像で表示されます。



メモ

- ・この時点で表示されているサムネイル画像は、「ためしの」スキャン画像です。通常は、このためしのサムネイル画像を見ながらスキャンする画像を選択したり、位置を調整したりします。

4 スキャンしたい画像をクリックします。



5 「本当の」スキャンを行うため、今度は [スキャン] ボタンをクリックします。



- ・画像がスキャンされます。

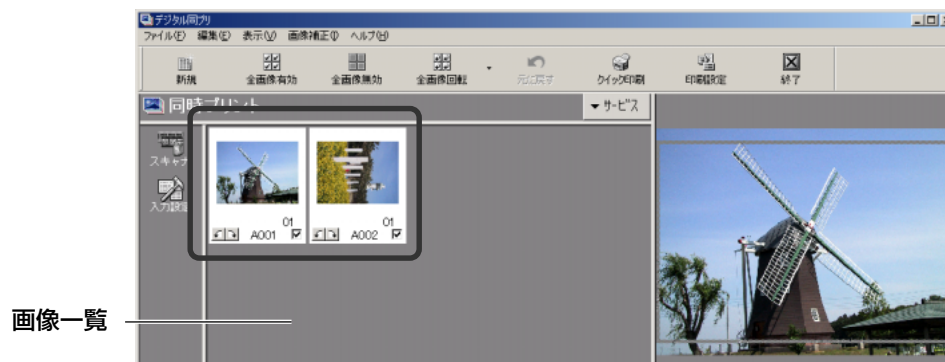
6 画面右上の をクリックして、ドライバソフトの画面を閉じます。



メモ

- ・ハイパーフォトスキャナ HS-100/HS-150 でデジタル出力を使用する場合、設定によってスキャン後の動作が異なります。入力動作設定の [TWAIN (フィルムスキャナ) の入力を1回のスキャンで自動的に終了する] にチェックマークを入れている場合 (→ P. 7-24)、スキャンが終了するとドライバソフトの画面は自動的に閉じられます。

- ・スキャンされた画像は、Digital Photo Expert の画像一覧に表示されます。



これで、画像入力の作業は終了です。

手順1～手順6の操作を繰り返して、画像を追加していくこともできます (最大999個まで)。



メモ

- ・繰り返し画像を追加していくとき、画像番号の先頭の英文字は、一回の画像入力ごとに「A001」「B001」…のように変化します (英文字はグループを表しています)。これを「A001」「A002」…と同じ英文字にしたいときは、[ファイル]メニューから [同じグループに追加] を選択します。
- ・画像一覧の画像が「Z」ではじまる番号になっている場合は、次のグループを作ることができなくなるため、画像の追加はできなくなります。この場合は、「Z」を別の英文字に変更してから追加してください。

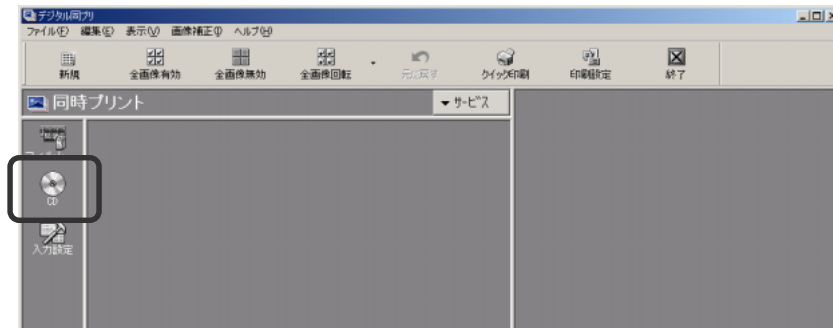
ファイルデバイスからの入力

メモ리카ード、CD-ROMドライブ、MOドライブなどのファイルデバイス（画像をファイルとして保存している装置やディスク）から画像を入力します。

ファイルデバイスが通常のディスクやフォルダの場合

ここでは、CD-ROMドライブから画像を入力します。

- 1 画像入力バーから [CD] などのボタンをクリックして、入力装置を選択します。
・ [ファイル] メニューの [画像入力] のサブメニューから入力装置を選択することもできます。



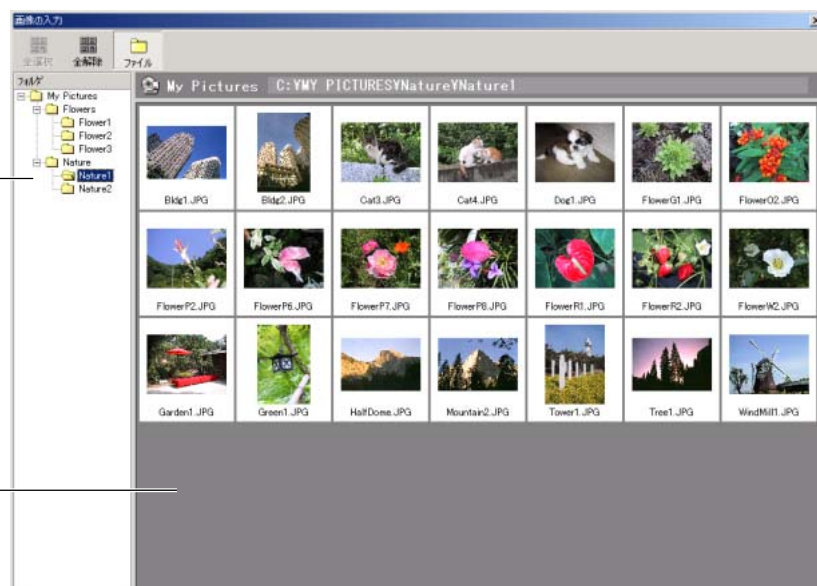
お願い

- ・ 選択した入力装置にディスクが挿入されていない場合は、「ディスクをセットしてください」というメッセージが表示されます。このような場合は、ディスクをセットしてから、画面上の [OK] ボタンをクリックします。その後、再度、画像入力バーから入力装置を選択してください。

- ・ [画像の入力] 画面が表示され、選択したファイルデバイスに保存されている画像の一覧が表示されます。この画面で、使用したい画像を選択します。

エクスプローラ
ビュー

画像一覧





メモ

- ・画面が最初に表示された状態では、すべての画像が選択されています。
- ・すべての画像が表示される前に選択の操作をはじめると、画像の表示が中止されます。
- ・この画面には、JPEG、TIFF、BMP、Flashpix、PhotoCD、PNG形式の画像だけが表示されます。対応していないデータ形式の画像や画像データが壊れている場合は、画像に「？」マークが表示されます。

<対応していないデータ形式の画像の例>

- LZW 圧縮の TIFF 画像
 - CMYK の TIFF および JPEG 画像
 - 縦横の比率が 64 を超える画像
 - 片方の辺が 8,688 ピクセルを超える画像
- ・画面左側には、エクスプローラと同様のツリー図が表示されます。このツリー図を使って任意のフォルダを選択することができます。



お願い

- ・ファイルデバイス内の画像が多い場合、画面にすべての画像が表示されるまでに少々時間がかかることがあります。このような場合は、画像が表示されるまでしばらくお待ちください。

2

入力したい画像を選択します。

- ・一覧の中から使いたい画像を選択します。画像をクリックするたびに選択と非選択が切り替わります。
- ・選択された画像は白色の枠で、選択されていない画像は灰色の枠で表示されます。





メモ

- ・ Shiftキーを押しながら画像をクリックすることで、連続した画像をまとめて選択することができます。
- ・ ツールバーの [全選択] ボタンをクリックすると、一覧内の全画像が選択されます。また、[全解除] ボタンをクリックすると、一覧内の全画像の選択が解除されます。
- ・ 灰色の枠の色は、Windows のシステム設定で変更ができます。

3

[OK] ボタンをクリックします。

- ・ 読み込まれた画像がサービスの画像一覧に表示されます。



これで、画像入力の作業は終了です。

さらに、手順1～手順3の操作を繰り返して、画像を追加していくこともできます（最大999個まで）。



メモ

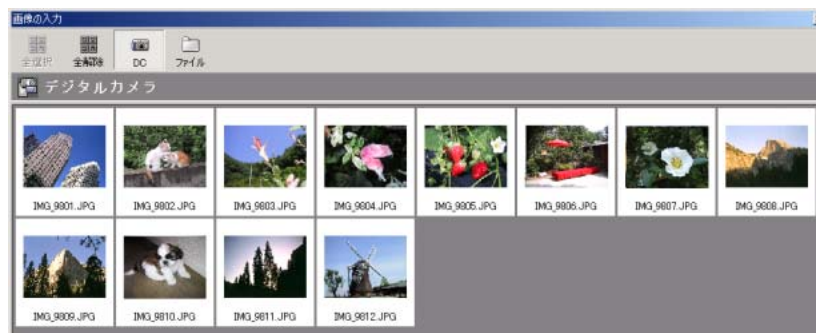
- ・ 繰り返し画像を追加していくとき、画像番号の先頭の英文字は、一回の画像入力ごとに「A001」「B001」…のように変化します（英文字はグループを表しています）。これを「A001」「A002」…と同じ英文字にしたいときは、[ファイル]メニューから [同じグループに追加] を選択します。
- ・ 画像一覧の画像が「Z」ではじまる番号になっている場合は、次のグループを作ることができなくなるため、画像の追加はできなくなります。この場合は、「Z」を別の英文字に変更してから追加してください。

デジタルカメラデータが保存されている場合

選択しているディスクやフォルダ内に、デジタルカメラデータが保存されている場合、「画像の入力」画面は「デジタルカメラモード」で表示され、ツールバーの表示も変わります。

デジタルカメラデータ以外のデータがある場合は、ツールバーの「ファイル」ボタンをクリックして、ファイルモードに切り替えることができます。

■ デジタルカメラモード



■ ファイルモード

[ファイル] ボタンをクリックし、エクスプローラビューでフォルダを選択します



DPOF オーダーデータがある場合

ファイルデバイスとして選択している装置にDPOFのデータが含まれている場合には、そのDPOF情報（印刷する画像や、画像を印刷するときの枚数の指定など）を同時に取り込むことができます。

■ DPOF モード

ファイルデバイスに保存されている画像の内、DPOFのデータが含まれている画像だけが表示されます。



■ デジタルカメラモード

ツールバーの [DC] ボタンをクリックすると、「デジタルカメラモード」に変わり、デジタルカメラデータの画像すべてが表示されます。



■ ファイルモード

ツールバーの [ファイル] ボタンをクリックすると、「ファイルモード」に切り替わり、通常のデバイスやフォルダのようにエクスプローラビューを使って、任意のフォルダを選択することができます。

[ファイル] ボタンをクリックし、エクスプローラビューでフォルダを選択します



■ DPOF データのある画像を入力すると

DPOFデータを持つ画像を入力すると、DPOFデータの印刷枚数が画像一覧の印刷枚数に反映されます。



印刷枚数



メモ

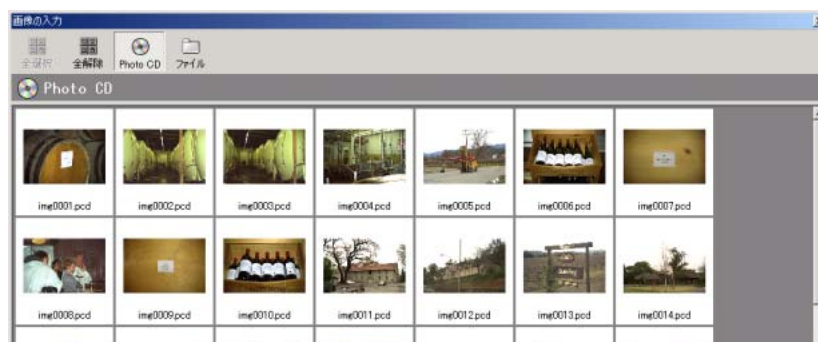
- ・DPOFは「Digital Print Order Format」の略で、デジタルカメラで撮影した画像に付け加えられたデータです。印刷したい画像の選択や印刷枚数の指定は、デジタルカメラで行います。

Photo CD から入力する場合

ファイルデバイスとして選択した装置にPhoto CDがセットされている場合には、[画像の入力]画面は「Photo CDモード」で表示されます。Photo CD以外のデータがある場合は、ツールバーの「ファイル」をクリックして、ファイルモードに切り替えることができます。

■ Photo CD モード

ファイルデバイスに保存されている画像の内、Photo CDのデータが含まれている画像だけが表示されます。



■ ファイルモード

ツールバーの「ファイル」ボタンをクリックすると、「ファイルモード」に切り替わり、通常のデバイスやフォルダのようにエクスプローラビューを使って、任意のフォルダを選択することができます。

[ファイル] ボタンをクリックし、エクスプローラビューでフォルダを選択します

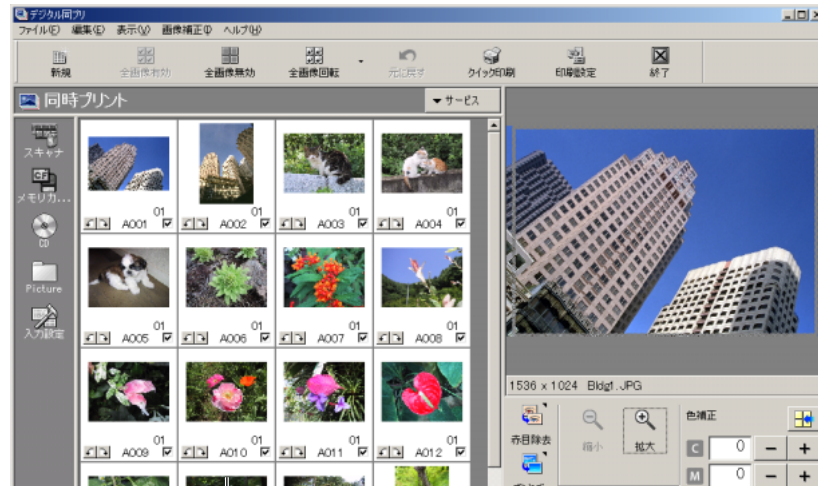


メモ

- ・QuickCDの場合も、Photo CDと同じ画面が表示されます。

画像一覧での操作

各サービスの画面に画像を入力する（読み込む）と、画像一覧にサムネイル画像が表示されます。



画像一覧

ここでは、この画像一覧での操作を説明します。

画像の追加と削除

画像一覧に、画像を追加したり、削除したりする方法を説明します。

■ 画像入力バーを使った画像の追加

画面左端（「証明写真」「デザインフレーム」の場合は左上）の「画像入力バー」を使って、画像を追加することができます。

■ エクスプローラを使った画像の追加

Windowsのデスクトップから、エクスプローラを使って画像を選択し、各サービスの画像一覧に画像をドラッグアンドドロップすることで、画像を追加することができます。

ドラッグアンドドロップの操作：
追加したい画像を選択し、そのままの状態
でドラッグして、画像一覧の上で指を離します





メモ

- ・エクスプローラ上で複数の画像を選択し、まとめてドラッグアンドドロップで追加することもできます。
- ・画像を入力すると、画像には「A001」「A002」・・と番号がつけられます。この先頭の英文字はグループを表しています。次に画像を入力したときは別のグループの画像として扱われ、番号は「B001」「B002」・・と変わります。ただし、画像一覧の画像が「Z」ではじまる番号になっている場合は、次のグループを作ることができなくなるため、画像の追加はできなくなります。この場合は、「Z」を別の英文字に変更してから追加してください。
- ・[ファイル]メニューの[同じグループに追加]を選択して、項目名の前にチェックマークをつけると、同じグループとして番号がつけられます。たとえば、すでに「A001」「A002」という画像が画像一覧にある場合、次に画像を入力すると「A003」「A004」・・と同じグループの続き番号がふられます。

■ 画像の削除

画像を画像一覧から削除するときは、削除したい画像（複数可）を選択した後、[編集]メニュー（「デザインフレーム」の場合は[入力画像]メニュー）から[削除]を選択します。



メモ

- ・画像は一覧から削除されるだけです。入力元の画像ファイル自体は削除されません。
- ・削除したい画像にマウスポインタを合わせ、右クリックするとメニューが表示されます。そのメニューから[削除]を選択することで、画像を削除することもできます。

画像の選択／非選択

画像を各サービスで使用したり、画像の補正をしたりする場合は、まずはじめに画像一覧で、その対象となる画像を選択します。

選択されていない画像は、処理の対象からはずれません。

■ 画像の選択

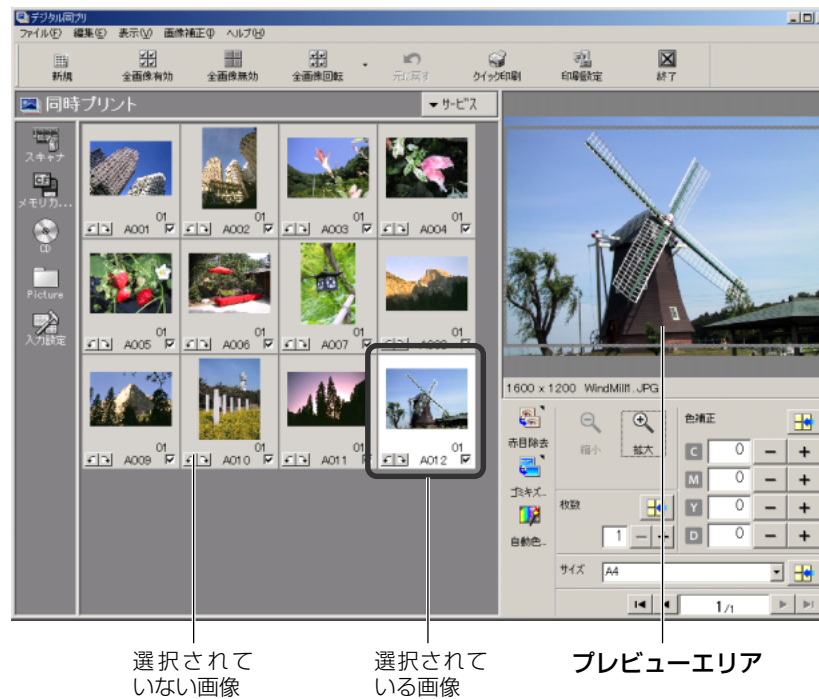
画像を選択するときは、選択したい画像をクリックします。選択されている画像は、白い枠で表示されます。

このとき、プレビューエリアには選択された画像が拡大表示されます。

この操作を繰り返すことで、いくつもの画像を選択することができます。

すでに選択されている画像を、もう一度クリックすると、選択が解除され、非選択の状態になります。

Shiftキーを押しながら画像をクリックすることで、連続した画像をまとめて選択することもできます。このとき、プレビューエリアには選択された画像の一番最初の画像が拡大表示されます。

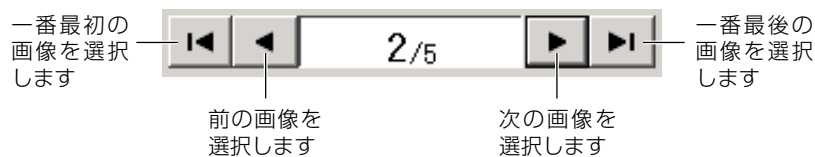


■ 全画像の選択／選択解除

[編集] メニュー（「デザインフレーム」の場合は [入力画像] メニュー）から [すべて選択] を選択することで、全画像を選択することができます。また、[編集] メニュー（「デザインフレーム」の場合は [入力画像] メニュー）から [選択解除] を選択すると、全画像の選択を解除することができます。

■ 選択画像の切り替え

複数の画像を選択している場合には、画面下部に「2/5」のような数字が表示されます。後ろの数字が現在選択されている画像の総数、前の数字が現在補正の対象となっている画像が「総数の何枚目にあたるか」を示しています。この数字の左右のボタンをクリックすることで、補正の対象となる画像を選択することができます。（「デザインフレーム」にこの機能はありません。）



画像の有効／無効

「デジタル同プリ」と「デジタル出力」のサービスを使って、画像を印刷したり、各種メディアへ画像データを出力する場合は、画像一覧で印刷や出力の対象となる画像を選択することができます。（画像の有効設定を行います。）

この機能は、「証明写真」「デザインフレーム（フォトレイアウト、カレンダー）」にはありません。

■ 画像の有効／無効

画像一覧の画像の右下隅の□にチェックマークが付いている画像は、印刷や出力の対象になります（有効）。このとき、選択されている画像（白色の枠で表示されているもの）も、選択されていないもの（灰色の枠で表示されているもの）もすべて対象となります。

チェックマークをクリックしてマークを外すと、印刷や出力の対象から除外されます（無効）。このとき、画像の枠は暗い灰色に変わります。



印刷や出力の対象からはずれている画像

■ 全画像の有効／無効

[編集]メニューから[全画像有効]を選択（またはツールバーの[全画像有効]ボタンをクリック）すると、すべての画像が印刷と出力の対象となります。

[編集]メニューから[全画像無効]を選択（またはツールバーの[全画像無効]ボタンをクリック）すると、すべての画像が印刷と出力の対象から外れます。

■ 選択した画像のみを有効にする

[編集]メニューから[選択画像のみ有効]を選択すると、現在選択されている画像が有効となり、非選択の画像はすべて無効になります。



メモ

- ・無効になっている画像をダブルクリックすることで、画像を有効にすることができます。

順序と番号の変更


画像一覧に表示されている画像の順序や、画像の番号を変更する方法を説明します。

■ 画像番号と順序

画像の下の部分には、画像番号が表示されます。

通常、この番号は自動でつけられ、画像入力のたびに「A001」「A002」・・・、「B001」「B002」・・・、「C001」「C002」・・・とグループを示す先頭の英文字が変わります。この番号を変えたり、画像の並ぶ順番を変更することができます。

■ 順序の変更

移動したい画像にマウスポインタを合わせマウスの左ボタンを押し続けると、マウスポインタの形状がに変わります。そのまま移動先となる場所までマウスポインタを動かして指を離すと画像が移動します。このとき、マウスポインタの位置が、移動先画像の左半分の場合はその画像の前に、右半分の場合はその画像の後に画像が移動します。



■ 全画像の逆順

[編集] メニュー（「デザインフレーム」の場合は [入力画像] メニュー）の [全画像回転] サブメニューから [逆順] を選択すると、一覧の画像すべてが逆の順番に並び変わります。

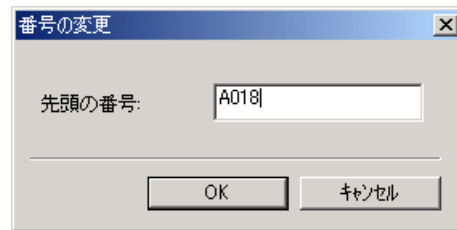
（またはツールバーの [全画像回転] ボタンの右の [▼] をクリックして [逆順] を選択します。）

■ 選択した画像の逆順

複数の画像を選択した後、[編集] メニュー（「デザインフレーム」の場合は [入力画像] メニュー）の [逆順] を選択すると、選択した画像が逆の順番に並び変わります。

■ 番号の変更

番号を変更したい画像（複数可）を選択した後、[編集] メニュー（「デザインフレーム」の場合は [入力画像] メニュー）から [番号の変更] を選択すると、次のような画面が表示されます。



新しい番号を入力し、[OK] ボタンをクリックすると、番号が変わります。複数の画像が選択されている場合は、先頭の番号を入力すると、それに続く番号が自動的につけられます。



メモ



- ・すでに存在する番号を入力することはできません。
- ・入力できるのは英文字1文字 + (数字4桁)、または数字 (5桁まで) です。ハイフンなどは入力できません。
- ・画像を「Z」ではじまる番号に変更すると、それ以後の画像入力はできなくなります。この場合は、「Z」を別の英文字に変更してから画像入力をやり直してください。または、[ファイル] メニューの [同じグループに追加] にチェックマークをつけてから、画像入力をやり直してください。

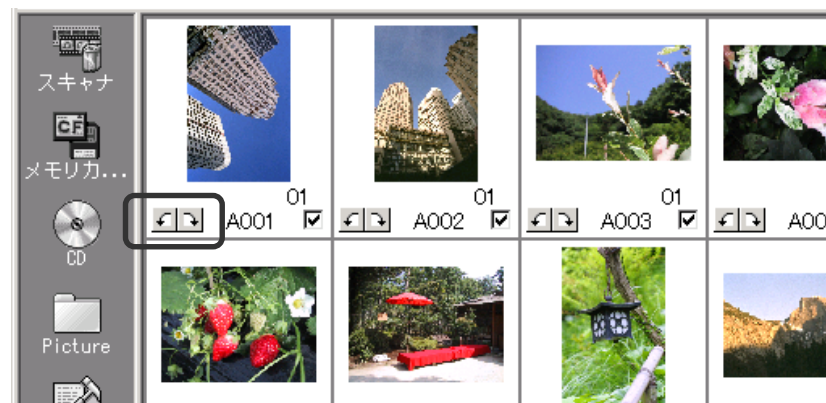
画像の回転、反転

画像一覧に表示されている画像の向きを回転したり、反転したりします。

■ 1 画像の回転

画像の左下にある回転ボタンをクリックすると、画像が回転します。

-  [左 90 度] : 画像を、反時計回りに 90 度回転します。
-  [右 90 度] : 画像を、時計回りに 90 度回転します。



■ 全画像の回転と反転

[編集] メニュー（「デザインフレーム」の場合は [入力画像] メニュー）の [全画像回転] サブメニューから、以下の項目を選択すると、画像がすべて回転あるいは反転します。

（またはツールバーの [全画像回転] ボタンの右の [▼] をクリックして以下の項目を選択します。）

[左 90 度] :	全画像を、反時計回りに 90 度回転します。
[180 度] :	全画像を、180 度回転します。
[右 90 度] :	全画像を、時計回りに 90 度回転します。
[左右反転] :	全画像を、左右に反転します。
[上下反転] :	全画像を、上下に反転します。



メモ

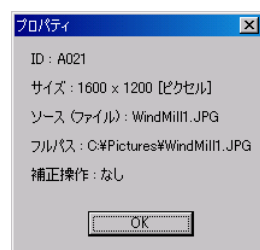
- ・ ツールバーの [全画像回転] ボタン（[▼] ではない部分）をクリックすると、全画像が時計回りに 90 度回転します。
- ・ ここで説明した全画像回転、反転は、画像の選択／非選択に関係なくすべての画像に対して実行されます。
- ・ 選択している画像だけを回転、反転することもできます。この操作については、「第4章 サービス共通の操作3 - 画像補正」（→ P. 4-1）で説明します。

画像のプロパティの表示

画像の情報を確認することができます。

画像を1つだけ選択した状態で、[編集] メニュー（「デザインフレーム」の場合は [入力画像] メニュー）から [プロパティ] を選択します。

すると、次のような画面が表示されます。



この画面では、選択した画像の番号、縦横のピクセル数、元のファイル名、そのファイルの場所、補正操作の有無が表示されます。



メモ

- ・ 画像にマウスポインタを合わせ、右クリックするとメニューが表示されます。そのメニューから [プロパティ] を選択することで、プロパティを表示させることもできます。
- ・ 複数の画像を選択している場合、プロパティの表示はできません。

第4章

サービス共通の操作3 – 画像補正

この章では、各サービスで共通する操作のうちの、画像補正について説明します。

画像補正について

各サービスの画面に画像を入力すると、画像一覧にサムネイル画像が表示されます。この中から、任意の画像を選択し、画像補正を行うことができます。たとえば、画像を正しい向きに直したい、画像をもう少し明るくしたい、画像上のゴミやキズをとりたい、カラー画像を白黒やセピアに変えたいときなどにこの機能を使います。

3種類の画像補正

画像補正は、「画面内での色補正」「ツールバーの機能を使った画像補正」「[画像補正]メニューの機能を使った画像補正」の3種類の方法で行えます。

■ 画面内での色補正

プレビューエリアの下にある「補正指定エリア」のボタンを使って、画像の色補正をします。この操作については、「画面内での色補正」(→ P. 4-5)で説明します。(「デザインフレーム」(フォトレイアウト、カレンダー)に、この機能はありません。)

■ 画像補正ツールバーを使った画像補正

プレビューエリアの下(「デザインフレーム」の場合はレイアウトエリアの右側)にある「画像補正ツールバー」のボタンを使って、画像を補正します。この操作については、「画像補正ツールバーの機能」(→ P. 4-6)で説明します。

■ [画像補正]メニューの機能を使った画像補正

[画像補正]メニューの中の機能を使って、画像を補正します。この操作については、「[画像補正]メニューの機能」(→ P. 4-7～4-30)で説明します。

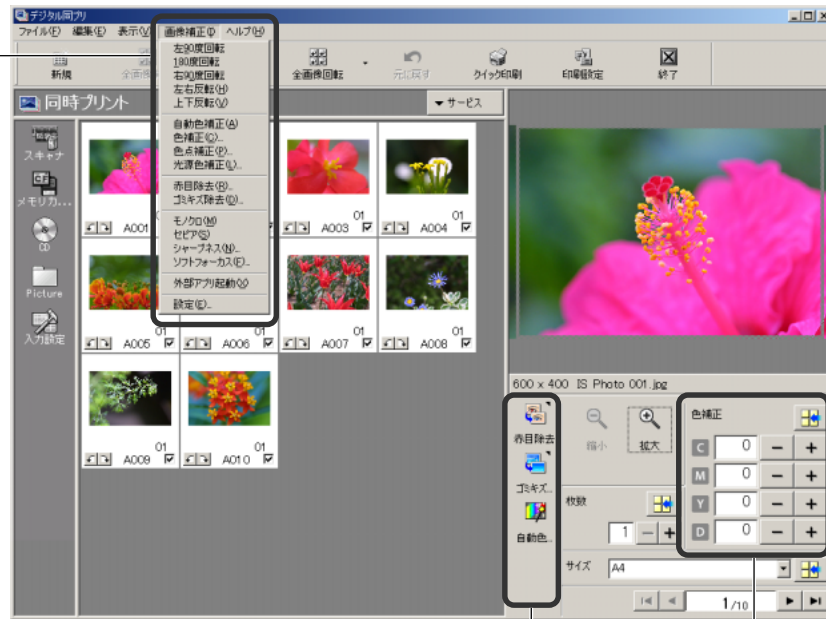


メモ

- ・「デザインフレーム」では、[画像補正]メニューのかわりに、[入力画像]メニューの[補正]サブメニュー(入力した画像に対する画像補正の場合)、または[画像]メニュー(レイアウトエリアの画像に対する場合)を使います。
- ・サービスによって、使える画像補正の種類は多少異なります。

デジタル同プリの例

[画像補正] メニュー
メニューから各機能
を選択します



画像補正ツールバー

補正指定エリア

画像の選択

画像を補正するときは、はじめに補正したい画像を選択します。



メモ

- ・画像一覧での画像選択、画像の切り替えの操作については、「画像の選択／非選択」(→ P. 3-18)で説明しています。

画像一覧での選択

画像一覧の中で、画像をクリックすると、クリックした画像が選択されます。選択された画像は、プレビューエリアに拡大表示されます。ここに表示された画像を見ながら、補正を行います。



この画像を見ながら
補正します

画像の切り替え

複数の画像を選択している場合には、画面下隅に「2/5」のような数字が表示されます。後ろの数字が現在選択されている画像の総数、前の数字が現在補正の対象となっている画像が「総数の何枚目にあたるか」を示しています。この数字の左右のボタンをクリックすることで、補正の対象となる画像を切り替えることができます。



このボタンで画像を
切り替えます

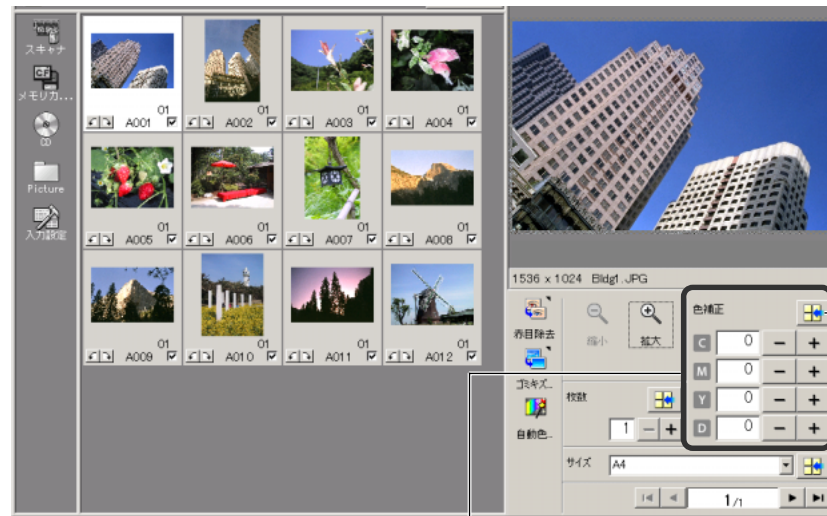
画面内での色補正

補正指定エリアにあるボタンを使って、画像の色補正を行います。

ただし、「デザインフレーム」(フォトレイアウト、カレンダー)には、この機能はありません。

選択されている画像は、プレビューエリアに表示されます。この画像を見ながら色の補正を行います。プレビューエリアで行った補正の結果は、画像一覧の画像にも反映されます。

デジタル同プリの例



- **CMYD** 補正指定エリア 【色補正を全画像に適用】ボタン
- C (シアン) シアンの濃さを調整します。[-] [+]のボタンで数値を増減します。また、数値を直接入力することもできます。
- M (マゼンタ) マゼンタの濃さを調整します。[-] [+]のボタンで数値を増減します。また、数値を直接入力することもできます。
- Y (イエロー) イエローの濃さを調整します。[-] [+]のボタンで数値を増減します。また、数値を直接入力することもできます。
- D (濃度) 濃度を調整します。[-] [+]のボタンで数値を増減します。また、数値を直接入力することもできます。

■ 【色補正を全画像に適用】ボタン

このボタンは、「デジタル同プリ」と「デジタル出力」のときのみ表示されます。複数の画像を選択している場合、補正指定エリアにあるCMYDのボタンを使って補正を行うと、プレビューエリアに表示されている画像に対してのみ画像補正が行われます。他の画像にも同様の補正を反映したい場合は、【色補正を全画像に適用】ボタンをクリックします。



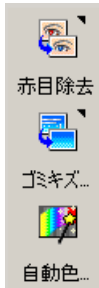
メモ

- ・CMYDの数値は、-100～+100の範囲で指定します。
- ・[-] [+]のボタンを一回クリックしたときに増減する数値は、変更することができます。設定の変更については、「色補正」(→ P. 4-29)で説明します。

画像補正ツールバーの機能

画像補正ツールバーには、メニューの中から比較的良好によく使う機能が集められています。このツールバーのボタンをクリックするだけで、メニューの機能と同じ操作が簡単にできます。

初期状態では、画像補正ツールバーには、次の3つのボタンが表示されています。



■ 赤目除去

人物や動物が赤目状態で写ってしまった画像を補正するための画面が表示されます。メニューの「赤目除去」と同じ機能です。(→ P. 4-15)

■ ゴミキズ除去

画像上のゴミや傷を除去するための画面が表示されます。メニューの「ゴミキズ除去」と同じ機能です。(→ P. 4-18)

■ 自動色補正

選択されている画像の色合いを自動的に補正します。メニューの「自動色補正」と同じ機能です。(→ P. 4-9)



メモ

- ・「デザインフレーム」の画像補正ツールバーには、さらに多くのボタンが表示されます。
- ・複数の画像が選択されているときに画像補正ツールバーを使って補正を行った場合は、プレビューエリアに表示されている画像に対してのみ画像補正が行われます。選択されているすべての画像に一括して画像補正を行う場合は、「画像補正」メニューの機能を使ってください。
- ・画像補正ツールバーに表示される項目は、使いやすいように変更することができます。この操作については、「ツールバーのカスタマイズ」(→ P. 2-9)で説明します。

[画像補正] メニューの機能

ここから、[画像補正] メニューの機能を順番に説明していきます。



メモ

- ・「デザインフレーム」では、[画像補正] メニューのかわりに、[入力画像] メニューの[補正]サブメニュー（入力した画像に対する画像補正の場合）、または[画像]メニュー（レイアウトエリアの画像に対する場合）を使います。


左90度回転、180度回転、右90度回転

選択した画像を回転します。

- | | |
|----------|-----------------------------|
| [左90度回転] | 選択されている全画像を、反時計回りに90度回転します。 |
| [180度回転] | 選択されている全画像を、180度回転します。 |
| [右90度回転] | 選択されている全画像を、時計回りに90度回転します。 |



メモ

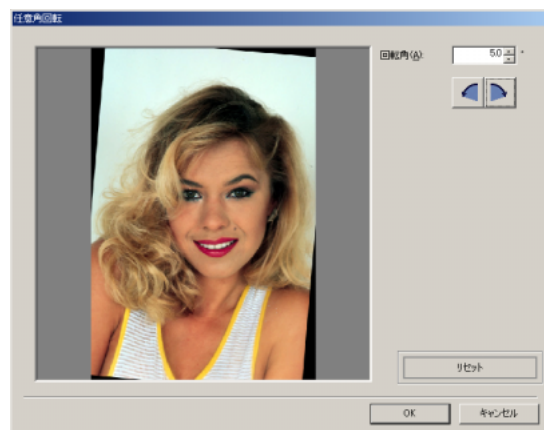
- ・画像一覧の画像左下隅のボタンを使って、画像を左90度または右90度回転することもできます。

任意角回転

選択した画像を0～90度の範囲で、0.1度単位で回転します。

この機能は、「証明写真」でのみ使用できます。

[画像補正]メニューから[任意角回転]を選択すると、傾きを調整する画面が表示されます。



お願い



- ・複数の画像を選択している場合には、この機能は使えません。画像を1つだけ選択してください。



メモ

- ・色補正、色点補正、光源色補正、シャープネス、ソフトフォーカスの処理を行った後に任意角回転を選択した場合、上記画面には補正の結果が反映されません。たとえば、色補正の処理を行った後、任意角回転を選択しても、上記画面では色補正前の色で表示されます。(上記画面に反映されないだけで、実際には色補正の処理は行われています。)
- ・任意角回転を行うと、それ以前の画像補正操作の履歴は失われます。任意角回転を実行した後、[元に戻す]を選択すると、入力した直後の画像に戻ります。

■ 回転角

- ・ ボタンをクリックすることで、0.1度単位で画像の傾きを調整します。
- ・また、「回転角」の右側の欄に回転角度を入力し、 ボタンをクリックすることで、直接、指定角度の回転を行うことができます。

■ [リセット] ボタン

- ・[リセット] ボタンをクリックすることで、補正前の状態に戻すことができます。

左右反転、上下反転

画像を左右や上下に反転します。

- | | |
|--------|-----------------------|
| [左右反転] | 選択されている全画像を、左右に反転します。 |
| [上下反転] | 選択されている全画像を、上下に反転します。 |

自動色補正

選択されている画像の色合いを自動的に補正します。

[画像補正] メニューから [自動色補正] を選択すると、直ちに選択した画像の色合いが自動補正されます。



[自動色補正] を選択すると、選択されている画像すべてがすぐに自動補正されます



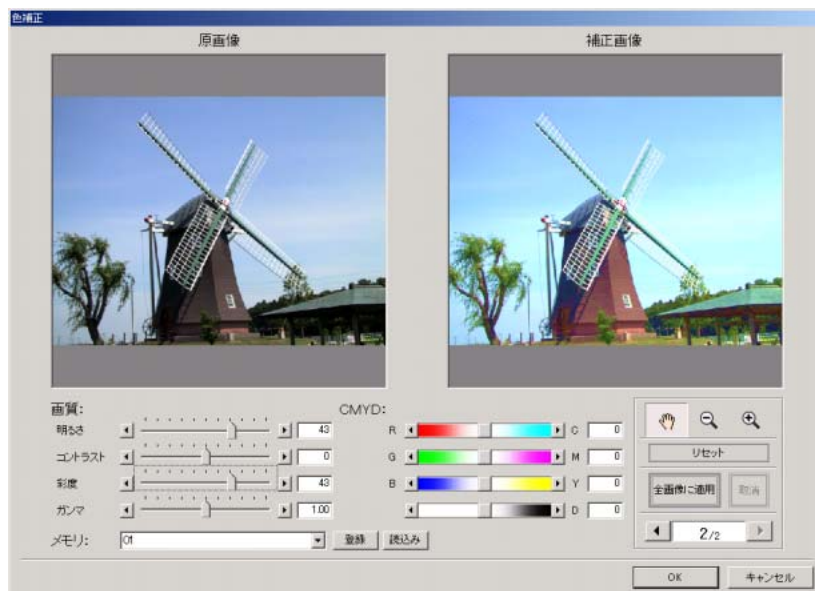
メモ

- ・ [画像補正] メニューから [自動色補正] を選択した場合は、選択した画像すべてが一括して自動補正されます。プレビューエリアの下にある画像補正ツールバーで [自動色補正] ボタンをクリックした場合は、プレビューエリアに表示されている画像だけが自動補正されます。
- ・ Exif 2.2のファイルの場合は自動的に判別され、Exif 2.2の自動色補正が行われます。ただし、すでに他の色補正が行われている場合は通常の自動色補正が行われます。

色補正

[画像補正] メニューから [色補正] を選択すると、選択されている画像の色合いを調整する画面が表示されます。

画面の左側には補正前の画像が、右側には補正後の画像が表示されます。



画質

- ・「明るさ」、「コントラスト」、「彩度」では、画像の明度（明るさ）、コントラスト、色のあざやかさを設定します。

それぞれつまみを左右に移動するか、左右の をクリックして、-100～100の間で数値を調整します。数値を直接入力して設定することもできます。

- ・「ガンマ」では、画像の中間調の部分の明るさ（ガンマカーブ）を設定します。「ガンマ」のつまみを左右に移動するか、左右の をクリックして、0.10～10.00の間で数値を調整します。数値を直接入力して設定することもできます。

CMYD

- ・「R-C」、「G-M」、「B-Y」では、画像のシアンの濃さ、マゼンタの濃さ、イエローの濃さを調整します。

それぞれつまみを左右に移動するか、左右の をクリックして、-100～100の間で数値を調整します。数値を直接入力して設定することもできます。

- ・「D」では、画像の濃度を調整します。

「D」のつまみを左右に移動するか、左右の をクリックして、-50～50の間で数値を調整します。数値を直接入力して設定することもできます。

メモリ

- ・[登録] [読み込み] のボタンを使って、色補正の設定を登録（保存）したり（最大10個）、読み込んだりすることができます。

(移動) ボタン

- ・ (移動) ボタンをクリックし、画像内をドラッグすると、表示範囲が移動します。（ただし、画像全体が表示されているときは移動できません。）

■ (縮小) (拡大) ボタン

- ・ (拡大) ボタンをクリックし、画像内をクリックすると、表示が拡大されます。また、画像内でドラッグすると、ドラッグした範囲が拡大表示されます。
- ・ (縮小) ボタンをクリックし、画像内をクリックすると、表示が縮小されます。

■ [リセット] ボタン

- ・ [リセット] ボタンをクリックすることで、補正前の状態に戻すことができます。

■ [全画像に適用] ボタン

- ・ 複数の画像を選択している場合、任意の1枚の画像で画像補正を行った後、[全画像に適用] ボタンをクリックすると、選択されている全部の画像に対して同一の画像補正が適用されます。

■ [取消] ボタン

- ・ [全画像に適用] ボタンで適用した補正を取り消します。

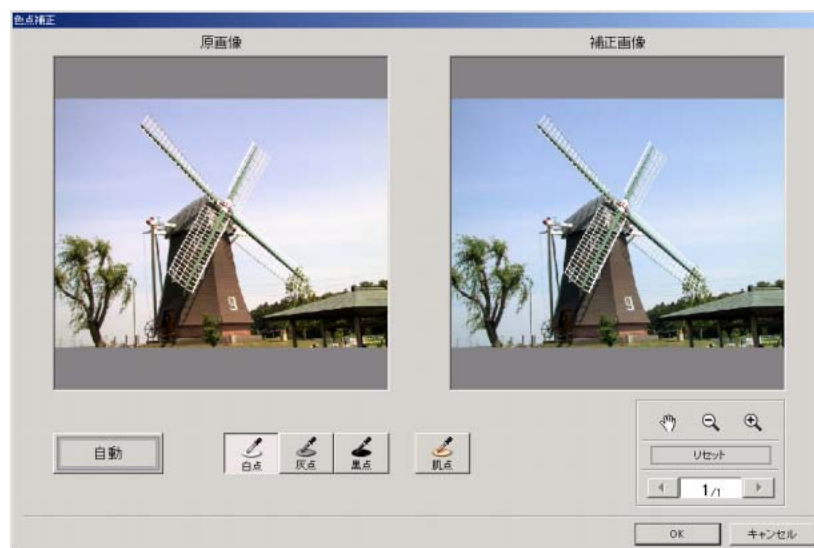


メモ

- ・ 複数の画像を選択している場合には、画面右下隅に「2/5」のような数字が表示されます。後ろの数字が現在選択されている画像の総数、前の数字が現在補正の対象となっている画像が「総数の何枚目にあたるか」を示しています。この数字の左右のボタンをクリックすることで、補正の対象となる画像を選択することができます。

色点補正

[画像補正] メニューから [色点補正] を選択すると、選択されている画像の色合いを補正する画面が表示されます。画面の左側には補正前の画像が、右側には補正後の画像が表示されます。




■ [自動] ボタン

- ・ [自動] ボタンをクリックすると、全自動で補正を実行します。メニューの [自動色補正] (→ P.4-9) と同じ機能です。
- ・ [自動] ボタンで思ったような色にならない場合は、[白点] [灰点] [黒点] [肌点] のボタンを使って、半自動で色補正を行ってください。



■ [白点] [灰点] [黒点] [肌点] ボタン

- ・ 各ボタンをクリックした後、左側の画像内で、クリックしたボタンの色の部分をクリックします。たとえば [白点] ボタンをクリックした場合は、画像内で「ここが純白であるべき」場所をクリックします。

■ (移動) ボタン

- ・  (移動) ボタンをクリックし、画像内をドラッグすると、表示範囲が移動します。(ただし、画像全体が表示されているときは移動できません。)

■ (縮小) (拡大) ボタン

- ・  (拡大) ボタンをクリックし、画像内をクリックすると、表示が拡大されます。また、画像内でドラッグすると、ドラッグした範囲が拡大表示されます。
- ・  (縮小) ボタンをクリックし、画像内をクリックすると、表示が縮小されます。

■ [リセット] ボタン

- ・ [リセット] ボタンをクリックすることで、補正前の状態に戻すことができます。



メモ

- ・ Exif 2.2のファイルの場合は自動的に判別され、Exif 2.2の自動色補正が行われます。ただし、すでに他の色補正が行われている場合は通常の自動色補正が行われます。
- ・ 複数の画像を選択している場合には、画面右下隅に「2/5」のような数字が表示されます。後ろの数字が現在選択されている画像の総数、前の数字が現在補正の対象となっている画像が「総数の何枚目にあたるか」を示しています。この数字の左右のボタンをクリックすることで、補正の対象となる画像を選択することができます。

光源色補正

[画像補正] メニューから [光源色補正] を選択すると、撮影時の光源による色かぶりの補正を行う画面が表示されます。

画面の左側には補正前の画像が、右側には補正後の画像と補正量が表示されます。




■ 光源指定

- ・「光源指定」のプルダウンメニューから [晴天] [雲天] [蛍光灯1] [蛍光灯2] などの光源の種類を選択し、[読み込み] ボタンをクリックします。
- ・[登録] [読み込み] のボタンを使って、光源色補正の設定を登録（保存）したり（最大10個）、読み込んだりすることができます。



■ [灰色領域] ボタン

- ・[灰色領域] ボタンをクリックした後、画像内で「ここが灰色であるべき」範囲をドラッグすると、その範囲の各ドット（画素）の色の平均値が「灰色」となるように色を調整します。

■ (移動) ボタン

- ・ (移動) ボタンをクリックし、画像内をドラッグすると、表示範囲が移動します。（ただし、画像全体が表示されているときは移動できません。）

■ (縮小) (拡大) ボタン

- ・ (拡大) ボタンをクリックし、画像内をクリックすると、表示が拡大されます。また、画像内でドラッグすると、ドラッグした範囲が拡大表示されます。
- ・ (縮小) ボタンをクリックし、画像内をクリックすると、表示が縮小されます。

■ [リセット] ボタン

- ・[リセット] ボタンをクリックすることで、補正前の状態に戻すことができます。

■ [全画像に適用] ボタン

- ・複数の画像を選択している場合、任意の1枚の画像で画像補正を行った後、[全画像に適用] ボタンをクリックすると、選択されている全部の画像に対して同一の画像補正が適用されます。

■ [取消] ボタン

- ・[全画像に適用] ボタンで適用した補正を取り消します。



お願い

- ・灰色領域を囲むときは、なるべく広い範囲を囲んでください。



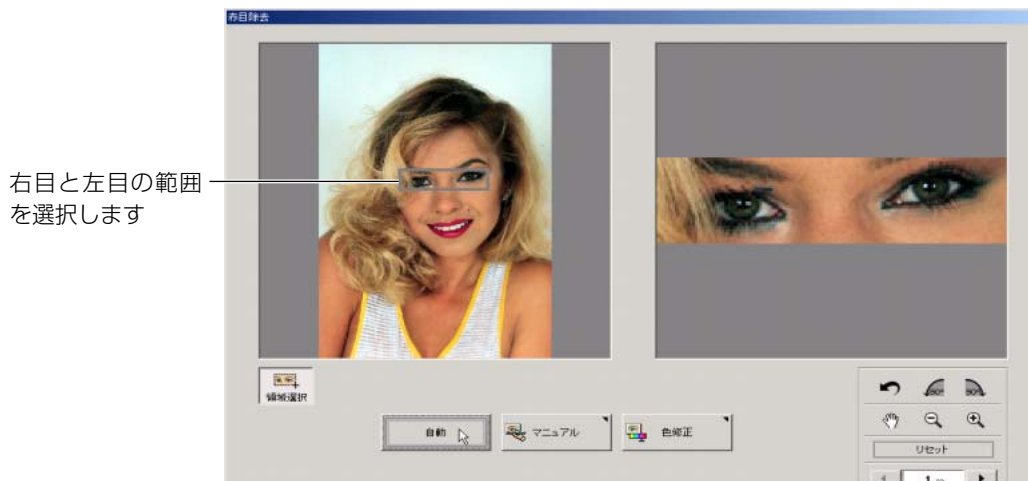
メモ

- ・複数の画像を選択している場合には、画面右下隅に「2/5」のような数字が表示されます。後ろの数字が現在選択されている画像の総数、前の数字が現在補正の対象となっている画像が「総数の何枚目にあたるか」を示しています。この数字の左右のボタンをクリックすることで、補正の対象となる画像を選択することができます。
- ・補正画像の下の「補正量」には、「光源指定」で値が登録されている [晴天] などの名称が表示されます。値が登録されていない場合は、XYZの値が表示されます。同じ値で複数の登録がある場合は、「光源指定」のプルダウンメニューのより上にあるものが優先的に表示されます。

赤目除去

[画像補正] メニューから [赤目除去] を選択すると、人物や動物が赤目状態で写ってしまった画像を補正する画面が表示されます。

画面の左側には補正前の画像が、右側には補正後の画像が表示されます。



メモ

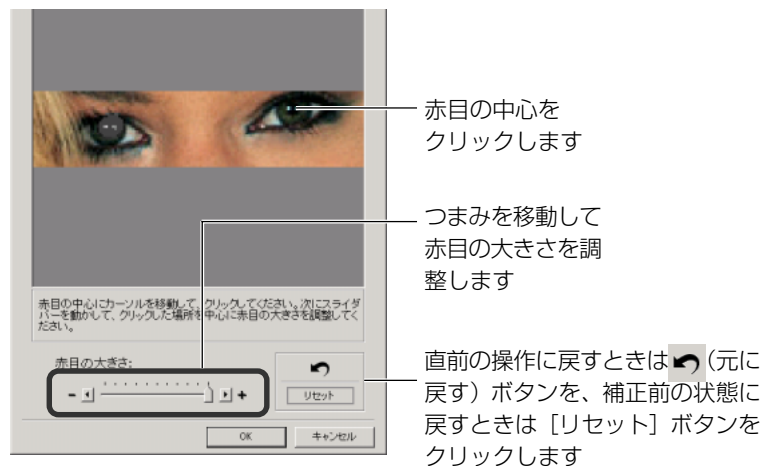
- ・色補正、色点補正、光源色補正、モノクロ、セピア、シャープネス、ソフトフォーカスの処理を行った後に赤目除去を選択した場合、上記画面には補正の結果が反映されません。たとえば、セピアの処理を行った後、赤目除去を選択しても、上記画面ではカラーで表示されます。(上記画面に反映されないだけで、実際にはセピアの処理は行われています。)

■ [領域選択] [自動] ボタン

- ・[領域選択] ボタンをクリックした後、画像内で両目の範囲をドラッグし、[自動] ボタンをクリックすると赤目除去が実行されます。
- ・頭が上になるように回転してから赤目除去を行なってください。
- ・[自動] ボタンで思ったように赤目除去が行われなかった場合は、[マニュアル] ボタンを使って画像を補正してください。

■ [マニュアル] ボタン

- ・[マニュアル] ボタンをクリックして、目の位置や赤目の大きさを指定します。



■ [色修正] ボタン

- ・ [自動] ボタンや [マニュアル] ボタンで赤目除去を行った後、[色修正] ボタンをクリックして瞳の色を調整することができます。画面の左側には補正前の画像が、右側には補正後の画像が表示されます。



■ (元に戻す) ボタン

- ・ 直前の操作を取り消したいときに、クリックします。

■ (左90度回転) (右90度回転) ボタン

- ・ 赤目除去は、頭が上（あごが下）の状態を基準として実行されます。したがって、横に頭を出した状態の画像だとうまく赤目除去が実行されない場合があります。このような場合には、(左90度回転) ボタンと (右90度回転) ボタンを使って、画像を回転し、赤目除去を実行してください。なお、この回転は一時的なもので元の画像には影響しません。

■ (移動) ボタン

- ・ (移動) ボタンをクリックし、画像内をドラッグすると、表示範囲が移動します。（ただし、画像全体が表示されているときは移動できません。）

■ (縮小) (拡大) ボタン

- ・ (拡大) ボタンをクリックし、画像内をクリックすると、表示が拡大されます。また、画像内でドラッグすると、ドラッグした範囲が拡大表示されます。
- ・ (縮小) ボタンをクリックし、画像内をクリックすると、表示が縮小されます。

■ [リセット] ボタン

- ・ [リセット] ボタンをクリックすることで、補正前の状態に戻すことができます。



メモ

- ・複数の画像を選択している場合には、画面右下隅に「2/5」のような数字が表示されます。後ろの数字が現在選択されている画像の総数、前の数字が現在補正の対象となっている画像が「総数の何枚目にあたるか」を示しています。この数字の左右のボタンをクリックすることで、補正の対象となる画像を選択することができます。

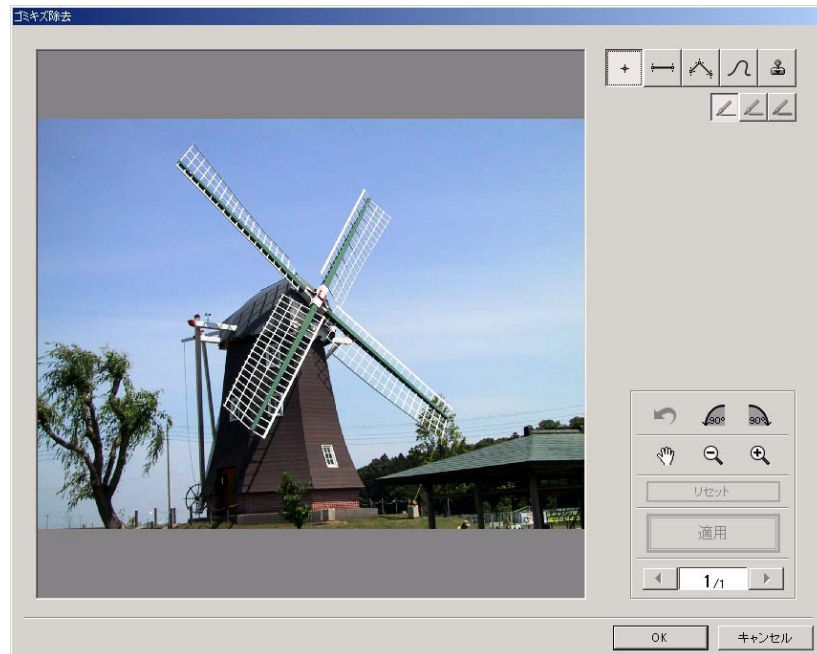


お願い

- ・次のような画像の場合、自動処理では赤目領域が正しく認識されないことがあります。正しく処理できなかった場合には、[マニュアル] ボタンを使って赤目を除去してください。
 - 茶色っぽい赤目など、彩度や明度が低い場合。
 - 瞳孔がしまっているときなど、非常に小さな赤目が生じた場合。
 - 肌の色が全体的に赤っぽく鮮やかになっている場合。
 - 白く光ってしまった赤目の場合。
 - 被写体が斜め方向を向いている場合。
 - 髪の毛が目の横まで垂れ下がって、肌の一部が隠れている場合。
 - 瞳孔が開きやすい子供などを遠くから撮影したときのように、光学的な条件によって赤目の部分が大きくなり、本来の目の領域をはみ出してしまった場合。
 - 一つの赤目領域の中に上下左右、中心、周辺などで、彩度や色相が異なり、内部色の分散が大きくなった場合。
 - 低解像度の画面が入力された場合（3×3画素以上のサイズの赤目でないと正しく検出できません）。

ゴミキズ除去


[画像補正] メニューから [ゴミキズ除去] を選択すると、画像上のゴミや傷を除去するための画面が表示されます。




メモ

- 色補正、色点補正、光源色補正、モノクロ、セピア、シャープネス、ソフトフォーカスの処理を行った後にゴミキズ除去を選択した場合、上記画面には補正の結果が反映されません。たとえば、セピアの処理を行った後、ゴミキズ除去を選択しても、上記画面ではカラーで表示されます。(上記画面に反映されないだけで、実際にはセピアの処理は行われています。)





(点) ボタン

- ゴミや傷が点状のときは、 (点) ボタンをクリックした後、画像内でゴミや傷の部分をクリックします。このとき画面内には [+] が表示されます。続いて [適用] ボタンをクリックすると、ゴミや傷が除去されます。





(直線)

- 垂直線または水平線のときは、 (直線) ボタンをクリックします。画像内でゴミや傷の始点をクリックし、マウスの左ボタンを押したままドラッグして、終点の位置でボタンから指を離します。続いて [適用] ボタンをクリックすると、ゴミや傷が除去されます。






(折れ線) ボタン

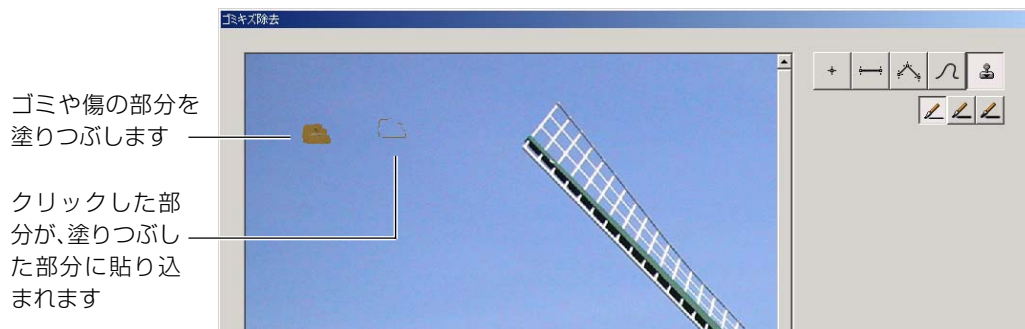
- 折れ線状のときは、 (折れ線) ボタンをクリックします。画像内でゴミや傷の始点をクリックし、続けてゴミや傷に重なるような位置でクリックを繰り返します。終点の位置ではダブルクリックします。続いて [適用] ボタンをクリックすると、ゴミや傷が除去されます。ペンの太さは3種類の中 (   細、中、太) から選択することができます。

■ (ペイント) ボタン

- ・ゴミや傷が、曲線状あるいは範囲状のときは、 (ペイント) ボタンをクリックした後、画像内でゴミや傷の部分を塗りつぶすようにドラッグします。続いて [適用] ボタンをクリックすると、ゴミや傷が除去されます。ペンの太さは3種類の中 (   細、中、太) から選択することができます。

■ (コピースタンプ) ボタン



- ・ (コピースタンプ) ボタンは、特定の領域に、別の領域の画像をコピーします。 ボタンをクリックした後、画像内でゴミや傷の部分を塗りつぶすようにドラッグします。次に指定した領域に貼り込む画像の部分をクリックします。続いて [適用] ボタンをクリックすると、ゴミや傷が除去されます。ペンの太さは3種類の中 (   細、中、太) から選択することができます。




■ (元に戻す) ボタン

- ・直前の操作を取り消したいときに、クリックします。



■ (左90度回転) (右90度回転) ボタン

- ・ (左90度回転) ボタンをクリックすると、画像を反時計回りに90度回転します。
- ・ (右90度回転) ボタンをクリックすると、画像を時計回りに90度回転します。

■ (移動) ボタン

- ・ (移動) ボタンをクリックし、画像内をドラッグすると、表示範囲が移動します。(ただし、画像全体が表示されているときは移動できません。)

■ (縮小) (拡大) ボタン

- ・ (拡大) ボタンをクリックし、画像内をクリックすると、表示が拡大されます。また、画像内でドラッグすると、ドラッグした範囲が拡大表示されます。
- ・ (縮小) ボタンをクリックし、画像内をクリックすると、表示が縮小されます。

■ [リセット] ボタン

- ・[リセット] ボタンをクリックすることで、補正前の状態に戻すことができます。

■ [適用] ボタン

- ・指定した箇所のごみや傷が除去されます。



メモ

- ・複数の画像を選択している場合には、画面右下隅に「2/5」のような数字が表示されます。後ろの数字が現在選択されている画像の総数、前の数字が現在補正の対象となっている画像が「総数の何枚目にあたるか」を示しています。この数字の左右のボタンをクリックすることで、補正の対象となる画像を選択することができます。



お願い

- ・ゴミキズ除去を使っても思ったような除去が行われない場合は、画像処理アプリケーションソフトを使って、ゴミや傷を除去してください。

モノクロ

[画像補正] メニューから [モノクロ] を選択すると、選択されている画像すべてがモノクロの画像に変わります。

この機能は、「証明写真」では使用できません。



選択されている画像すべて
がモノクロに変わります

セピア

[画像補正] メニューから [セピア] を選択すると、選択されている画像すべてがセピアの画像に変わります。

この機能は、「証明写真」では使用できません。



選択されている画像すべて
がセピアに変わります



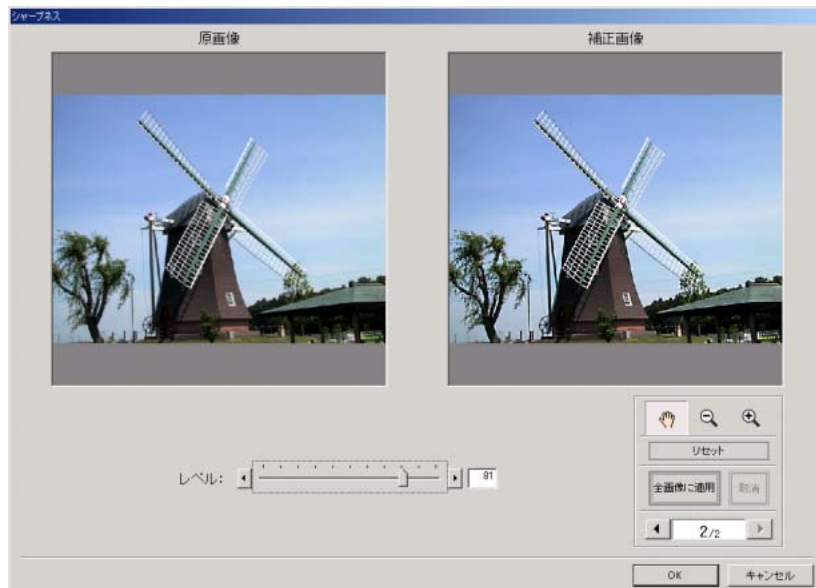
メモ

- ・セピアの色味は変更することができます。この操作については、「セピア」(→ P. 4-30) で説明します。

シャープネス

[画像補正] メニューから [シャープネス] を選択すると、画像の輪郭をはっきりさせる機能の画面が表示されます。


画面の左側には補正前の画像が、右側には補正後の画像が表示されます。「レベル」の数値を調整して適度に輪郭をはっきりさせます。





■ レベル

- ・「レベル」のつまみを左右に移動するか、左右の ◀ ▶ をクリックして、0～100の間で数値を調整します。右方向へ移動すると（数値が大きくなると）、輪郭がよりはっきりとします。数値を直接入力して設定することもできます。

■ (移動) ボタン

- ・ (移動) ボタンをクリックし、画像内をドラッグすると、表示範囲が移動します。（ただし、画像全体が表示されているときは移動できません）

■ (縮小) (拡大) ボタン

- ・ (拡大) ボタンをクリックし、画像内をクリックすると、表示が拡大されます。また、画像内でドラッグすると、ドラッグした範囲が拡大表示されます。
- ・ (縮小) ボタンをクリックし、画像内をクリックすると、表示が縮小されます。

■ [リセット] ボタン

- ・[リセット] ボタンをクリックすることで、補正前の状態に戻すことができます。

■ [全画像に適用] ボタン

- ・複数の画像を選択している場合、任意の1枚の画像で画像補正を行った後、[全画像に適用] ボタンをクリックすると、選択されている全部の画像に対して同一の画像補正が適用されます。

■ [取消] ボタン

- ・[全画像に適用] ボタンで適用した補正を取り消します。



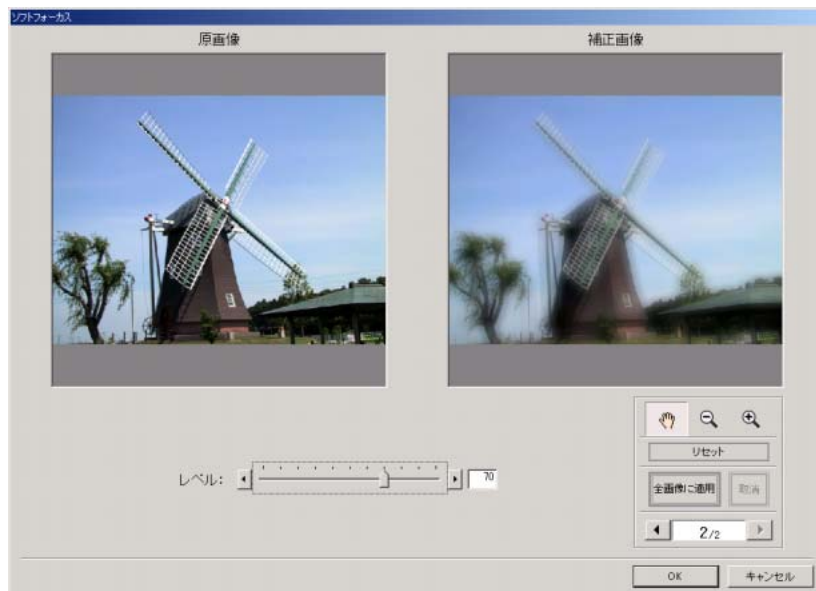
メモ

- ・複数の画像を選択している場合には、画面右下隅に「2/5」のような数字が表示されます。後ろの数字が現在選択されている画像の総数、前の数字が現在補正の対象となっている画像が「総数の何枚目にあたるか」を示しています。この数字の左右のボタンをクリックすることで、補正の対象となる画像を選択することができます。

ソフトフォーカス

[画像補正] メニューから [ソフトフォーカス] を選択すると、ソフトフォーカスの機能の画面が表示されます。


画面の左側には補正前の画像が、右側には補正後の画像が表示されます。「レベル」の数値でソフトフォーカスの強さを調整します。





■ レベル

- ・「レベル」のつまみを左右に移動するか、左右の ◀ ▶ をクリックして、0～100の間で数値を調整します。右方向へ移動すると（数値が大きくなると）、よりぼけた印象の画像になります。数値を直接入力して設定することもできます。

■ (移動) ボタン

- ・ (移動) ボタンをクリックし、画像内をドラッグすると、表示範囲が移動します。（ただし、画像全体が表示されているときは移動できません。）

■ (縮小) (拡大) ボタン

- ・ (拡大) ボタンをクリックし、画像内をクリックすると、表示が拡大されます。また、画像内でドラッグすると、ドラッグした範囲が拡大表示されます。
- ・ (縮小) ボタンをクリックし、画像内をクリックすると、表示が縮小されます。

■ [リセット] ボタン

- ・[リセット] ボタンをクリックすることで、補正前の状態に戻すことができます。

■ [全画像に適用] ボタン

- ・複数の画像を選択している場合、任意の1枚の画像で画像補正を行った後、[全画像に適用] ボタンをクリックすると、選択されている全部の画像に対して同一の画像補正が適用されます。

■ [取消] ボタン

- ・[全画像に適用] ボタンで適用した補正を取り消します。



メモ

- ・複数の画像を選択している場合には、画面右下隅に「2/5」のような数字が表示されます。後ろの数字が現在選択されている画像の総数、前の数字が現在補正の対象となっている画像が「総数の何枚目にあたるか」を示しています。この数字の左右のボタンをクリックすることで、補正の対象となる画像を選択することができます。

切抜き

メニューから[切抜き]を選択すると、画像の一部分だけを切り抜く機能の画面が表示されます。

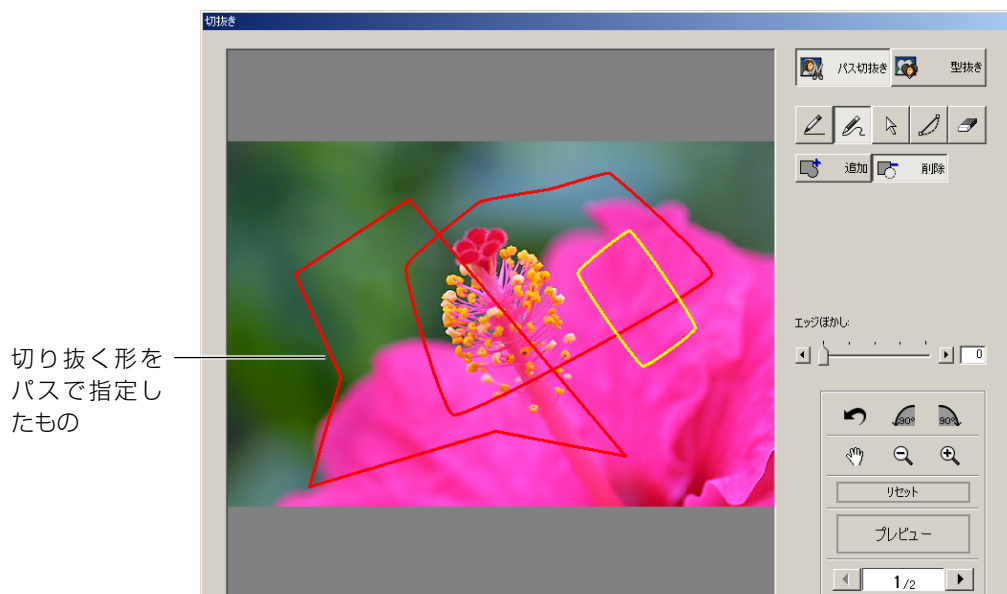
この機能は、「デザインフレーム」(フォトレイアウト、カレンダー)でのみ使用することができます。






■ [パス切抜き] [型抜き] ボタン

- ・[パス切抜き]を選択した場合は、直線と曲線を使って好きな形のパス(一筆書きで書いた点と線の集まり)を描き、画像を切り抜きます。
- ・[型抜き]の場合は、すでに登録されている型を使って、画像を切り抜きます。
- ・どちらのボタンを選択するかによって、操作やボタンが異なりますので、別々に説明します。

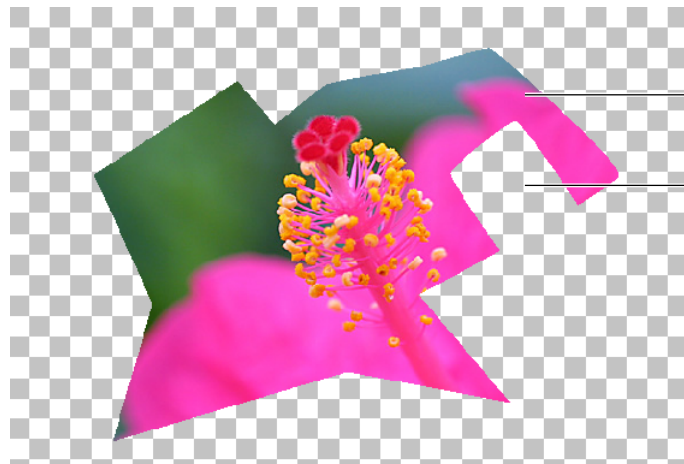
■ パス切抜きの画面のボタン

[パス切抜き] ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されます。



- ・切り抜く形を直線で作成するときは  (直線パス) ボタンを、曲線で作成するときは  (曲線パス) ボタンをクリックします。続いて、画像内で始点をクリックし、そのままマウスポインタを移動して、再度クリックします。同じ動作を繰り返して切り抜く形の輪郭を描きます。指定を終了するときは、画像内でダブルクリックするか、始点を再度クリックします。
- ・ (矢印) ボタンをクリックすると、画像内のパスに点が表示されます。点をクリックしてドラッグすることで、点を移動できます。また、線上をクリックすることで、点を追加することができます。
- ・ (直線曲線切替) ボタンをクリックすると、画像内のパスに点が表示されます。直線で作成したパスの線上をクリックすると直線のパスが曲線のパスに、曲線で作成したパスの線上をクリックすると曲線のパスが直線のパスに変わります。
- ・ (消しゴム) ボタンをクリックすると、画像内のパスに点が表示されます。パスの点をクリックすると、クリックした点が削除されます。パスの線上をクリックすると、パス全体が削除されます。
- ・[追加] ボタンをクリックしてからパスを描くことで、切り抜く範囲（残す部分）をいくつも追加していくことができます。パスは赤い線で表示されます。
- ・[削除] ボタンをクリックしてからパスを描くことで、切り抜きから除外する範囲（消される部分）を描くことができます。パスは黄色い線で表示されます。

切り抜いたイメージ

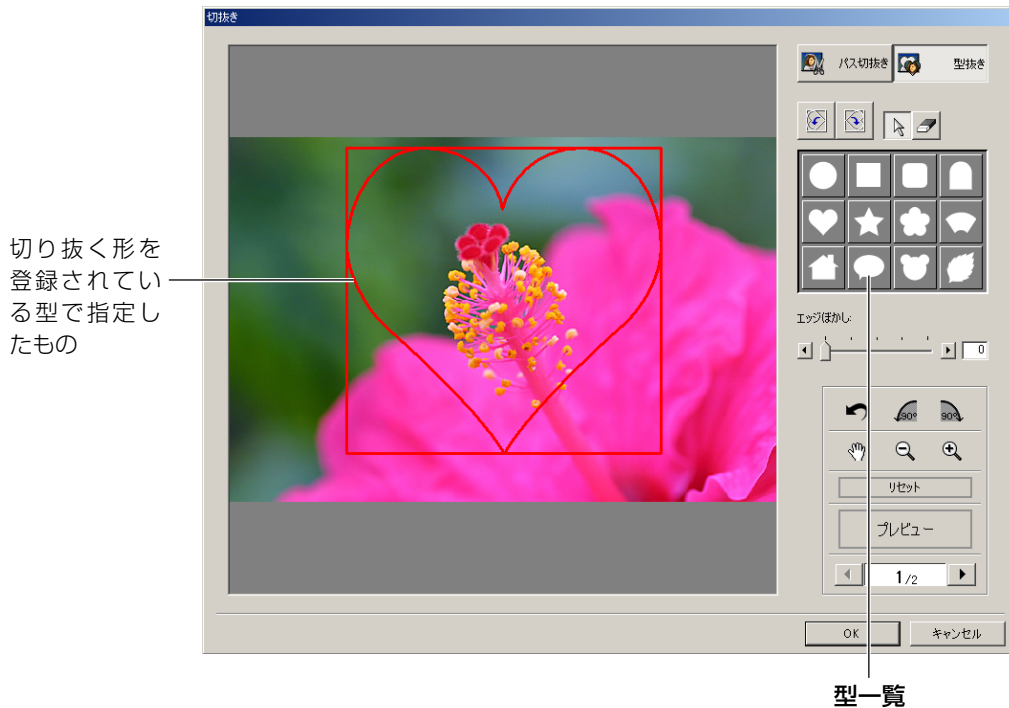


[追加] ボタンで指定した切り抜き

[削除] ボタンで指定した切り抜き

■ 型抜き画面のボタン

[型抜き] ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されます。



- ・ (型左90度回転) ボタンをクリックすると、型を反時計回りに90度回転します。
- ・ (型右90度回転) ボタンをクリックすると、型を時計回りに90度回転します。
- ・ 型一覧では、切り抜く型を選択します。一覧の中のボタンをクリックすると、型が画像内に表示されます。再度、別のボタンをクリックすると、画像内の型が置き換わります。
- ・ 複数の型を表示することはできません。
- ・ (矢印) ボタンクリックした後、型を囲んでいる枠の辺をドラッグすると、サイズを変更できます。また、角をドラッグすると、縦横の比率を変えずにサイズを変更できます。
- ・ 枠内をドラッグすると、型を移動することができます。
- ・ (消しゴム) ボタンをクリックすると、画像内の型が削除されます。



■ エッジのぼかし

- ・ 切り抜く端 (エッジ) の部分のぼかしを調整します。「エッジぼかし」のつまみを左右に移動するか、左右の をクリックして、0～20の間で数値を調整します。右方向へ移動すると (数値が大きくなると)、エッジがよりぼけた状態になります。数値を直接入力して設定することもできます。


■ (元に戻す) ボタン

- ・ 直前の操作を取り消したいときに、クリックします。



■ (左90度回転) (右90度回転) ボタン

- ・  (左90度回転) ボタンをクリックすると、画像を反時計回りに90度回転します。
- ・  (右90度回転) ボタンをクリックすると、画像を時計回りに90度回転します。

■ (移動) ボタン

- ・  (移動) ボタンをクリックし、画像内をドラッグすると、表示範囲が移動します。(ただし、画像全体が表示されているときは移動できません。)

■ (縮小) (拡大) ボタン

- ・  (拡大) ボタンをクリックし、画像内をクリックすると、表示が拡大されます。また、画像内でドラッグすると、ドラッグした範囲が拡大表示されます。
- ・  (縮小) ボタンをクリックし、画像内をクリックすると、表示が縮小されます。

■ [リセット] ボタン

- ・ [リセット] ボタンをクリックすることで、切抜きを選択する前の状態に戻すことができます。

■ [プレビュー] ボタン

- ・ [プレビュー] ボタンをクリックすると、切り抜きイメージが表示されます。元の画面に戻るときは、[編集] ボタンをクリックします。



お願い

- ・ 画像の端ギリギリの位置で切り抜きを使うと切り抜いた画像の端が欠けてしまうことがあります。切り抜き処理をする前に必ず、[プレビュー] ボタンで切り抜きイメージを確認してください。
- ・ 縦横の短い方の辺が300ピクセルより小さい画像や、縦横のピクセル数の比率が20を超える画像(極端に横長、縦長の画像)に対して切り抜きは実行できません。



メモ

- ・ 色補正、色点補正、光源色補正、モノクロ、セピア、シャープネス、ソフトフォーカスの処理を行った後に切り抜きを選択した場合、画面には補正の結果が表示されません。たとえば、セピアの処理を行った後、切り抜きを選択しても、画面ではカラーで表示されます。
- ・ 複数の画像を選択している場合には、画面右下隅に「2/5」のような数字が表示されます。後ろの数字が現在選択されている画像の総数、前の数字が現在補正の対象となっている画像が「総数の何枚目にあたるか」を示しています。この数字の左右のボタンをクリックすることで、補正の対象となる画像を選択することができます。
- ・ 切り抜きは α チャンネルを使って実現しています。

外部アプリ起動

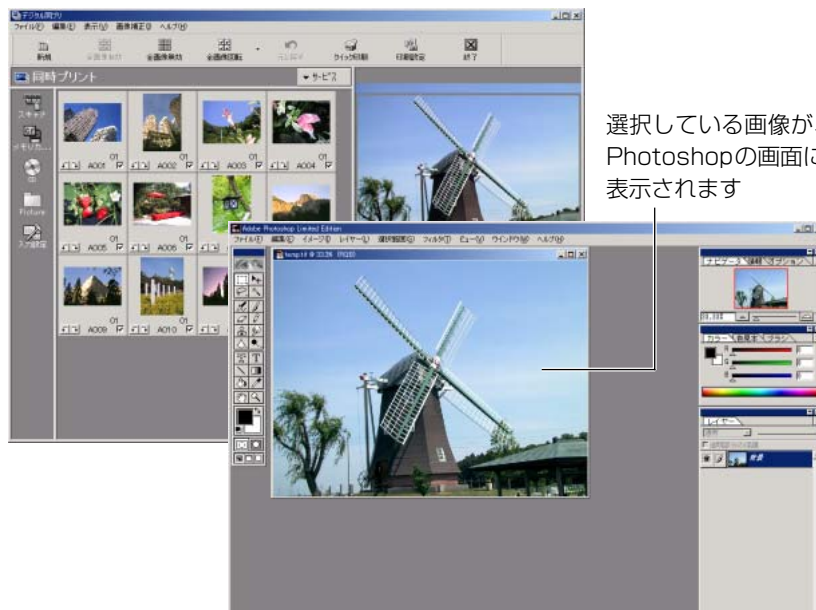
[画像補正] メニューから [外部アプリ起動] を選択すると、他の画像処理アプリケーションソフトを起動し、選択している画像を開きます。



お願い

- ・この機能を使うときは、先に使用する外部アプリケーションソフトを設定しておいてください。外部アプリの設定については、「外部アプリ起動」(→ P. 4-30)で説明します。
- ・この機能で動作が確認できているのは Adobe Photoshop 5.51 および Adobe Photoshop 6.0、Photoshop 7.0 です。これ以外のアプリケーションソフトを設定した場合には、正常に動作しないことがあります。
- ・複数の画像を選択している場合には、この機能は使えません。画像を1つだけ選択してください。
- ・外部アプリケーションでファイルの名前を変更しないでください。
- ・[切抜き] (→ P.4-24) 処理が行われた画像の場合、切り抜き情報は α チャンネルとして加えられます。

■ 外部アプリに Photoshop を設定している場合

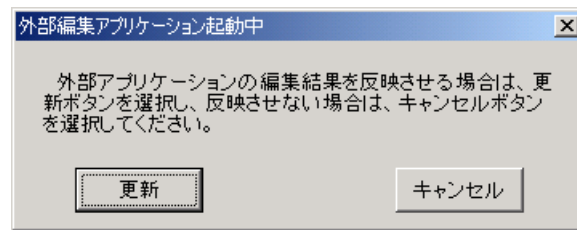


■ 外部アプリでの保存

画像を編集したら、外部アプリケーションソフトの上書き保存機能を使って、画像を上書き保存します。保存をしないと、Digital Photo Expert の画像に編集結果を反映できません。

■ 編集結果の更新

Digital Photo Expert の各サービス画面に切り替えると、次のような画面が表示されます。外部アプリケーションソフトで編集した画像結果を元の画像に反映させる場合は [更新] ボタンを、反映させない場合は [キャンセル] ボタンをクリックします。



メモ

- ・外部アプリケーションソフトで画像補正を行った後、[編集]メニューの[元に戻す]（またはツールバーの[元に戻す]ボタンをクリック）すると、補正前の画像に戻ります。（Digital Photo Expertおよび外部アプリケーションソフトで加えた補正すべてが取り消されます。）
- ・外部アプリケーションで編集した場合には、それ以前の画像補正操作の履歴は失われます。[元に戻す]を選択すると、入力した直後の画像に戻ります。

設定

[画像補正]メニューから[設定]を選択すると、色補正、外部アプリ起動、セピアに関する設定の画面が表示されます。

設定するときは、[色補正] [外部アプリ起動] [セピア]の各タブをクリックして項目を切り替えます。

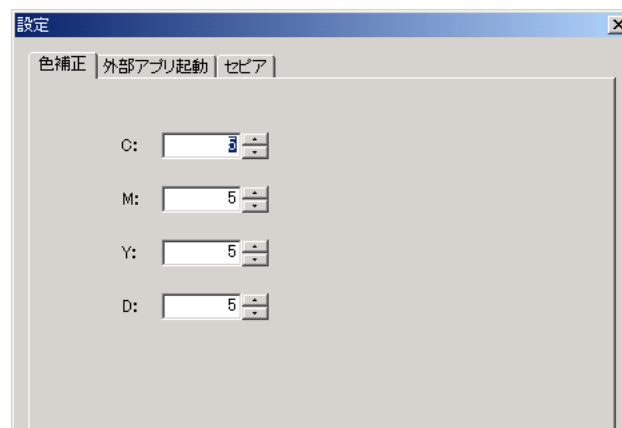


メモ

- ・「デザインフレーム」（フォトレイアウト、カレンダー）の場合には、[ツール]メニューの[画像補正の設定]を選択します。また、「デザインフレーム」の場合、[色補正]タブは表示されません。

■ 色補正

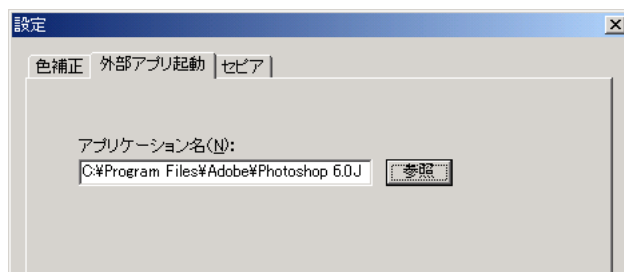
画面上の「補正指定エリア」にあるCMYDの数値を増減するボタンをクリックしたときに、一回のクリックで変化する増減値を、1～10の範囲で指定します。



補正指定エリア

■ 外部アプリ起動

[外部アプリ起動] の機能で、起動するアプリケーションソフトを指定します。
[参照] ボタンを使ってアプリケーションソフトを指定することもできます。



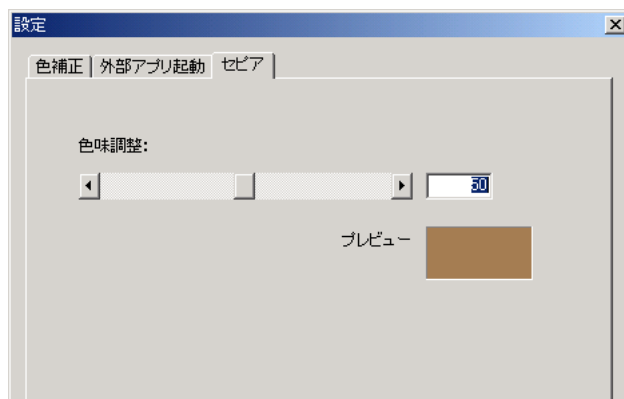
お願い

- ・この機能で動作が確認できているのは Adobe Photoshop 5.51 および Adobe Photoshop 6.0、Photoshop 7.0 です。これ以外のアプリケーションソフトを設定した場合には、正常に動作しないことがあります。

■ セピア

[セピア] の機能で利用する「セピア色」を定義します。「色味調整」のつまみを左右に移動するか、左右の ◀ ▶ をクリックして、1～100の間でセピアの色を調整します。

[セピア] タブは、「証明写真」のときには表示されません。



第5章

オーダーマネージャ

この章では、Digital Photo Expertの各サービスを効率的に管理しながら運用できるオーダーマネージャの使い方について説明します。

また、デザインフレーム（フォトレイアウト、カレンダー）で利用するアートワークを管理する方法についても説明します。

オーダーマネージャの起動と終了

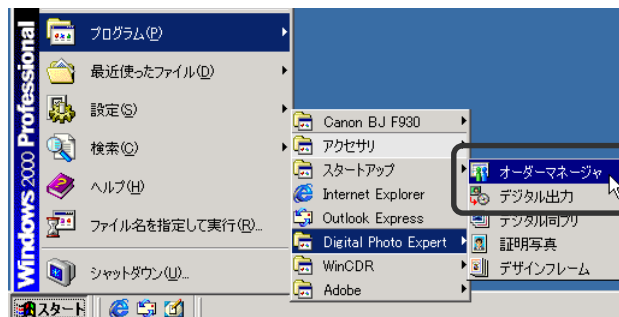
オーダーマネージャの起動と終了の方法を説明します。

オーダーマネージャの起動

■ スタートメニューからの起動

[スタート] メニューの [プログラム] (Windows XP の場合は [すべてのプログラム]) から [Digital Photo Expert] を選択し、表示されたサブメニューから [オーダーマネージャ] を選択します。

これで、オーダーマネージャが起動します。



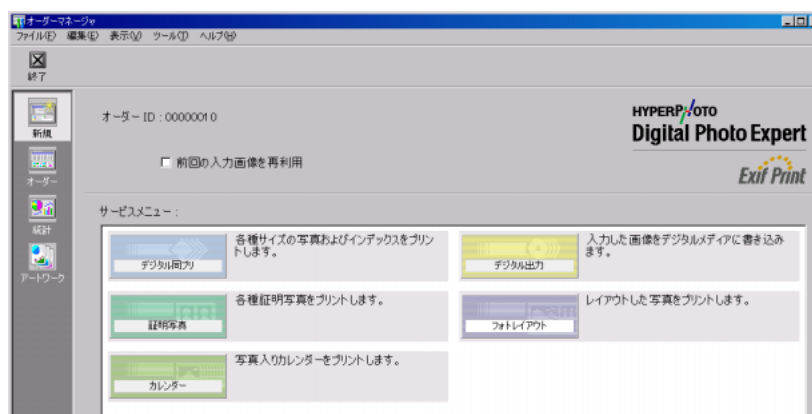
■ アイコンからの起動

デスクトップのアイコンをダブルクリックします。

これで、オーダーマネージャが起動します。



オーダーマネージャが起動すると、次のような画面が表示されます。



お願い

・起動時に、「ハードディスクの残量が不足しているため、プログラムを起動できません。」などのメッセージが表示されることがあります。このような場合は、メッセージの内容をよく読んで処理を選び、作業を進めてください。(→ P. 11-7)



メモ

- ・ Windows 2000 の [画面のプロパティ] → [設定] → [詳細] → [全般] → [画面] の設定で [大きいフォント] を選択している場合は、画面右側の HYPERPHOTO Digital Photo Expert という文字が表示されないことがあります。このような場合は、ウィンドウの幅を大きくすることで表示させることができます。

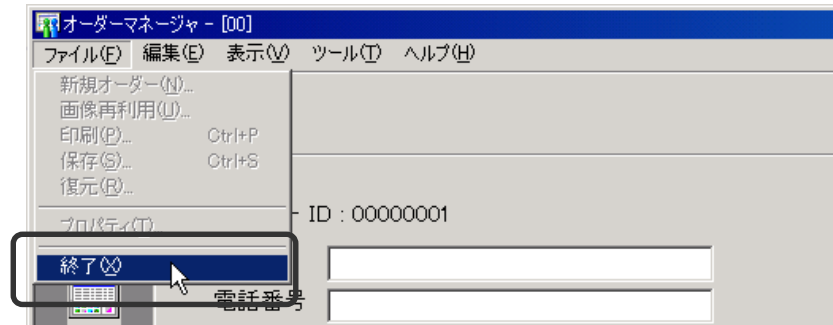
オーダーマネージャの終了

オーダーマネージャを終了するには、次の3種類の方法があります。

■ メニューからの終了

[ファイル] メニューの [終了] を選択します。

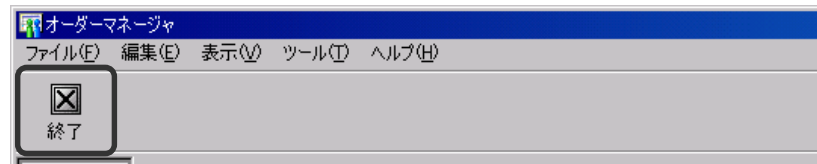
これで、オーダーマネージャが終了します。




■ ツールバーで終了

ツールバーの [終了] ボタンをクリックします。

これで、オーダーマネージャが終了します。



■ クローズボタンで終了

画面右上の  (クローズボタン) をクリックします。

これで、オーダーマネージャが終了します。



お願い

- ・ 作業中のオーダーがある場合には、オーダーマネージャを終了できません。すべてのオーダーの作業を終了してからオーダーマネージャを終了してください。オーダーについては、後の項で説明します。

オーダーマネージャの役割

オーダーマネージャは、Digital Photo Expert の各サービスを効率的に管理しながら運用するためのソフトウェアです。

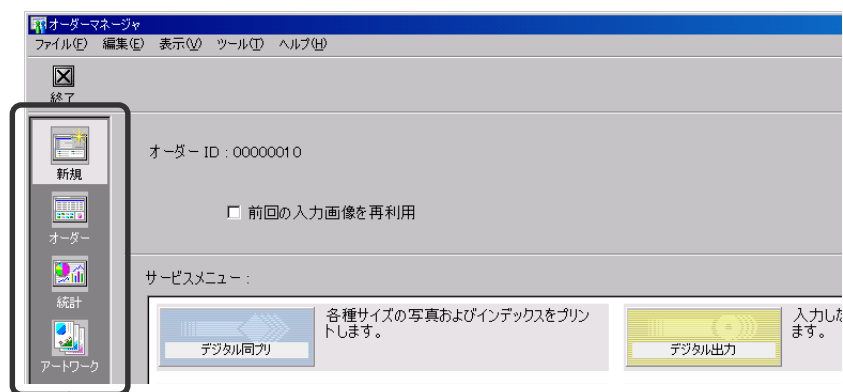
このオーダーマネージャを経由してサービスを起動することによって、利用者データや履歴、作業内容が記録されます。記録されたデータは、再利用したり、統計管理に活用することができます。

また、デザインフレーム（フォトレイアウト、カレンダー）で利用するアートワーク（テンプレートやフレーム）の管理も、このオーダーマネージャで行います。

オーダーマネージャの4つの機能

オーダーマネージャには、「新規オーダー（の生成）」「オーダー管理」「統計情報管理」「アートワーク管理」という4つの機能があります。

これらの機能は、画面左端の4つのボタンをクリックすることで選択します。

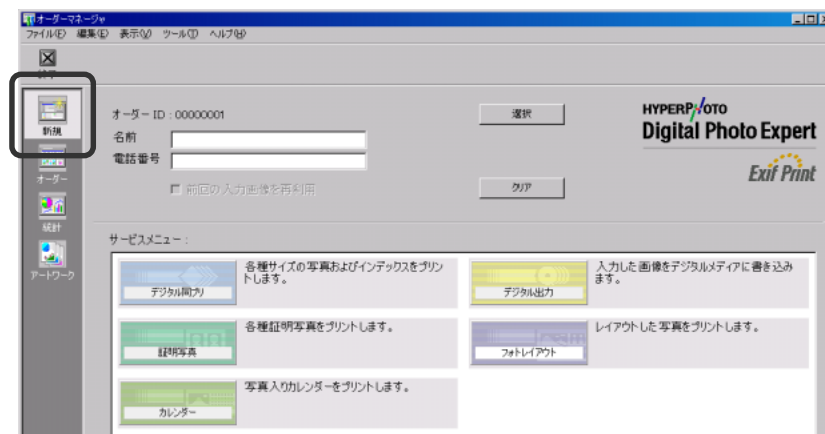


この4つのボタンを使って、画面を選択します

新規オーダー

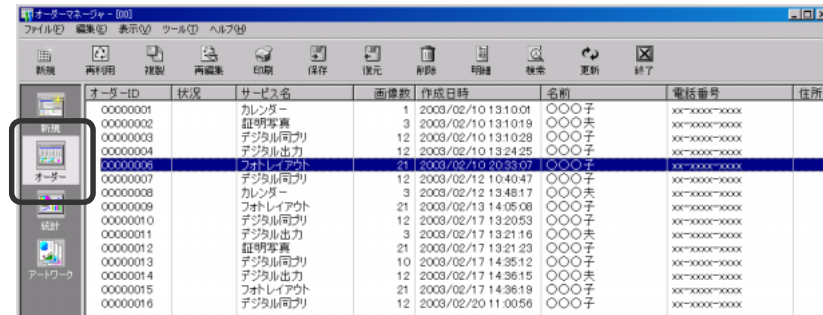
[新規] ボタンをクリックすると、[新規オーダー] の画面が表示されます。注文に応じて、新たなサービスの作業をはじめるときに選択します。

この画面での操作については、「新規オーダー」（→ P. 5-6）で説明します。



オーダー管理

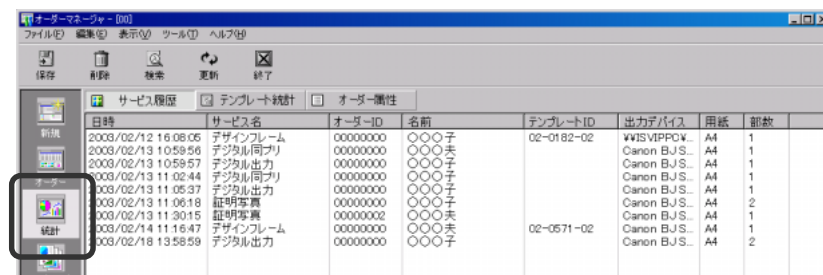
[オーダー] ボタンをクリックすると、[オーダー管理] の画面が表示されます。これまでに受注したオーダーの履歴を一覧で確認するときを選択します。また、過去のオーダーを再利用したり、再編集したりすることもできます。この画面での操作については、「オーダー管理」(→ P. 5-10) で説明します。



オーダーID	状況	サービス名	画数枚	作成日時	名前	電話番号	住所
00000001		カレンダー	1	2003/02/10 13:10:01	〇〇〇子	xx-xxxx-xxxx	
00000002		証明写真	3	2003/02/10 13:10:19	〇〇〇夫	xx-xxxx-xxxx	
00000003		デジタル同判	12	2003/02/10 13:10:28	〇〇〇子	xx-xxxx-xxxx	
00000004		デジタル出力	12	2003/02/10 13:24:25	〇〇〇子	xx-xxxx-xxxx	
00000006		フォトレイアウト	21	2003/02/10 20:33:07	〇〇〇子	xx-xxxx-xxxx	
00000007		デジタル同判	12	2003/02/12 10:40:47	〇〇〇子	xx-xxxx-xxxx	
00000008		カレンダー	3	2003/02/12 13:48:17	〇〇〇夫	xx-xxxx-xxxx	
00000009		フォトレイアウト	21	2003/02/13 14:05:08	〇〇〇子	xx-xxxx-xxxx	
00000010		デジタル同判	12	2003/02/17 13:20:53	〇〇〇子	xx-xxxx-xxxx	
00000011		デジタル出力	3	2003/02/17 13:21:16	〇〇〇夫	xx-xxxx-xxxx	
00000012		証明写真	21	2003/02/17 13:21:23	〇〇〇子	xx-xxxx-xxxx	
00000013		デジタル同判	10	2003/02/17 14:35:12	〇〇〇子	xx-xxxx-xxxx	
00000014		デジタル出力	12	2003/02/17 14:36:15	〇〇〇夫	xx-xxxx-xxxx	
00000015		フォトレイアウト	21	2003/02/17 14:36:19	〇〇〇子	xx-xxxx-xxxx	
00000016		デジタル同判	12	2003/02/20 11:00:56	〇〇〇子	xx-xxxx-xxxx	

統計情報管理

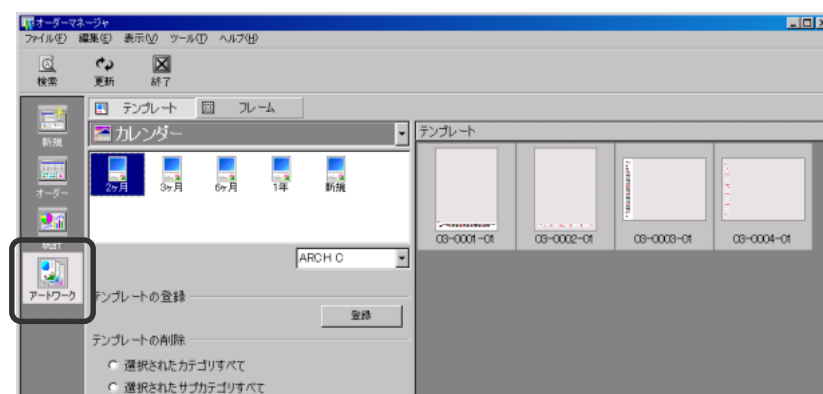
[統計] ボタンをクリックすると、[統計情報管理] の画面が表示されます。これまでに受注したオーダーの詳細な履歴など、さまざまな統計情報を確認するときを選択します。この画面での操作については、「統計情報管理」(→ P. 5-18) で説明します。



日時	サービス名	オーダーID	名前	テンプレートID	出力デバイス	用紙	部数
2003/02/12 16:08:06	デザインフレーム	00000000	〇〇〇子	02-0182-02	V45V1PPCV...	A4	1
2003/02/13 10:59:56	デジタル同判	00000000	〇〇〇夫		Canon B.J.S...	A4	1
2003/02/13 10:59:57	デジタル出力	00000000	〇〇〇子		Canon B.J.S...	A4	1
2003/02/13 11:02:44	デジタル同判	00000000	〇〇〇子		Canon B.J.S...	A4	1
2003/02/13 11:05:37	デジタル出力	00000000	〇〇〇子		Canon B.J.S...	A4	1
2003/02/13 11:06:18	証明写真	00000000	〇〇〇子		Canon B.J.S...	A4	2
2003/02/13 11:30:15	証明写真	00000002	〇〇〇夫		Canon B.J.S...	A4	1
2003/02/14 11:16:47	デザインフレーム	00000000	〇〇〇夫	02-0571-02	Canon B.J.S...	A4	1
2003/02/18 13:58:59	デジタル出力	00000000	〇〇〇子		Canon B.J.S...	A4	2

アートワーク管理

[アートワーク] ボタンをクリックすると、「アートワーク管理」の画面が表示されます。デザインフレーム (フォトレイアウト、カレンダー) で利用するアートワーク (テンプレートやフレーム) を登録したり、削除するときを選択します。この画面での操作については、「アートワーク管理」(→ P. 5-27) で説明します。



新規オーダー

オーダーマネージャの画面左端に縦に並んでいる4つのボタンの中からボタンをクリックすると、新規オーダーの画面が表示されます。



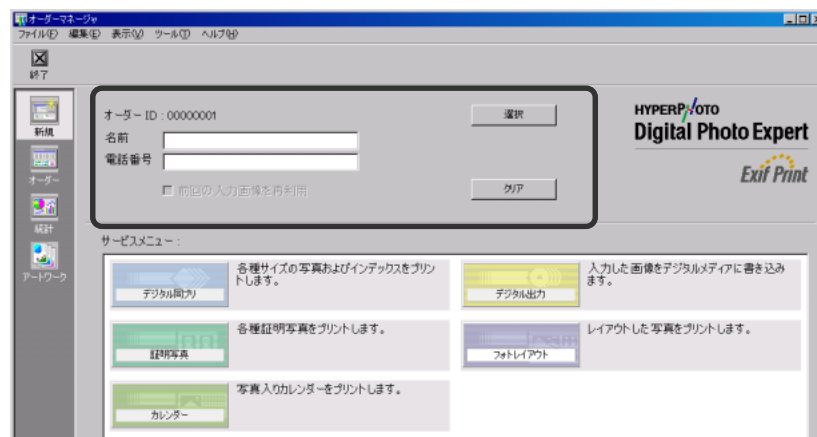
新規オーダーのツールバー

新規オーダーの画面には、次のようなツールバーが表示されます。ツールバーには、メニューの中で比較的よく使う機能がボタンの形で表示されています。この機能については、「オーダーマネージャの終了」(→ P.5-3)で説明しています。



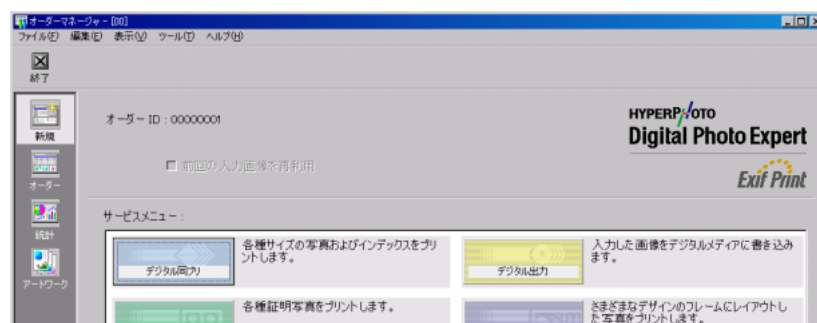
オーダー属性項目の入力

オーダー属性項目(各オーダーに付帯する情報)が表示されている場合には、必要に応じて各欄にデータを入力します。



■ オーダー属性項目について

Digital Photo Expert をインストールした直後の状態では、上記の「オーダー属性項目」には何も設定されていません。(次のように入力すべき項目がない状態となります。)



オーダー属性項目は、必要に応じて設定することができます。この操作については、「オーダー属性項目の設定」(→ P. 5-23)で説明します。

■ オーダー ID

オーダー ID は、受注の通し番号です。

新規オーダーの画面が表示されるたびに、自動的に番号が1つずつ増えていきます。この番号はリセットすることもできます。(→ P. 5-23)

■ [選択] ボタン

[選択] ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されます。

以前に受注したことがある顧客からの注文の場合には、履歴の一覧から対応する入力データを選択することで、文字入力の手間を省くことができます。

名前	電話番号	最終利用日時
○○○夫	xx-xxxx-xxxx	2003/08/09 17:03:41
○○○夫	xx-xxxx-xxxx	2003/08/13 16:15:00
○○○夫	xx-xxxx-xxxx	2003/08/13 16:32:06
○○○夫	xx-xxxx-xxxx	2003/08/15 19:13:14
○○○子	xx-xxxx-xxxx	2003/08/17 15:14:17
○○○夫	xx-xxxx-xxxx	2003/08/19 17:03:37
○○○子	xx-xxxx-xxxx	2003/08/22 21:23:37
○○○夫	xx-xxxx-xxxx	2003/08/22 21:12:30



メモ

- ・データを検索したい場合は、「検索する文字列」の欄に検索する文字を入力して [検索] ボタンをクリックします。[上へ] [下へ] ボタンで検索の方向を選択することができます。
- ・一覧のタイトル欄（「名前」や「電話番号」の欄）をクリックすることで、その項目を基準に一覧を昇順で並べ替えることができます。もう一度、同じタイトル欄をクリックすると、降順で並べ替えられます。
- ・一覧のタイトル欄（「名前」や「電話番号」の欄）の列の境界部分をドラッグすることで、項目の表示幅を変更することができます。

■ [クリア] ボタン

[クリア] ボタンをクリックすると、入力欄がすべて空欄になります。

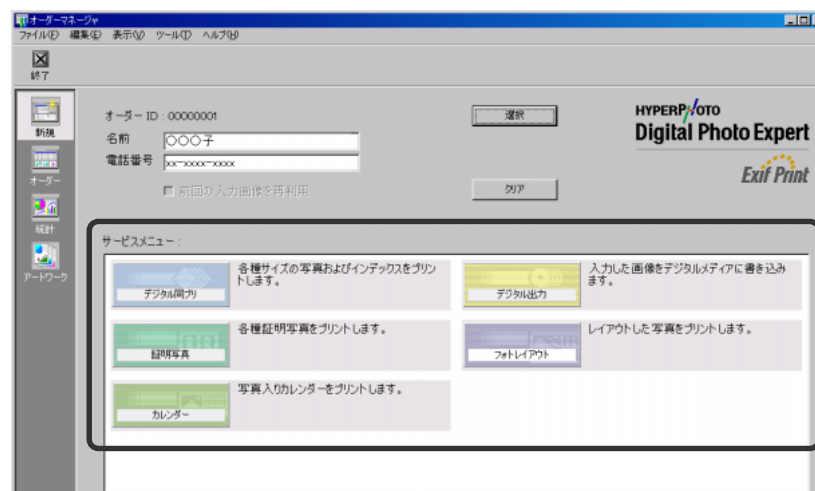
■ [前回の入力画像を再利用] チェックボックス

直前のサービス操作で利用した画像を、別のサービスで利用する場合には、[前回の入力画像を再利用] のチェックボックスにチェックマークを付けます。この場合、「名前」などオーダー属性項目の入力はできなくなります。(直前のデータが引き継がれます。)

オーダーマネージャからのサービスの起動と終了

■ サービスの起動

オーダー属性項目の入力が完了したら、「サービスメニュー」の中から、受注したサービスをクリックします。



お願い

- ・受注したサービスがこの画面に表示されていない場合は、サービスの表示設定でサービスを表示してからこの作業を行ってください。サービスの表示設定については、「サービスの表示設定」(→ P. 5-25)で説明します。
- ・「フォトレイアウト」と「カレンダー」の場合は、各サービスに必要なテンプレートがインストールされていないと、ボタンがグレーアウトして選択できません。テンプレートをインストールしてからこの作業を行ってください。インストールについては、「アートワークのインストール」(→ P.1-10)で説明します。

サービスをクリックすると、そのサービスアプリケーションが起動し、画面が表示されます。

ここからの操作については、次章以降で説明します。



メモ

- ・オーダーマネージャを経由しないで、サービス単独でも起動することができます。この操作については、「サービス単独の起動と終了」(→ P. 2-3)で説明します。

■ サービスの終了 – 印刷や出力を行った場合

- ・印刷や出力の作業が終了すると、サービスは自動的に終了します。このとき、画面は自動的に閉じられ、オーダーマネージャの画面に戻ります。
ただし、「デジタル出力」でインデックス印刷のみを行った場合は、デジタル出力のサービスは自動的に終了しません。

■ サービスの終了 – 印刷や出力を行わなかった場合**メニューからの終了**

[ファイル] メニューの [終了] を選択します。


サービスが終了し、オーダーマネージャの画面に戻ります。

ツールバーで終了

ツールバーの [終了] ボタンをクリックします。

サービスが終了し、オーダーマネージャの画面に戻ります。

クローズボタンで終了

画面右上の  (クローズボタン) をクリックします。

サービスが終了し、オーダーマネージャの画面に戻ります。

オーダー管理

オーダーマネージャの画面左端に縦に並んでいる4つのボタンの中からボタンをクリックすると、オーダー管理の画面が表示されます。



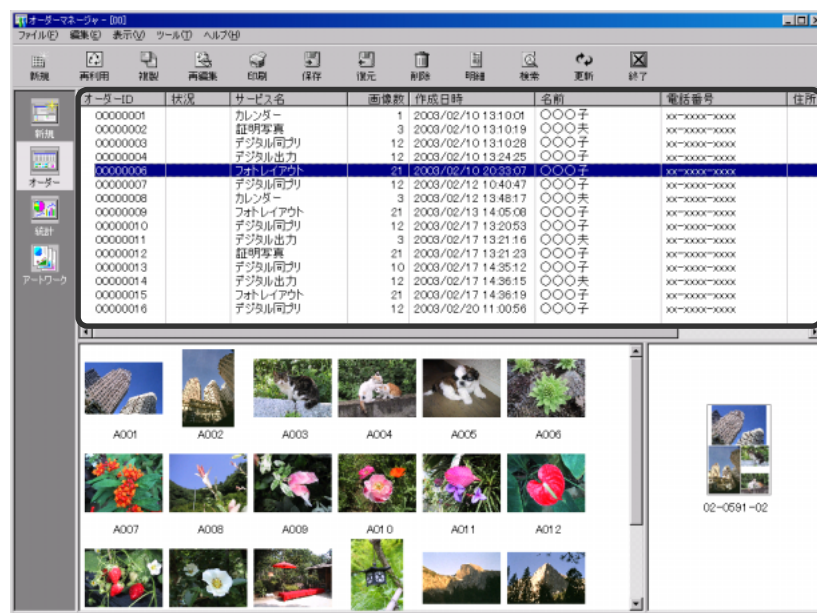
オーダー管理のツールバー

オーダー管理の画面には、次のようなツールバーが表示されます。ツールバーには、メニューの中で比較的良好に使う機能がボタンの形で表示されています。これらの機能については、次の項目以降で説明します。



履歴の確認

オーダー管理の画面には、以前に受注したオーダーの一覧が表示されます。



■ オーダー内容の確認

任意のオーダーをクリックすると、画面の左下側に使用した画像と画像番号が表示されます。また、画面の右下側には、編集や印刷時のイメージが表示されます。(サービスによっては、イメージが表示されないものもあります。) テンプレートを使用した場合は、イメージの下にそのテンプレートIDも表示されます。ただし、複数のオーダーが選択されているときは、何も表示されません。

■ 一覧の並べ替え

一覧のタイトル欄(「オーダーID」や「状況」、「サービス名」などの欄)をクリックすると、その項目を基準に一覧が昇順で並べ替えられます。もう一度、同じタイトル欄をクリックすると、降順で並べ替えられます。また、[表示]メニューの[並べ替え]のサブメニューから、項目名を選択することでも、同様に並べ替えを行うことができます。

■ 列の並べ替え

一覧のタイトル欄（「オーダーID」や「状況」、「サービス名」などの欄）をクリックして、そのまま左右にドラッグすると、項目の順番が変わります。（項目間の青色に変わった箇所に、項目が移動します。）

■ 列幅の変更

一覧のタイトル欄（「オーダーID」や「状況」、「サービス名」などの欄）の列の境界部分をドラッグしたりダブルクリックすることで、項目の表示幅を変更することができます。



メモ

- ・列を並べ替えたり、列幅を変更した後、「オーダー属性項目の設定」（→ P. 5-23）で属性項目の数を変更すると、初期設定時の幅と順番に戻ります。

■ 検索

[編集] メニューから [検索] を選択（またはツールバーの [検索] ボタンをクリック）すると、検索を行う画面が表示されます。



「検索する文字列」の欄に検索する文字を入力し、[検索] ボタンをクリックします。このとき、[上へ] [下へ] ボタンで検索の方向（現在選択されているオーダーから上方向に検索するか、下方向に検索するか）を選択することができます。[大文字と小文字を区別する] にチェックマークを付けると、「ABC」と「abc」が別の文字として検索されます。

■ 最新の情報に更新

[表示] メニューから [最新の情報に更新] を選択（またはツールバーの [更新] ボタンをクリック）すると、一覧の情報が最新の状態に更新されます。

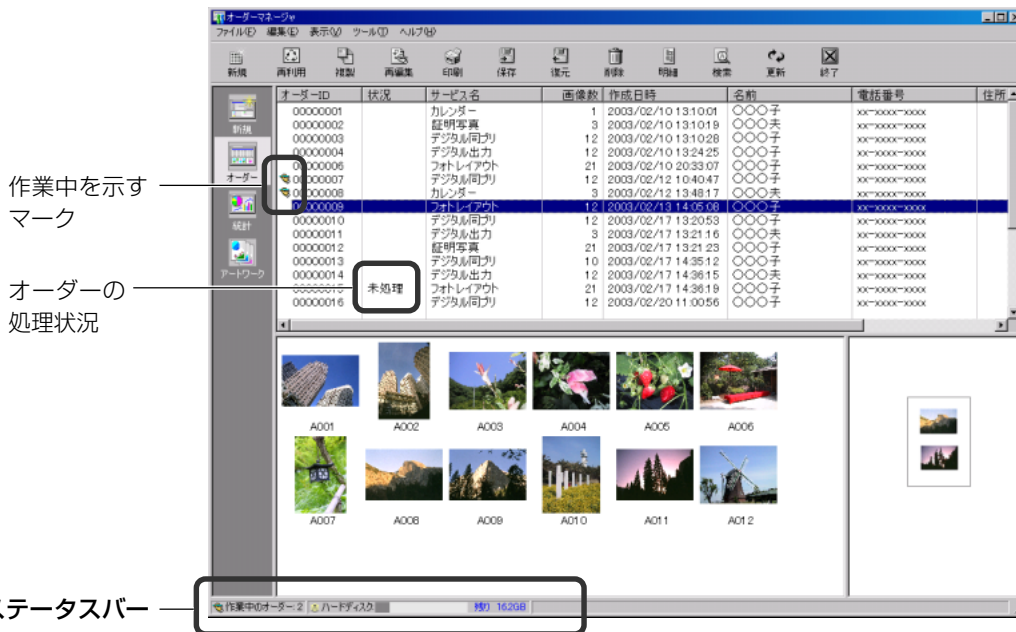
■ 画像と編集データの表示／非表示

[表示] メニューから [画像と編集データを表示] を選択すると、画面の左下側に表示される画像と、画面の右下側に表示される編集や印刷時のイメージの表示／非表示が切り替わります。

■ 作業中のオーダーとオーダーの処理状況

作業中のオーダーがある場合は、オーダー ID の前に作業中を示すマークが表示されます。このとき、ステータスバーには作業中のオーダー数とハードディスクの空き容量が表示されます。

また、[状況] の欄には、オーダーの処理状況が表示されます。複製後や復元後のオーダーなど、処理が完了していないオーダーには「未処理」と表示され、その処理が完了すると空欄になります。

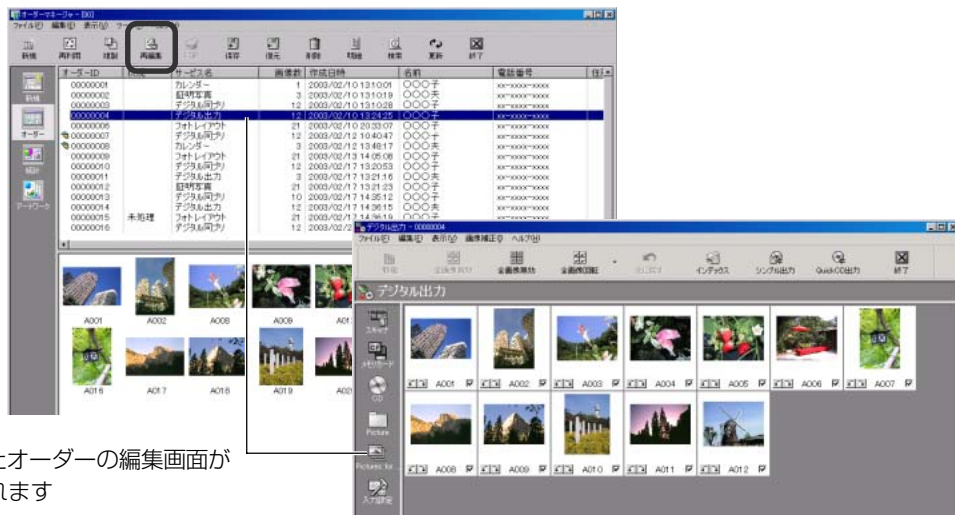


オーダーの再編集

以前に処理したオーダーを、もう一度編集しなおします。

再編集したいオーダーを選択した後、[編集]メニューから[再編集]を選択（またはツールバーの[再編集]ボタンをクリック）します。

これで、選択したオーダーの編集画面が表示されます。表示された画面で、編集や印刷（出力）の操作を行ってください。



選択したオーダーの編集画面が表示されます



お願い

- ・オーダーの再編集を実行すると、元になった過去のオーダーは新しく編集したオーダーに書き替えられます。過去のオーダーも残しておきたい場合には、再編集を実行する前に、「オーダー複製」(→ P. 5-14)を実行しておいてください。



メモ

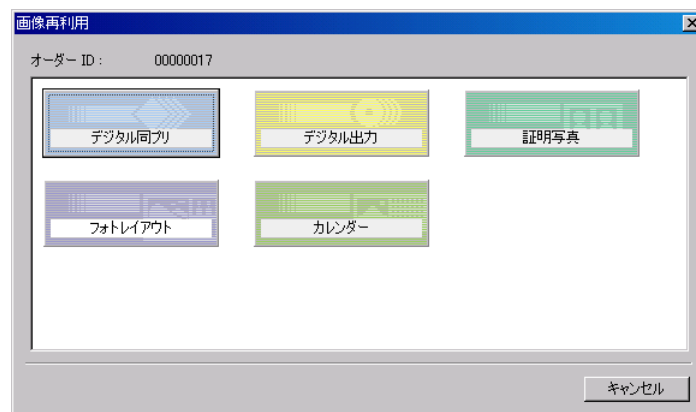
- ・一覧の中のオーダーをダブルクリックすることでも、編集画面を表示することができます。
- ・証明写真やフォトレイアウト、カレンダーで、以前作成したオーダーを編集せずに印刷だけを行うには、「印刷」の機能を使った方が便利です。(→ P. 5-17)

画像の再利用

選択したオーダーで使用した画像を使って、新たに別のサービスをはじめます。

再利用したい画像を持つオーダーを選択した後、[ファイル]メニューから[画像再利用]を選択(またはツールバーの[再利用]をクリック)します。これで、サービスを選択する画面が表示されます。使いたいサービスをクリックしてください。

以降の操作は、通常の各サービスの操作と同様です。



メモ

- ・画像の再利用を選択してサービスを行うと、新しいオーダーIDが発行されます。

オーダー複製

選択したオーダーと全く同じオーダーを作成（複製）します。

オーダー再編集などを実行するときに、元のオーダーも残しておきたい場合などに使います。

複製したいオーダー（複数可）を選択した後、[編集] メニューから [オーダー複製] を選択（またはツールバーの [複製] ボタンをクリック）します。これで、オーダーの複製が実行されます。



メモ

- ・複数のオーダーを選択する場合は、Ctrlキーを押しながらオーダーをクリックします。Shiftキーを押しながらオーダーをクリックすることで、連続したオーダーをまとめて選択することもできます。また、[編集] メニューから [すべて選択] を選択することで、全オーダーを選択することができます。

新規オーダー

オーダー管理の画面から、新規オーダーを実行するときに使います。

[ファイル] メニューから [新規オーダー] を選択（またはツールバーの [新規] ボタンをクリック）します。これで、オーダー属性項目の入力や、サービスの選択を行う画面が表示されます。

以降の操作は、「新規オーダー」の操作と同様です。（→ P. 5-6）

新規オーダー

オーダー ID: 00000017

名前

電話番号

前回の入力画像を再利用

デジタル同力 デジタル出力 証明写真

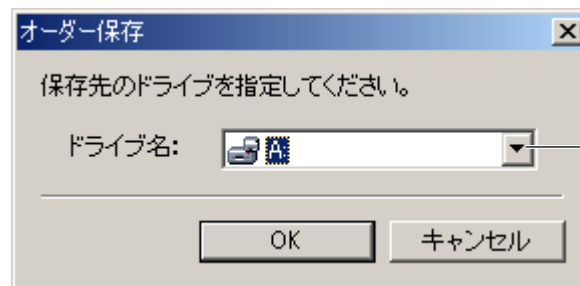
フォトレイアウト カレンダー

保存

オーダーのデータ（画像データとサービスの編集データ）を別のドライブ（フロッピーディスクやMOディスクなど）に保存します。

オーダーをバックアップするときや、機器間や店舗間でデータのやりとりを行う場合などに使用します。

保存したいオーダー（複数可）を選択した後、[ファイル]メニューから[保存]を選択（またはツールバーの[保存]ボタンをクリック）します。これで、ドライブを選択する画面が表示されます。保存先となるドライブを選択し、[OK]ボタンをクリックします。



[▼]をクリックし、表示されたサブメニューの中から、保存先のドライブを選択します



お願い

- ・オーダーをCD-R/RWディスクに保存する場合、Windows XPでご使用の場合は「コンピュータの管理者」の権限で、Windows 2000でご使用の場合は「Administrator」の権限でログオンしてから保存してください。コンピュータの管理者や Administrator の権限でログオンしないと、オーダーをCD-R/RWディスクへ書き込むことができません。



メモ

- ・複数のオーダーを選択する場合には、Ctrlキーを押しながらオーダーをクリックします。Shiftキーを押しながらオーダーをクリックすることで、連続したオーダーをまとめて選択することもできます。また、[編集]メニューから[すべて選択]を選択することで、全オーダーを選択することができます。

復元

「保存」の操作によってドライブ（フロッピーディスクやMOディスクなど）に保存したオーダーを読み込みます。読み込んだオーダーは、新たなオーダーとして一覧に追加されます。

[ファイル] メニューから [復元] を選択（またはツールバーの [復元] ボタンをクリック）します。これで、ドライブ、オーダーを選択する画面が表示されます。オーダーの保存されているドライブを選択した後、読み込みたいオーダー（複数可）を選択し、[OK] ボタンをクリックします。



メモ

- ・オーダーを選択すると、画面下側に保存されている画像データのサムネイルが表示されます。
- ・一覧のタイトル欄（「オーダーID」や「サービス名」などの欄）をクリックすることで、その項目を基準に、一覧を昇順で並べ替えることができます。もう一度、同じタイトル欄をクリックすると、降順で並べ替えられます。
- ・一覧のタイトル欄（「オーダーID」や「サービス名」などの欄）の列の境界部分をドラッグすることで、項目の表示幅を変更することができます。
- ・ディスク上の複数のオーダーを選択する場合は、Ctrl キーを押しながらオーダーをクリックします。Shift キーを押しながらオーダーをクリックすることで、連続したオーダーをまとめて選択することもできます。
- ・ディスク上のオーダーを削除する場合は、削除したいオーダー（複数可）を選択した後、[削除] ボタンをクリックします。

削除

オーダーを削除します。

削除したいオーダー（複数可）を選択した後、[編集]メニューから[削除]を選択（またはツールバーの[削除]ボタンをクリック）します。確認のメッセージが表示されたら、[はい]をクリックします。



メモ

- ・オーダーを選択した後、Deleteキーを押すことで、オーダーを削除することもできます。
- ・複数のオーダーを選択する場合は、Ctrlキーを押しながらオーダーをクリックします。Shiftキーを押しながらオーダーをクリックすることで、連続したオーダーをまとめて選択することもできます。また、[編集]メニューから[すべて選択]を選択することで、全オーダーを選択することができます。

明細

選択したオーダーの印刷明細情報をブラウザ（Internet Explorerなど）を使って表示します。

表示したいオーダーを選択した後、[編集]メニューから[明細]を選択（またはツールバーの[明細]ボタンをクリック）します。これで明細が表示されます。ブラウザの印刷機能を使って、明細を印刷することもできます。



お願い

- ・拡張子「.html」のファイルが、あらかじめブラウザに関連付けされている必要があります。関連付けについては、Windowsの説明書をご覧ください。
- ・作業中のオーダーの明細は表示できません。作業を終了してから、明細を表示してください。
- ・複数のオーダーを選択している場合は、明細を表示できません。
- ・統計情報管理のサービス履歴情報（→ P.5-19）を用いて表示しているため、統計情報管理画面でデータを削除すると印刷明細は表示されなくなります。

印刷

選択したオーダーを再度印刷します。

印刷したいオーダーを選択した後、[ファイル]メニューから[印刷]を選択（またはツールバーの[印刷]ボタンをクリック）します。対応するサービスの[印刷]画面が表示され、印刷設定や印刷を実行できます。



メモ

- ・この機能は、証明写真、デザインフレーム（フォトレイアウト、カレンダー）でのみ利用できます。デジタル同プリ、デジタル出力では利用できません。

統計情報管理

オーダーマネージャの画面左端に縦に並んでいる4つのボタンの中からボタンをクリックすると、統計情報管理の画面が表示されます。



統計情報管理のツールバー

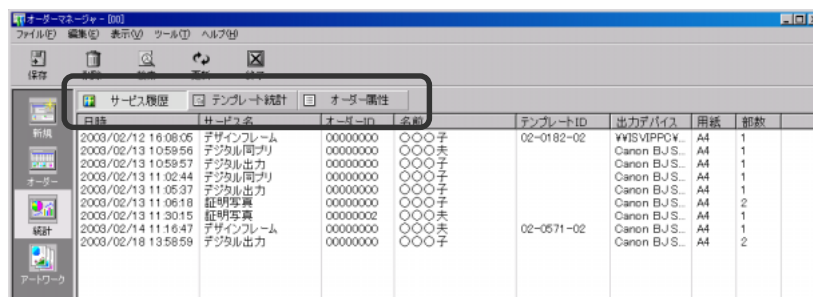
統計情報管理の画面には、次のようなツールバーが表示されます。ツールバーには、メニューの中で比較的良好に使う機能がボタンの形で表示されています。これらの機能については、次の項目以降で説明します。



3種類の情報表示

統計情報管理では、「サービス履歴」「テンプレート統計」「オーダー属性」という3種類の画面で情報を表示します。

これらの画面の選択は、ツールバーの下にあるボタンを使って行います。



お願い

- ・統計情報管理の画面を閲覧するためのパスワードが設定されている場合は、パスワードを確認する画面が表示されます。この場合は、パスワードを入力し [OK] ボタンをクリックします。パスワードの設定については、「統計情報画面のパスワード設定」(→ P. 5-25) で説明します。
- ・Digital Photo Expertをインストールした直後の状態では、「オーダー属性項目」には何も設定されていません。この場合には、[オーダー属性] のボタンは表示されません。オーダー属性の設定方法については、「オーダー属性項目の設定」(→ P. 5-23) で説明します。

■ サービス履歴

これまでに処理したオーダーの一覧が表示されます。

オーダー管理の画面で表示される項目に加えて、編集中のサービスで選択したテンプレートID、出力デバイス、用紙、指定した印刷部数などの項目も表示されます。

日時	サービス名	オーダーID	名前	テンプレートID	出力デバイス	用紙	部数
2003/02/12 16:08:06	デザインフレーム	00000000	〇〇〇子	02-0182-02	WHSVIPPCV...	A4	1
2003/02/13 10:58:56	デジタル同プリ	00000000	〇〇〇夫		Canon B.J.S...	A4	1
2003/02/13 10:58:57	デジタル出力	00000000	〇〇〇子		Canon B.J.S...	A4	1
2003/02/13 11:02:44	デジタル同プリ	00000000	〇〇〇子		Canon B.J.S...	A4	1
2003/02/13 11:05:37	デジタル出力	00000000	〇〇〇子		Canon B.J.S...	A4	1
2003/02/13 11:06:18	証明写真	00000000	〇〇〇子		Canon B.J.S...	A4	2
2003/02/13 11:30:15	証明写真	00000002	〇〇〇夫		Canon B.J.S...	A4	1
2003/02/14 11:16:47	デザインフレーム	00000000	〇〇〇夫	02-0571-02	Canon B.J.S...	A4	1
2003/02/18 13:58:59	デジタル出力	00000000	〇〇〇子		Canon B.J.S...	A4	2



メモ

- ・オーダーマネージャを経由せずに、単独でサービスを起動した場合には、オーダーIDに [00000000] と表示されます。

■ テンプレート統計

サービス履歴で表示されているデータの中から、テンプレートの利用状況（利用したサービス名、印刷実行回数）をまとめた一覧が表示されます。

一覧内のテンプレートを選択すると、画面の右側には、選択したテンプレートのイメージが表示されます。

テンプレートID	サービス名	印刷実行回数
03-1004-01	デザインフレーム	1
03-1001-01	デザインフレーム	1
03-1001-01	デザインフレーム	1
03-1002-01	デザインフレーム	1

■ オーダー属性

これまでに入力したすべてのオーダー属性情報が一覧で表示されます。

名前	電話番号
〇〇〇夫	xx-xxxx-xxxx
〇〇〇子	xx-xxxx-xxxx
〇〇〇夫	xx-xxxx-xxxx
〇〇〇夫	xx-xxxx-xxxx
〇〇〇夫	xx-xxxx-xxxx
〇〇〇子	xx-xxxx-xxxx
〇〇〇子	xx-xxxx-xxxx
〇〇〇夫	xx-xxxx-xxxx
〇〇〇夫	xx-xxxx-xxxx

表示の変更

各画面では、次のように一覧の表示方法を変更することができます。

■ 一覧の並べ替え

一覧のタイトル欄（「日時」や「サービス名」などの欄）をクリックすると、その項目を基準に一覧が昇順で並べ替えられます。もう一度、同じタイトル欄をクリックすると、降順で並べ替えられます。

また、[表示] メニューの [並べ替え] のサブメニューから、項目名を選択することでも、同様に並べ替えを行うことができます。

■ 列幅の変更

一覧のタイトル欄（「日時」や「サービス名」などの欄）の列の境界部分をドラッグすることで、項目の表示幅を変更することができます。

■ 最新の情報に更新

[表示] メニューから [最新の情報に更新] を選択（またはツールバーの [更新] ボタンをクリック）すると、一覧の情報が最新の状態に更新されます。

検索

[編集] メニューから [検索] を選択（またはツールバーの [検索] ボタンをクリック）すると、検索を行う画面が表示されます。



検索

検索する文字列: XXXXXXXX

検索する方向: 上へ 下へ

大文字と小文字を区別する

検索 キャンセル

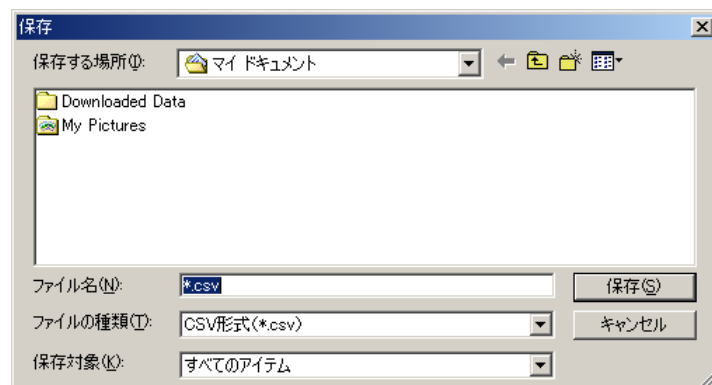
「検索する文字列」の欄に検索する文字を入力し、[検索] ボタンをクリックします。このとき、[上へ] [下へ] ボタンで検索の方向（現在選択されているオーダーから上方向に検索するか、下方向に検索するか）を選択することができます。[大文字と小文字を区別する] にチェックマークを付けると、「ABC」と「abc」が別の文字として検索されます。

保存

各画面の情報を、表計算ソフト（Microsoft Excelなど）で利用したい場合は、「保存」の機能を使います。

選択されている画面の一覧情報から、「表示されているすべての情報」か「選択されている情報のみ」のいずれかを選択して保存を行うことができます。

- 1 保存したい画面を表示します。
 - ・「選択されている情報のみ」を保存したい場合は、さらに保存する情報の行を選択（複数可）します。
- 2 [ファイル] メニューから [保存] を選択（またはツールバーの [保存] ボタンをクリック）します。
- 3 保存する場所、ファイル名、保存対象を指定します。
 - ・「表示されているすべての情報」を保存する場合は、「保存対象」で [すべてのアイテム] を選択します。
 - ・「選択されている情報のみ」を保存する場合は、「保存対象」で [選択したアイテム] を選択します。



- 4 [保存] ボタンをクリックします。
 - ・情報が保存されます。



メモ

- ・情報は、CSV形式（「カンマ区切り」と呼ばれる形式）のファイルとして保存されます。
- ・一覧から複数の行を選択する場合は、Ctrlキーを押しながら行をクリックします。Shiftキーを押しながら行をクリックすることで、連続した行をまとめて選択することもできます。また、[編集] メニューから [すべて選択] を選択することで、全情報を選択することができます。

削除

一覧に表示されている全情報を削除します。

[編集] メニューから [削除] を選択 (またはツールバーの [削除] ボタンをクリック) します。

確認のメッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。続いてオーダーマネージャの再起動を確認する画面が表示されたら、[はい] をクリックします。



お願い

- ・この機能で情報を削除しても、オーダー管理にある個々のオーダーには影響を与えません。あくまでも統計情報を削除するだけです。ただし、サービス履歴のデータを削除した場合は、オーダーの明細表示 (→ P.5-17) で印刷明細が表示されなくなります。
- ・削除を実行すると、一覧の選択状態に関係なく、画面上に表示されていた情報はすべて消えてしまい、復元することはできませんので、注意してください。(削除する前に、あらかじめ保存しておくことをお勧めします。)



メモ

- ・サービス履歴を削除した場合は、サービス履歴とテンプレート統計の両方のデータが削除されます。同じように、テンプレート統計を削除した場合も、サービス履歴とテンプレート統計の両方のデータが削除されます。

環境設定

[ツール] メニューから [環境設定] を選択すると、環境設定の画面が表示されます。環境設定の画面では、タブをクリックして設定する項目を切り替えます。

[オーダーID] [オーダー属性項目] [サービス] [統計情報] [システムID] [印刷項目] の各タブをクリックして設定する項目を切り替えます。

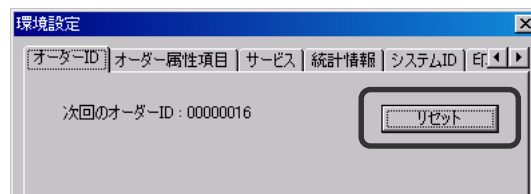


お願い

- ・オーダーマネージャからサービスを実行している間は、環境設定の画面を表示できません。サービスを終了してから、環境設定の画面を表示してください。

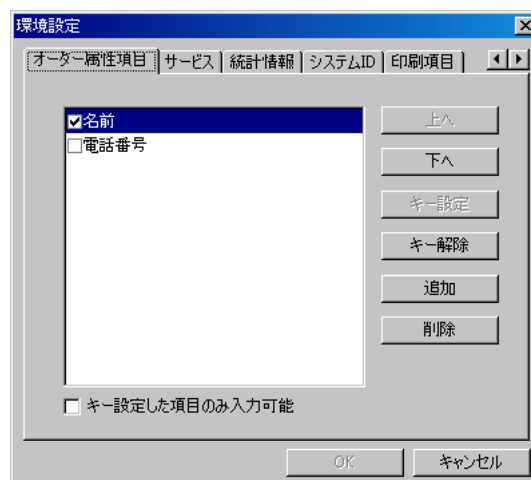
オーダーIDのリセット

次回、新規オーダーを実行したときに付けられるオーダーIDが表示されます。オーダーマネージャで管理しているオーダーがない(オーダー管理のオーダー一覧に何も表示されない)場合にのみ、[リセット] ボタンを使って次回のオーダーを「00000001」にリセットすることができます。



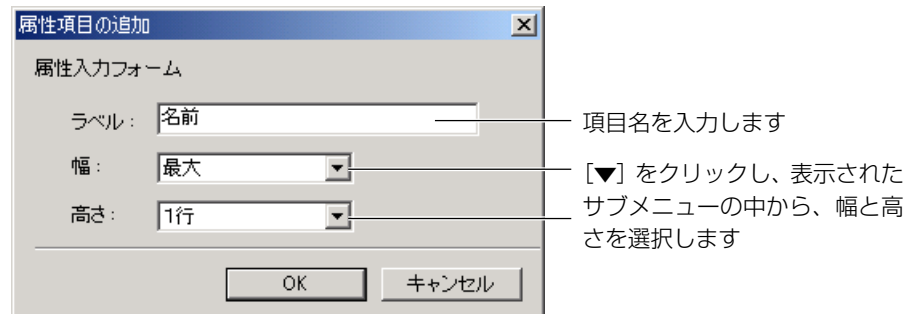
オーダー属性項目の設定

オーダー受注時に入力するオーダー付帯情報の入力項目を設定します。項目名の前の にチェックマークの付いている項目は、入力必須項目(オーダー開始時に入力を省略できない項目)です。



■ 項目の追加

[追加] ボタンをクリックした後、項目名、入力欄の幅と高さを指定します。項目は最大5つまで作成できます。



■ 項目の削除

不要な項目を選択した後、[削除] ボタンをクリックします。

■ 項目の順番変更

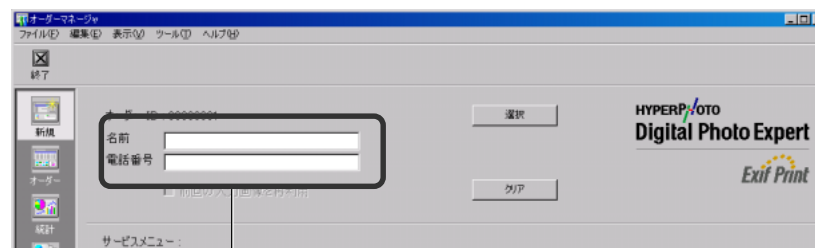
変更する項目を選択した後、[上へ] または [下へ] ボタンをクリックします。

■ 入力必須項目の設定

変更する項目の左側の□の部分をクリックします。または、項目を選択して「キー設定」または「キー解除」ボタンをクリックします。

■ キー設定した項目のみ入力可能

この項目にチェックマークを付けた場合には、新規オーダー受付時、キー設定されている項目（項目名の前にチェックマークの付いている項目）のみが入力可能になります。



キー設定されている項目
だけが表示されます



メモ

- ・項目の追加で指定した入力欄の幅と高さは、[新規オーダー] の画面にのみ反映され、オーダー管理画面での [新規オーダー] の画面 (→ P. 5-14) には反映されません。



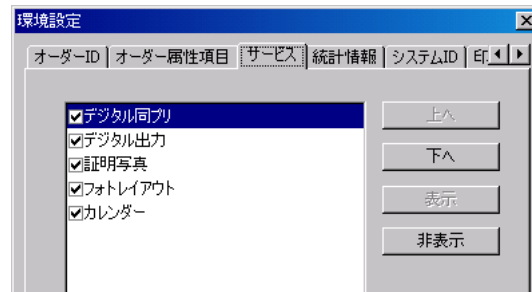
お願い

- ・項目を削除すると、その項目に対して入力したデータが表示されなくなります。削除を実行する際には、十分に注意してください。

サービスの表示設定

新規オーダー画面で選択するサービスを設定します。

サービスのチェックマークを外すと、新規オーダーの画面でそのサービスが表示されなくなります。(→ P. 5-8)



■ チェックマークを付ける／外す

表示したいサービスの左側のチェックボックスをクリックします。または、サービスを選択し、[表示] または [非表示] ボタンをクリックします。

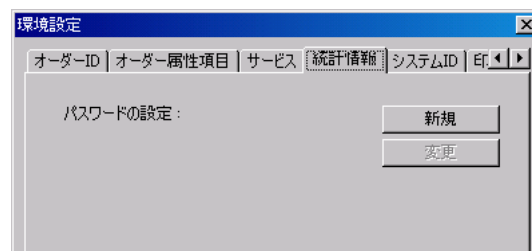
■ 表示順序の変更

表示順序を変更するサービスを選択し、[上へ] または [下へ] ボタンをクリックします。

統計情報画面のパスワード設定

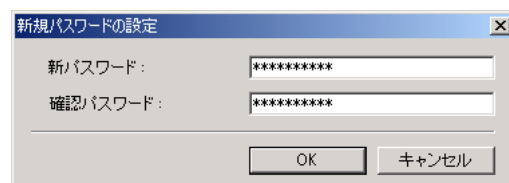
統計情報管理画面の閲覧をパスワードで制限します。

パスワードを設定すると、そのパスワードを知らない人は統計情報管理画面を見ることができなくなります。



■ パスワードの設定

[新規] ボタンをクリックし、パスワードを入力します。「新パスワード」にパスワードを入力したら、確認のため「確認パスワード」に同じパスワードを入力します。



■ パスワードの変更

[変更] ボタンをクリックし、今までのパスワードと新しいパスワードを入力します。「新パスワード」にパスワードを入力したら、確認のため「確認パスワード」に同じパスワードを入力します。

パスワードの変更

旧パスワード: *****

新パスワード: *****

確認パスワード: *****

OK キャンセル



メモ

・「新パスワード」と「確認パスワード」に何も入力しないと、パスワードを設定しない状態にすることができます。

システムIDの設定

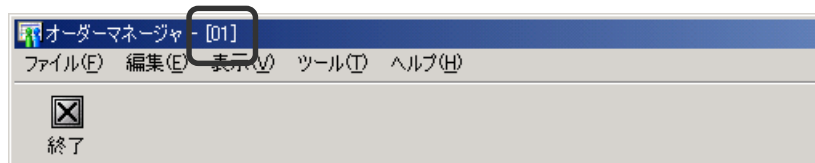
複数のシステムが稼働している場合に、システムを特定するためのIDを設定します。[システムIDを設定] にチェックマークを付け、0～99のIDを設定します。

環境設定

オーダーID | オーダー属性項目 | サービス | 統計情報 | システムID | 印

システムIDを設定

IDを設定すると、オーダーマネージャのタイトルバーに、ここで設定したシステムID番号が表示されます。



印刷項目の設定

デジタル同プリやデジタル出力でインデックスを印刷したとき、インデックスに印刷したいオーダー情報を設定します。

設定する項目を選択し、「設定」ボタンをクリックします。●マークが付いた項目が、インデックスに印刷されます。

環境設定

オーダー属性項目 | サービス | 統計情報 | システムID | 印刷項目

オーダー ID

名前

電話番号

なし

設定

アートワーク管理

オーダーマネージャの画面左端に縦に並んでいる4つのボタンの中からボタンをクリックすると、アートワーク管理の画面が表示されます。



アートワーク管理のツールバー

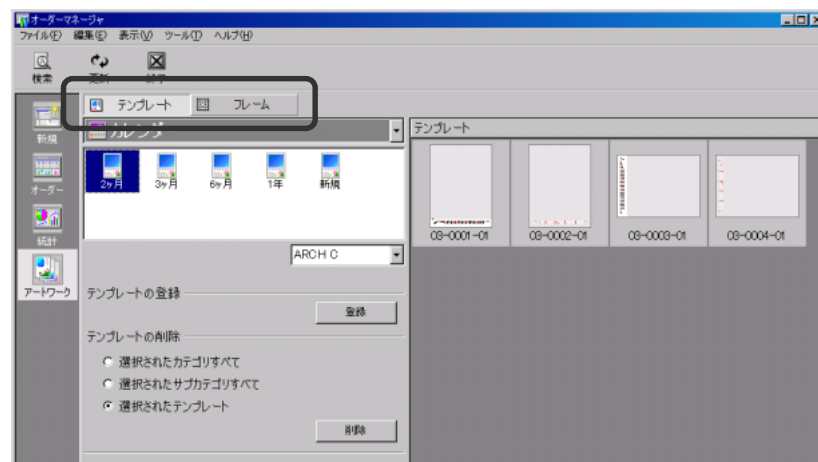
アートワーク管理の画面には、次のようなツールバーが表示されます。ツールバーには、メニューの中で比較的良好に使う機能がボタンの形で表示されています。これらの機能については、次の項目以降で説明します。



アートワークの確認

アートワーク管理では、「テンプレート」「フレーム」という2種類の画面で、アートワークを表示します。

これらの画面の選択は、ツールバーの下にある2つのボタンを使って行います。



メモ

- ・アートワーク（テンプレート、フレーム）は、「デザインフレーム」（フォトレイアウト、カレンダー）で使用します。

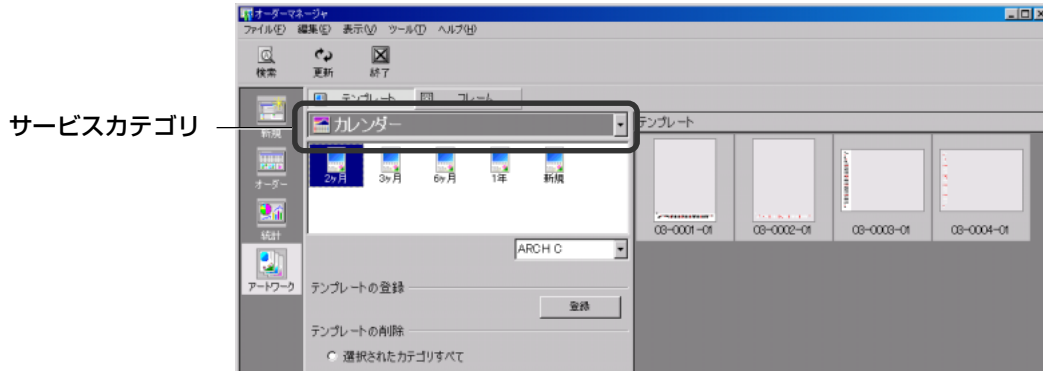


お願い

- ・アートワークがインストールされていない場合には、[アートワーク]ボタンは表示されません。また、アートワークのうちテンプレートまたはフレームがインストールされていない場合は、それらに対応する画面も表示されません。必要なアートワークをインストールしてからこの作業を行ってください。アートワークのインストールについては、「アートワークのインストール」(→ P.1-10)で説明します。

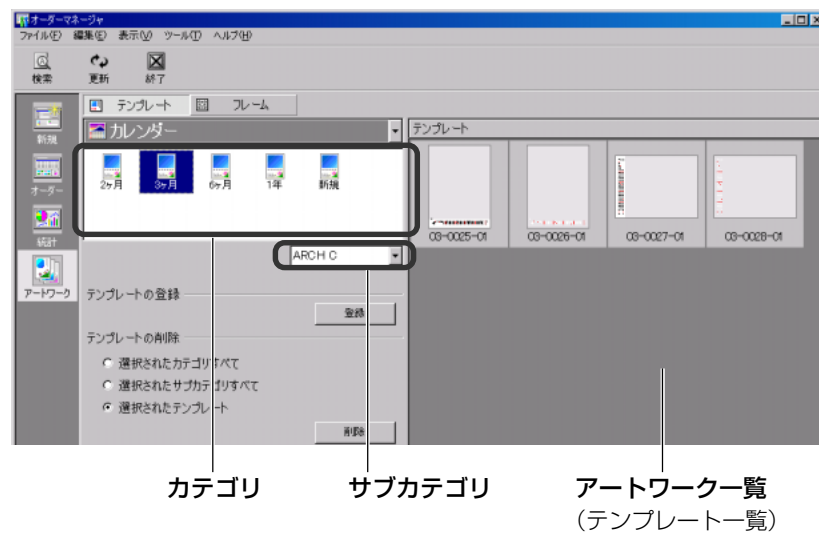
■ テンプレート

[テンプレート] ボタンの下に表示されるサービスカテゴリから、「フォトレイアウト」「カレンダー」のいずれかを選択します。



サービスカテゴリを選択したら、アイコンのカテゴリから目的のカテゴリ（大分類）を選択し、さらにその下のプルダウンメニューから、サブカテゴリ（小分類）を選択します。

これで、選択した分類に含まれているテンプレートが、画面右側に表示されます。



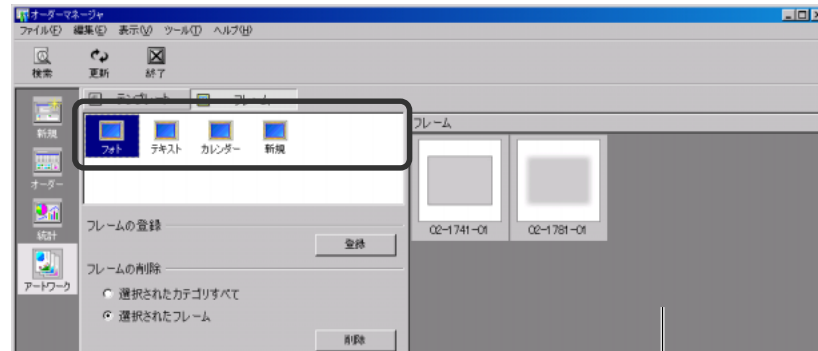
メモ

- ・表示されるサービスカテゴリやカテゴリの種類は、アートワークのインストール時に選択した項目により異なります。

■ フレーム

[フレーム] ボタンの下に表示されるアイコンのカテゴリから目的のカテゴリを選択します。

これで、選択したカテゴリに含まれているフレームが、画面右側に表示されます。



アートワーク一覧
(フレーム一覧)



メモ

- ・表示されるカテゴリの種類は、アートワークのインストール時に選択した項目により異なります。

アートワークの更新と詳細情報の表示

テンプレートとフレームの各画面では、アートワーク一覧の表示を更新したり、個々のアートワークの詳細情報を表示したりすることができます。

■ 最新の情報に更新

[表示] メニューから [最新の情報に更新] を選択（またはツールバーの [更新] ボタンをクリック）すると、一覧の情報が最新の状態に更新されます。

■ 詳細情報の確認

アートワークを選択した後、[ファイル] メニューの [プロパティ] を選択すると、選択しているアートワークの詳細情報（アートワークのIDやファイルサイズ、インストール日時）が表示されます。



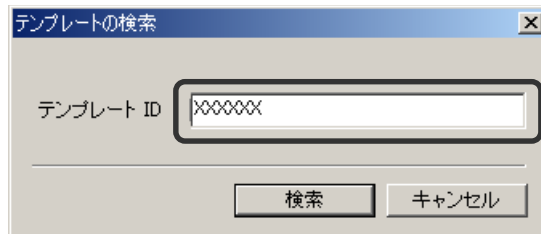
メモ

- ・アートワークにはそれぞれ8桁の数字（例：02-1234-01）がついています。これはアートワークのIDといい、アートワークのひとつひとつを識別するための名前のようなものです。
- ・アートワークにマウスポインタを合わせ、右クリックするとメニューが表示されます。そのメニューから [プロパティ] を選択することで、プロパティを表示することもできます。
- ・複数のアートワークを選択している場合、プロパティの表示はできません。

アートワークの検索

[編集] メニューから [検索] を選択 (またはツールバーの [検索] ボタンをクリック) すると、検索を行う画面が表示されます。

テンプレートの検索の例



アートワークの ID (テンプレート ID、フレーム ID) を入力し、[検索] ボタンをクリックします。該当するアートワークが見つかった場合は、画面右側に表示されます。



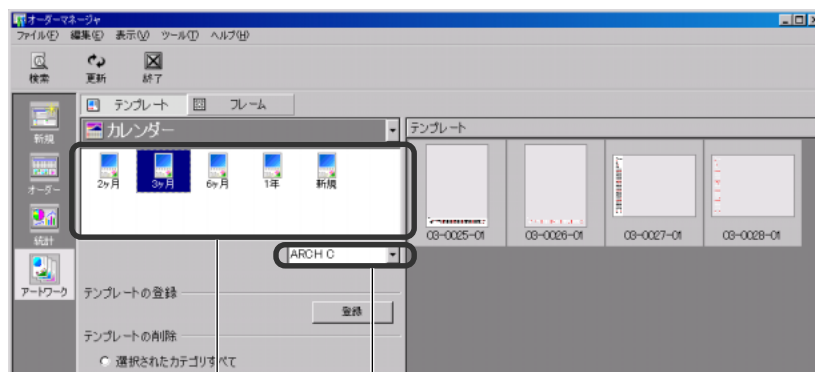
メモ

- ・アートワークの種別でフレームを選択しているときにテンプレートを検索したり、テンプレートを選択しているときにフレームを検索することはできません。

アートワークの登録

新しいアートワーク (テンプレート、フレーム) をアートワーク管理の各画面に登録することができます。

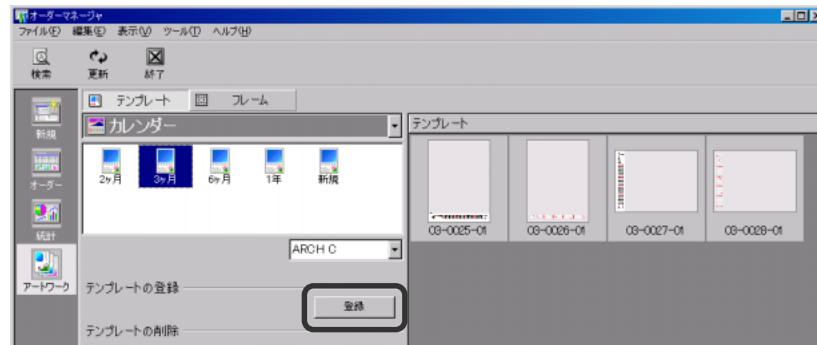
- 1 アートワークを登録したい画面 (テンプレートまたはフレーム) を表示します。
 - ・ここでは、テンプレートの画面を表示します。
- 2 サービスカテゴリからサービスを選択します。
 - ・フレームの場合、この操作は必要ありません。
- 3 アイコンのカテゴリから目的のカテゴリを選択します。
 - ・テンプレートの場合、さらにその下のプルダウンメニューから、サブカテゴリを選択します。



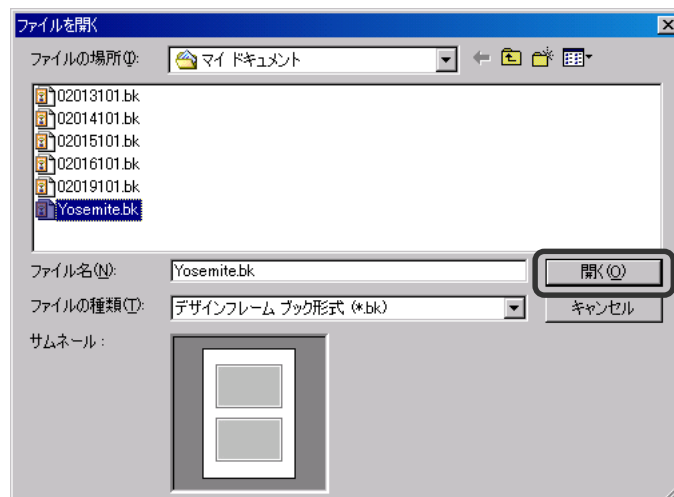
カテゴリ

サブカテゴリ

4 [登録] ボタンをクリックします。



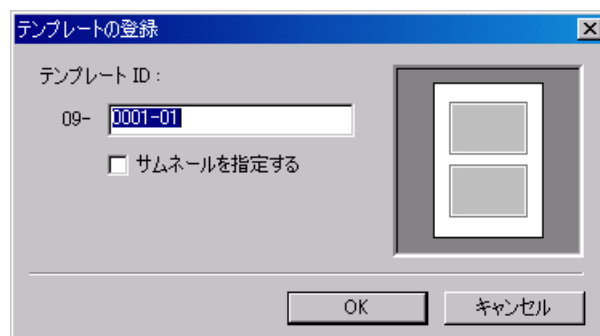
5 登録するファイルを選択した後、[開く] ボタンをクリックします。



メモ

- ・テンプレートの場合は「xxxx.bk」というファイルを選択し、フレームの場合は「xxxx.frm」というファイルを選択します。(xxxxにはファイル名が入ります。)
- ・複数のファイルを一度に選択することはできません。
- ・デザインフレーム (フォトレイアウト、カレンダー) で作成したファイルもテンプレートとして登録することもできます。

6 アートワークのID (09に続く6桁の数字) を入力し、[OK] ボタンをクリックします。



- ・選択したファイルが新しいアートワークとして、画面右側に表示されます。



メモ

- ・アートワークのIDは、アートワークのひとつひとつを識別するための名前のようなもので、8桁の数字からなっています。IDを入力するときは、「09-1234-01」のように、最後の2桁の前にハイフンを入れることもできます。
- ・[サムネールを指定する]にチェックマークを付けて画像を指定すると、アートワーク一覧などに表示されるサムネールを変更することができます。サムネールを指定しない場合は、自動的にアートワークの1ページ目がサムネールとして指定されます。
- ・テキストフレームを含む場合は、フォント情報も保存されます。(編集時に変更することもできます。)



お願い

- ・入力したアートワークのIDと同じIDがすでに登録されている場合は、注意を促すメッセージが表示されます。この場合には、別のIDを入力してください。

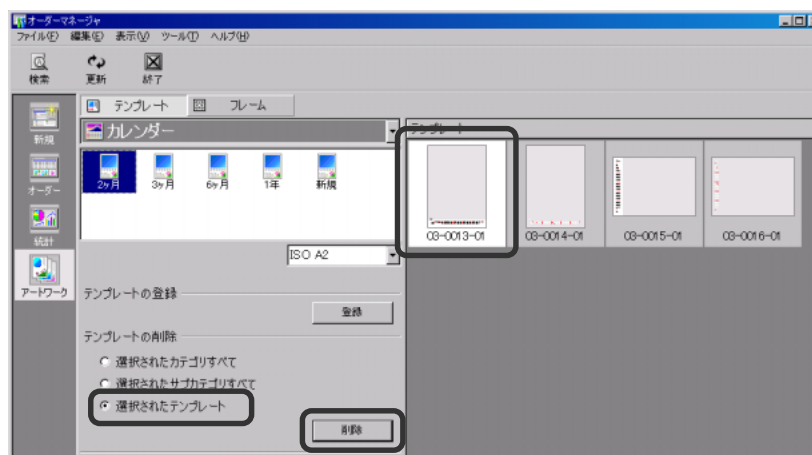
アートワークの削除

画面右側に表示されているアートワーク（テンプレート、フレーム）の中から、不要なアートワークを削除します。

削除するテンプレートを選択し、「テンプレートの削除」で[選択されたテンプレート]を選択して[削除]ボタンをクリックします。

フレームの場合は、「フレームの削除」で[選択されたフレーム]を選択して[削除]ボタンをクリックします。

確認のメッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。



メモ

- ・一覧から複数のアートワークを選択する場合は、Ctrlキーを押しながらアートワークをクリックします。Shiftキーを押しながらアートワークをクリックすることで、連続したアートワークをまとめて選択することもできます。
- ・削除したいアートワークにマウスポインタを合わせ、右クリックするとメニューが表示されます。そのメニューから[削除]を選択することで、アートワークを削除することもできます。

**お願い**

- ・デザインフレーム（フォトレイアウト、カレンダー）が起動している場合は、アートワークを削除できません。デザインフレームを終了してから削除してください。

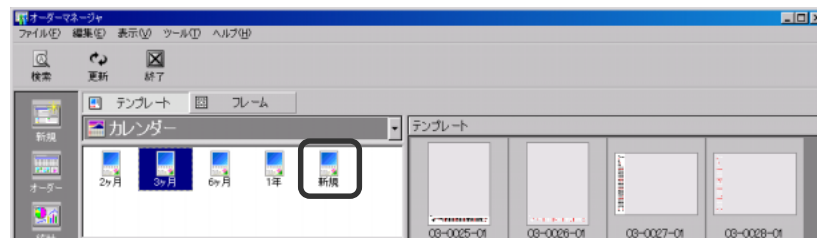
カテゴリの操作**お願い**

- ・デザインフレーム（フォトレイアウト、カレンダー）が起動している場合は、カテゴリの操作はできません。デザインフレームを終了してから操作を行ってください。

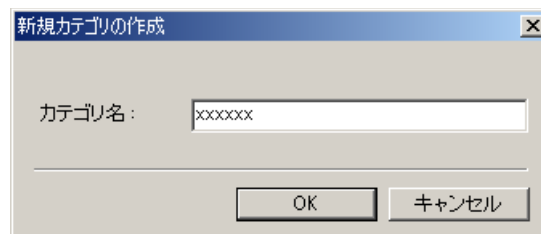
■ 新しいカテゴリ、サブカテゴリの追加

新しいカテゴリを追加します。また、テンプレートの場合は、サブカテゴリを追加することもできます。

- 1 カテゴリやサブカテゴリを追加したい画面（テンプレートまたはフレーム）を表示します。
 - ・ここでは、テンプレートの画面を表示します。
- 2 サービスカテゴリからサービスを選択します。
 - ・フレームの場合、この操作は必要ありません。
- 3 カテゴリの **【新規】** をクリックします。

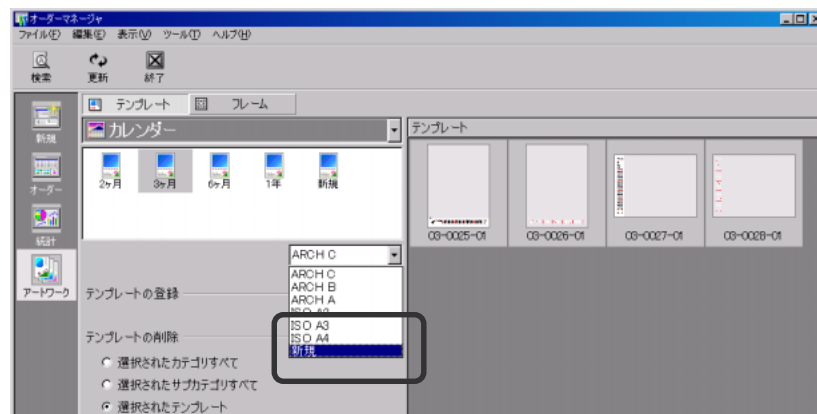


- 4 名前を入力し、**【OK】** ボタンをクリックします。

**メモ**

- ・入力できる文字数は、半角英数字（ダブルクォートは除く）で20文字、全角で10文字です。

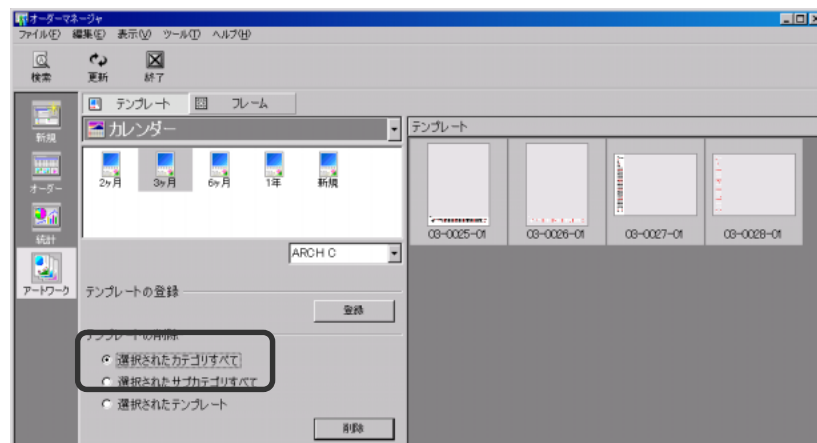
- ・サブカテゴリを追加する場合は(テンプレートの場合のみ)、サブカテゴリのプルダウンメニューの[新規]をクリックし、名前を入力します。



■ カテゴリ、サブカテゴリの削除

削除するカテゴリまたはサブカテゴリを選択した後、「選択されたカテゴリすべて」または「選択されたサブカテゴリすべて」を選択し、「削除」ボタンをクリックします。

確認のメッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。



メモ

- ・削除したいカテゴリまたはサブカテゴリにマウスポインタを合わせ、右クリックするとメニューが表示されます。そのメニューから「削除」を選択することで、カテゴリやサブカテゴリを削除することもできます。

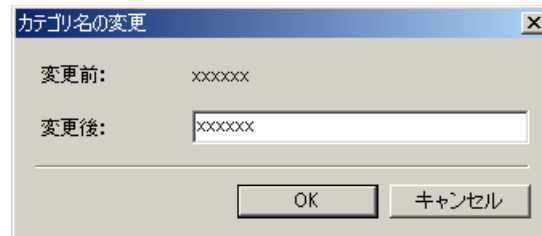


お願い

- ・カテゴリ、サブカテゴリを削除すると、選択したカテゴリ、サブカテゴリに含まれているテンプレートとフレームはすべてが削除されますので、十分注意してから実行してください。

■ カテゴリ、サブカテゴリの名称変更

名称変更をするカテゴリまたはサブカテゴリを選択した後、[編集] メニューの [変更] サブメニューから、[カテゴリ] または [サブカテゴリ] を選択します。「変更後」の欄に新しい名称を入力し、[OK] ボタンをクリックします。



メモ

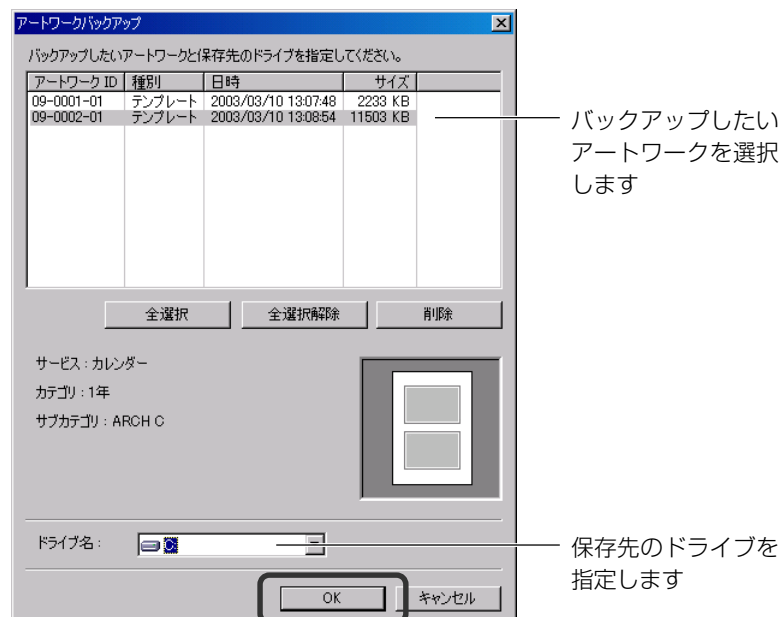
- ・インストール時に登録されているカテゴリまたはサブカテゴリの名前は変更できません。
- ・入力できる文字数は、半角英数字（ダブルクォートは除く）で20文字、全角で10文字です。

アートワークのバックアップ

「アートワークの登録」(→ P.5-30) で登録したアートワークを、任意のドライブにバックアップします。また、バックアップしたアートワークを再インストールします。

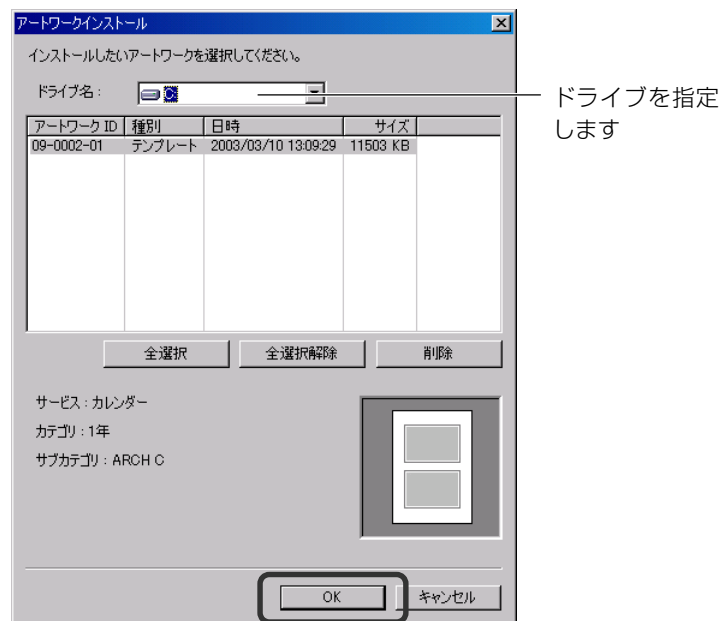
■ バックアップ

[ツール] メニューから [アートワークのバックアップ] を選択し、表示されたサブメニューで [バックアップ] を選択すると、登録されているアートワークの一覧が表示されます。バックアップしたいアートワークを選択し、保存先のドライブを指定して [OK] をクリックします。



■ バックアップしたアートワークの再インストール

[ツール] メニューから [アートワークのバックアップ] を選択し、表示されたサブメニューで [インストール] を選択します。ドライブを指定すると、そのドライブにバックアップされているアートワークの一覧が表示されます。インストールしたいアートワークを選択し、[OK] をクリックするとインストールが実行されます。



お願い

- ・デザインフレーム（フォトレイアウト、カレンダー）が起動している場合は、バックアップの操作はできません。デザインフレームを終了してからバックアップの操作を行ってください。

第6章

デジタル同プリ

この章では、デジタル同プリの使い方について説明します。

デジタル同プリについて

「デジタル同プリ」はデジタル同時プリントのことです。
スキャナで読み込んだ画像やデジタルカメラのメモリカードから読み込んだ画像、ディスク内に保存してある画像などを、プリンタで印刷します。



メモ

- ・デジタル同プリは、単独で起動することも、オーダーマネージャから起動することもできます。単独での起動については「サービス単独の起動と終了」(→ P. 2-3) で、オーダーマネージャからの起動については「オーダーマネージャからのサービスの起動と終了」(→ P. 5-8) で説明します。

3種類のプリント方法

デジタル同プリでは、「同時プリント」「インデックス」「大伸ばし」という3種類のプリント方法を選ぶことができます。これらのプリント方法は、ツールバーのすぐ下にある [サービス] プルダウンメニューを使って選択します。

- [同時プリント]： L判などのサイズで、指定した枚数ずつ画像を印刷します。
[インデックス]： サムネイル（縮小した画像）を用紙に並べて印刷します。
[大伸ばし]： 大きなサイズで画像を印刷します。

詳しい操作については、後の項で説明します。



プルダウンメニューを使って、プリント方法を選択します

デジタル同プリの画面

デジタル同プリを起動すると、次のような画面が表示されます。(画像は表示されていない場合があります。)

この画面の各機能を使って、画像をプリンタで印刷します。



■ ツールバー

ツールバーには、メニューの中から比較的よく使う機能が集められています。

■ 画像入力バー

ここに表示されているボタンをクリックして、画像を入力するときの入力装置(スキャナ、メモリーカード、CDなど)を選択します。

■ 画像一覧

入力された画像が表示されます。

■ プレビューエリア

選択中の画像が拡大表示されます。

画像の下には、画像サイズが表示されます。また、プレビューエリアに表示されている画像の入力元がファイルの場合は、ファイル名が表示されます。

■ 画像補正ツールバー

画像を補正するときの機能が集められています。

■ 枚数

画像ごとに、印刷枚数を指定できます。

■ サイズ

画像ごとに、別のサイズを指定できます。

各画像は、ここで指定したサイズで自動的に印刷されます。

■ 補正指定エリア

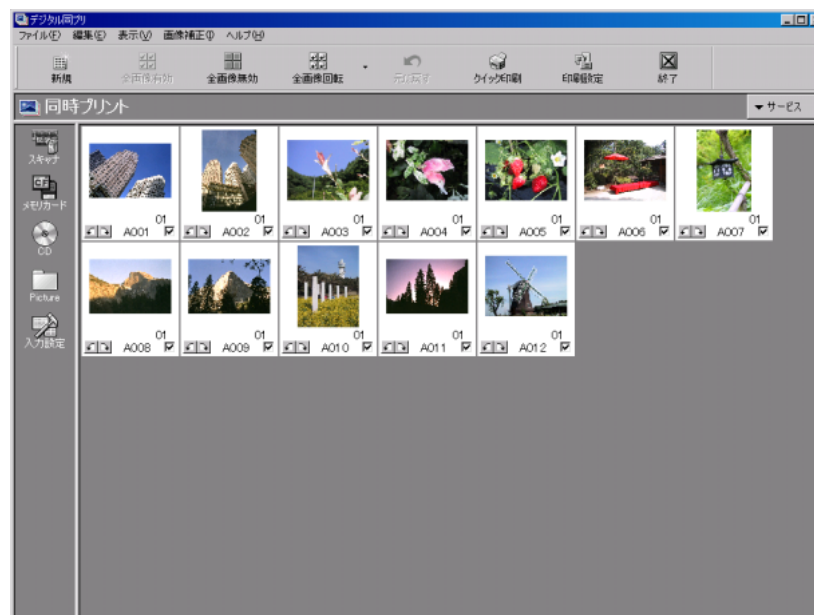
画像補正のためのボタンが表示されているエリアです。

**メモ**

- ・ ツールバーや画像補正ツールバーに表示される項目は、使いやすいように変更することができます。この操作については、「ツールバーのカスタマイズ」(→ P. 2-9) で説明します。

表示の切り替え

[表示] メニューの [プレビューペイン] を選択すると、画面右半分の表示が消え、画面いっぱい画像一覧だけが表示されます。たくさんの画像を入力したとき、この表示に切り替ええると、全体の画像を一度に確認できて便利です。もう一度 [表示] メニューの [プレビューペイン] を選択すると、元の表示に戻ります。



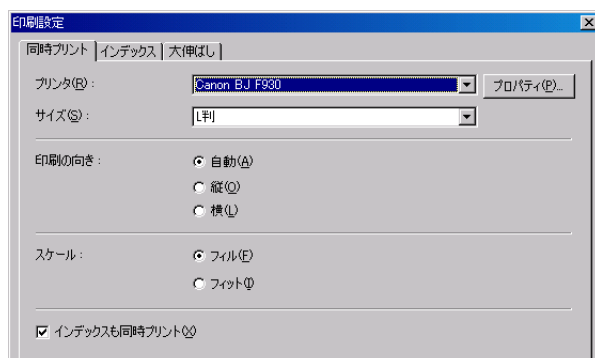
同時プリント – 基本操作

同時プリントでは、L判などのサイズで、画像を指定した枚数で印刷します。

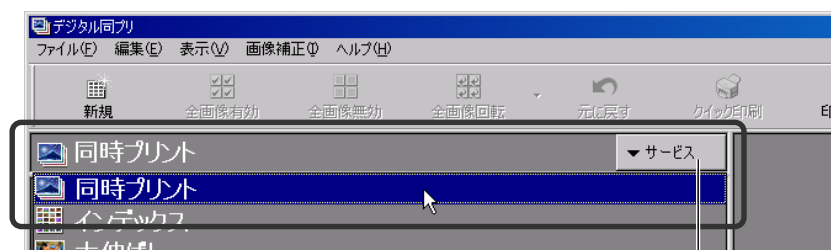
同時プリントの操作の流れ

同時プリントは、次のような流れで操作します。

- 1 はじめてデジタル同プリを使うときは、最初に印刷の設定をします。
 - ・ [ファイル] メニューから [印刷設定] を選択（またはツールバーの [印刷設定] ボタンをクリック）すると、次のような画面が表示されます。
この画面で、[同時プリント] [インデックス] [大伸ばし] のサービスごとに、使用するプリンタや用紙サイズ、印刷の向きなどを設定します。詳しい操作については、「印刷設定」の「同時プリント」（→ P. 6-18）で説明します。
 - ・ この操作は、変更がない限り、最初の1回にのみ行います。

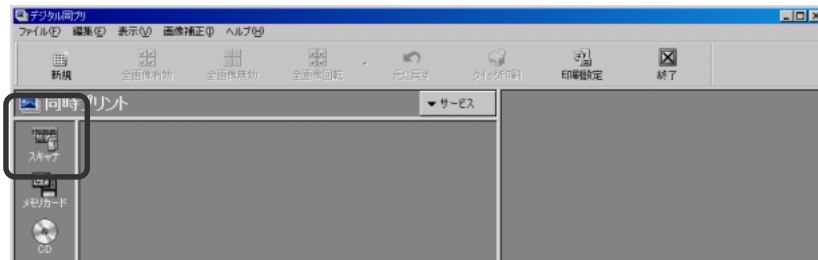


- 2 ツールバーのすぐ下の [サービス] プルダウンメニューから、[同時プリント] を選択します。



[▼サービス] をクリックして、
[同時プリント] を選択します

3 画面左端に表示されている [スキャナ] [メモリカード] [CD] などのボタンをクリックして入力装置を選択し、画像を読み込みます。



メモ

- ・ [スキャナ] [メモリカード] [CD] などのボタンはお使いのシステムに合わせて自由に設定することができます。この操作については、「第3章 サービス共通の操作2 - 画像入力」(→ P. 3-1) で説明します。
- ・ 読み込まれた画像は、画像一覧に表示されます。
- ・ 手順3の操作を繰り返して、画像を追加していくこともできます。画像入力の操作に関しては、「第3章 サービス共通の操作2 - 画像入力」(→ P. 3-1) で説明します。

画像一覧



4 画像を切り替えて、プレビューエリアで画像を確認します。

- ・ 画像一覧の中で画像をダブルクリックすると、右側のプレビューエリアに画像が拡大表示されます。別の画像を確認したいときは、その画像をダブルクリックして切り替えます。



[拡大] ボタンと [縮小] ボタン

スクロールバー



メモ

- ・プレビューエリアの下の (拡大) ボタンをクリックすると、プレビューエリアの画像がさらに拡大されて表示されます。このとき、プレビューエリアの右側と下側にスクロールバーが表示されます。このスクロールバーを使って、表示範囲を変更することができます。
- ・画像を縮小表示するときは、 (縮小) ボタンをクリックします。

5

印刷の対象となる画像を指定します。

- ・画像の右下隅の□にチェックマークが付いている画像が、すべて印刷されます。チェックマークをクリックしてマークを外すと、画像の枠が暗い灰色に変わります。この状態の画像は印刷の対象から除外されます。



6

印刷を実行します。

- ・[ファイル] メニューから [印刷] を選択すると、[印刷] 画面が表示されます。この画面で設定や印刷プレビューを確認し、[印刷] ボタンをクリックします。[印刷] 画面については、「印刷」(→ P. 6-16) で説明します。



7 デジタル同プリの作業を終了します。

デジタル同プリを単独で起動した場合：

- ・ [ファイル] メニューから [終了] を選択 (またはツールバーの [終了] ボタンをクリック) すると、デジタル同プリのサービスは終了します。

オーダーマネージャからデジタル同プリを起動した場合：

- ・ 印刷が終了するとデジタル同プリのサービスは自動的に終了します。このとき、画面は自動的に閉じられます。



メモ

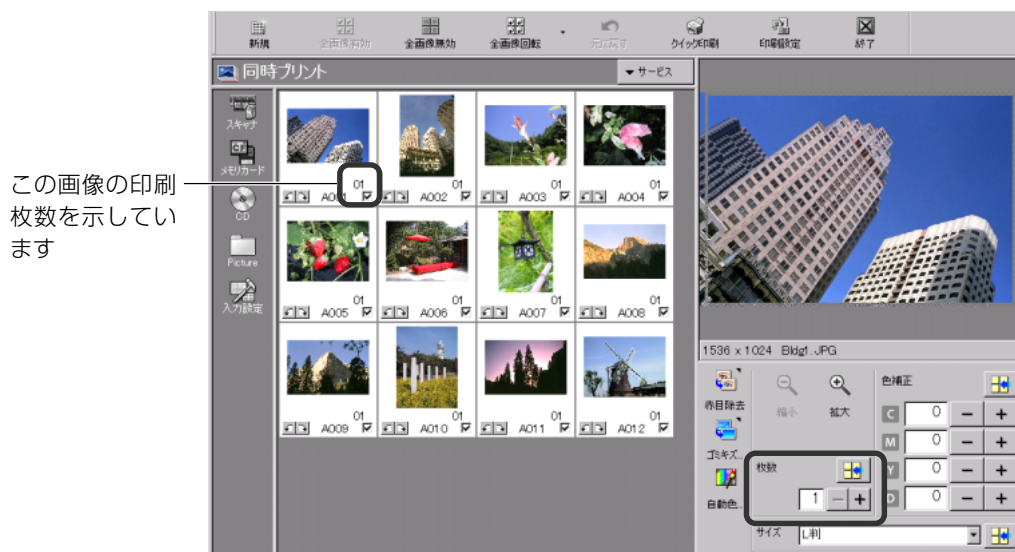
- ・ [ファイル] メニューから [クイック印刷] を選択 (またはツールバーの [クイック印刷] ボタンをクリック) すると、[印刷] 画面が表示されずに、すぐに印刷が実行されます。
- ・ 初期設定値では、プリントとインデックスプリントと一緒に印刷される設定になっています。プリント時にインデックスプリントを印刷しないように設定することもできます。この設定については、「印刷設定」(→ P.6-18) で説明します。
- ・ 画像にDPOFデータが含まれている場合には、同時プリントを行うと「日付」「画像番号」「コメント」などが画像上に印刷されます。DPOFについては、「DPOF オーダーデータがある場合」(→ P.3-14) で説明します。
- ・ 同時プリントの場合、画像の α チャンネルは無視されます。

同時プリント – 応用操作

同時プリントでは、画像それぞれに対して個別に印刷範囲を指定したり、印刷枚数を指定したり、画像補正を行うことができます。

枚数の指定

画像を選択した後、「枚数」の「-」と「+」ボタンをクリックして、印刷枚数を指定します。枚数を指定すると、画像一覧の画像に表示されている枚数も変わります。最大99枚まで指定できます。



メモ

- ・画像にDPOFデータが含まれている場合は、DPOFデータの印刷枚数が画像一覧の印刷枚数に反映されます。DPOFについては、「DPOFオーダーデータがある場合」(→ P.3-14)で説明します。

サイズの指定

画像をどのサイズで印刷するかを、画像ごとに設定することができます。例えば、印刷設定の「サイズ」(→ P.6-18)で「L判」に設定していても、ここで「2L判」を選択すると、指定した画像のみが2L判サイズで印刷されます。指定するときは、「サイズ」の「▼」をクリックして、サイズを選択します。



印刷範囲の指定

■ 印刷範囲を示す枠

プレビューエリアに表示されている画像には、灰色の枠が表示されています。これが印刷範囲です。この印刷範囲の大きさや位置を変更することができます。



大きさの変更： マウスポインタを枠の辺や角に合わせると、形状が矢印に変わります。そのまま矢印の方向へドラッグすることで、印刷範囲の大きさを変更することができます。このとき、縦横の比率は固定されていて、変更することはできません。

印刷範囲の移動： マウスポインタを枠内に合わせると、形状が十字に変わります。そのままドラッグすることで、印刷範囲の位置を移動することができます。



メモ

・印刷設定の [スケール] で [フィル] 以外が設定されているときや (→ P. 6-19)、 [サービス] プルダウンメニューで [インデックス] が選択されているときは、印刷範囲を示す灰色の枠のサイズを変更することはできません。

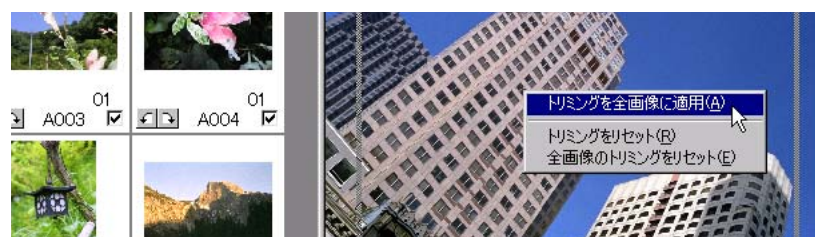
■ コンテキストメニュー

プレビューエリアの画像を右クリックすると次のようなメニューが表示され、印刷範囲 (トリミング) の設定をすることができます。

トリミングを全画像に適用： プレビューエリアで指定した印刷範囲を、選択しているすべての画像に適用します。(同じ画像サイズ、同じ用紙サイズの画像にのみ適用されます。)

トリミングをリセット： プレビューエリアに表示されている画像の印刷範囲のみをリセットします。

全画像のトリミングをリセット： 選択しているすべての画像に指定されている印刷範囲をリセットします。



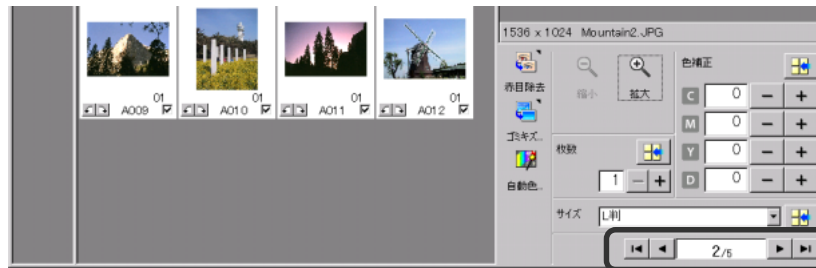
画像補正、全画像補正

画像それぞれに対して個別に画像を補正したり、すべての画像に対して同じ補正をすることもできます。また、画像の向きを変更することもできます。この操作については、「第4章 サービス共通の操作3 - 画像補正」(→ P. 4-1)で説明します。

複数の画像を選択しているときの操作

■ 画像の切り替え

複数の画像を選択している場合には、画面右下隅に「2/5」のような数字が表示されます。後ろの数字が現在選択されている画像の総数、前の数字が現在設定の対象となっている画像が「総数の何枚目にあたるか」を示しています。この数字の左右のボタンをクリックすることで、設定の対象となる画像を選択することができます。



■ 【色補正を全画像に適用】 ボタン

任意の1枚の画像でCMYDの[-][+]ボタンを使って画像補正を行った後、【色補正を全画像に適用】ボタンをクリックすると、選択されている全部の画像に対して、同一のCMYDの設定が適用されます。

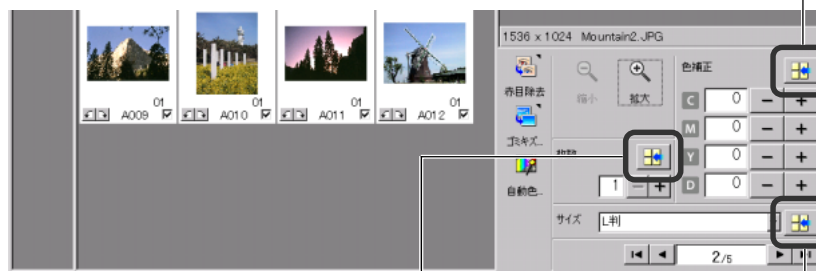
■ 【枚数を全画像に適用】 ボタン

任意の1枚の画像で印刷枚数の指定を行った後、【枚数を全画像に適用】ボタンをクリックすると、選択されている全部の画像に対して、同一の設定が適用されます。

■ 【サイズを全画像に適用】 ボタン

任意の1枚の画像でサイズの指定を行った後、【サイズを全画像に適用】ボタンをクリックすると、選択されている全部の画像に対して、同一の設定が適用されます。

【色補正を全画像に適用】 ボタン



【枚数を全画像に適用】 ボタン

【サイズを全画像に適用】 ボタン

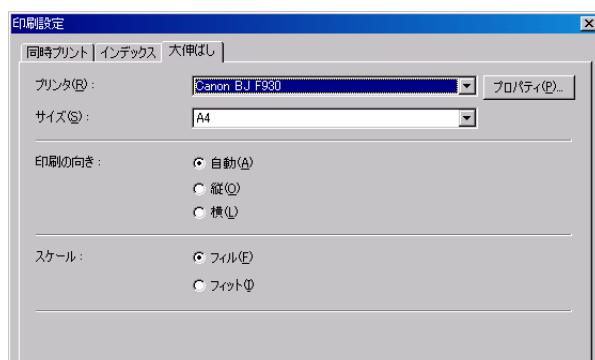
大伸ばし

画像を任意のサイズに大きく引き伸ばして印刷します。

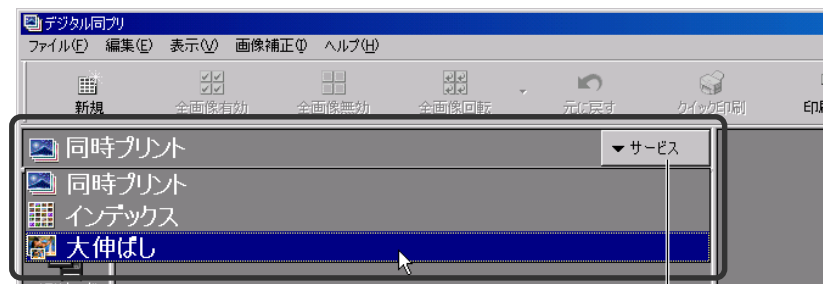
大伸ばしの操作の流れ

大伸ばしは、次のような流れで操作します。操作の手順は、同時プリントとほとんど同じです。

- 1 はじめてデジタル同プリを使うときは、最初に印刷の設定をします。
 - ・ [ファイル] メニューから [印刷設定] を選択（またはツールバーの [印刷設定] ボタンをクリック）すると、次のような画面が表示されます。この画面で、[同時プリント] [インデックス] [大伸ばし] のサービスごとに、使用するプリンタや用紙サイズ、印刷の向きなどを設定します。詳しい操作については、「印刷設定」の「大伸ばし」（→ P. 6-21）で説明します。
 - ・ この操作は、変更がない限り、最初の1回にのみ行います。



- 2 ツールバーのすぐ下の [サービス] プルダウンメニューから、[大伸ばし] を選択します。



[▼サービス] をクリックして、
[大伸ばし] を選択します

- 3 画面左端に表示されている [スキャナ] [メモリカード] [CD] などのボタンをクリックして入力装置を選択し、画像を読み込みます。
 - ・ 画像を読み込む方法は、同時プリントの場合と同じです。（→ P. 6-6）

- 4 画像をダブルクリックして切り替え、必要に応じて、プレビューエリアで画像を確認します。
- 5 印刷の対象となる画像を指定します。
 - ・画像の右下隅の□にチェックマークが付いている画像が、すべて印刷されます。チェックマークをクリックしてチェックマークを外すと、画像の枠が暗い灰色に変わります。この状態の画像は印刷の対象から除外されます。
- 6 必要に応じて、印刷範囲を指定します。
 - ・この操作に関しては、「印刷範囲の指定」(→ P. 6-10) で説明します。
- 7 必要に応じて、画像の色合いや向きなどを補正します。
 - ・この操作に関しては、「第4章 サービス共通の操作3 - 画像補正」(→ P. 4-1) で説明します。
- 8 必要に応じて、サイズを指定します。
 - ・この操作に関しては、「サイズの指定」(→ P. 6-9) で説明します。
- 9 「枚数」の「[-]」と「[+]」ボタンをクリックして、印刷の枚数を指定します。
 - ・この操作に関しては、「枚数の指定」(→ P. 6-9) で説明します。
- 10 印刷を実行します。
 - ・[ファイル]メニューから[印刷]を選択すると、[印刷]画面が表示されます。この画面で設定や印刷プレビューなどを確認し、[印刷]ボタンをクリックします。[印刷]画面については、「印刷」(→ P. 6-16) で説明します。
- 11 デジタル同プリの作業を終了します。

デジタル同プリを単独で起動した場合：

 - ・[ファイル]メニューから[終了]を選択(またはツールバーの[終了]ボタンをクリック)すると、デジタル同プリのサービスは終了します。

オーダーマネージャからデジタル同プリを起動した場合：

 - ・印刷が終了するとデジタル同プリのサービスは自動的に終了します。このとき、画面は自動的に閉じられます。



メモ

- ・[ファイル]メニューから[クイック印刷]を選択(またはツールバーの[クイック印刷]ボタンをクリック)すると、[印刷]画面が表示されずに、すぐに印刷が実行されます。

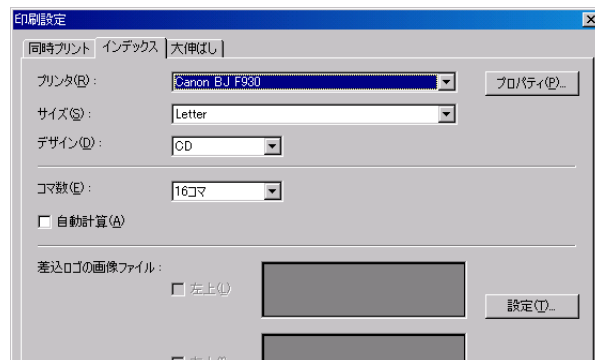
インデックス

サムネイル（縮小した画像）を用紙に並べて印刷します。

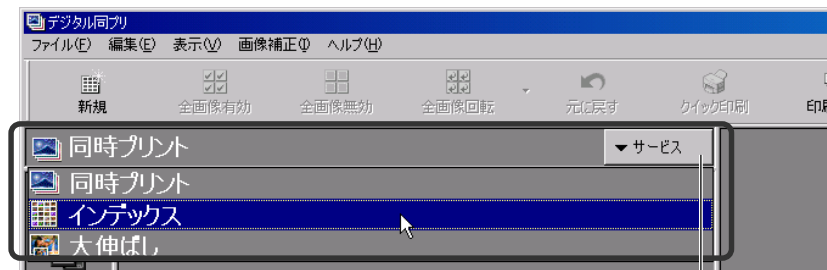
インデックスの操作の流れ

インデックスは、次のような流れで操作します。

- 1 はじめてデジタル同プリを使うときは、最初に印刷の設定をします。
 - ・ [ファイル] メニューから [印刷設定] を選択（またはツールバーの [印刷設定] ボタンをクリック）すると、次のような画面が表示されます。この画面で、[同時プリント] [インデックス] [大伸ばし] のサービスごとに、使用するプリンタや用紙サイズ、印刷の向きなどを設定します。詳しい操作については、「印刷設定」の「インデックス」（→ P. 6-20）で説明します。
 - ・ この操作は、変更がない限り、最初の1回にのみ行います。



- 2 ツールバーのすぐ下の [サービス] プルダウンメニューから、[インデックス] を選択します。



[▼サービス] をクリックして、
[インデックス] を選択します

- 3 画面左端に表示されている [スキャナ] [メモリカード] [CD] などのボタンをクリックして入力装置を選択し、画像を読み込みます。
 - ・ 画像を読み込む方法は、同時プリントの場合と同じです。（→ P. 6-6）

- 4** 印刷の対象となる画像を指定します。
 - ・画像の右下隅の□にチェックマークが付いている画像が、すべて印刷されます。チェックマークをクリックしてマークを外すと、画像の枠が暗い灰色に変わります。この状態の画像は印刷の対象から除外されます。
- 5** 必要に応じて、画像の向きなどを補正します。
- 6** 印刷を実行します。
 - ・[ファイル]メニューから[印刷]を選択すると、[印刷]画面が表示されます。この画面で設定や印刷プレビューなどを確認し、[印刷]ボタンをクリックします。[印刷]画面については、「印刷」(→ P. 6-16)で説明します。
- 7** デジタル同プリの作業を終了します。

デジタル同プリを単独で起動した場合：

 - ・[ファイル]メニューから[終了]を選択(またはツールバーの[終了]ボタンをクリック)すると、デジタル同プリのサービスは終了します。

オーダーマネージャからデジタル同プリを起動した場合：

 - ・印刷が終了するとデジタル同プリのサービスは自動的に終了します。このとき、画面は自動的に閉じられます。



メモ

- ・[ファイル]メニューから[クイック印刷]を選択(またはツールバーの[クイック印刷]ボタンをクリック)すると、[印刷]画面が表示されずに、すぐに印刷が実行されます。
- ・インデックスの場合には、必要に応じて画像補正を行うこともできます。ただし、印刷範囲を修正することはできません。画像補正については、「第4章 サービス共通の操作3 - 画像補正」(→ P. 4-1)で説明します。

印刷

[ファイル] メニューから [印刷] を選択すると、次のような画面が表示されます。この画面で使用するプリンタや用紙サイズなどを確認した後、[印刷] ボタンをクリックして印刷を実行します。

同時プリントの場合は、[同時プリント] [インデックス] の各タブをクリックして項目を切り替えます。

同時プリントの例



■ 共通設定

「印刷設定」(→ P. 6-18) で設定した、全画像に共通する情報が表示されます。

「同時プリント」のときには、[インデックスも同時プリント] の項目が表示されます。この項目にチェックマークが付いている場合は、同時プリントと同時にインデックスプリントも印刷されます。チェックマークが外れている場合は、インデックスプリントは印刷されません。このとき、[インデックス] タブは表示されなくなります。

■ 個別設定

画像ごとに設定した「サイズ」と「枚数」が表示されます。プレビューで画像を切り替えると、画像ごとの設定に切り替わります。

この項目は、「インデックス」のときには表示されません。

■ プレビュー

印刷イメージが表示されます。

印刷イメージの下に「2/5」のような数字が表示されます。後ろの数字が現在プレビューに表示されているページの総数、前の数字がプレビューに表示されているページが「総数の何枚目にあたるか」を示しています。この数字の左右のボタンをクリックすることで、対象となるページを選択することができます。

■ [一時的印刷設定] ボタン

「印刷設定」(→ P. 6-18)の画面が表示され、使用するプリンタや用紙サイズなどを一時的に変更することができます。(通常はサイズをL判サイズに設定しておいて、[一時的印刷設定] ボタンを使って一時的にサイズを2L判に変更して印刷するという使い方ができます。)

■ [印刷] ボタン

印刷を開始します。

■ [キャンセル] ボタン

印刷の画面を閉じます。



メモ

- ・プレビューには、プリンタドライバで行った設定は反映されません。最終的な印刷イメージを確認したい場合は、プリンタドライバの持つ印刷プレビュー機能で確認してください。プリンタドライバの印刷プレビュー機能については、プリンタの説明書をご覧ください。
- ・一時的印刷設定で設定を変更した場合、画像ごとに設定したサイズや印刷範囲(トリミング)は初期値に戻ります。

印刷設定

[ファイル] メニューから [印刷設定] を選択 (またはツールバーの [印刷設定] ボタンをクリック) すると、印刷設定の画面が表示されます。同時プリント、インデックス、大伸ばしで印刷を行う前に、あらかじめ使用するプリンタや用紙サイズ、印刷の向きなどをこの画面で設定しておきます。ここで設定した内容が、画面上の初期値として表示されます。

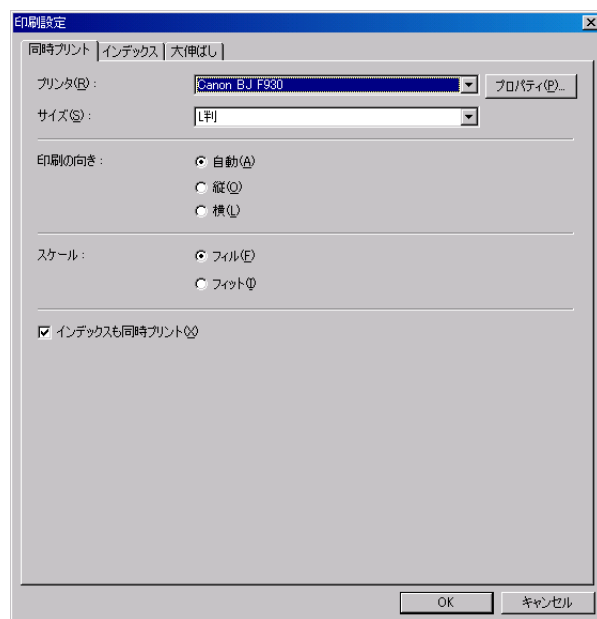
[同時プリント] [インデックス] [大伸ばし] の各タブをクリックして設定する項目を切り替えます。



お願い

- ・ Windows 98 の Canon BJ ドライバをご使用の場合には、プリンタドライバの拡大縮小機能を利用するときに、必ず、プリンタのプロパティの用紙サイズと印刷画像の用紙サイズを一致させておいてください。

同時プリント



■ プリンタ

[同時プリント] [インデックス] [大伸ばし] の各サービスごとに、使用するプリンタを指定することができます。ここでは、同時プリントするときのプリンタを指定します。

Digital Photo Expert をインストールした直後の状態では、「通常使うプリンタ」に指定されているプリンタが選択されています。

■ サイズ

プリンタの用紙サイズを設定します。ここで設定したサイズが、同時プリントの画面に表示される「サイズ」の初期値になります。

Digital Photo Expertをインストールした直後の状態では、通常使うプリンタで選択可能な先頭の用紙名が設定されています。

■ 印刷の向き

印刷の向きを [自動] にするか [縦] にするか [横] にするかを設定します。

■ スケール

用紙と画像の縦横比が異なるときに、画像をどのように印刷するかを選択します。

[フィル] 用紙の印刷可能範囲いっぱいに、画像を印刷します。このとき、画像の縦横比は用紙に合わせて変わります。

[フィット] 用紙の印刷可能範囲内に、画像のすべてを印刷します。このとき、画像の縦横比は変わりません。

■ インデックスも同時プリント

この項目にチェックマークを付けると、同時プリントの終了後に、インデックスプリントの印刷を行います。

■ [キャンセル] ボタン

印刷設定の画面を閉じます。

■ [OK] ボタン

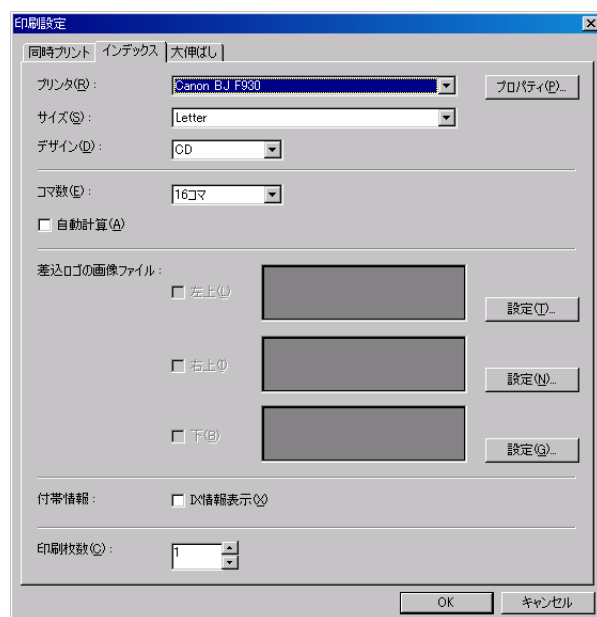
印刷設定の画面で変更した設定を初期値とします。画像ごとに設定したサイズや印刷範囲（トリミング）は初期値に戻ります。



メモ

・「スケール」で [フィット] を選択した場合には、プレビューエリアで印刷範囲の指定はできません。(→ P.6-10)

インデックス



■ プリンタ

[同時プリント] [インデックス] [大伸ばし] の各サービスごとに、使用するプリンタを指定することができます。ここでは、インデックスプリントするときのプリンタを指定します。

Digital Photo Expert をインストールした直後の状態では、「通常使うプリンタ」に指定されているプリンタが選択されています。

■ サイズ

プリンタの用紙サイズを設定します。

Digital Photo Expert をインストールした直後の状態では、通常使うプリンタで選択可能な先頭の用紙名が設定されています。

■ デザイン

用紙上のレイアウトサイズを設定します。

■ コマ数

インデックスプリントのコマ数を選択します。

[自動計算] にチェックマークを付けると、サイズやデザインの設定値を元に自動計算されたコマ数が指定されます。

■ 差込ロゴの画像ファイル

インデックスプリントにロゴの画像ファイルを付ける場合の、ロゴの位置と画像ファイルを設定します。

ロゴを付ける位置を「左上」[右上] [下] のなかから選択し、右側の「設定」ボタンをクリックして画像ファイルを選択します。指定した位置の□にチェックマークが付き、ロゴのイメージが表示されます。

差込ロゴを解除するときは、「左上」[右上] [下] の□のチェックマークをはずします。



ロゴのイメージ

ロゴの画像ファイルを作成するときの形式やサイズなどについては、「インデックスのロゴ」(→ P.12-16) で説明します。

■ 付帯情報

[IX 情報表示] にチェックマークを付けると、画像ファイルがAPSフィルムの情報を持っている場合に限り、日付などの情報を印刷します。

■ 印刷枚数

インデックスプリントの印刷枚数を設定します。

■ [キャンセル] ボタン

印刷設定の画面を閉じます。

■ [OK] ボタン

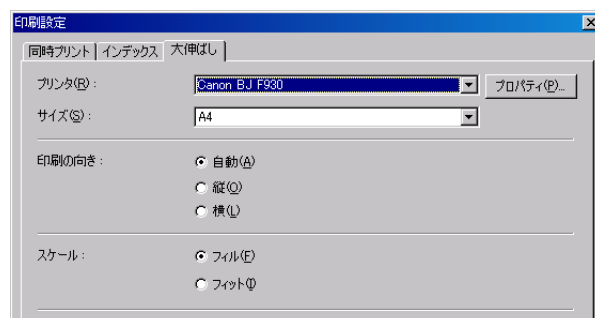
印刷設定の画面で変更した設定を初期値とします。



メモ

- ・印刷対象となる画像に複数のカートリッジIDが存在する場合や、カートリッジIDの情報の取得に失敗した場合、IX情報は印刷されません。
- ・複数のカートリッジIDが存在する場合は、同一カートリッジIDを持つ画像のみを選択してIX情報を印刷してください。

大伸ばし



■ プリンタ

[同時プリント] [インデックス] [大伸ばし] の各サービスごとに、使用するプリンタを指定することができます。ここでは、大伸ばしするときのプリンタを指定します。

Digital Photo Expertをインストールした直後の状態では、「通常使うプリンタ」に指定されているプリンタが選択されています。

■ サイズ

プリンタの用紙サイズを設定します。ここで設定したサイズが、大伸ばしの画面に表示される「サイズ」の初期値になります。

Digital Photo Expertをインストールした直後の状態では、通常使うプリンタで選択可能な先頭の用紙名が設定されています。

■ 印刷の向き

印刷の向きを [自動] にするか [縦] にするか [横] にするかを設定します。

■ スケール

用紙と画像の縦横比が異なるときに、画像をどのように印刷するかを選択します。

[フィル] 用紙の印刷可能範囲いっぱいに、画像を印刷します。このとき、画像の縦横比は用紙に合わせて変わります。

[フィット] 用紙の印刷可能範囲内に、画像のすべてを印刷します。このとき、画像の縦横比は変わりません。

■ [キャンセル] ボタン

印刷設定の画面を閉じます。

■ [OK] ボタン

印刷設定の画面で変更した設定を初期値とします。画像ごとに設定したサイズや印刷範囲（トリミング）は初期値に戻ります。



メモ

・「スケール」で [フィット] を選択した場合には、プレビューエリアで印刷範囲の指定はできません。(→ P.6-10)

第7章

デジタル出力

この章では、デジタル出力の使い方について説明します。

デジタル出力について

デジタル出力は、スキャナで読み込んだ画像やデジタルカメラのメモリカードから読み込んだ画像、ディスク内に保存してある画像などを、各種メディア（CD-R/RW ディスクやMO ディスクなど）に出力します（書き込みます）。



お願い

- ・ Windows XP で画像データを CD-R/RW ディスクへ書き込む場合は、「コンピュータの管理者」の権限でログオンしてから行ってください。
- ・ Windows 2000 で画像データを CD-R/RW ディスクへ書き込む場合は、「Administrator」の権限でログオンしてから行ってください。
- ・ Digital Photo Expert 以外の CD 書き込みソフトがすでにインストールされていると、画像データを CD-R/RW ディスクへ書き込む際に不具合が発生する可能性があります。不具合が発生した場合は、巻末の「お客様ご相談窓口」までお問い合わせください。



メモ

- ・ デジタル出力は、単独で起動することも、オーダーマネージャから起動することもできます。単独での起動については「サービス単独の起動と終了」（→ P. 2-3）で、オーダーマネージャからの起動については「オーダーマネージャからのサービスの起動と終了」（→ P. 5-8）で説明します。

2 種類の出力方法

デジタル出力には、次の2種類の出力方法があります。

■ シンプル出力

画像データを各種メディアに書き込みます。単に画像データのファイルを書き込むだけで、ビューアアプリ（画像データを表示するためのソフトウェア）などの書き込みはしません。

書き込めるメディア

- ・ PC カードリーダーにセットされているメモリカード
- ・ CD-R ディスク
- ・ CD-RW ディスク
- ・ フロッピーディスク
- ・ MO ディスク
- ・ Zip ディスク
- ・ ハードディスク

■ QuickCD 出力

画像データをCD-R/RWディスクに書き込みます。画像データを書き込むときに、ビューアアプリ（画像データを表示するためのソフトウェア）やTIFF形式の画像データ、HTML形式のデータなどを一緒に書き込むこともできます。

書き込めるメディア

- ・ CD-R ディスク
- ・ CD-RW ディスク



メモ

- ・ シンプル出力の場合には、一度書き込みをしたCD-R/RWディスクに、さらに追加で画像データを書き込むことができます。ただし、削除はできません。
- ・ QuickCD出力の場合には、一度書き込みをしたCD-R/RWディスクに、さらに追加で画像データを書き込むことはできません。何も書き込んでいないブランクのディスクにのみ書き込みができます。
- ・ QuickCD出力では、「シンプル出力設定」の「速度」で設定した速度で書き込みを行います。シンプル出力設定で高速度を設定している場合、高速書き込みに対応していないCD-R/RWディスクを使用すると、書き込みが正しく行われない場合がありますのでご注意ください。
- ・ デジタル出力では、画像の a チャンネルは無視されます。

CD-R/RW ドライブについて

画像データをCD-R/RWディスクに書き込むには、別途CD-R/RWドライブが必要です。

■ 使用できる CD-R/RW ドライブの規格

Digital Photo Expert は、SCSI と ATAPI 接続の CD-R/RW ドライブのみに対応しています。USB や IEEE1394 接続の CD-R/RW ドライブでは、画像データを書き込めません。

■ バッファアンダーラン防止機能について

CD-R/RW ディスクへデータを書き込むときに、バッファアンダーランという書き込みエラーが発生することがあります。そのエラーを防ぐには、バッファアンダーランを防止する機能の付いた CD-R/RW ドライブのご使用をお勧めします。特に、QuickCD 出力を行うときや、スキャナから画像をスキャンする操作と CD-R/RW ディスクへの書き込みの操作を並行して行うときは、必ずバッファアンダーラン防止機能付きの CD-R/RW ドライブをご使用ください。

■ 使用できる CD-R/RW ドライブの台数

データの書き込みに使用できる CD-R/RW ドライブは1台だけです。複数の CD-R/RW ドライブが接続されている場合は、最初に認識されたドライブだけに書き込みが行えます。

デジタル出力の画面

デジタル出力では、次のような画面の各機能を使って、画像データを各種メディアに出力します（書き込みます）。



■ ツールバー

ツールバーには、メニューの中から比較的よく使う機能が集められています。

■ 画像入力バー

ここに表示されているボタンをクリックして、画像を入力するときの入力装置（スキャナ、メモリーカード、CDなど）を選択します。

■ 画像一覧

入力された画像が表示されます。

■ プレビューエリア

選択中の画像が拡大表示されます。

画像の下には、画像サイズが表示されます。また、プレビューエリアに表示されている画像の入力元がファイルの場合は、ファイル名が表示されます。

■ 画像補正ツールバー

画像を補正するときの機能が集められています。

■ 補正指定エリア

画像補正のためのボタンが表示されているエリアです。



メモ

- ・ツールバーや画像補正ツールバーに表示される項目は、使いやすいように変更することができます。この操作については、「ツールバーのカスタマイズ」（→ P. 2-9）で説明します。

表示の切り替え

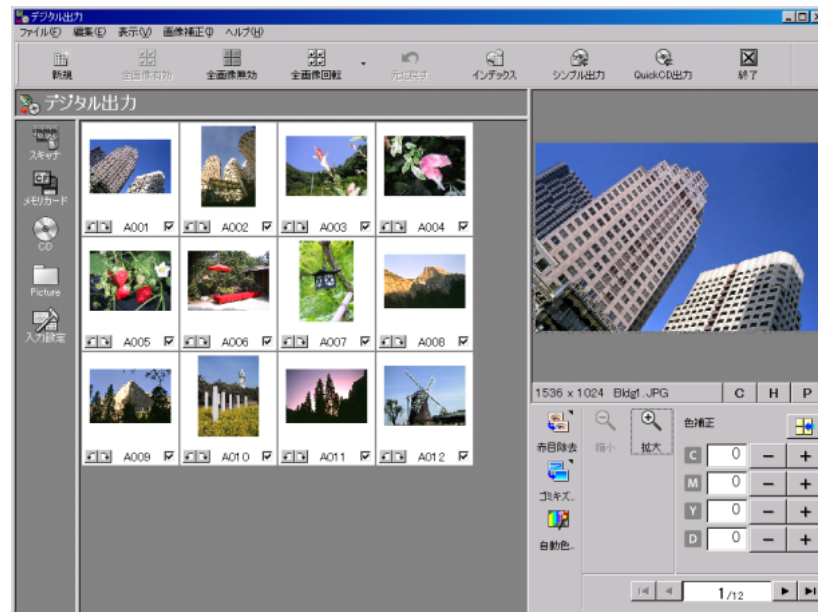
画像を入力した直後は、次のような画面が表示されます。
この表示の場合には、全体の画像を一度に確認できて便利です。



画像入力バー

画像一覧

画像一覧のいずれかの画像をダブルクリックすると、次のような画面に変わります。この画面の右側の部分を使って、画像の補正や出力範囲の指定を行います。これらの操作については、「応用操作」(→ P. 7-14)で説明します。



メモ

- ・[表示]メニューの[プレビューペイン]を選択することでも表示を変更できます。もう一度[表示]メニューの[プレビューペイン]を選択すると、元の表示に戻ります。

基本操作 – シンプル出力

デジタル出力の「シンプル出力」を使って、画像一覧に入力した画像を各種メディアに出力します。

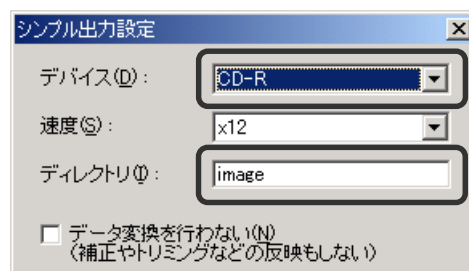
シンプル出力の操作の流れ

シンプル出力は、次のような流れで操作します。

- 1 出力デバイス設定で、出力先のドライブを登録します。
 - ・ [ファイル] メニューから [出力デバイス設定] を選択し、[追加] ボタンをクリックして、使用するドライブを登録します。詳しい操作については、「出力デバイスの設定」(→ P. 7-16) で説明します。
 - ・ この操作は、変更がない限り、最初の1回にのみ行います。



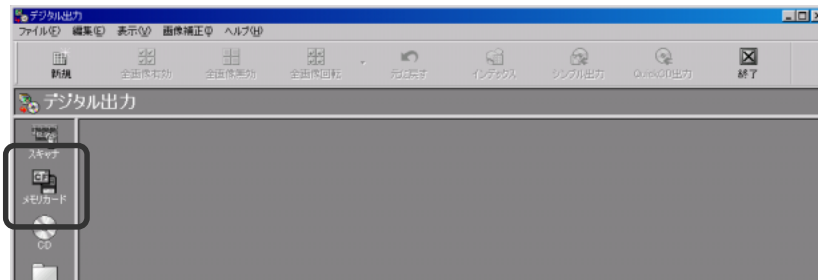
- 2 シンプル出力設定で、出力先のドライブとディレクトリを設定します。
 - ・ [ファイル] メニューから [シンプル出力設定] を選択し、「デバイス」には使用するドライブを、「ディレクトリ」には画像データを書き込むディレクトリを設定します。ここで設定したドライブとディレクトリに、画像が書き込まれます。詳しい操作については、「シンプル出力に関する設定」(→ P. 7-17) で説明します。



お願い

- ・ 手順1でドライブを登録しないと、手順2の「デバイス」で使用するドライブを設定できません。必ず、手順1の操作を行ってから、手順2を行ってください。

- 3** 画面左端に表示されている [スキャナ] [メモ리카ード] [CD] などのボタンをクリックして入力装置を選択し、画像を読み込みます。



メモ

- ・ [スキャナ] [メモ리카ード] [CD] などのボタンはお使いのシステムに合わせて自由に設定することができます。この操作については、「第3章 サービス共通の操作2 - 画像入力」(→ P. 3-1) で説明します。
- ・ 読み込まれた画像は、画像一覧に表示されます。
- ・ 手順3の操作を繰り返して、画像を追加していくこともできます。画像入力の操作に関しては、「第3章 サービス共通の操作2 - 画像入力」(→ P. 3-1) で説明します。

画像一覧



- 4** 画像一覧の中の画像をダブルクリックします。

- ・ 次のような画面に変わり、プレビューエリアに選択中の画像が拡大表示されます。

プレビューエリア



- 5** 画像をダブルクリックして切り替え、必要に応じて、プレビューエリアで画像を確認します。



[拡大] ボタンと [縮小] ボタン スクロールバー

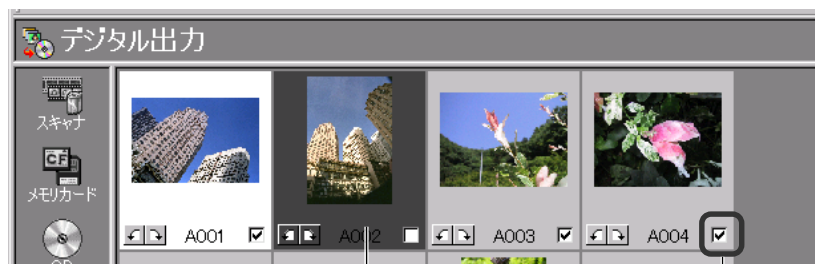


メモ

- ・プレビューエリアの下の (拡大) ボタンをクリックすると、プレビューエリアの画像がさらに拡大されて表示されます。このとき、プレビューエリアの右側と下側にスクロールバーが表示されます。このスクロールバーを使って、表示範囲を変更することができます。
- ・画像を縮小表示するときは、 (縮小) ボタンをクリックします。

- 6** 出力の対象となる画像を指定します。

- ・画像の右下隅の□にチェックマークが付いている画像が、すべて出力されます。チェックマークをクリックしてマークを外すと、画像の枠が暗い灰色に変わります。この状態の画像は出力の対象から除外されます。



出力対象外の画像

チェックマーク

- 7** CD-R/RW ディスクや MO ディスクなどをドライブにセットします。



お願い

- ・セットしたディスクに、画像を出力するのに十分な容量が空いていることをあらかじめ確認しておいてください。
- ・MO ディスクやフロッピーディスクなどは、あらかじめフォーマットを行い、書き込める状態にしておいてください。

8 画像を出力します。

- ・ [ファイル] メニューから [シンプル出力] を選択 (またはツールバーの [シンプル出力] ボタンをクリック) します。
- ・ 「データの準備中」という画面が表示された後、画像出力が実行されます。このとき、次のような画面が表示されます。また、画像出力の実行とともに、インデックスプリントが印刷されます。



- ・ CD-R/RW ディスクの場合は、画像出力が終了すると、ドライブからディスクが排出されます。



メモ

- ・ [キャンセル] ボタンをクリックすると、書き込みの作業を中止することができます。ただし、CD-R/RW ディスクへの書き込みのときは、キャンセルできません。
- ・ 画像出力時にインデックスプリントを印刷しないように設定することもできます。この設定については、「シンプル出力に関する設定」 (→ P. 7-17) で説明します。また、使用するプリンタやインデックスプリントの設定については、「印刷設定」 (→ P. 7-22) で説明します。



お願い

- ・ 画像をディスクに出力できない場合は、エラーメッセージが表示されます。このような場合は、「エラーメッセージが表示されたら」の「デジタル出力」 (→ P. 11-15) をよく読んで処理を選び、作業を進めてください。

9 CD-R/RW ディスクや MO ディスクなどをドライブから取り出します。

10 デジタル出力の作業を終了します。

デジタル出力を単独で起動した場合:

- ・ [ファイル] メニューから [終了] を選択 (またはツールバーの [終了] ボタンをクリック) すると、デジタル出力のサービスは終了します。

オーダーマネージャからデジタル出力を起動した場合:

- ・ 画像出力が終了するとデジタル出力のサービスは自動的に終了します。このとき、画面は自動的に閉じられます。

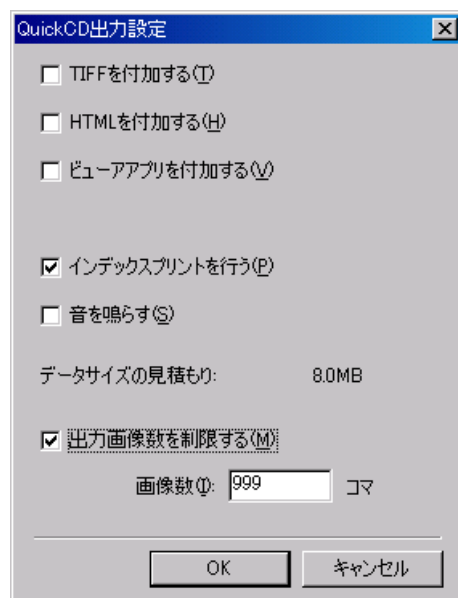
基本操作 - QuickCD 出力

デジタル出力の「QuickCD 出力」を使って、画像一覧に入力した画像を各種メディアに出力します。

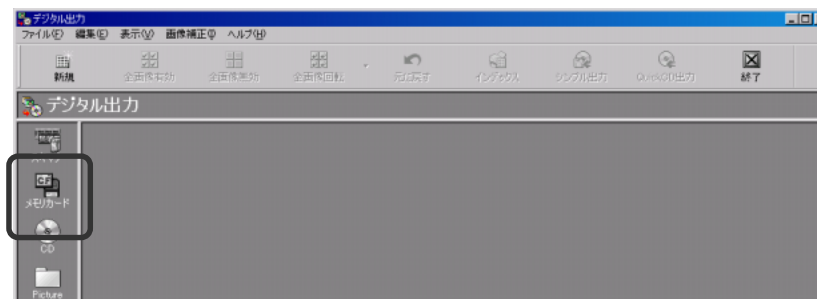
QuickCD 出力の操作の流れ

QuickCD 出力は、次のような流れで操作します。

- 1 QuickCD 出力設定で、出力時の設定を行います。
 - ・ [ファイル] メニューから [QuickCD 出力設定] を選択し、必要に応じて設定を行います。この操作については、「QuickCD に関する設定」(→ P. 7-18) で説明します。



- 2 画面左端に表示されている [スキャナ] [メモ리카ード] [CD] などのボタンをクリックして入力装置を選択し、画像を読み込みます。



メモ

・ [スキャナ] [メモ리카ード] [CD] などのボタンはお使いのシステムに合わせて自由に設定することができます。この操作については、「第3章 サービス共通の操作2 - 画像入力」(→ P. 3-1) で説明します。

- ・読み込まれた画像は、画像一覧に表示されます。
- ・手順2の操作を繰り返して、画像を追加していくこともできます。画像入力の手順に関しては、「第3章 サービス共通の操作2 - 画像入力」(→ P. 3-1)で説明します。

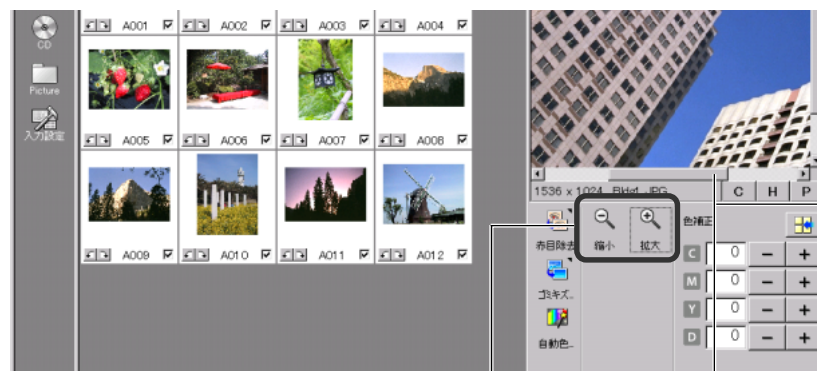


3 画像一覧の中の画像をダブルクリックします。

- ・次のような画面に変わり、プレビューエリアに選択中の画像が拡大表示されます。



4 画像をダブルクリックして切り替え、必要に応じて、プレビューエリアで画像を確認します。



[拡大] ボタンと [縮小] ボタン スクロールバー



メモ

- ・プレビューエリアの下の (拡大) ボタンをクリックすると、プレビューエリアの画像がさらに拡大されて表示されます。このとき、プレビューエリアの右側と下側にスクロールバーが表示されます。このスクロールバーを使って、表示範囲を変更することができます。
- ・画像を縮小表示するときは、 (縮小) ボタンをクリックします。

5

出力の対象となる画像を指定します。

- ・画像の右下隅の□にチェックマークが付いている画像が、すべて出力されます。チェックマークをクリックしてマークを外すと、画像の枠が暗い灰色に変わります。この状態の画像は出力の対象から除外されます。



6

CD-R ディスクまたは CD-RW ディスクをドライブにセットします。



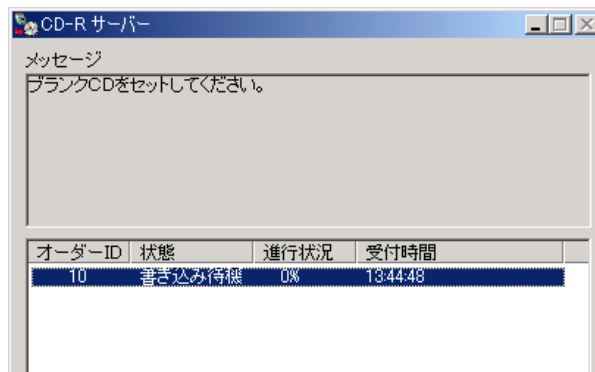
お願い

- ・何も書き込んでいない CD-R/RW ディスクをセットしてください。一度書き込みをした CD-R/RW ディスクに、さらに追加で画像データを書き込むことはできません。

7

画像を出力します。

- ・[ファイル] メニューから [QuickCD 出力] を選択 (またはツールバーの [QuickCD 出力] ボタンをクリック) します。
- ・データの準備が終了すると、CD-R サーバーが起動し、画像出力が実行されます。また、画像出力の実行とともに、インデックスプリントが印刷されます。
- ・画像出力が終了すると、自動的に CD-R サーバーが終了し、CD-R/RW ディスクがドライブから排出されます。





メモ

- ・ CD-Rサーバー上のオーダーを選択し [削除] ボタンをクリックすると、書き込み待機中のオーダーを削除することができます。ただし、書き込み中は削除できません。
- ・ 画像出力時にインデックスプリントを印刷しないように設定することもできます。この設定については、「QuickCD 出力に関する設定」(→ P. 7-18) で説明します。また、使用するプリンタやインデックスプリントの設定については、「印刷設定」(→ P. 7-22) で説明します。



お願い

- ・ 画像をディスクに出力できない場合は、エラーメッセージが表示されます。このような場合は「エラーメッセージが表示されたら」の「デジタル出力」(→ P. 11-15) をよく読んで処理を選び、作業を進めてください。

8 CD-R ディスクまたは CD-RW ディスクをドライブから取り出します。

9 デジタル出力の作業を終了します。

デジタル出力を単独で起動した場合：

- ・ [ファイル] メニューから [終了] を選択 (またはツールバーの [終了] ボタンをクリック) すると、デジタル出力のサービスは終了します。

オーダーマネージャからデジタル出力を起動した場合：

- ・ 画像出力が終了するとデジタル出力のサービスは自動的に終了します。このとき、画面は自動的に閉じられます。

応用操作

デジタル出力では、画像を各種メディアに出力する前に、画像それぞれに対して個別に出力範囲を指定したり、画像補正を行うことができます。

出力範囲の指定

■ 出力範囲を示す枠

プレビューエリアに表示されている画像には、灰色の枠が表示されています。これが出力範囲です。この出力範囲の大きさや位置を変更することができます。



出力範囲を示す灰色の枠

- 大きさの変更： マウスポインタを枠の辺や角に合わせると、形状が矢印に変わります。そのまま矢印の方向へドラッグすることで、出力範囲の大きさを変更することができます。このとき、縦と横の比率は自由に変えられます。
- 出力範囲の移動： マウスポインタを枠内に合わせると、形状が十字に変わります。そのままドラッグすることで、出力範囲の位置を移動することができます。

■ [C] [H] [P] ボタン

プレビューエリアの下の [C] [H] [P] ボタンをクリックすることで、出力範囲の大きさを切り替えることができます。

- [C] Classic サイズ： (縦横比 2:3)
 [H] High Vision サイズ： (縦横比 9:16)
 [P] Panorama サイズ： (縦横比 1:3)



メモ

- 出力範囲を示す枠を移動後に再びCHPボタンを選択すると、出力範囲を示す枠がリセットされます。

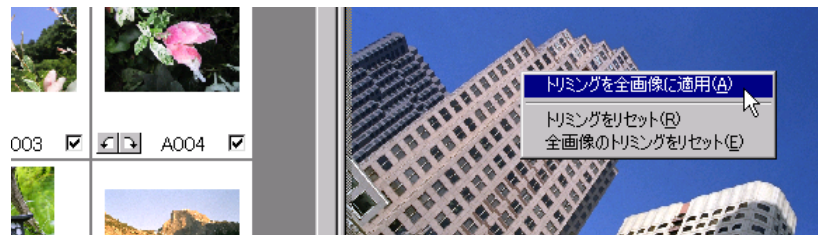
■ コンテキストメニュー

プレビューエリアの画像を右クリックすると次のようなメニューが表示され、出力範囲（トリミング）の設定をすることができます。

トリミングを全画像に適用： プレビューエリアで指定した出力範囲を、選択しているすべての画像に適用します。（同じ画像サイズの画像にのみ適用されます。）

トリミングをリセット： プレビューエリアに表示されている画像の出力範囲のみをリセットします。

全画像のトリミングをリセット： 選択しているすべての画像に指定されている出力範囲をリセットします。



画像補正、全画像補正

画像それぞれに対して個別に画像を補正したり、すべての画像に対して同じ補正をすることもできます。また、画像の向きを変更することもできます。この操作に関しては、「第4章 サービス共通の操作3 - 画像補正」(→ P. 4-1)で説明します。

複数の画像を選択しているときの操作

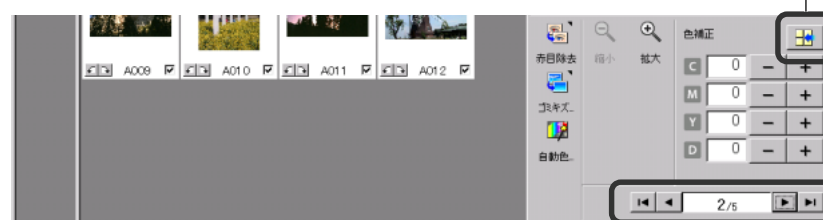
■ 画像の切り替え

複数の画像を選択している場合には、画面右下隅に「2/5」のような数字が表示されます。後ろの数字が現在選択されている画像の総数、前の数字が現在設定の対象となっている画像が「総数の何枚目にあたるか」を示しています。この数字の左右のボタンをクリックすることで、設定の対象となる画像を選択することができます。

■ 【色補正を全画像に適用】 ボタン

任意の1枚の画像で画像補正を行った後、【色補正を全画像に適用】 ボタンをクリックすると、選択されている全部の画像に対して、同一の設定が適用されます。

【色補正を全画像に適用】 ボタン



出力設定

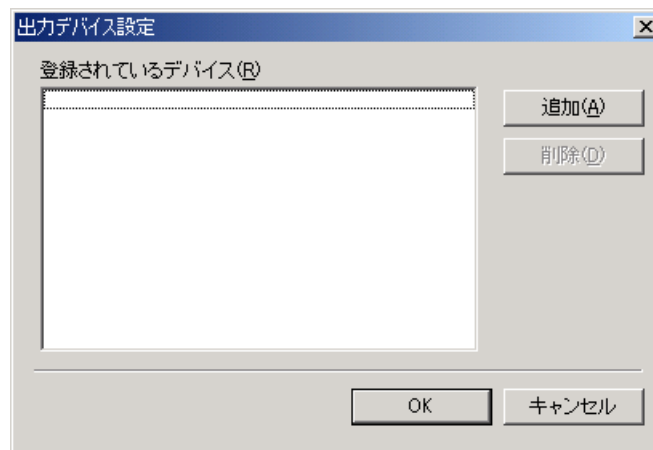
画像を出力する前に、ご使用になる出力先のドライブや、出力時の各種設定を先に行っておく必要があります。

出力デバイスの設定

シンプル出力の際に必要な設定です。

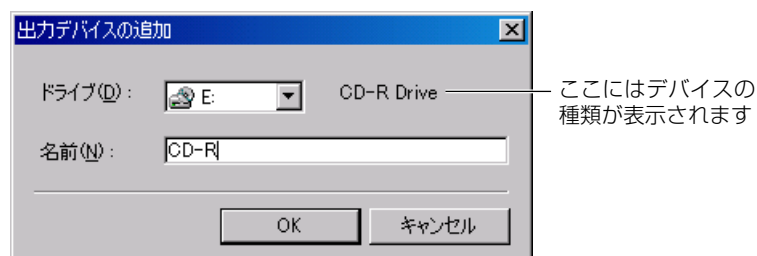
画像データの出力先（CD-R/RW ドライブや MO ドライブなど）を設定します。ここで設定したドライブが、[シンプル出力設定] 画面の「デバイス」一覧に表示されます。（→ P. 7-17）

[ファイル] メニューの [出力デバイス設定] を選択すると、次のような画面が表示されます。この画面で、出力先の追加と削除を行います。



■ 出力デバイスの追加

- ・ [追加] ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されます。「ドライブ」の右側の [▼] をクリックしてドライブを選び、「名前」に名前を入力して [OK] ボタンをクリックします。「名前」には、わかりやすい名前を自由に入力することができます。入力できる文字数は、半角英数字で 20 文字、全角で 10 文字です。



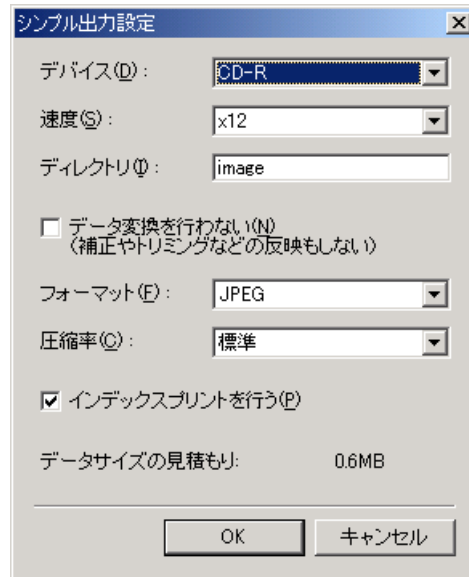
■ 出力デバイスの削除

- ・ 削除する出力デバイスを選択した後、[削除] ボタンをクリックします。

シンプル出力に関する設定

シンプル出力の際に必要な設定です。

[ファイル] メニューの [シンプル出力設定] を選択すると、次のような画面が表示されます。



■ デバイス

画像データの出力先（CD-R/RW ドライブや MO ドライブなど）を選択します。「デバイス」の右側の [▼] をクリックして、「出力デバイスの追加」（→ P.7-16）で登録した名称を選びます。

■ 速度

書き込み速度を指定します。「デバイス」に CD-R/RW ドライブが選択されているときのみ指定できます。書き込み速度については、ご使用の CD-R/RW ドライブの説明書をご覧ください。

■ ディレクトリ

出力先（書き込み先）のディレクトリを指定します。ディレクトリは1階層のみの指定が可能で、「\」のパス区切り文字で階層を指定することはできません。使用できる文字は半角英数字および「_（アンダーバー）」で、8文字まで入力できます。初期設定値は「image」です。

■ データ変換を行わない

[データ変換を行わない] にチェックマークが付いていない場合は、その下の「フォーマット」「圧縮率」で指定されたファイル形式で画像が保存されます。[データ変換を行わない] にチェックマークを付けると、画像入力時と同じファイル形式で画像が保存されます。画像補正や出力範囲（トリミング）の情報は保存されません。

■ フォーマット

画像データを書き込むときのファイル形式を設定します。

[データ変換を行わない] にチェックマークが付いていない場合にのみ設定できます。

■ 圧縮率

画像データを書き込むときの圧縮率を設定します。

[データ変換を行わない] にチェックマークが付いていない場合にのみ設定できます。

■ インデックスプリントを行う

[インデックスプリントを行う] にチェックマークを付けると、出力した画像のインデックスプリントがプリンタで印刷されます。

■ データサイズの見積もり

画像一覧で出力の対象になっている画像の合計データサイズが表示されます。ここに表示される数値はあくまでも見積もりサイズで、実際のサイズとは完全に一致しません。



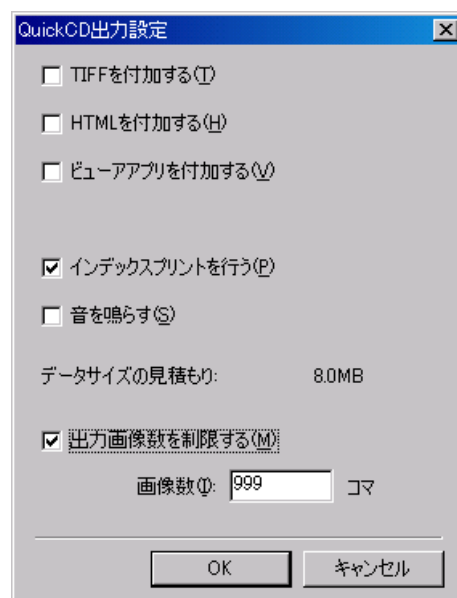
お願い

- ・「デバイス」で出力デバイスを選択できない場合は、先に出力先デバイスの設定を行ってください。(→ P. 7-16)
- ・「ディレクトリ」で、すでに存在するディレクトリ名は指定できません。

QuickCD 出力に関する設定

QuickCD 出力の際に必要な設定です。

[ファイル] メニューの [QuickCD 出力設定] を選択すると、次のような画面が表示されます。



■ TIFF を付加する

- ・ [TIFF を付加する] にチェックマークを付けると、非圧縮の TIFF 形式の画像データを作成して、通常の画像データと一緒に出力します。

■ HTML を付加する

- ・ [HTML を付加する] にチェックマークを付けると、一覧用の HTML データ (Internet Explorer などのブラウザで画像の一覧表示ができるデータ) を作成して、通常の画像データと一緒に出力します。

■ ビューアアプリを付加する

- ・ [ビューアアプリを付加する] にチェックマークを付けると、画像を閲覧するためのアプリケーションソフトを、通常の画像データと一緒に出力します。

■ インデックスプリントを行う

[インデックスプリントを行う] にチェックマークを付けると、出力した画像のインデックスプリントがプリンタで印刷されます。

■ 音を鳴らす

- ・ [音を鳴らす] にチェックマークを付けると、CD-R/RW ディスクへの書き込みが完了し、ドライブからディスクが取り出された時点で自動的に音が鳴ります。

■ データサイズの見積もり

画像一覧で出力の対象になっている画像の合計データサイズが表示されます。ここに表示される数値は、あくまでも見積もりサイズで実際のサイズとは完全に一致しません。

■ 出力画像数を制限する

[出力画像数を制限する] にチェックマークを付け、すぐ下の [画像数] に枚数を指定すると、1回の操作で出力する画像の枚数に制限を付けることができます。設定できる枚数は 1 ~ 999 です。



お願い

- ・ QuickCD 出力では、「シンプル出力設定」の「速度」で設定した速度で書き込みを行います。シンプル出力設定で高速度を設定している場合、高速書き込みに対応していない CD-R/RW ディスクを使用すると、書き込みが正しく行われない場合がありますのでご注意ください。

インデックス印刷

Digital Photo Expertをインストールした直後の状態では、画像出力時にインデックスプリントが印刷されますが、画像出力を行わずにインデックス印刷だけを行うこともできます。インデックス印刷には2種類の方法があります。

インデックス印刷

[ファイル] メニューから [インデックス印刷] を選択（またはツールバーの [インデックス] ボタンをクリック）すると、インデックスプリントがすぐに印刷されます。

印刷

[ファイル] メニューから [印刷] を選択すると、次のような画面が表示されます。この画面で使用するプリンタや用紙サイズなどを確認した後、[印刷] ボタンをクリックしてインデックス印刷を実行します。



■ 共通設定

「印刷設定」(→ P. 7-22) で設定した内容が表示されます。

■ プレビュー

印刷イメージが表示されます。

印刷イメージの下に「2/5」のような数字が表示されます。後ろの数字が現在プレビューに表示されているページの総数、前の数字がプレビューに表示されているページが「総数の何枚目にあたるか」を示しています。この数字の左右のボタンをクリックすることで、対象となるページを選択することができます。

■ [一時的印刷設定] ボタン

「印刷設定」(→ P. 7-22)の画面が表示され、使用するプリンタや用紙サイズなどを一時的に変更することができます。

■ [印刷] ボタン

インデックス印刷を開始します。

■ [キャンセル] ボタン

印刷の画面を閉じます。

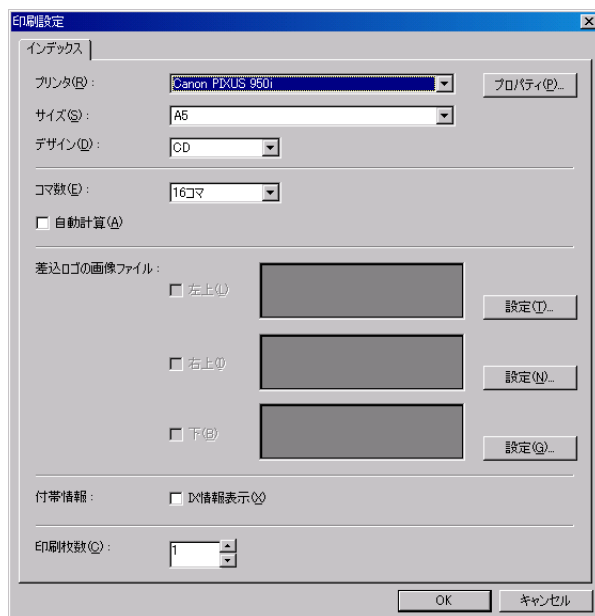
**メモ**

- ・プレビューには、プリンタドライバで行った設定は反映されません。最終的な印刷イメージを確認したい場合は、プリンタドライバの持つ印刷プレビュー機能で確認してください。プリンタドライバの印刷プレビュー機能については、プリンタの説明書をご覧ください。

印刷設定

インデックスプリントの設定をします。

[ファイル] メニューから [印刷設定] を選択すると、印刷設定の画面が表示されます。ここで設定したプリンタや用紙サイズ、コマ数などで、インデックスプリントが印刷されます。



■ プリンタ

インデックスプリントするときのプリンタを指定します。

■ サイズ

プリンタの用紙サイズを設定します。

■ デザイン

用紙上のレイアウトサイズを設定します。

■ コマ数

インデックスプリントのコマ数を選択します。

[自動計算] にチェックマークを付けると、サイズやデザインの設定値を元に自動計算されたコマ数が指定されます。

■ 差込ロゴの画像ファイル

インデックスプリントにロゴマークを付けることができます。

ロゴを付ける位置を「左上」[右上] [下] から選択し、右側の [設定] ボタンをクリックして画像ファイルを指定します。指定した位置の□にはチェックマークが付き、ロゴのイメージが表示されます。

差込ロゴを解除するときは、□のチェックマークをはずします。



ロゴのイメージ

ロゴの画像ファイルを作成するときの形式やサイズなどについては、「インデックスのロゴ」(→ P.12-16) で説明します。

■ 付帯情報

[IX 情報表示] にチェックマークを付けると、画像ファイルがAPSフィルムの情報を持っている場合に限り、日付などの情報を印刷します。

■ 印刷枚数

インデックスプリントの印刷枚数を設定します。

■ [キャンセル] ボタン

印刷設定の画面を閉じます。

■ [OK] ボタン

印刷設定の画面で変更した設定を初期値とします。



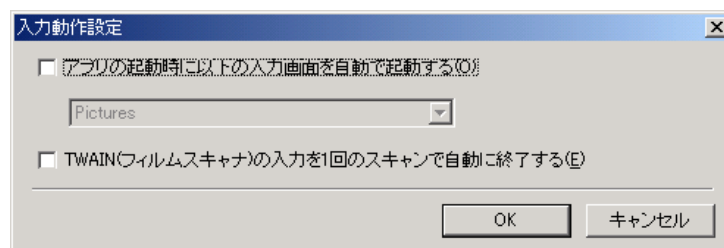
メモ

- ・印刷対象となる画像に複数のカートリッジIDが存在する場合や、カートリッジIDの情報の取得に失敗した場合、IX情報は印刷されません。
- ・複数のカートリッジIDが存在する場合は、同一カートリッジIDを持つ画像のみを選択してIX情報を印刷してください。

入力動作の設定

デジタル出力のサービスが起動したときに、自動で行わせたい動作を設定します。

[ファイル] メニューの [入力動作設定] を選択すると、次のような画面が表示されます。



■ アプリの起動時に以下の入力画面を自動で起動する

- ・「デジタル出力」を起動したときに、自動的に画像入力画面が表示されるようにしたい場合は、[アプリの起動時に以下の入力画面を自動で起動する] にチェックマークを付け、入力装置を選択します。

■ TWAIN (フィルムスキャナ) の入力を1回のスキャンで自動に終了する

- ・ハイパーフォトスキャナ HS-100/HS-150 をご使用の場合に有効な設定です。画像を入力するとき、1回のスキャンのたびにスキャンウィンドウを閉じたい場合は [TWAIN (フィルムスキャナ) の入力を1回のスキャンで自動に終了する] にチェックマークを付けます。

第8章

証明写真

この章では、証明写真の使い方について説明します。

証明写真について

証明写真は、デジタルカメラのメモリカードから読み込んだ画像や、ディスク内に保存してある画像を、パスポート用写真や運転免許証用写真などとして印刷します。

顔の位置や切り取る範囲は、自由に指定することができます。

また、新しい写真サイズを追加したり、2種類までの写真サイズの組み合わせを登録したりすることもできます。



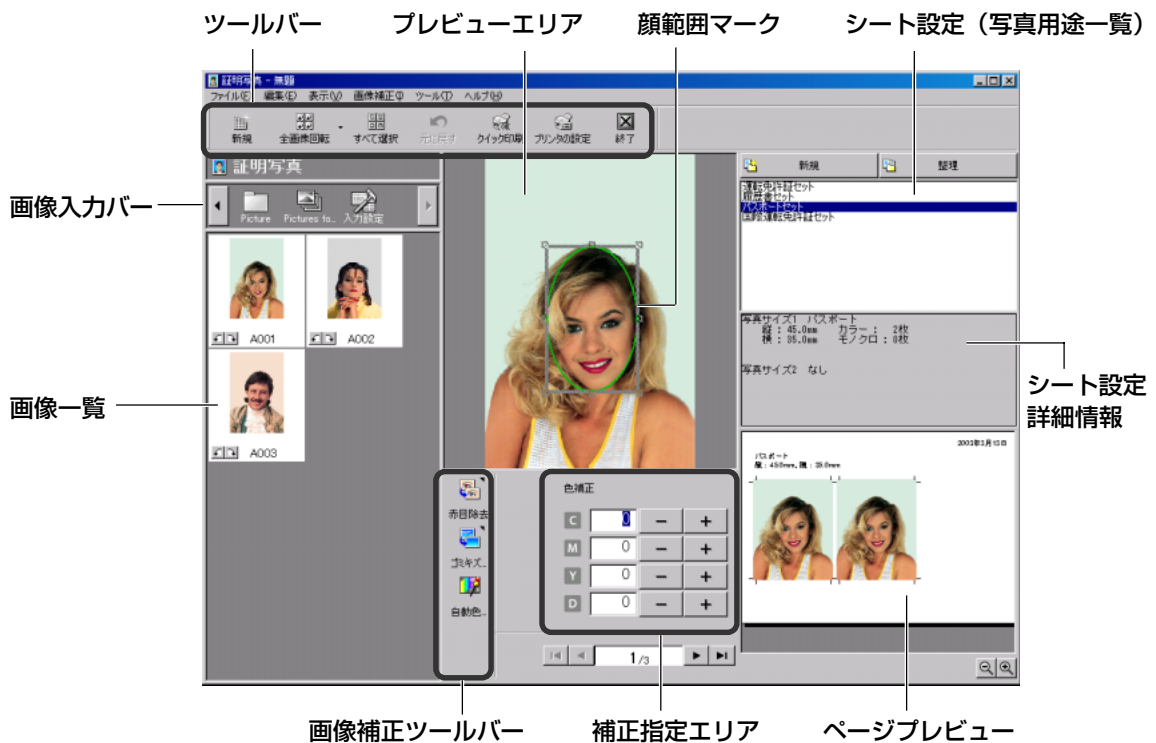
メモ

- ・証明写真は、単独で起動することも、オーダーマネージャから起動することもできます。単独での起動については「サービス単独の起動と終了」(→ P. 2-3)で、オーダーマネージャからの起動については「オーダーマネージャからのサービスの起動と終了」(→ P. 5-8)で説明します。

証明写真の画面

証明写真を起動すると、次のような画面が表示されます。(画像は表示されていない場合があります。)

この画面の各機能を使って、画像をプリンタで印刷します。



■ ツールバー

ツールバーには、メニューの中から比較的良好に使う機能が集められています。

■ 画像入力バー

ここに表示されているボタンをクリックして、画像を入力するときの入力装置（スキャナ、メモリカード、CDなど）を選択します。

■ 画像一覧

入力された画像が表示されます。

■ プレビューエリア

選択中の画像が拡大表示されます。

■ 顔範囲マーク

顔範囲マーク（灰色の枠と楕円）を使って、顔の範囲を指定します。範囲指定により適正な写真になった場合は楕円が緑色で、適正でない場合は赤色で表示されます。

■ シート設定（写真用途一覧）

「パスポートセット」「運転免許証セット」「履歴書セット」など、写真の用途の一覧が表示されます。新しい写真用途を作成したときには、この一覧に表示されます。

■ シート設定詳細情報

選択したシート設定の写真サイズと印刷枚数が表示されます。

■ 画像補正ツールバー

画像を補正するときの機能が集められています。

■ 補正指定エリア

画像補正のためのボタンが表示されているエリアです。

■ ページプレビュー

ページイメージが表示されます。



メモ

・ツールバーや画像補正ツールバーに表示される項目は、使いやすいように変更することができます。この操作については、「ツールバーのカスタマイズ」（→ P. 2-9）で説明します。

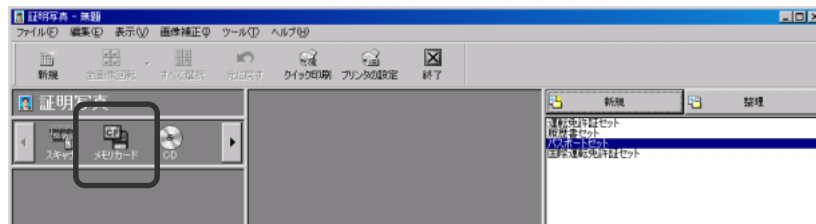
基本操作

証明写真では、「パスポート」「運転免許証」「履歴書」などの写真サイズで、画像を印刷します。

証明写真の操作の流れ

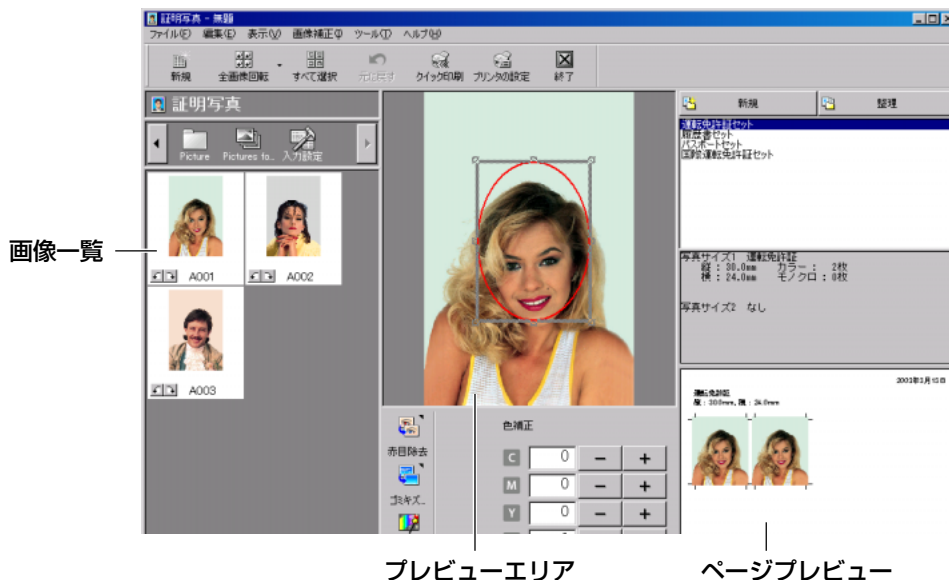
証明写真は、次のような流れで操作します。

- 1 画面左端に表示されている「[スキャナ]」「[メモリカード]」「[CD]」などのボタンをクリックして入力装置を選択し、画像を読み込みます。



メモ

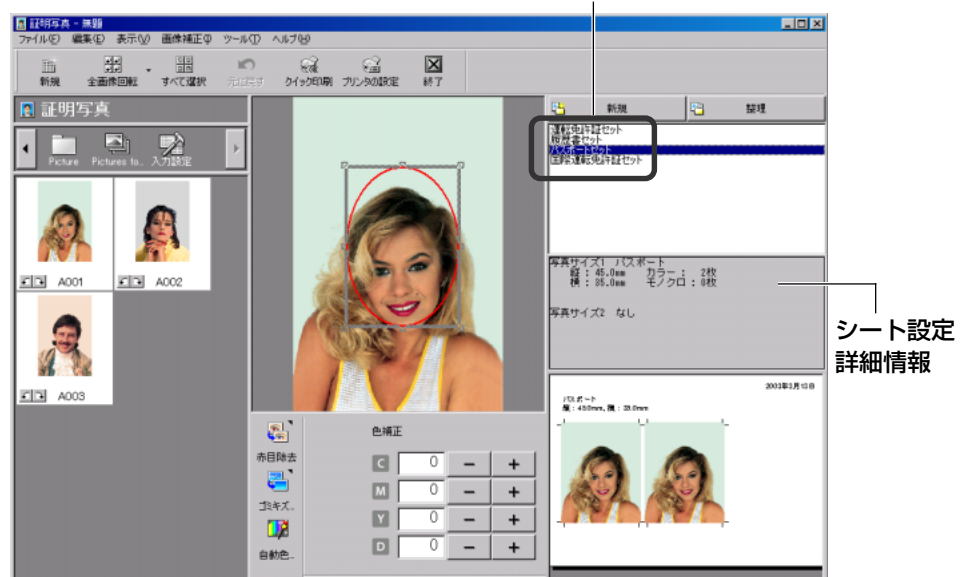
- ・「[スキャナ]」「[メモリカード]」「[CD]」などのボタンはお使いのシステムに合わせて自由に設定することができます。この操作については、「第3章 サービス共通の操作2 - 画像入力」(→ P. 3-1)で説明します。
- ・読み込まれた画像は、画像一覧に表示されます。このとき、プレビューエリアには、読み込まれた画像の一番最初の画像が拡大表示されます。また、右下のページプレビューには、ページイメージが表示されます。



- ・手順1の操作を繰り返して、画像を追加していくこともできます。画像入力の操作に関しては、「第3章 サービス共通の操作2 - 画像入力」(→ P. 3-1)で説明します。

- 2** 印刷する画像を選択します。
- ・ 白い枠で表示されている画像がすべて印刷されます。画像をクリックすると、画像の枠が灰色になります。この状態の画像は印刷の対象から除外されます。
 - ・ 読み込まれた直後の画像はすべて選択されている状態になっています。
- 3** 写真の用途を選択します。
- ・ 画面右上の「シート設定」の一覧から、写真用途を選択します。ここでは「パスポートセット」を選択します。
 - ・ シート設定詳細情報には選択した用途の写真サイズと印刷枚数が、ページプレビューにはページイメージが表示されます。

シート設定（写真用途一覧）



- 4** ページサイズを選択します。
- ・ [ツール] メニューの [環境設定] の [ページ設定] タブの画面で、ページサイズを設定します。ページサイズ選択の操作に関しては、「ページ設定」(→ P. 8-18) で説明します。
- 5** 顔の範囲を指定します。
- ・ プレビューエリアには、選択している画像とともに、灰色の枠と楕円（顔範囲マーク）が表示されます。この灰色の枠の辺や角をドラッグして、楕円が顔（頭のてっぺんから顎まで）を囲むように範囲を指定します。灰色の枠内にマウスポインタを合わせると形状が十字に変わります。そのままドラッグすることで、顔範囲マークを移動することもできます。
 - ・ 適正な写真になった場合は楕円が緑色で、適正でない場合は赤色で表示されます。



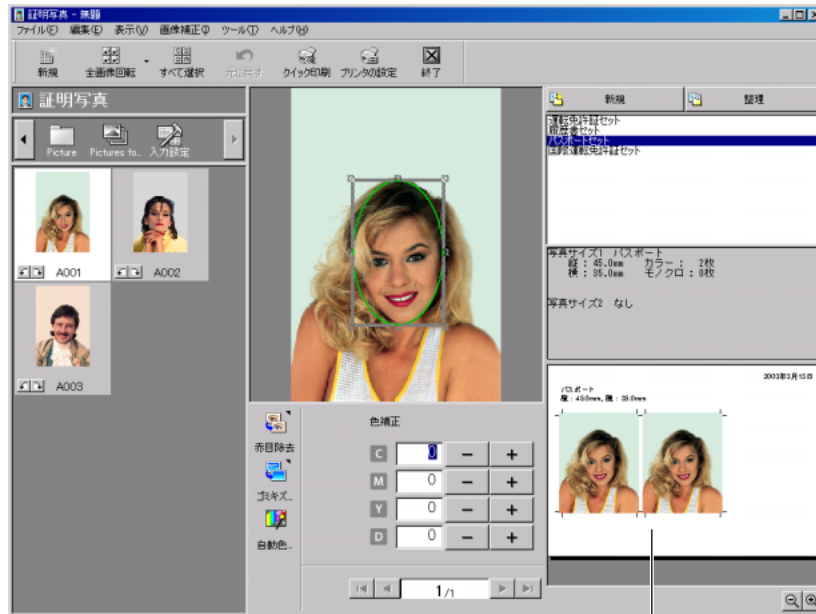
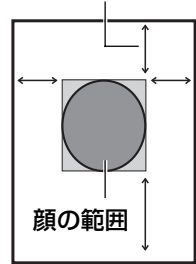
お願い

- ・ 複数の画像を選択している場合は、それぞれの画像で顔の範囲を指定してください。画像の切り替えについては、「複数の画像を選択しているときの操作」(→ P. 8-8) で説明します。



メモ

- ・ここで指定した顔の範囲（頭のでっぺんから顎まで）が写真範囲になるわけではありません。顔の範囲を指定すると、顔の範囲から写真の端までの空気が自動的に設定され、用途に適した写真範囲が設定されます。
- ・顔範囲マークが赤い楕円で表示されているときは、顔の周囲に十分な余白がない状態です。写真の撮り直しをお勧めします。ただし、ページプレビューで確認して、問題がなければそのまま印刷することもできます。
- ・顔の範囲を指定すると、自動設定後のページイメージがページプレビューに表示されます。この表示倍率を、画面右下隅の (縮小) ボタンと (拡大) ボタンで変更することができます。また、[表示] メニューの [ズーム] を選択した後、表示された画面で表示倍率を変更することもできます。



適切な写真範囲が自動的に設定される

6 印刷を実行します。

- ・[ファイル] メニューから [クイック印刷] を選択（またはツールバーの [クイック印刷] ボタンをクリック）すると、すぐに印刷が実行されます。



お願い

- ・写真のサイズが大きかったり印刷枚数が多すぎて、画像が1ページに入らない場合は、エラーメッセージが表示されます。このような場合は、画像が1ページに収まるように写真のサイズや枚数、ページサイズを指定し直してください。（→ P. 11-19）



メモ

- ・[クイック印刷]を選択すると、選択されている画像すべてが同じ写真サイズで1部ずつ印刷されます。
- ・2部以上印刷する場合は、[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。この場合は、使用するプリンタを変更したり、[プロパティ]ボタンをクリックしてページ設定などの詳細な設定を行うことができます。
- ・複数のプリンタが接続されているときは、[ファイル]メニューから[プリンタの設定]を選択（またはツールバーの[プリンタの設定]ボタンをクリック）して、プリンタを切り替えます。（→ P. 8-19）



お願い

- ・[ツール]メニューの[環境設定]で設定したページ設定と、プリンタのプロパティで設定したページ設定が異なっていると、正しく印刷されません。必ず、両方の設定を同じにしてください。

7 証明写真の作業を終了します。

証明写真を単独で起動した場合：

- ・[ファイル]メニューから[終了]を選択（またはツールバーの[終了]ボタンをクリック）すると、証明写真のサービスは終了します。
- ・編集していたデータがある場合は、保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。保存する場合は[はい]を、保存しない場合は[いいえ]をクリックしてください。

オーダーマネージャから証明写真を起動した場合：

- ・印刷が終了すると証明写真のサービスは自動的に終了します。このとき、画面は自動的に閉じられます。

応用操作

証明写真では、画像それぞれに対して個別に画像補正を行うことができます。

画像補正、全画像補正

画像それぞれに対して個別に画像を補正したり、すべての画像に対して同じ補正をすることもできます。また、画像の向きを変更することもできます。この操作に関しては、「第4章 サービス共通の操作3 - 画像補正」(→ P. 4-1)で説明します。

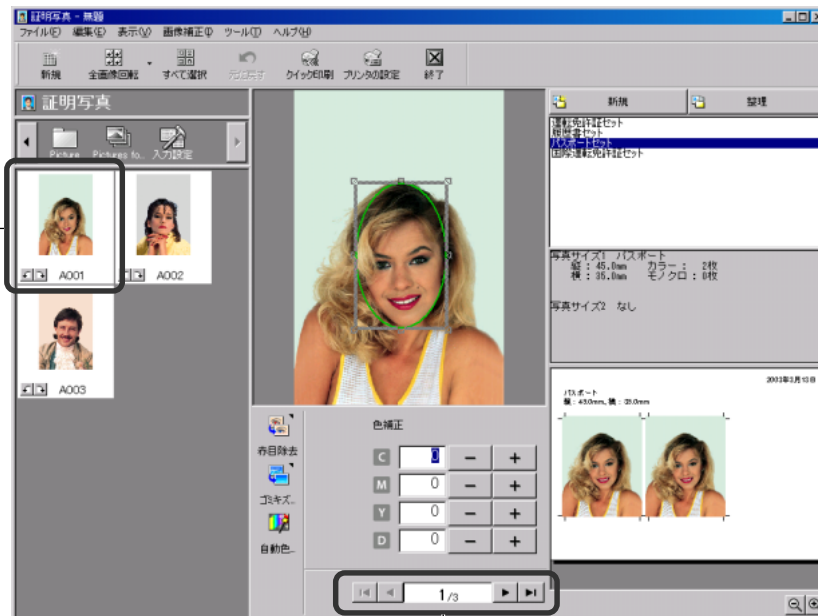
複数の画像を選択しているときの操作

■ 画像の切り替え

複数の画像を選択している場合には、画面下側に「2/5」のような数字が表示されます。後ろの数字が現在選択されている画像の総数、前の数字が現在設定の対象となっている画像が「総数の何枚目にあたるか」を示しています。この数字の左右のボタンをクリックすることで、設定の対象となる画像を選択することができます。

また、画像をダブルクリックすることで、設定の対象となる画像を選択することもできます。

ダブルクリックして設定の対象となる画像を選択する



ボタンで画像を選択する

新しい写真用途の作成

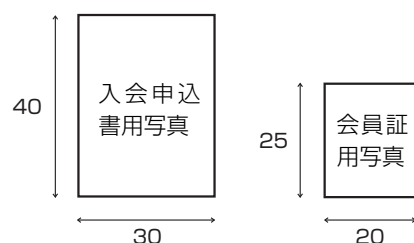
Digital Photo Expert では、「運転免許証セット」「履歴書セット」「パスポートセット」「国際運転免許証セット」という写真用途が「シート設定」にあらかじめ用意されています。

「写真サイズ」と「シート設定」の意味

■ 写真サイズ

写真の大きさを指定し、名前を付けて定義したものです。

たとえば、「縦 40 mm × 横 30 mm」の写真を「入会申込書用写真」と定義したり、「縦 25 mm × 横 20 mm」の写真を、「会員証用写真」と定義したりします。

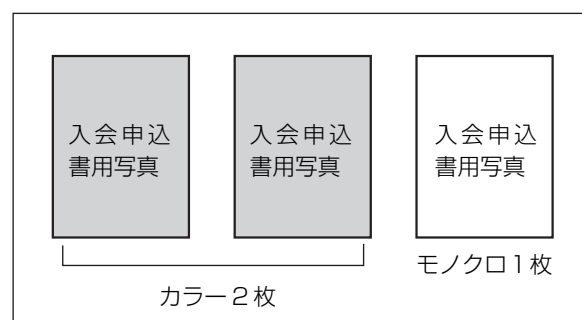


■ シート設定 (写真用途一覧)

使用する写真サイズと、カラー／モノクロの種別や配置する枚数の組み合わせをあらかじめ登録したものです。

たとえば、シート設定に「入会申込書」という名前を付け、写真サイズ「入会申込書用写真」を選択した上で、カラー2枚とモノクロ1枚を指定します。こうしておけば、入会申込書に必要な写真のセットが一回で印刷できます。

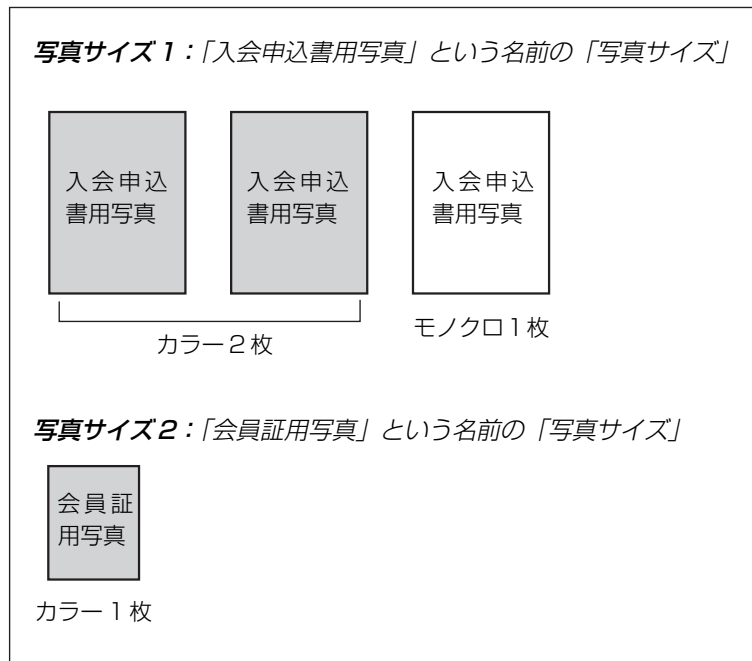
例：「入会申込書」という名前の「シート設定」



また、シート設定では、2種類の写真サイズを利用することができます。

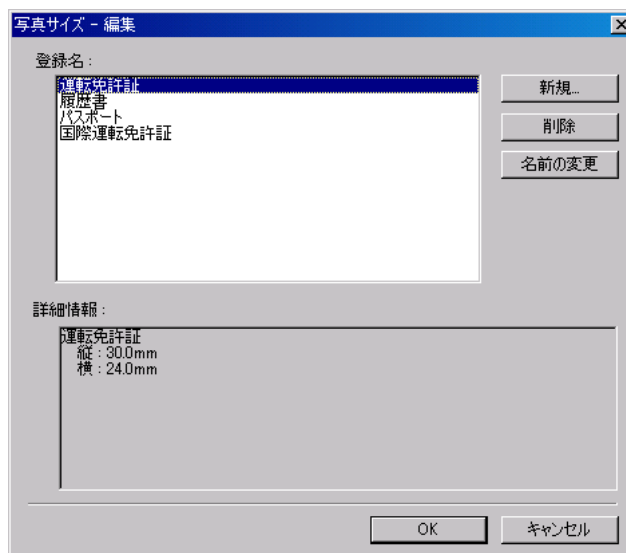
たとえば、シート設定に「入会と会員申込書」という名前を付け、上記の「入会申込書」のセットに、写真サイズ「会員証用写真」のカラー写真1枚を加えれば、入会申込書用写真（カラー2枚とモノクロ1枚）と会員証用写真（カラー1枚）とを同時に印刷することができます。

例：「入会と会員申込書」という名前の「シート設定」



写真サイズの編集

[ツール] メニューから [写真サイズの編集] を選択すると、次のような画面が表示されます。この画面で「写真サイズ」（写真のサイズに名前を付けて定義したもの）を編集することができます。



■ 写真サイズの確認

確認したい写真サイズをクリックすると、選択した写真サイズの縦と横のサイズが「詳細情報」に表示されます。

■ 写真サイズの追加

すでに作成されている写真サイズに希望するサイズがない場合は、新しい写真サイズを作成することができます。[新規] ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されます。この画面で、写真のサイズと名称を入力し、[OK] ボタンをクリックします。



写真サイズ - 新規

サイズ: 縦: 10.0 mm

横: 10.0 mm

登録名: 会員証用写真

OK キャンセル

■ 写真サイズの削除

削除したい写真サイズを選択し、[削除] ボタンをクリックすると、選択した写真サイズが削除されます。あらかじめ用意されている「運転免許証」「履歴書」「パスポート」「国際運転免許証」も削除することができます。

■ 名前の変更

名前を変更したい写真サイズを選択し、[名前の変更] ボタンをクリックすると、選択した写真サイズの名称の部分だけが選択された状態になります。この状態で新しい名前を指定し、名前を変更します。

■ 順序の変更

順序を変更したい写真サイズを選択し、移動したい場所までドラッグすると、順序を変更することができます。ただし、一覧の最後に移動することはできません。



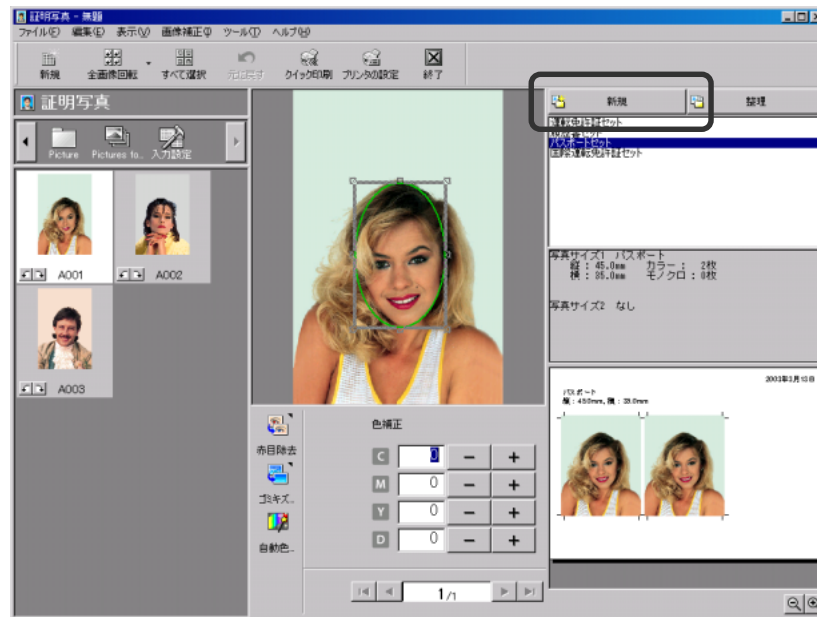
メモ

- ・「シート設定」で使用されている写真サイズを削除したり、名前を変更することは変更できません。「シート設定」については、次の項で説明します。

新しいシート設定の作成

新しい写真用途を「シート設定」に追加する方法を説明します。

- 1 [新規] ボタンをクリックします。
・[ツール] メニューの [シート設定] のサブメニューから [新規] を選択することもできます。



- 2 「写真サイズ 1」の部分で使用する「写真サイズ」を選択し、カラー、モノクロの枚数をそれぞれ指定します。



- 3 必要に応じて「写真サイズ 2」も指定します。



- 4 「設定を登録する」にチェックマークが付いていることを確認し、「登録名」(一覧に表示される名称)を入力して、[OK] ボタンをクリックします。

シート設定 - 新規

写真サイズ1: パスポート

縦: 45.0 mm カラー: 2

横: 35.0 mm モノクロ: 0

サイズを登録する

写真サイズ2: 任意

縦: 50.0 mm カラー: 1

横: 50.0 mm モノクロ: 0

サイズを登録する

設定を登録する

登録名: <一覧に表示されている名称>

OK キャンセル

- ・これで、新しい写真用途が「シート設定」に作成されます。



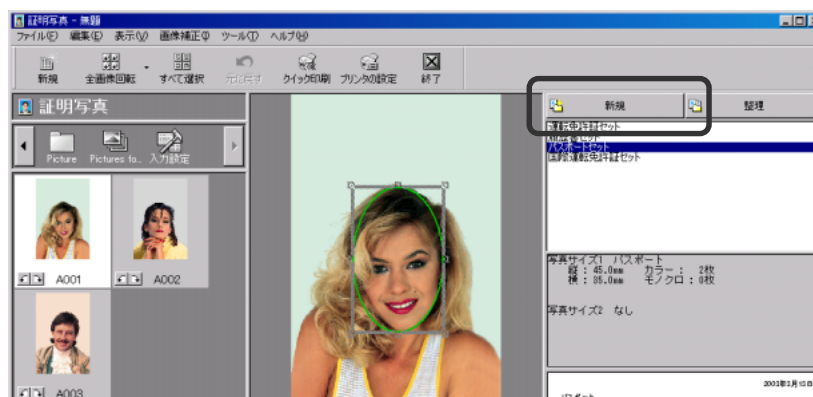
メモ

- ・「写真サイズ1」または「写真サイズ2」の部分で、「任意」を選択すると、写真サイズを直接入力することもできます。このとき、「サイズを登録する」にチェックマークを付け、名前を入力すると、新しい「写真サイズ」が登録されます。
- ・「設定を登録する」のチェックマークを外した場合には、一回限りの設定として印刷を行うことができます。「一時的な写真用途の作成」(→ P. 8-14)

一時的な写真用途の作成

新しい写真用途を「シート設定」に追加せずに、一回限りの設定として使い、印刷を行います。

- 1 [新規] ボタンをクリックします。
 - ・[ツール] メニューの [シート設定] のサブメニューから [新規] を選択することもできます。



- 2 「写真サイズ1」の部分で使用する「写真サイズ」を選択し、カラー、モノクロの枚数をそれぞれ指定します。



- 3 必要に応じて「写真サイズ2」も指定します。

- 4 「設定を登録する」にチェックマークが付いていないことを確認して、[OK] ボタンをクリックします。

シート設定 - 新規

写真サイズ1: パスポート

縦: 45.0 mm カラー: 2

横: 35.0 mm モノクロ: 0

サイズを登録する

写真サイズ2: 任意

縦: 50.0 mm カラー: 1

横: 50.0 mm モノクロ: 0

サイズを登録する

設定を登録する

登録名:

OK キャンセル

- ・これで一回限りの設定が作成され、シート設定詳細情報に手順2～手順3で設定した写真サイズと枚数が表示されます。

- 5 印刷を実行します。



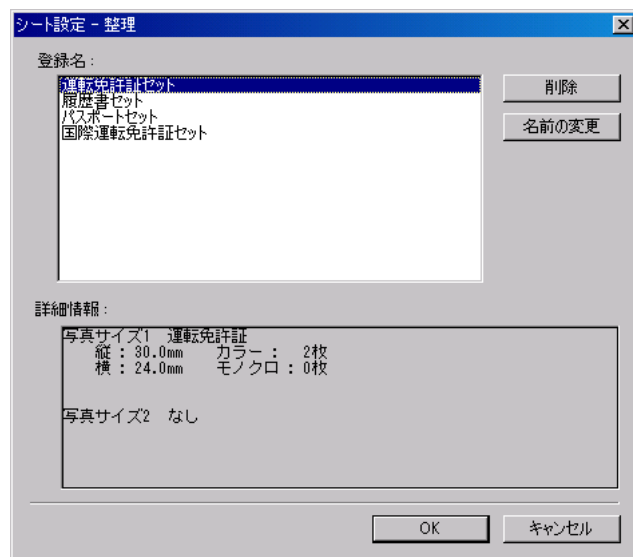
メモ

- ・「写真サイズ1」または「写真サイズ2」の部分で、「任意」を選択すると、写真サイズを直接入力することもできます。このとき、「サイズを登録する」にチェックマークを付け、名前を入力すると、新しい「写真サイズ」が登録されます。

写真用途の整理

「シート設定」に作成されている写真用途の削除や名前の変更、表示する順序の変更を行います。

[整理] ボタンをクリック（または、[ツール] メニューの [シート設定] のサブメニューから [整理] を選択）すると、次のような画面が表示されます。この画面で写真用途を整理します。



■ 写真用途の確認

確認したい写真用途をクリックすると、選択した写真用途の詳細情報が「詳細情報」に表示されます。

■ 写真用途の削除

削除したい写真用途を選択し、[削除] ボタンをクリックすると、選択した写真用途が削除されます。

■ 名前の変更

名前を変更したい写真用途を選択し、[名前の変更] ボタンをクリックすると、選択した写真用途の名称の部分だけが選択された状態になります。この状態で新しい名前を指定し、名前を変更します。

■ 順序の変更

順序を変更したい写真用途を選択し、移動したい場所までドラッグすると、順序を変更することができます。ただし、一覧の最後に移動することはできません。



メモ

・「シート設定」で選択されている写真用途を削除したり、名前を変更することはできません。「シート設定」については、「新しいシート設定の作成」(→ P. 8-12)で説明します。

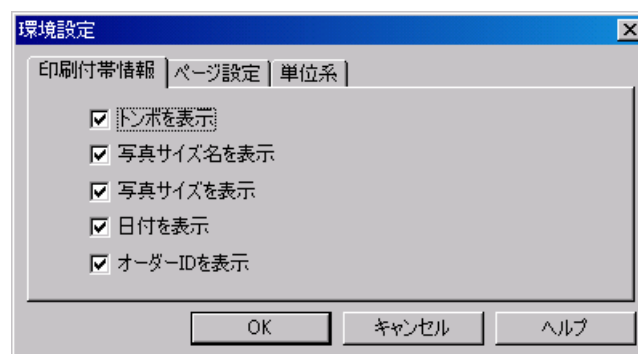
環境設定

[ツール] メニューから [環境設定] を選択すると、環境設定の画面が表示されます。証明写真の印刷を行う前に、あらかじめ、写真と一緒に印刷する情報の指定やページサイズ、単位の指定などをこの画面で設定しておきます。

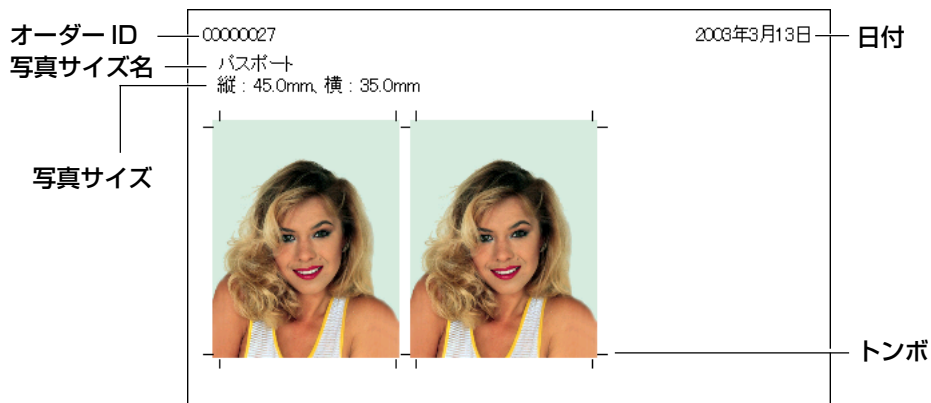
[印刷付帯情報] [ページ設定] [単位系] の各タブをクリックして設定する項目を切り替えます。

■ 印刷付帯情報

画像と一緒に印刷したい情報の項目にチェックマークを入れます。



チェックマークをつけた情報は、ページプレビューに次のように表示されます。

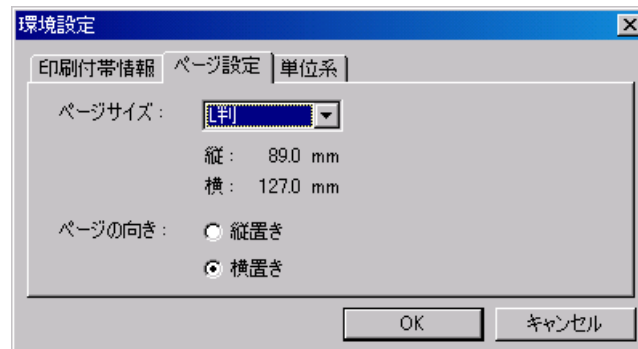


メモ

- ・証明写真を単独で起動している場合は、[オーダーIDを表示] を選択することはできません。
- ・日付には、証明写真を作成した日付が入ります。再編集の場合は、更新した日付が入ります。
- ・写真サイズは、[単位系] で指定した単位で表示されます

■ ページ設定

- ・「ページサイズ」の右の「▼」をクリックして、ページサイズ（用紙のサイズ）を選択します。ページサイズを選択すると、ページの縦と横のサイズがすぐ下に表示されます。
- ・「ページの向き」のボタンをクリックして、ページの向きを選択します。

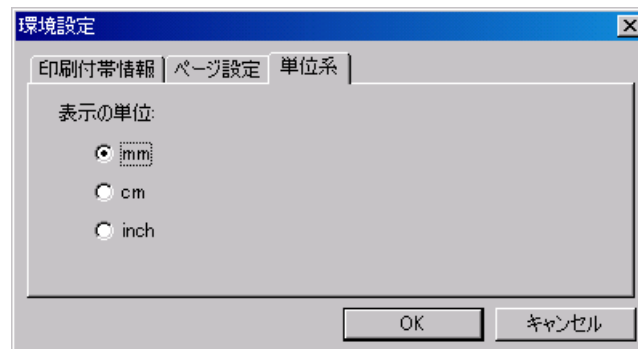


メモ

- ・ここで設定したページサイズ／ページの向きがプリンタのプロパティの設定と異なる場合には、正しく印刷されない場合があります。

■ 単位系

- ・「表示の単位」で、単位を選択します。ここで変更した単位は、ページプレビューに表示される写真サイズや印刷付帯情報の写真サイズに反映されます。

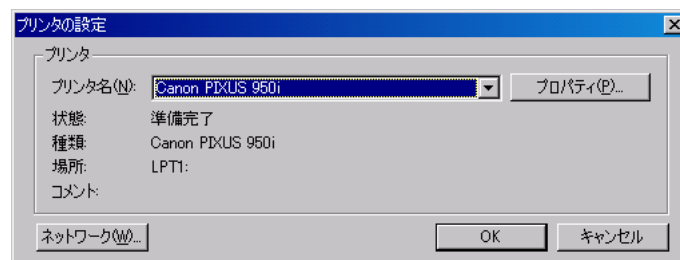


プリンタの設定

複数のプリンタが接続されているときに、使用するプリンタを選択します。

[ファイル] メニューから [プリンタの設定] を選択（またはツールバーの [プリンタの設定] ボタンをクリック）すると、プリンタの設定を行う画面が表示されます。

「プリンタ名」から使用するプリンタを選択し、[OK] ボタンをクリックします。これで、使用するプリンタが設定されます。



メモ

- ・ネットワークプリンタを指定する場合は、[ネットワーク] ボタンをクリックします。

単独で起動した場合の機能

証明写真を単独で起動した場合に使用できる機能を説明します。オーダーマネージャから証明写真を起動した場合には、これらの機能は使用できません。

新規

新規に証明写真のサービスを行うときに使います。

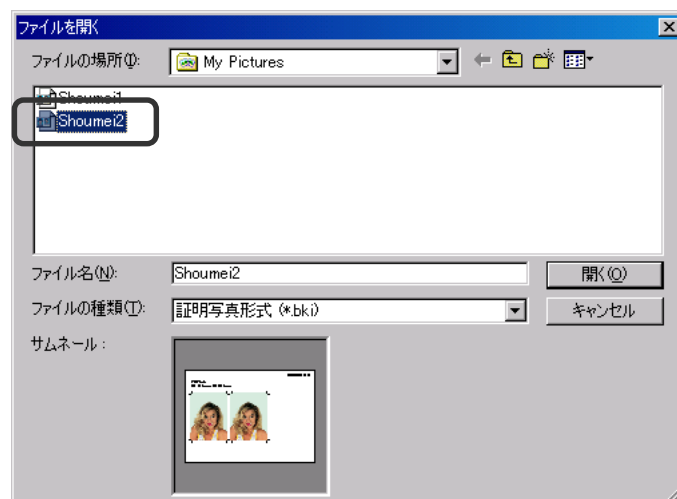
[ファイル] メニューから [新規] を選択 (またはツールバーの [新規] ボタンをクリック) します。

編集していたデータがある場合は、保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。[はい] または [いいえ] をクリックして保存処理などを終了すると、新しい証明写真のサービス画面が表示されます。このとき、それまでに入力していた画像はすべて消去されます。

再印刷

[上書き保存] または [名前を付けて保存] で保存したファイルを開き、証明写真シートを焼き増しします。

- 1 [ファイル] メニューから [再印刷] を選択します。
・ [ファイルを開く] 画面が表示されます。
- 2 ファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。



- 3 使用するプリンタ、印刷範囲、印刷部数を指定し、[OK] ボタンをクリックします。
・ 印刷が実行されます。



メモ

- ・複数の画像が含まれている場合には、画面下側に「2/5」のような数字が表示されます。後ろの数字が画像の総数、前の数字が現在表示されている画像が「総数の何枚目にあたるか」を示しています。この数字の左右のボタンをクリックすることで、プレビューを切り替えることができます。
- ・「プレビュー」にはページイメージが表示されます。このプレビューには、プリンタドライバで行った設定は反映されません。最終的な印刷イメージを確認したい場合は、プリンタドライバの持つ印刷プレビュー機能で確認してください。プリンタドライバの印刷プレビュー機能については、プリンタの説明書をご覧ください。

上書き保存

設定した証明写真をファイルとして上書き保存します。

■ はじめて上書き保存をしたとき

[ファイル] メニューから [上書き保存] を選択すると、[名前を付けて保存] の画面が表示されます。ファイル名を指定して [保存] ボタンをクリックすると、ファイルが保存されます。このとき、指定したファイル名がタイトルバーに表示されます。

■ 2回目以降に上書き保存をしたとき

すでに上書き保存をしているファイルの場合、[ファイル] メニューから [上書き保存] を選択すると、[名前を付けて保存] の画面は表示されずに、すぐに同じファイル名のファイルに上書き保存されます。

名前を付けて保存

設定した証明写真を新しいファイルとして保存します。

[ファイル] メニューから [名前を付けて保存] を選択すると、[名前を付けて保存] の画面が表示されます。ファイル名を入力して [保存] ボタンをクリックすると、ファイルが保存されます。このとき、指定したファイル名がタイトルバーに表示されます。

第9章

フォトレイアウト

この章では、フォトレイアウトの使い方について説明します。

フォトレイアウトについて

フォトレイアウトでは、スキャナで読み込んだ画像やデジタルカメラのカードから読み込んだ画像、ディスク内に保存してある画像と、印刷サイズごとに用意されたテンプレートなどを使って、いろいろなデザインの写真を作成、印刷します。



お願い

- ・フォトレイアウトのテンプレートがインストールされていない場合は、フォトレイアウトの画面は表示されません。必ず、テンプレートをインストールしてからこの作業を行ってください。インストールについては、「アートワークのインストール」(→ P.1-10) で説明します。

フォトレイアウトの起動

フォトレイアウトの操作を行うには、次の2種類の方法があります。

■ デザインフレームからの起動

デザインフレームを起動した後、テンプレートのサービスカテゴリで[フォトレイアウト]を選択し、その中からさらにテンプレートを選択して作業を行います。デザインフレームの起動については「サービス単独の起動と終了」(→ P. 2-3) で説明します。

[テンプレート]
ボタンをクリック
します

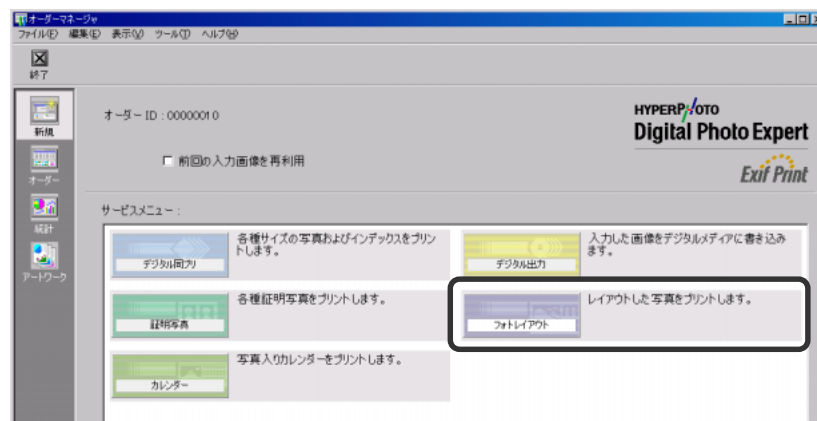


サービスカテゴリ

プルダウンメニューを使って、
[フォトレイアウト] を選択します

■ オーダーマネージャからの起動

オーダーマネージャから[フォトレイアウト]のサービスを選択して、起動します。オーダーマネージャからの起動については、「オーダーマネージャからのサービスの起動と終了」(→ P.5-8) で説明します。





メモ

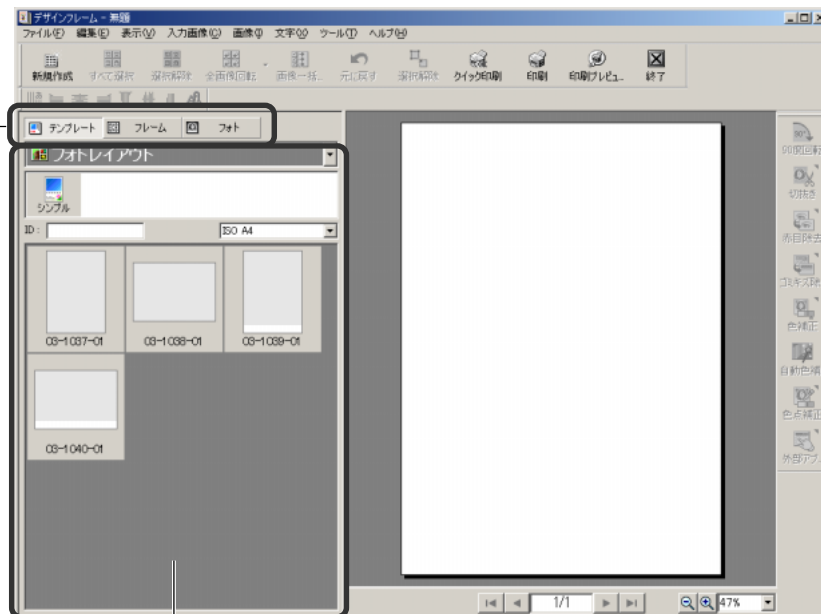
- ・オーダーマネージャから選択できる「フォトレイアウト」のサービスは、デザインフレームのテンプレートのサービスカテゴリで、あらかじめ「フォトレイアウト」を選択した状態で作業をはじめられるようにしたものです。したがって、オーダーマネージャから選択した「フォトレイアウト」の各機能は、デザインフレームのサービスカテゴリから選択した「フォトレイアウト」の機能と同様です。ただし、サービスカテゴリの選択はできません。

フォトレイアウトの画面と3つのボタン

フォトレイアウトでは、「テンプレート」「フレーム」「フォト」を使って、いろいろなデザインの写真を作成します。これらは、ツールバーの下にある3つの種別ボタンをクリックすることで切り替えます。

ボタンをクリックすると、画面左側の表示が変わります。これらの画面については、次項以降で説明します。

種別ボタンをクリックして、切り替えます



ボタンをクリックすると、表示が変わります

テンプレートの画面

[テンプレート] ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されます。



■ ツールバー

ツールバーには、メニューの中から比較的よく使う機能が集められています。

■ 文字ツールバー

レイアウトエリアに表示されているテキストフレーム内の文字を編集するときの機能が集められています。

■ 画像補正ツールバー

レイアウトエリアに表示されている画像を補正するときの機能が集められています。

■ サービスカテゴリ

デザインフレームから起動した場合は、「フォトレイアウト」「カレンダー」のいずれかのサービスを選ぶことができます。

■ カテゴリ、サブカテゴリ

テンプレートのカテゴリ（大分類）を選択し、さらにサブカテゴリ（小分類）を選択することで、選択エリアにテンプレートを表示します。

■ テンプレートIDボックス

テンプレートID（テンプレートのひとつひとつを識別するための番号）が表示されます。IDを入力して、テンプレートを検索することもできます。

■ 選択エリア

レイアウトエリアに追加できるテンプレート一覧が表示されます。

■ レイアウトエリア

選択エリアでテンプレートを選択すると、レイアウトエリアにテンプレートが表示されます。

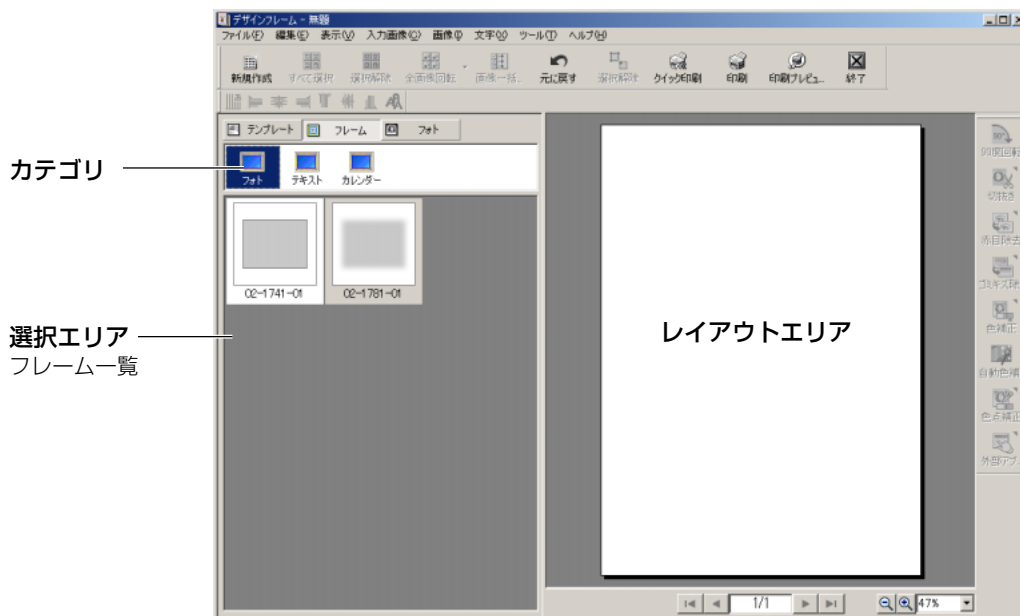


メモ

- ・ ツールバーや画像補正ツールバー、文字ツールバーに表示される項目は、使いやすいように変更することができます。この操作については、「ツールバーのカスタマイズ」(→ P.2-9) で説明します。
- ・ [表示] メニューの [標準ツールバー] や [画像ツールバー]、[文字ツールバー] をクリックして、ツールバーの表示/非表示を切り替えることもできます。

フレームの画面

[フレーム] ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されます。



■ カテゴリ

フレームのカテゴリ (大分類) を選択することで、選択エリアにフレームを表示します。

■ 選択エリア

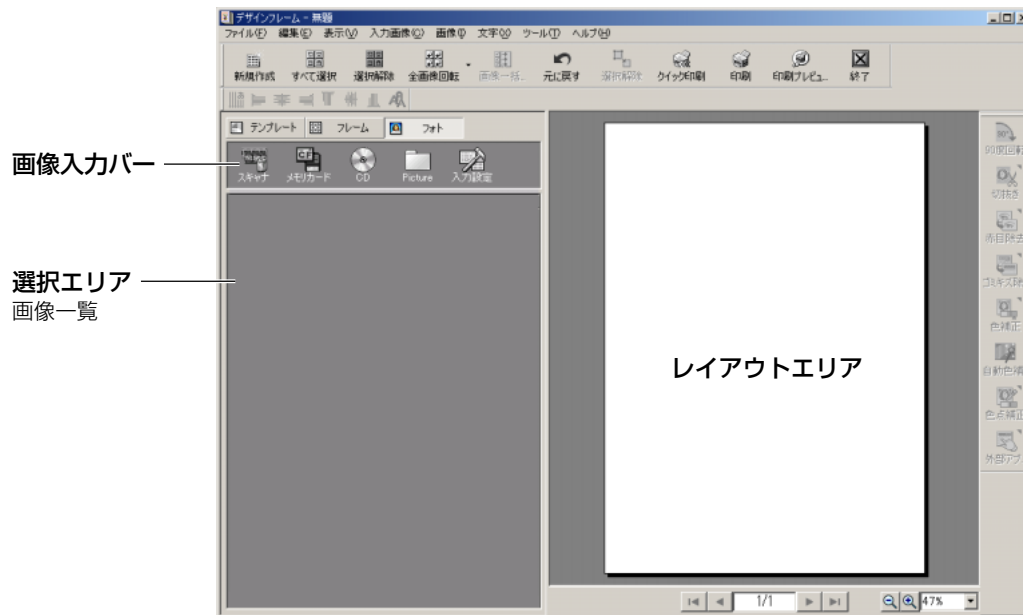
レイアウトエリアに追加できるフレーム一覧が表示されます。

■ レイアウトエリア

選択エリアからフレームを追加して、デザインやレイアウトを行います。

フォトの画面

[フォト] ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されます。



■ 画像入力バー

ここに表示されているボタンをクリックして、画像を入力するときの入力装置（スキャナ、メモリーカード、CD など）を選択します。

■ 選択エリア

レイアウトエリアに追加できる画像一覧が表示されます。

■ レイアウトエリア

選択エリアから画像などを追加して、デザインやレイアウトを行います。

テンプレート、フレームについて

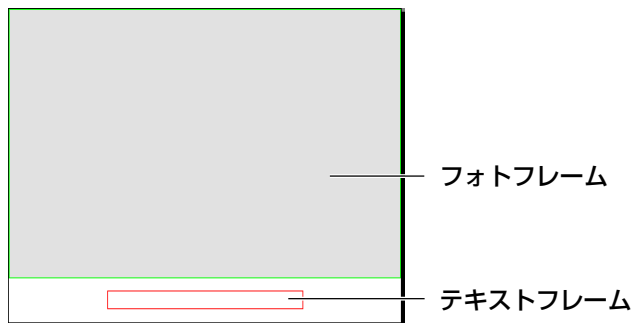
フォトレイアウトで使用する、「テンプレート」「フレーム」について説明します。

■ テンプレート

テンプレートは、画像や文字の大きさや位置などがあらかじめデザインされているファイルです。

Digital Photo Expert には、さまざまなテンプレートが用意されています。

テンプレートには、次のようにフォトフレームやテキストフレームがレイアウトされています。



■ フレーム

テンプレート上に、画像を貼り込んだり、文字を入力したりするときに使います。フレームには、次の3種類があります。

フォトフレーム

テンプレート上に、緑色の枠で表示されます。フォトフレームは、フォト（画像）データを貼り込むときに使います。

テキストフレーム

テンプレート上に、赤色の枠で表示されます。テキストフレームは、テキスト（文字）データを入力するときに使います。

カレンダーフレーム

カレンダーのフレームです。

なお、フォトレイアウトで表示されるテンプレートには、カレンダーフレームを含むものではありません。必要に応じてレイアウトエリアに貼り込みます。



メモ

・フォトレイアウトを起動した直後の状態では、真っ白な A4 サイズの縦型テンプレートが表示されます。

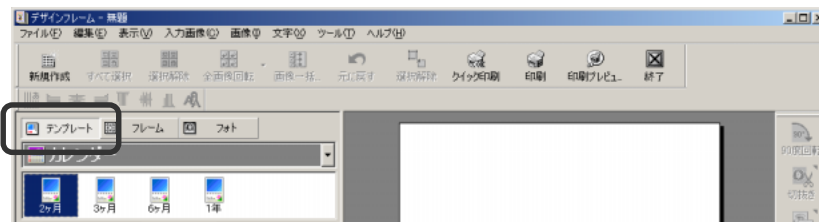
基本操作

フォトレイアウトでは、さまざまなデザインの写真を作成、印刷します。ここでは、あらかじめ用意されたテンプレートを使って写真を印刷します。

フォトレイアウトの操作の流れ

フォトレイアウトは、次のような流れで操作します。

- 1 画面左側の [テンプレート] [フレーム] [フォト] から [テンプレート] を選択します。



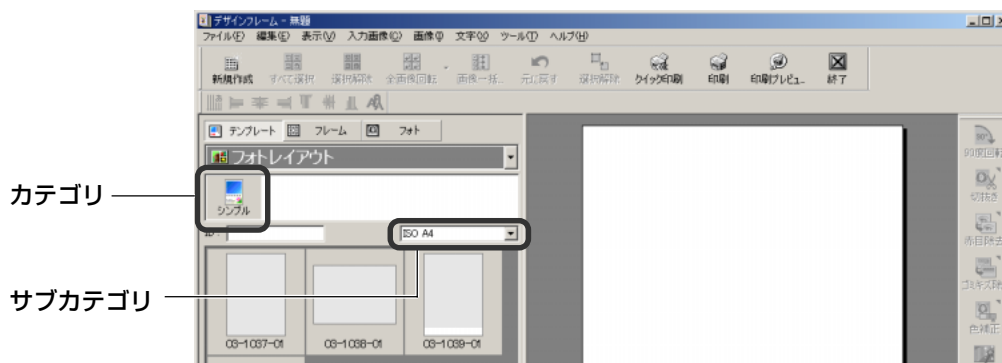
- 2 すぐ下のサービスカテゴリのプルダウンメニューを使って、[フォトレイアウト] を選択します。

・オーダーマネージャから、[フォトレイアウト] のサービスを選択した場合、この操作は必要ありません。(選択できません)



- 3 アイコンのカテゴリから目的のカテゴリ (テンプレートの種類) を選び、さらにサブカテゴリを選択します。

・ここでは、[シンプル] カテゴリを選び、[ISO A4] サブカテゴリを選択します。
 ・選択したカテゴリに登録されているテンプレートの一覧が選択エリアに表示されます。

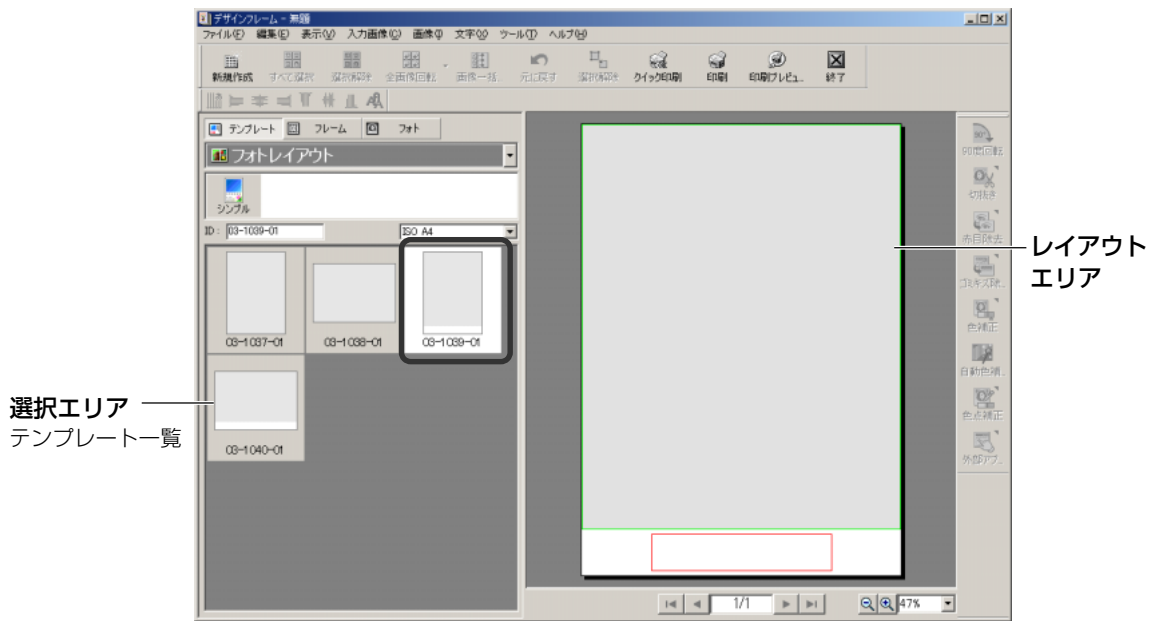


**メモ**

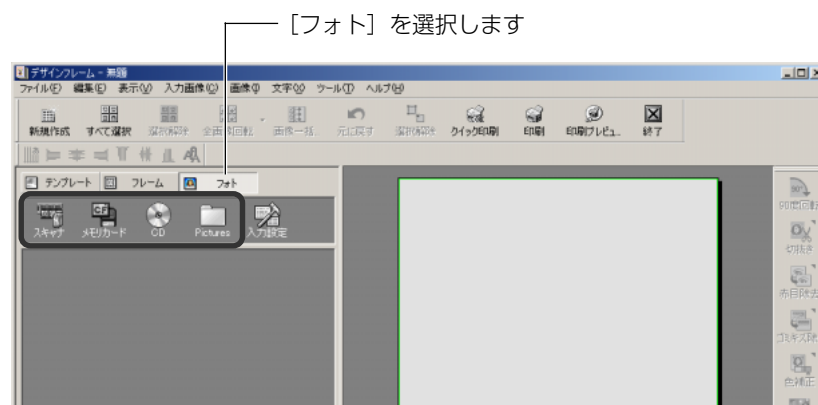
- ・編集したデザイン情報（データ）は、サブカテゴリで選択したサイズで印刷されます。このサイズよりもさらに大きな用紙サイズで印刷することもできます。この操作については、「大きな用紙で印刷する操作」（→ P.9-13）で説明します。
- ・ページサイズは、プロパティで変更することもできます。この操作については、「ページの詳細情報の表示」（→ P.9-28）で説明します。

4

- 表示された一覧の中の使いたいテンプレートをダブルクリックします。
- ・選択したテンプレートが画面の右側のレイアウトエリアに表示されます。

**5**

- [フォト] を選択した後、画面左側に表示されている [スキャナ] [メモリカード] [CD] などのボタンをクリックして入力装置を選択し、画像を読み込みます。

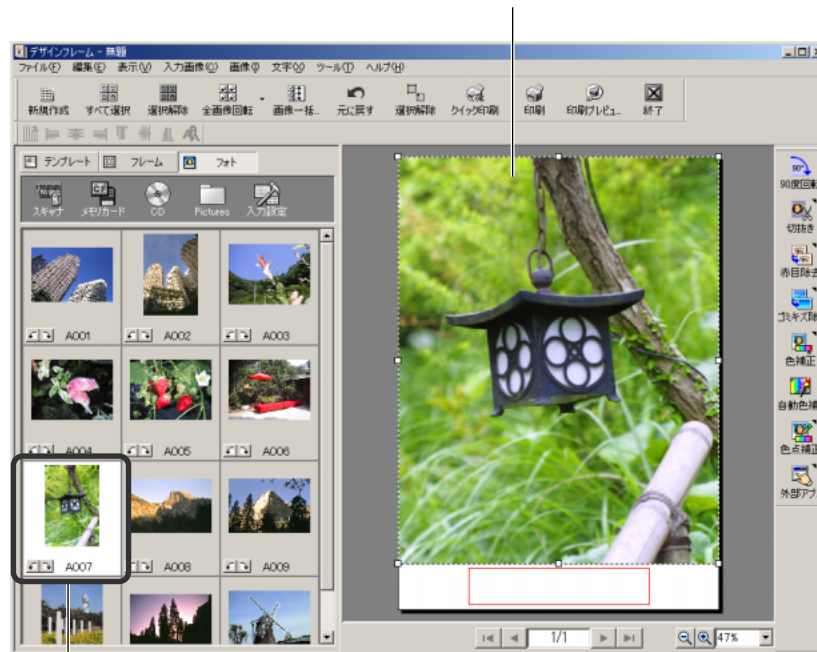
**メモ**

- ・[スキャナ] [メモリカード] [CD] などのボタンはお使いのシステムに合わせて自由に設定することができます。画像入力の操作については、「第3章 サービス共通の操作2 - 画像入力」（→ P.3-1）で説明します。

6 選択したテンプレート上のフォトフレーム（画像を貼り込むための枠）に画像を貼り込みます。

- ・フォトフレームは緑色の枠で表示されています。
- ・フォトフレームをクリックして選択した後、画像一覧の画像をダブルクリックすると、選択したフォトフレームに画像が貼り込まれます。画像の貼り込みについては、[レイアウトエリアの編集－画像]（→ P.9-19）で説明します。

フォトフレーム（緑枠）を選択します



ダブルクリックします

7 選択したテンプレートにテキストフレーム（文字を入力するための枠）が用意されている場合には、必要に応じて文字を入力します。

- ・テキストフレームは赤色の枠で表示されています。
- ・テキストフレームをダブルクリックし、文字を入力します。文字入力の操作については、[レイアウトエリアの編集－文字入力]（→ P.9-23）で説明します。



入力した文字



メモ

- ・画面左側の [フレーム] をクリックして、さらに写真や文字、カレンダーなどのフレームを加えることができます。これらの操作については、[レイアウトエリアの編集－フレーム]（→ P.9-16）で説明します。

8 印刷を実行します。

- ・ [ファイル] メニューから [印刷] を選択 (またはツールバーの [印刷] ボタンをクリック) すると、[印刷] 画面が表示されます。この画面で、使用するプリンタや用紙サイズ、印刷プレビューなどを確認し、[印刷] ボタンをクリックします。



9 フォトレイアウトの作業を終了します。

デザインフレームから起動した場合：

- ・ [ファイル] メニューから [終了] を選択 (またはツールバーの [終了] ボタンをクリック) すると、サービスは終了します。
- ・ 編集していたデータがある場合は、保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。保存する場合は [はい] を、保存しない場合は [いいえ] をクリックしてください。

オーダーマネージャから「フォトレイアウト」を起動した場合：

- ・ 印刷が終了すると「フォトレイアウト」のサービスは自動的に終了します。このとき、画面は自動的に閉じられます。



メモ

- ・ [ファイル] メニューから [クイック印刷] を選択 (またはツールバーの [クイック印刷] ボタンをクリック) すると、[印刷] 画面が表示されずに、すぐに印刷が実行されます。

応用操作

フォトレイアウトでは、画像それぞれに対して個別に画像補正を行なうことができます。また、テンプレートに用意されているフレームの他に、新しいフレームを追加することもできます。

画像補正、全画像補正

レイアウトエリアの画像を選択した後、[画像]メニューから画像補正の項目を選択すると、画像それぞれに対して個別に画像補正を行うことができます。この操作に関しては、「第4章 サービス共通の操作3 - 画像補正」(→ P.4-1)で説明します。

レイアウトエリアの編集

レイアウトエリア上のフレームには、画像を貼り込んだり、文字を入力することができます。また、フレームの位置や大きさを変えたり、フレームに貼り込まれている画像の位置や大きさを変えることもできます。さらに、選択されたテンプレートのページを追加したり、複製したりすることもできます。

これらの編集の操作については、「レイアウトエリアの編集」(→ P.9-14 ~ 9-28)で説明します。

大きな用紙サイズで印刷する操作

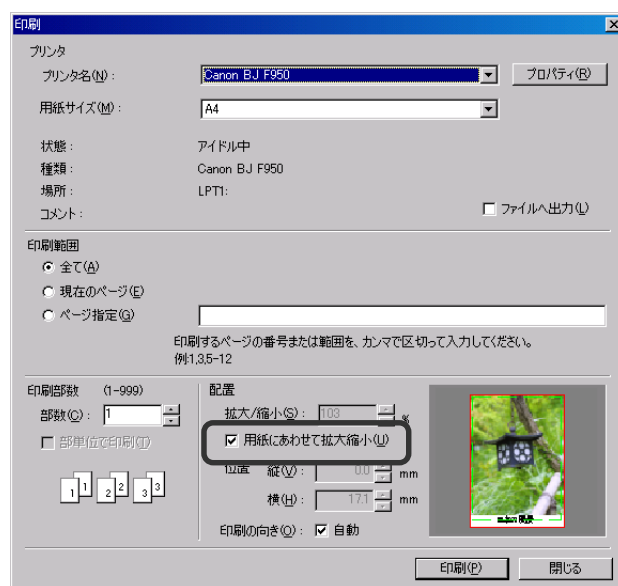
テンプレートのサイズより、さらに大きな用紙サイズで印刷するには、次の2種類の方法があります。

■ 印刷画面の拡大／縮小を使う

[ファイル] メニューから [印刷] を選択（またはツールバーの [印刷] ボタンをクリック）すると、[印刷] 画面が表示されます。

[配置] の [用紙にあわせて拡大縮小] にチェックマークを入れると、拡大／縮小率（最大220%）が自動的に計算され、用紙サイズにあったサイズで印刷が実行されます。

処理の負荷が大きいなどの理由で印刷に時間がかかる場合は、「プリンタドライバの拡大機能を使う」の操作で印刷してみてください。



メモ

- ・三菱電機 Digital Color Printer CP8000D を使ってふちなし印刷を行う場合は、[用紙にあわせて拡大縮小] にチェックマークを入れてください。

■ プリンタドライバの拡大機能を使う

プリンタドライバの拡大機能を使って、テンプレートのサイズより大きな用紙サイズで印刷することができます（テンプレートのサイズから用紙サイズまで）。例えば、Canon Large Format Printer W7200 では、[印刷設定] → [ページ設定] の [原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] を変更して拡大します。このとき、[原稿サイズ] には選択したテンプレートのサイズを、[出力用紙サイズ] には実際に出力する用紙のサイズを指定します。



メモ

- ・Canon Large Format Printer W7200/7250 の拡大機能を使って印刷処理を行う場合は、ページの端にあるデータが一部欠けてしまうなど、編集したテンプレートのレイアウトが正しく反映されないことがあります。

レイアウトエリアの編集 - テンプレート

レイアウトエリア上のテンプレートを編集します。

テンプレートの選択

テンプレートを選択するには、次の3種類の方法があります。

■ テンプレートをダブルクリックして選択

[テンプレート] ボタンをクリックし、テンプレート一覧の中の使いたいテンプレートをダブルクリックします。この操作については、「基本操作」の手順4で説明しています。(→ P.9-9)

■ テンプレートをドラッグして選択

[テンプレート] ボタンをクリックし、テンプレート一覧の中から使いたいテンプレートを選択して、そのままレイアウトエリアまでドラッグします。

■ 保存されているテンプレートファイルを開く

[ファイル] メニューから [開く] を選択して、テンプレートのファイルを開きます。ただし、この機能はデザインフレームからフォトレイアウトを選択しているときのみ使用できます。オーダーマネージャからフォトレイアウトを起動した場合には、使用できません。



お願い

- ・ 選択されているテンプレートを編集している状態で、さらに新しいテンプレートを選択すると、「xxxx への変更を保存しますか？」というメッセージが表示されます。編集中の写真を保存して新しいテンプレートに置き換えたい場合は [はい] を、編集中の写真を破棄して新しいテンプレートに置き換えたい場合は [いいえ] を選択してください。
- ・ オーダーマネージャから起動した場合は「編集結果を破棄しますか？」というメッセージが表示されます。編集中の写真を破棄して新しいテンプレートに置き換えたい場合は [はい] を、使用しているテンプレートをそのまま使用する場合は [いいえ] を選択してください。

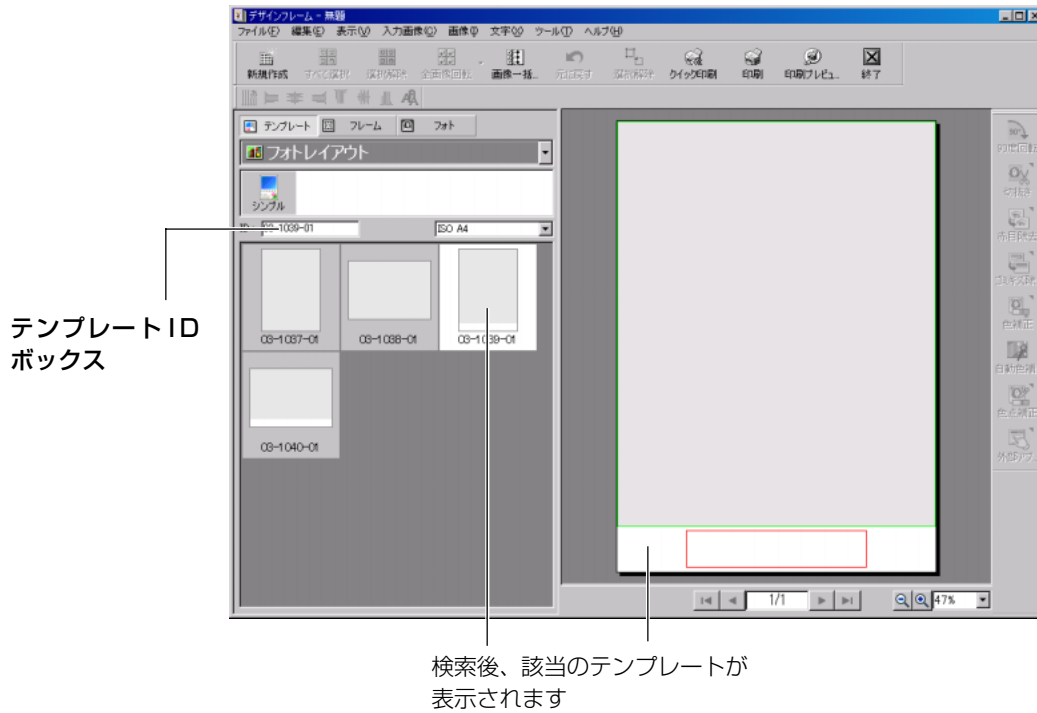


メモ

- ・ フォトレイアウトを起動した直後の状態では、真っ白な A4 サイズの縦型テンプレートが表示されています。テンプレート一覧のテンプレートを使わずに、この白いテンプレートのまま作業を続けることもできます。
- ・ テンプレートを選択すると、レイアウトエリアに表示されているページはテンプレートで指定されているページサイズに変わります。

テンプレートの検索

テンプレートIDボックスに、テンプレートIDを入力して（XX-XXXX-XXの形式で）Enterキーを押すと、テンプレートを検索することができます。選択エリアとレイアウトエリアには、該当するテンプレートが表示されます。



レイアウトエリアの編集 - フレーム

レイアウトエリア上のフレームを編集します。編集の操作は、フォトフレーム、テキストフレーム、カレンダーフレームのすべてで共通です。

フレームの追加

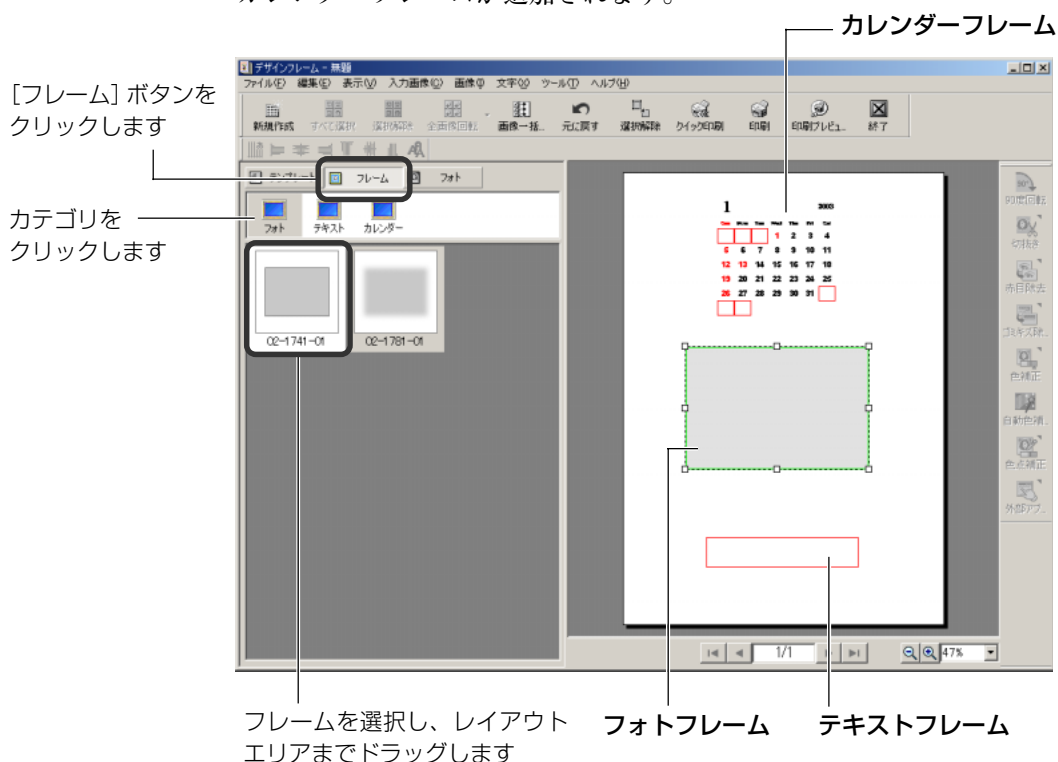
フレームを追加するには、次の方法があります。

■ フレーム一覧から追加

あらかじめ用意されているフレームをレイアウトエリアに追加します。

[フレーム] ボタンをクリックし、[フォト] [テキスト] [カレンダー] のいずれかのカテゴリを選択して、フレーム一覧を表示します。一覧の中から追加したいフレームを選択して、そのままレイアウトエリアまでドラッグします。

[フォト] カテゴリを選択した場合はフォトフレームが、[テキスト] カテゴリを選択した場合はテキストフレームが、[カレンダー] カテゴリを選択した場合はカレンダーフレームが追加されます。



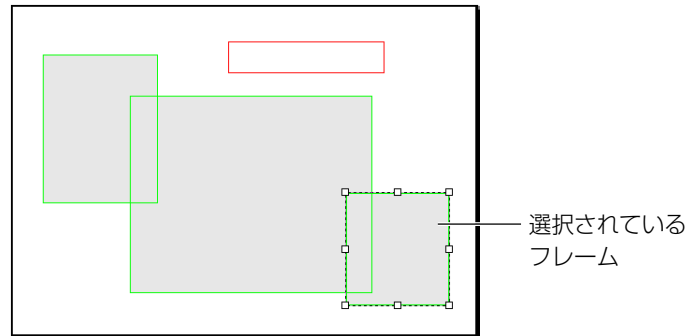
メモ

- ・1つのテンプレートには、いくつでもフレームを追加することができます。

フレームの選択／選択解除

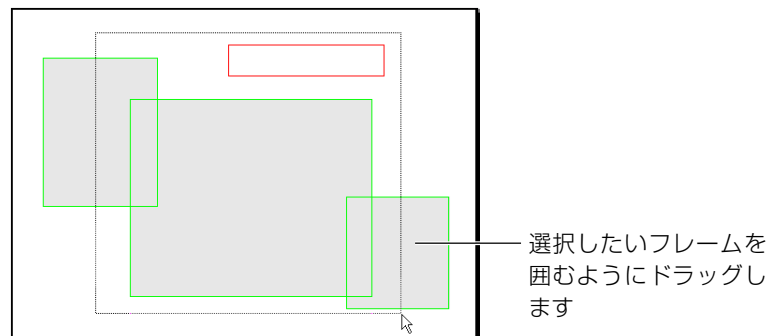
■ 1 フレームのみの選択

フレームを1つ選択するときは、選択したいフレームをクリックします。選択されているフレームは、点線の枠で囲まれ、枠の辺や角には□が表示されます。




■ 複数のフレームの選択

複数のフレームを選択する場合は、Ctrlキーを押しながらフレームをクリックします。マウスポインタをドラッグして、フレームを囲むように選択することもできます。



■ 全フレームの選択／選択解除

[編集] メニューから [すべて選択] を選択することで、全フレームを選択することができます。また、[編集] メニューから [選択解除] を選択 (またはツールバーの  [選択解除] ボタンをクリック) すると、全フレームの選択を解除することができます。

フレームの削除

削除したいフレーム (複数可) を選択した後、[編集] メニューから [削除] を選択します。フレームを選択した後、Delete キーを押すことで、フレームを削除することもできます。

フレームの編集

フレーム（複数可）を選択した後、[編集]メニューから以下の項目を選択すると、フレームの編集を行えます。

- | | |
|---------|-------------------------------|
| [切り取り]: | 選択したフレームを切り取ります。 |
| [コピー]: | 選択したフレームをコピーします。 |
| [貼り付け]: | 切り取ったフレームまたはコピーしたフレームを貼り付けます。 |

フレームの移動

移動したいフレーム（複数可）を選択した後、そのままドラッグします。このとき、マウスポインタの形状は十字に変わります。

フレームのサイズ変更

フレームを選択した後、マウスポインタを□に合わせると形状が矢印に変わります。そのまま矢印の方向へドラッグすることで、フレームの大きさを変更することができます。

■ 枠の角の□に合わせた場合

画像の縦と横の比率が保たれたまま拡大縮小します。

■ 枠の辺の□に合わせた場合

画像の縦と横の比率が保たれずに拡大縮小します。

カレンダーフレームの編集

カレンダーフレームの年月の文字を編集したり、開始年月や休日を変更することができます。この操作に関しては、「カレンダーの編集」(→ P.10-10)で説明します。

レイアウトエリアの編集 - 画像

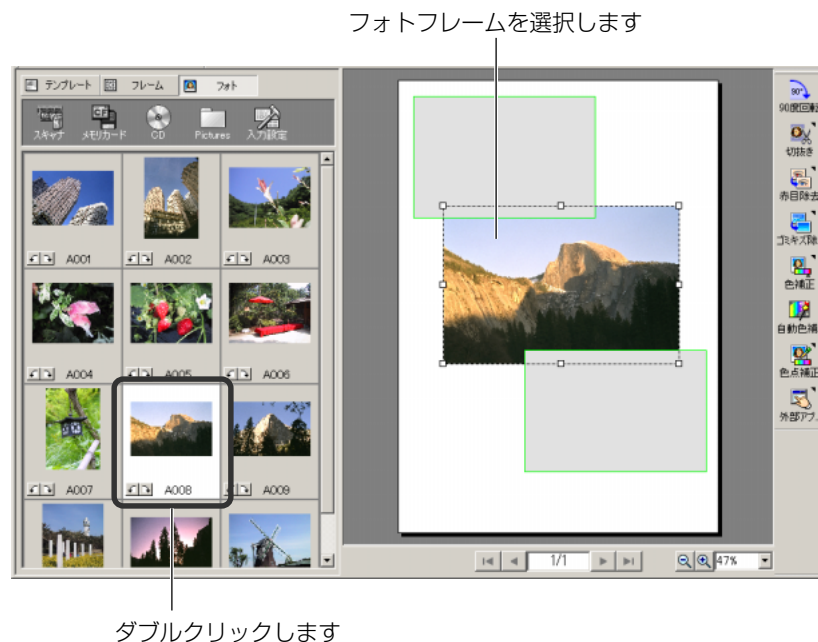
フォトフレームに画像を貼り込む方法と、貼り込んだ画像の編集方法について説明します。

画像の貼り込み

フォトフレームに画像を貼り込むには、次の2種類の方法があります。

■ 画像をダブルクリックして貼り込む

[フォト] ボタンをクリックし、画像一覧を表示します。フォトフレームを選択した後、一覧の中の使いたい画像をダブルクリックします。この操作については、「基本操作」の手順5～手順6で説明しています。(→ P.9-9～9-10)



■ 画像をドラッグして貼り込む

一覧の中から使いたい画像を選択して、そのままレイアウトエリアまでドラッグします。この操作の場合には、あらかじめフォトフレームを追加しておく必要はありません。フォトフレームとともに画像がレイアウトエリアに貼り込まれます。



メモ

- ・すでに画像が貼り込まれているフォトフレームを選択した状態で、別の画像をダブルクリックすると、元の画像は新しい画像に置き換わります。

画像の一括挿入

[入力画像] メニューから [一括挿入] を選択（またはツールバーの [画像一括挿入] ボタンをクリック）すると、画像一覧で選択されている画像が一括して、フォトフレームに貼り込まれます。この場合、レイアウトエリアでフレームを選択する必要はありません。



メモ

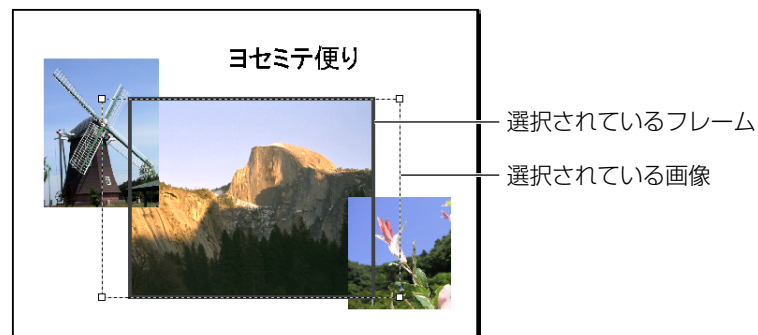
- ・同じページ内にあるフォトフレームの場合には、フレームの作成順（下から上へ）に画像が貼り込まれます。
- ・テンプレートが複数のページから構成されている場合には、先頭ページから最終ページまで順番に画像が貼り込まれます。
- ・画像一覧で選択している画像枚数が、テンプレート上のフォトフレーム数より多い場合には、フォトフレームの数だけ画像が貼り込まれます。
- ・すでにフォトフレームに画像が挿入されている場合は、新しい画像に置き換えられます。

画像の選択／選択解除

■ 選択

画像を選択するときは、選択したい画像が貼り込まれているフレームをダブルクリックします。

選択された画像は点線の枠で囲まれ、枠の角には□が表示されます。このとき、フレームは太い黒い枠で囲まれます。この状態のときに、画像を編集することができます。



■ 選択解除

[編集] メニューから [選択解除] を選択（またはツールバーの [選択解除] ボタンをクリック）すると、画像の選択を解除することができます。また、画面上のフレームがないところをクリックしても、選択を解除できます。



メモ

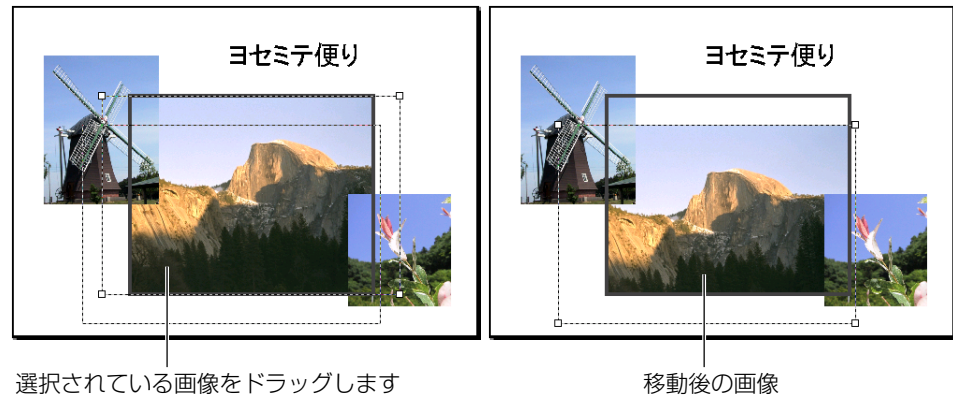
- ・フレームを選択した後、[編集] メニューから [編集] を選択することでも、画像を編集することができます。

画像の削除

削除したい画像を選択した後、[編集]メニューから[削除]を選択します。画像を選択した後、Delete キーを押すことで、画像を削除することもできます。

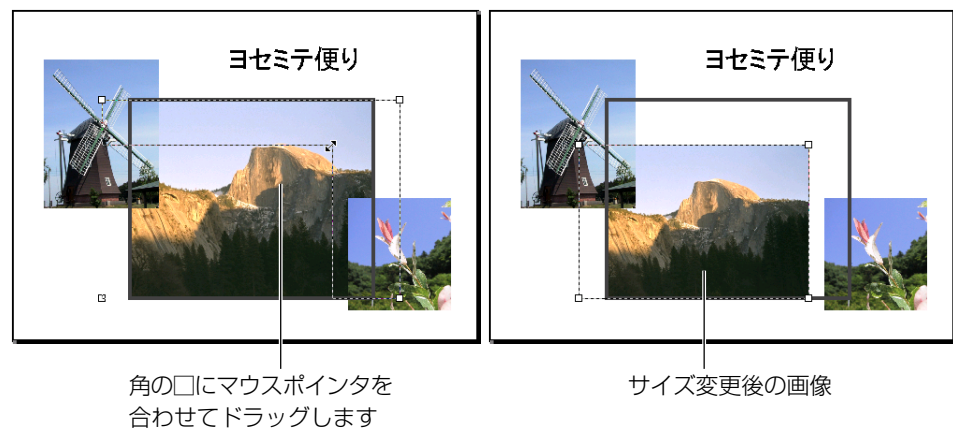
フレーム内の画像の移動

移動したい画像を選択した後、そのままドラッグすると、フレーム内で画像が移動します。このとき、フレームからはみだた部分は表示されません。



画像のサイズ変更

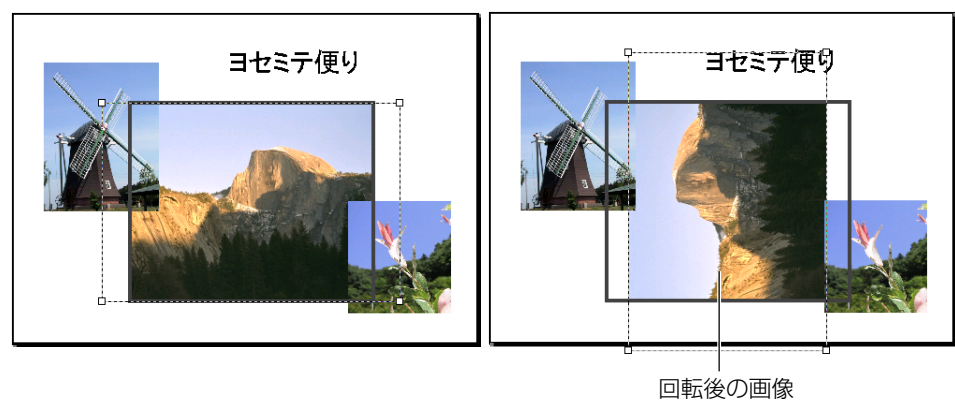
画像を選択した後、マウスポインタを□に合わせると形状が矢印に変わります。そのまま矢印の方向へドラッグすることで、画像の大きさを変更することができます。サイズは、縦と横の比率が保たれたまま拡大縮小します。



画像の回転

画像を選択した後、「画像」メニューから以下の項目を選択すると、画像が回転あるいは反転します。この操作に関しては、「第4章 サービス共通の操作3 - 画像補正」(→ P.4-1)で説明します。

- [左90度回転]： 画像を、反時計回りに90度回転します。
- [180度回転]： 画像を、180度回転します。
- [右90度回転]： 画像を、時計回りに90度回転します。
- [左右反転]： 画像を、左右に反転します。
- [上下反転]： 画像を、上下に反転します。



画像補正

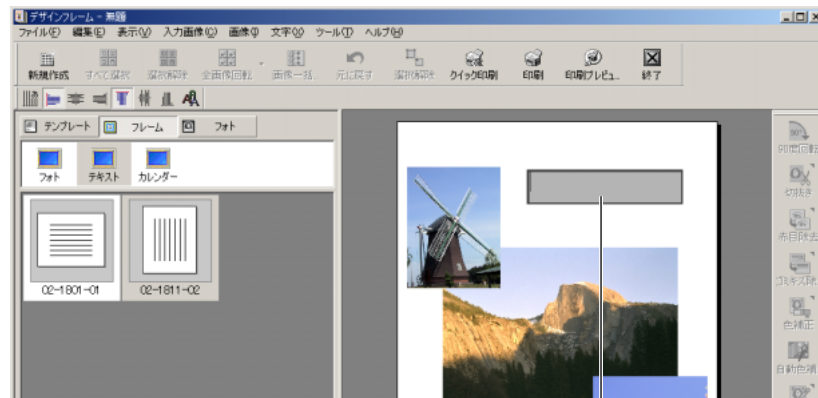
画像を選択した後、「画像」メニューから画像補正の項目を選択すると、画像それぞれに対して個別に画像補正を行うことができます。この操作に関しては、「第4章 サービス共通の操作3 - 画像補正」(→ P.4-1)で説明します。

レイアウトエリアの編集 - 文字

テキストフレームに文字を入力する方法と、入力した文字の編集方法について説明します。

テキストフレームへの文字入力

テキストフレームをダブルクリックすると、文字入力の部分が灰色になります。この状態のときに文字を入力することができます。

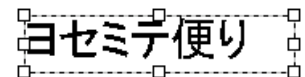


ダブルクリックします

文字の選択

■ 文字全体の選択

テキストフレームをクリックします。これで、文字全体が選択されます。

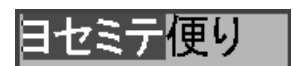


また、テキストフレームをダブルクリックすると、文字入力の部分が灰色になります。この状態のときに文字全体を範囲指定して選択することもできます。



■ 一部の文字の選択

テキストフレームをダブルクリックすると、文字入力の部分が灰色になります。この状態のときに文字の一部を範囲指定して選択します。



文字の削除

テキストフレーム内の文字を選択した後、[編集]メニューから[削除]を選択すると、選択した文字だけが削除されます。削除したい文字を選択した後、Deleteキーを押すことで、文字を削除することもできます。

文字の編集

テキストフレーム内の文字を選択した後、[編集] メニューから以下の項目を選択すると、文字の編集を行えます。

- [切り取り]： 選択した文字を切り取ります。
- [コピー]： 選択した文字をコピーします。
- [貼り付け]： カーソルの位置に、切り取った文字またはコピーした文字を貼り付けます。


文字の配置

テキストフレームをクリックした後、[文字] メニューから以下の項目を選択すると、文字の配置を変更できます。

- [縦書き]： 文字を縦書きにします。もう一度、[縦書き] を選択すると、横書きに戻ります。
- [左寄せ]： 文字の左右位置を、左寄せにします。
- [左右中央寄せ]： 文字の左右位置を、中央寄せにします。
- [右寄せ]： 文字の左右位置を、右寄せにします。
- [上寄せ]： 文字の上下位置を、上寄せにします。
- [上下中央寄せ]： 文字の上下位置を、中央寄せにします。
- [下寄せ]： 文字の上下位置を、下寄せにします。

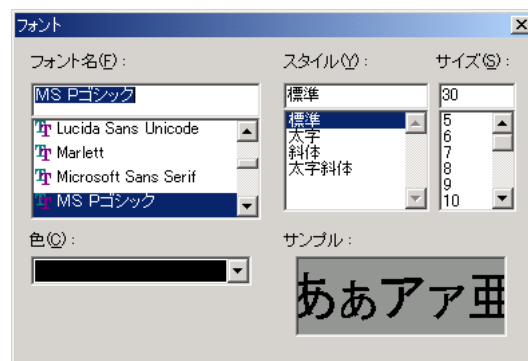


メモ


・文字ツールバー  の各ボタンを使って、文字の配置を変更することもできます。

フォントの指定

文字を選択した後、[文字] メニューから [フォント] を選択すると、次のような画面が表示されます。この画面で、フォント、スタイル、サイズ、色などを指定します。文字全体の指定を変えたり、文字の一部だけを変えることもできます。



メモ

・文字ツールバーの  (フォント) ボタンを使って、フォント指定の画面を表示することもできます。

レイアウトエリアの編集 - ページ

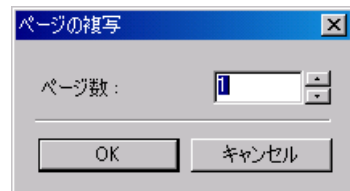
レイアウトエリアでは、複数のページを設定することができます。ここでは、複数のページが設定されているときの操作について説明します。

ページの追加

[編集] メニューから [ページの追加] を選択すると、表示されているページの後ろに、同じサイズのページが追加されます。

ページの複写

複写したいページを表示した後、[編集] メニューから [ページの複写] を選択すると、次のような画面が表示されます。



「ページ数」にページを指定するか、右側の [▲] [▼] でページを指定し、[OK] ボタンをクリックすると、表示されているページと全く同じページが指定したページ数だけ作成（複写）されます。フレームに画像が貼り込まれていたり、文字が入力されている場合は、それらも一緒に複写されます。複写後は、1ページ後ろのページが表示されます。

設定できる枚数は1～98です（複写後の最大ページ数は99ページ）。

ページの削除

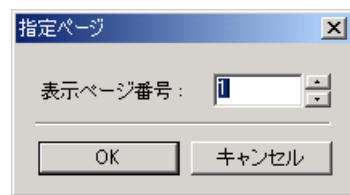
削除したいページを表示した後、[編集] メニューから [ページの削除] を選択すると、そのページが削除されます。

ページの切り替え

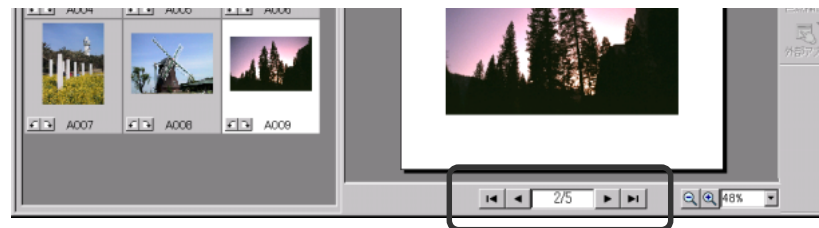
複数のページが設定されている場合、[表示] メニューから以下の項目を選択すると、ページが切り替わります。

[先頭ページ] :	先頭ページを表示します。
[前のページ] :	前のページを表示します。
[次のページ] :	次のページを表示します。
[最終ページ] :	最終ページを表示します。
[指定ページ] :	表示するページを指定する画面が表示されます。

[指定ページ] を選択すると、次のような画面が表示されます。

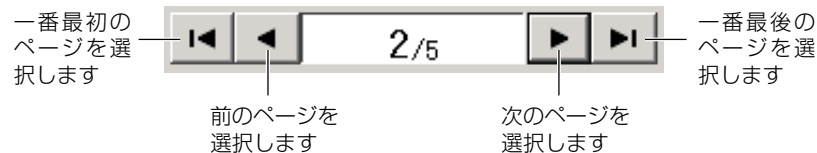


「表示ページ番号」にページを指定するか、右側の [▲] [▼] でページを指定し、[OK] ボタンをクリックすると、指定したページが表示されます。



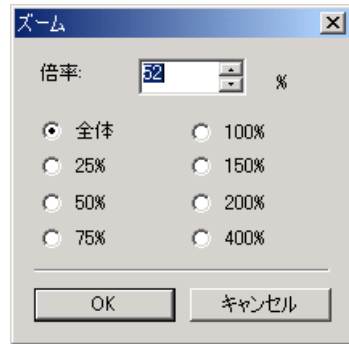
メモ

- ・複数のページがある場合には、レイアウトエリアの下側に「2/5」のような数字が表示されます。後ろの数字がページの総数、前の数字が現在表示されているページが「総数の何ページ目にあたるか」を示しています。この数字の左右のボタンをクリックすることで、ページを選択することができます。



表示倍率の変更

[表示] メニューから [ズーム] を選択すると、次のような画面が表示されます。「倍率」で数値を指定するか、[全体] または [25%] ~ [400%] の倍率を選択すると、レイアウトエリアの表示が変わります。



メモ

- ・レイアウトエリアの右下隅の [▼] をクリックして、表示されるプルダウンメニューから倍率を選択したり、直接数値を入力して、倍率を変更することもできます。
- ・右下隅の (拡大) ボタンをクリックすると、レイアウトエリアの画面が拡大されて表示されます。このとき、レイアウトエリアの右側と下側にスクロールバーが表示されます。このスクロールバーを使って、表示範囲を変更することができます。
- ・画面を縮小表示するときは、 (縮小) ボタンをクリックします。



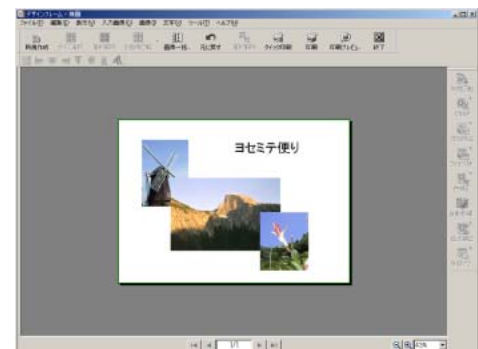
表示の切り替え

[表示] メニューの [セレクトビュー] のチェックマークを外すと、画面左半分が表示が消え、画面いっぱいレイアウトエリアの部分だけが表示されます。全体のレイアウトを広い画面で確認したいときなどに使います。もう一度 [表示] メニューの [セレクトビュー] を選択すると、元の表示に戻ります。

チェックマークが入っている場合

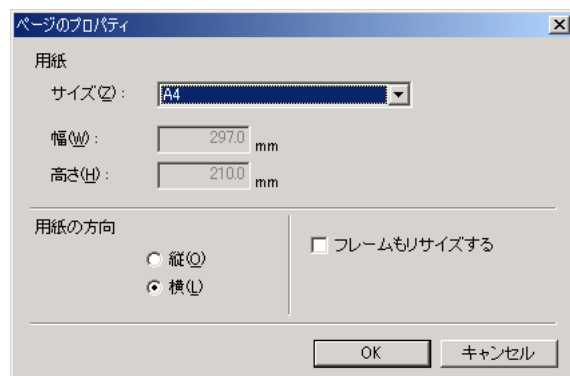


チェックマークを外した場合



ページの詳細情報の表示

ページを表示した後、[編集]メニューの[プロパティ]を選択すると、次のような画面が表示されます。この画面では、ページごとに個別に用紙サイズや用紙の方向などを変更することができます。



■ 用紙

「サイズ」の右の[▼]をクリックして、ページサイズ（用紙のサイズ）を選択します。ページサイズを選択すると、ページの幅と高さのサイズがすぐ下に表示されます。

「サイズ」で[その他]を選択したときは、すぐ下の[幅]と[高さ]でサイズを指定します。

■ 用紙の方向

印刷の向きを[縦]にするか[横]にするかを設定します。

■ フレームもリサイズする

この項目にチェックマークを付けると、ページサイズを変更したときに、サイズに合わせて全フレームの位置や大きさも同じ比率で拡大縮小されます。

チェックマークを外すと、ページサイズを変更しても、全フレームの位置や大きさは変わりません。サイズの指定によっては、用紙からはみだすこともあります。

表示の単位設定

用紙サイズなどの表示や指定に使う単位を設定します。

[ツール]メニューの[単位系]を選択すると、次のような画面が表示されます。[mm] または [inch] をクリックして、単位を変更します。



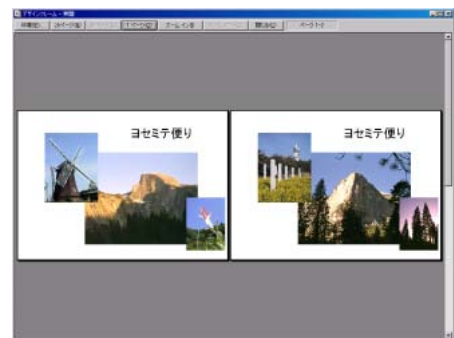
印刷プレビュー

[ファイル] メニューから [印刷プレビュー] を選択（またはツールバーの [印刷プレビュー] ボタンをクリック）すると、次のような画面が表示されます。この画面では、印刷時の印刷イメージを確認することができます。また、この画面から印刷することもできます。

1 ページ表示の場合



2 ページ表示の場合



■ [印刷] ボタン

印刷プレビューの画面が閉じられ、印刷を実行する画面が表示されます。

■ [次ページ] [前ページ] ボタン

[次ページ] ボタンは次ページを、[前ページ] ボタンは前ページを表示します。表示するページがない場合は、選択できません。

■ [1 ページ] または [2 ページ] ボタン

1 ページまたは2 ページ表示に画面を切り替えます。

■ [ズームイン] [ズームアウト] ボタン

[ズームイン] ボタンをクリックすると、印刷プレビューの画面が拡大されて表示されます。このとき、印刷プレビューの右側や下側にスクロールバーが表示されます。このスクロールバーを使って、表示範囲を変更することができます。画像を縮小表示するときは、[ズームアウト] ボタンをクリックします。2 ページ表示のときにズームインを行うと、1 ページ表示に変わります。

■ [閉じる] ボタン

印刷プレビューの画面を閉じ、元の画面に戻ります。

■ 現在のページ

現在表示中のページ番号が、画面上部のボタンの右横に表示されます。

単独で起動した場合の機能

デザインフレームを単独で起動した場合に使用できる機能を説明します。オーダーマネージャからフォトレイアウトを起動した場合には、使用できません。

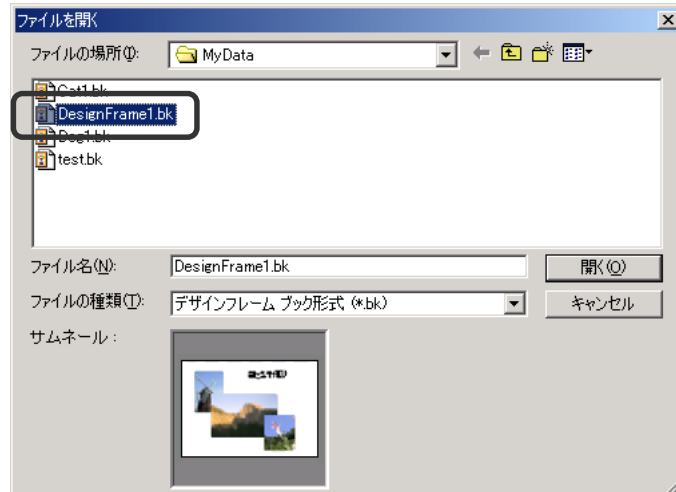
新規作成

新規にテンプレートを作成するときに使います。
[ファイル] メニューから [新規作成] を選択 (またはツールバーの [新規作成] ボタンをクリック) すると、新しいA4サイズのテンプレートが表示されます。このとき、それまで作成していた編集データはすべて消去されます。

開く

[上書き保存] または [名前を付けて保存] で保存したテンプレートのファイルを開きます。

- 1 [ファイル] メニューから [開く] を選択します。
・ [ファイルを開く] 画面が表示されます。
- 2 ファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。



・ 選択したファイルが画面に表示されます。



お願い

・ [ファイル] メニューから [開く] を選択したときにレイアウトエリアに編集中のテンプレートがある場合は、そのテンプレートを保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。保存する場合は [はい] を、保存しない場合は [いいえ] をクリックしてください。

上書き保存

作成したデータをファイルとして上書き保存します。

■ はじめて上書き保存をしたとき

[ファイル] メニューから [上書き保存] を選択すると、[名前を付けて保存] の画面が表示されます。ファイル名を指定して [保存] ボタンをクリックすると、ファイルが保存されます。このとき、指定したファイル名がタイトルバーに表示されます。

■ 2回目以降に上書き保存をしたとき

すでに上書き保存をしているファイルの場合、[ファイル] メニューから [上書き保存] を選択すると、[名前を付けて保存] の画面は表示されずに、すぐに同じファイル名のファイルに上書き保存されます。

名前を付けて保存

作成したデータを新しいファイルとして保存します。

[ファイル] メニューから [名前を付けて保存] を選択すると、[名前を付けて保存] の画面が表示されます。ファイル名を入力して [保存] ボタンをクリックすると、ファイルが保存されます。このとき、指定したファイル名がタイトルバーに表示されます。

画像形式で保存

表示されているページをJPEG形式の画像ファイルとして保存します。サイズは選択されている用紙サイズで、解像度は300dpiで保存されます。[ファイル] メニューから [画像形式で保存] を選択すると、[画像形式で保存] の画面が表示されます。ファイル名を入力して、[保存] ボタンをクリックします。



メモ

- ・ 「上書き保存」や「名前を付けて保存」で保存したデータは、テンプレートとしてDigital Photo Expertに登録することもできます。テンプレートの登録については、「アートワークの登録」(→ P.5-30)で説明します。

第10章

カレンダー

この章では、カレンダーの使い方について説明します。

カレンダーについて

カレンダーでは、スキャナで読み込んだ画像やデジタルカメラのカードから読み込んだ画像、ディスク内に保存してある画像と、印刷サイズごとに用意されたテンプレートなどを使って、さまざまなデザインの写真入りカレンダーを作成、印刷します。



お願い

- ・カレンダーのテンプレートがインストールされていない場合は、カレンダーの画面は表示されません。必ず、テンプレートをインストールしてからこの作業を行ってください。インストールについては、「アートワークのインストール」(→ P.1-10) で説明します。

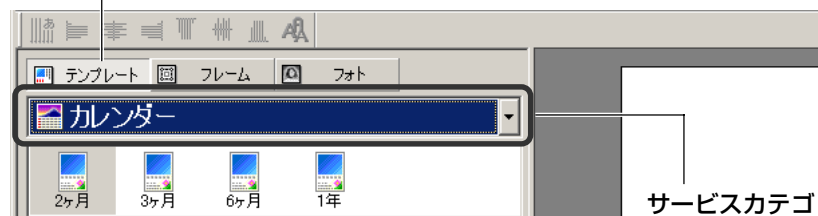
カレンダーの起動

カレンダーの操作を行うには、次の2種類の方法があります。

■ デザインフレームからの起動

デザインフレームを起動した後、テンプレートのサービスカテゴリで [カレンダー] を選択し、その中からテンプレートを選択して作業を行います。デザインフレームの起動については「サービス単独の起動と終了」(→ P. 2-3) で説明します。

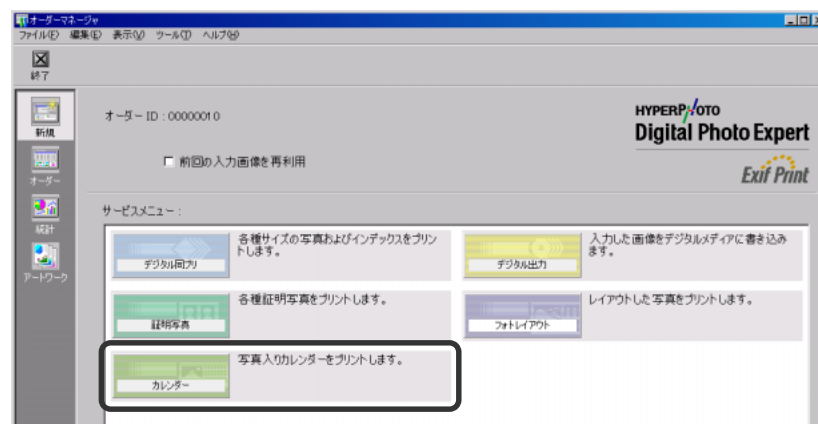
[テンプレート]
ボタンをクリック
します



サービスカテゴリ
プルダウンメニューを使って、
[カレンダー] を選択します

■ オーダーマネージャからの起動

オーダーマネージャから [カレンダー] のサービスを選択して、起動します。オーダーマネージャからの起動については、「オーダーマネージャからのサービスの起動と終了」(→ P.5-8) で説明します。





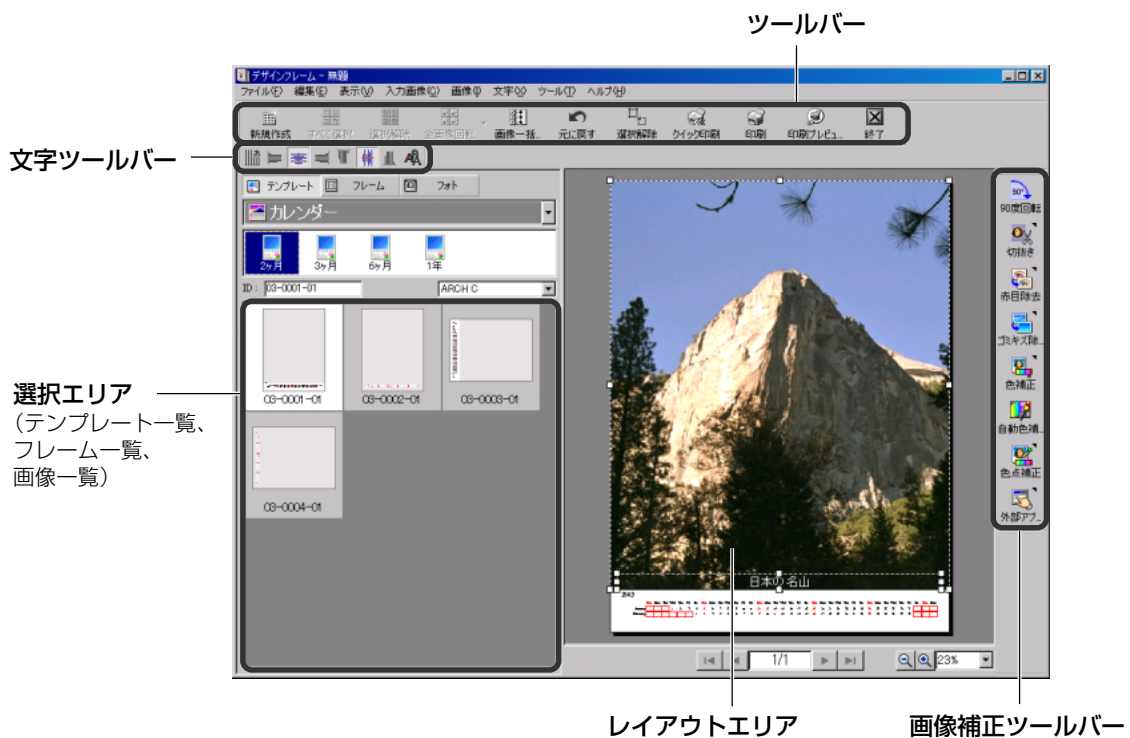
メモ

- ・オーダーマネージャから選択できる [カレンダー] のサービスは、デザインフレームのテンプレートのサービスカテゴリで、あらかじめ [カレンダー] を選択した状態で作業をはじめられるようにしたものです。したがって、オーダーマネージャから選択した [カレンダー] の各機能は、デザインフレームのサービスカテゴリから選択した [カレンダー] の機能と同様です。ただし、サービスカテゴリの選択はできません。
- ・カレンダーのテンプレートがなくても、カレンダーフレーム (→ P.9-16) を使って、カレンダーを作成することができます。

カレンダーの画面

カレンダーを起動すると、次のような画面が表示されます。(画像は表示されていない場合があります。)

この画面の各機能を使って、カレンダーを作成し、印刷します。各機能の役割は、フォトレイアウトの機能と同様です (→ P.9-4)。



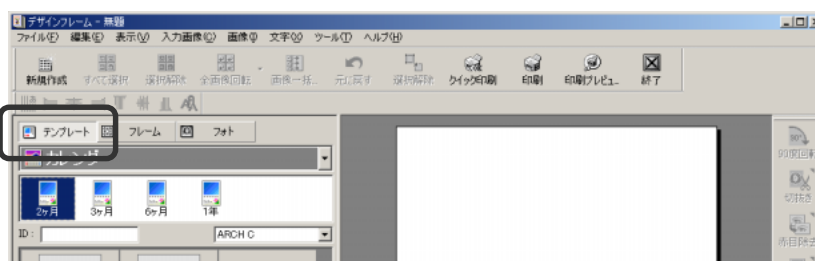
基本操作

カレンダーでは、写真入りのカレンダーを作成、印刷します。ここでは、あらかじめ用意されたテンプレートを使ってカレンダーを印刷します。

カレンダーの操作の流れ

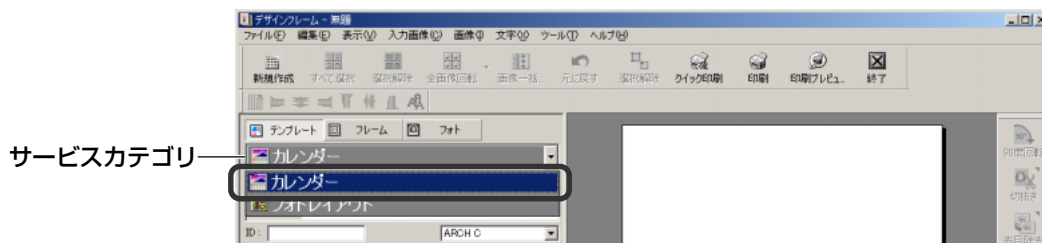
カレンダーは、次のような流れで操作します。

- 1 画面左側の [テンプレート] [フレーム] [フォト] から [テンプレート] を選択します。



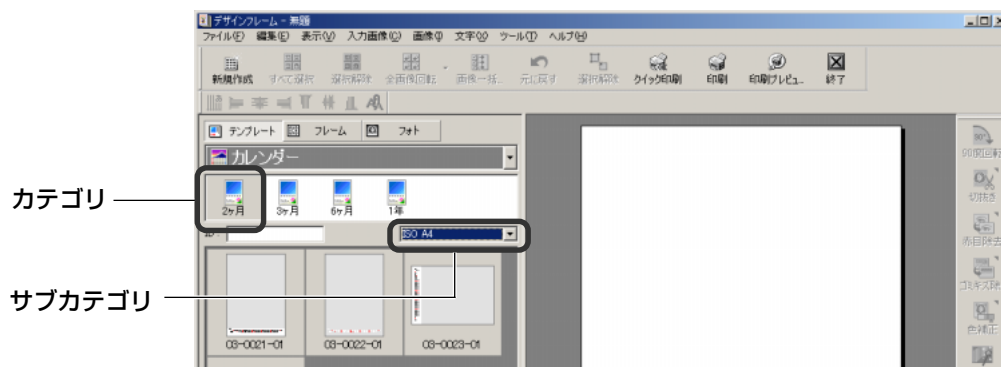
- 2 すぐ下のサービスカテゴリのプルダウンメニューを使って、[カレンダー] を選択します。

・オーダーマネージャから、[カレンダー] のサービスを選択した場合、この操作は必要ありません。(選択できません)



- 3 アイコンのカテゴリから目的のカテゴリ (テンプレートの種類) を選び、さらにサブカテゴリを選択します。

・ここでは、[2ヶ月] カテゴリを選び、[ISO A4] サブカテゴリを選択します。
 ・選択したカテゴリに登録されているテンプレートの一覧が選択エリアに表示されます。



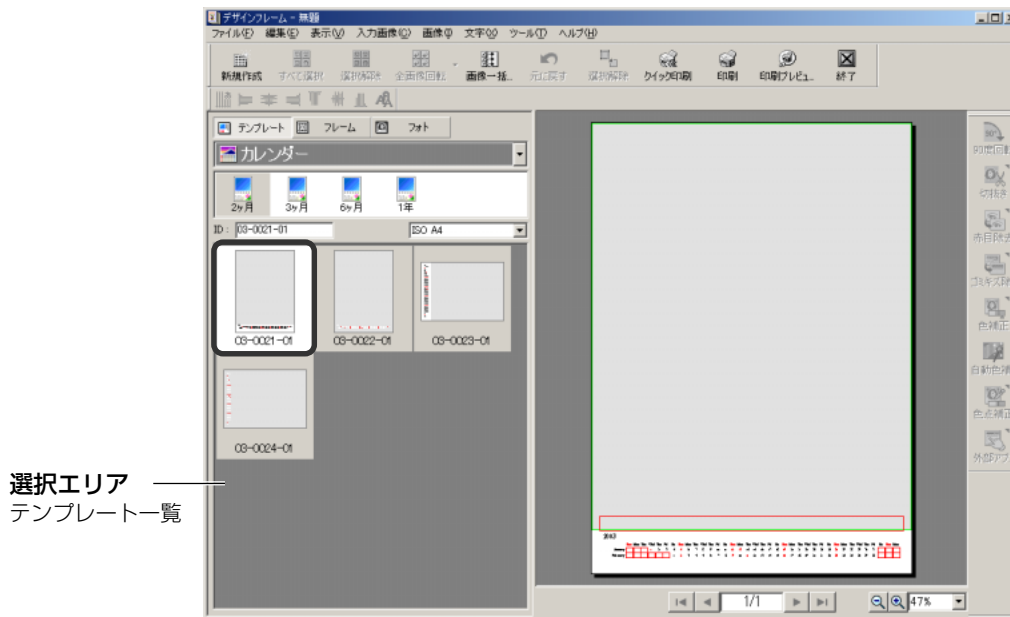


メモ

- ・作成したカレンダーは、サブカテゴリで選択したサイズで印刷されます。このサイズよりもさらに大きな用紙サイズで印刷することもできます。この操作については、「大きな用紙で印刷する操作」(→ P.9-13)で説明します。
- ・ページサイズは、プロパティで変更することもできます。この操作については、「ページの詳細情報の表示」(→ P.9-28)で説明します。

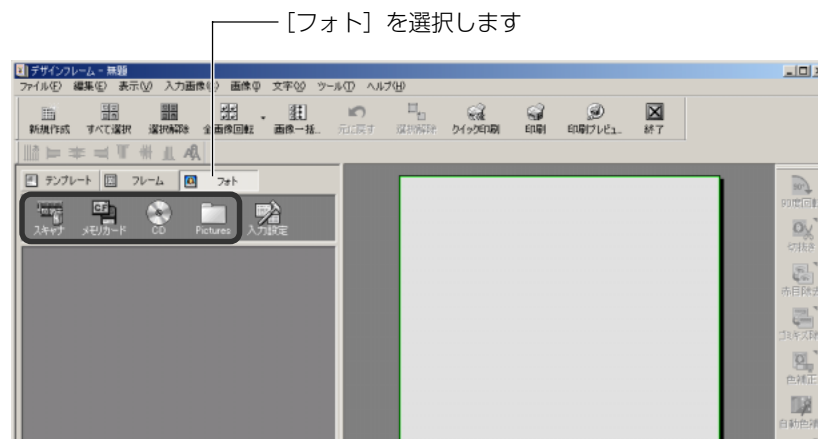
4

- 表示された一覧の中の使いたいテンプレートをダブルクリックします。
- ・選択したテンプレートが画面の右側に表示されます。



5

- [フォト] を選択した後、画面左側に表示されている [スキャナ] [メモ리카ード] [CD] などのボタンをクリックして入力装置を選択し、画像を読み込みます。



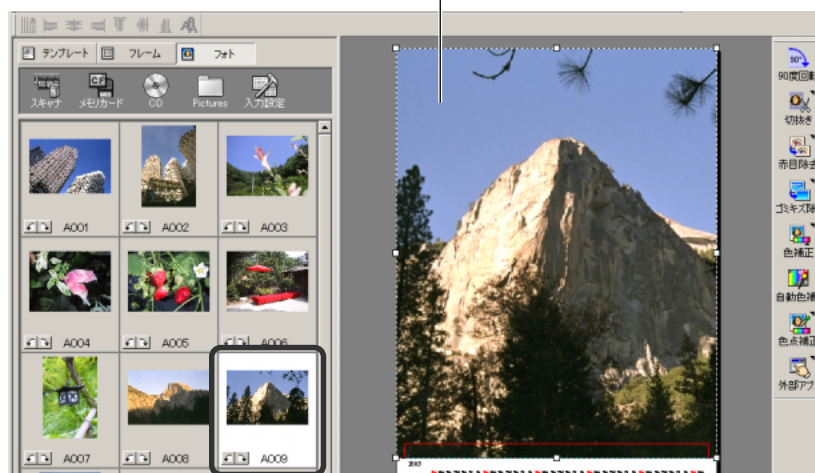
メモ

- ・[スキャナ] [メモ리카ード] [CD] などのボタンはお使いのシステムに合わせて自由に設定することができます。画像入力の操作については、「第3章 サービス共通の操作2 - 画像入力」(→ P.3-1)で説明します。

6 選択したテンプレート上のフォトフレーム（画像を貼り込むための枠）に画像を貼り込みます。

- ・フォトフレームは緑色の枠で表示されています。
- ・フォトフレームをクリックして選択した後、画像一覧の画像をダブルクリックすると、選択したフォトフレームに画像が貼り込まれます。画像の貼り込みについては、[レイアウトエリアの編集－画像]（→ P.9-19）で説明します。

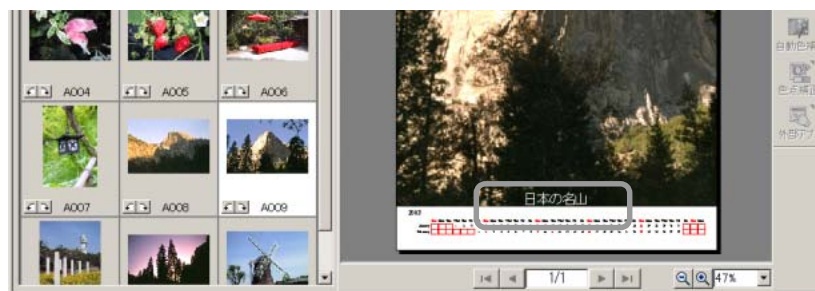
フォトフレームを選択します



ダブルクリックします

7 選択したテンプレートにテキストフレーム（文字を入力するための枠）が用意されている場合には、必要に応じて文字を入力します。

- ・テキストフレームは赤色の枠で表示されています。
- ・テキストフレームをダブルクリックし、文字を入力します。文字入力や文字編集の操作については、[レイアウトエリアの編集－文字入力]（→ P.9-23）で説明します。

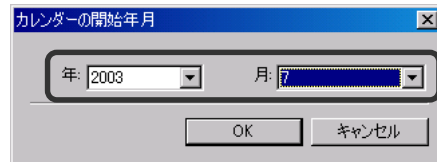


メモ

- ・画面左側の [フレーム] をクリックして、さらに写真や文字、カレンダーなどのフレームを加えることができます。これらの操作については、[レイアウトエリアの編集－フレーム]（→ P.9-16）で説明します。
- ・[編集] メニューの [ページの複写] を選択すると、レイアウトエリアに表示されているページを複写することができます。ページの複写については、[レイアウトエリアの編集－ページ]（→ P.9-25）で説明します。

8 カレンダーの開始年月を選択します。

- ・ [ツール] メニューから [カレンダーの開始年月] を選択し、カレンダーを開始したい年月を選択して、[OK] をクリックします。



- ・ レイアウトエリアに表示されていたカレンダーの表示が、指定した年月に変わります。



指定した年月に変わります

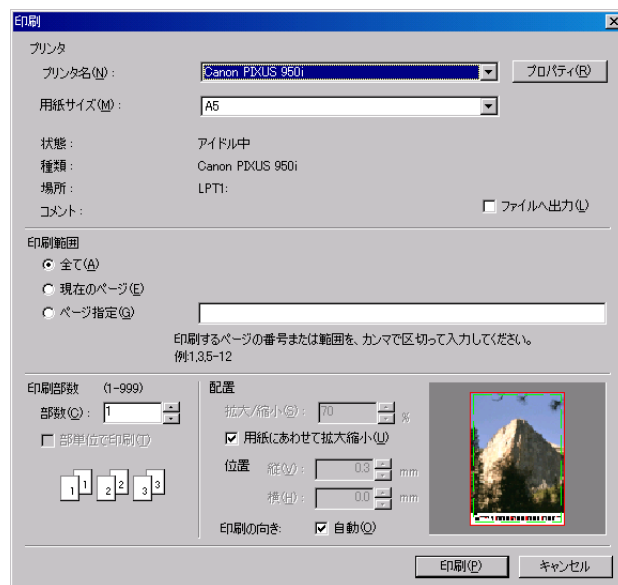


メモ

- ・ テンプレートにあらかじめ用意されているカレンダーの表示 (カレンダーフレーム) の位置や大きさを変えることもできます。カレンダーフレームの操作については、「レイアウトエリアの編集 - フレーム」(→ P.9-16) で説明します。

9 印刷を実行します。

- ・ [ファイル] メニューから [印刷] を選択 (またはツールバーの [印刷] ボタンをクリック) すると、[印刷] 画面が表示されます。この画面で、使用するプリンタや用紙サイズ、印刷プレビューなどを確認し、[印刷] ボタンをクリックします。



10 カレンダーの作業を終了します。

デザインフレームから起動した場合：

- ・ [ファイル] メニューから [終了] を選択 (またはツールバーの [終了] ボタンをクリック) すると、サービスは終了します。
- ・ 編集していたデータがある場合は、保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。保存する場合は [はい] を、保存しない場合は [いいえ] をクリックしてください。

オーダーマネージャから「カレンダー」を起動した場合：

- ・ 印刷が終了すると「カレンダー」のサービスは自動的に終了します。このとき、画面は自動的に閉じられます。



メモ

- ・ [ファイル] メニューから [クイック印刷] を選択 (またはツールバーの [クイック印刷] ボタンをクリック) すると、[印刷] 画面が表示されずに、すぐに印刷が実行されます。
- ・ カレンダーのテンプレート (カテゴリ「1年」、サブカテゴリ「ARCH C」) には、ARCH Eに拡大印刷することを前提にトンボが描かれています。これらのテンプレートをARCH以外のサイズ of 用紙に印刷すると、トンボが適切に描画されないことがあります。

応用操作

カレンダーでは、画像の位置や大きさを変えたり、画像の補正をすることもできます。

画像補正、全画像補正

レイアウトエリアの画像を選択した後、[画像]メニューから画像補正の項目を選択すると、画像それぞれに対して個別に画像補正を行うことができます。この操作に関しては、「第4章 サービス共通の操作3 - 画像補正」(→ P.4-1)で説明します。

レイアウトエリアの編集

レイアウトエリア上のフレームには、画像を配置したり、文字を入力することができます。また、フレームの位置や大きさを変えたり、フレームに配置されている画像の位置や大きさを変えることもできます。さらに、選択されたテンプレートのページを追加したり、複写したりすることもできます。

これらの操作はフォトレイアウトの場合と同様です。詳しくは、「レイアウトエリアの編集」(→ P.9-14 ~ 9-28)で説明します。

カレンダーの編集

カレンダーに配置されている年月の部分の文字を編集したり、開始年月や休日を変更することができます。この操作に関しては、「カレンダーの編集」(→ P.10-10)で説明します。

カレンダーの編集

カレンダーの年月の部分のフォントや文字の大きさを変更したり、開始年月や休日を設定します。

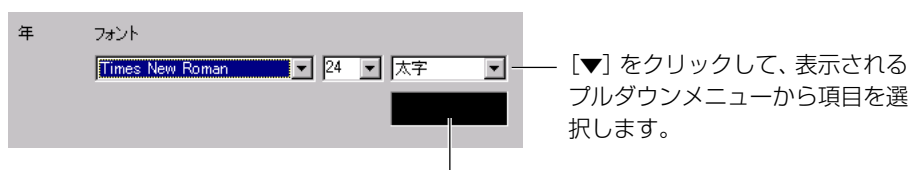
カレンダーのフォント指定

カレンダーの年月の部分を選択した後、[ツール]メニューの[カレンダーのフォント設定]を選択すると、次のような画面が表示されます。この画面で各項目を設定します。



■ 年

年号のフォント、文字のサイズ、文字のスタイル、文字の色を設定します。



ここをクリックしたときに表示される画面で、色を設定します

■ 月

月のフォント、文字のサイズ、文字のスタイル、文字の色を設定します。設定方法は、年と同様です。

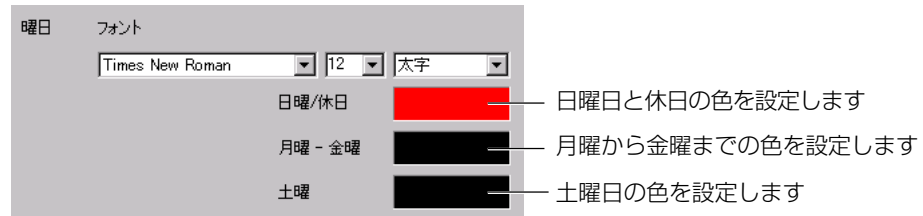


メモ

- ・カレンダーフレームをダブルクリックすることでも、フォント指定の画面を表示することができます。

■ 曜日

曜日のフォント、文字のサイズ、文字のスタイル、文字の色を設定します。設定方法は、年と同様です。ただし、文字の色は、次のように設定します。

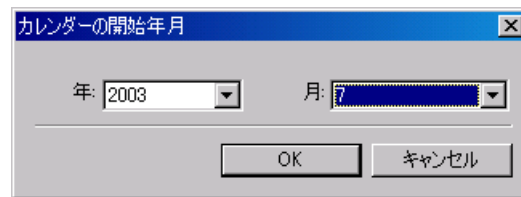


■ 日

日にちを表示するときのフォント、文字のサイズ、文字のスタイルを設定します。設定方法は、年と同様です。日にちは、「曜日」で設定した色で表示されます。

開始年月の変更

[ツール] メニューの [カレンダーの開始年月] を選択すると、次のような画面が表示されます。カレンダーの開始年月を「年」と「月」で選択し、[OK] ボタンをクリックすると、カレンダーの開始年月が変更されます。

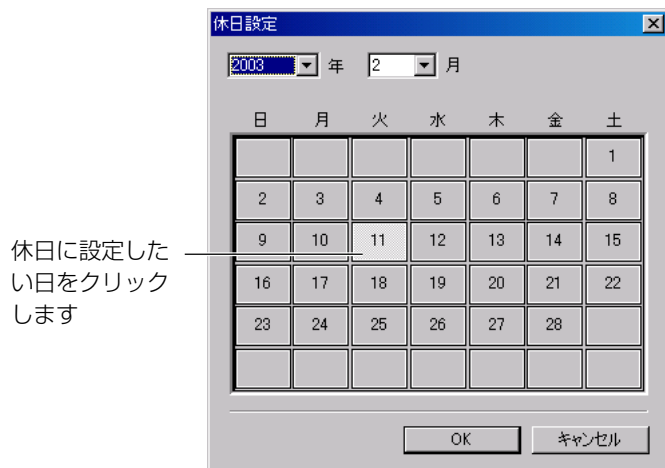


メモ

- ・ 同一ページ内に複数のカレンダーフレームがある場合には、フレームの作成順（下から上へ）に年月が設定されます。カレンダーフレームの位置を変更しても、この順番は変わりません。
- ・ 複数のページから構成されているカレンダーの場合には、先頭のページのカレンダーから最後のページまで順番に指定した年月が設定されます。

休日の設定

[ツール] メニューの [休日設定] を選択すると、次のような画面が表示されます。この画面で休日にしたい日をクリックし、カレンダーの休日を設定します。



■ 年、月

「年」と「月」で年月を切り替えます。

■ 休日の設定／設定解除

日にちをクリックして、休日を設定します。このとき、設定された日にちは薄い灰色に変わります。休日を解除するときは、設定した日にちをもう一度クリックします。

第11章

困ったときには

この章では、Digital Photo Expert の使用中に困ったことが起こったり、エラーメッセージが表示されたときの対処方法について説明します。

おかしいなと思ったら

思うように操作ができずにおかしいなと思ったら、以下の処置を行ってください。処理を行っても症状が消えないときやここに記載されていない症状が起こったときは、巻末の「お客様ご相談窓口」までお問い合わせください。



お願い

- ・接続している機器（スキャナやプリンタ、CD-ROM/CD-R/CD-RW ドライブなど）の説明書や「エラーメッセージが表示されたら」（→ P. 11-6）も合わせてご覧ください。

インストール

付属の「デジタルフォトエキスパートアプリケーションインストーラ」をCD-ROMドライブにセットしても何も表示されないため、インストールできない。

対処方法 1：

「デジタルフォトエキスパートアプリケーションインストーラ」を、もう一度CD-ROMドライブにセットし直してください。

対処方法 2：


以下の手順で「デジタルフォトエキスパートアプリケーションインストーラ」を起動してください。

1. [スタート] メニュー → [ファイル名を指定して実行] をクリック。
2. 「名前」に [E:¥Setup.exe] と入力し、[OK] ボタンをクリック。

[E:] には「デジタルフォトエキスパートアプリケーションインストーラ」をセットしたドライブ名を指定します。

対処方法 3：

以下の手順で「デジタルフォトエキスパートアプリケーションインストーラ」内の「Setup.exe」をダブルクリックして、起動してください。

1. デスクトップの「マイ コンピュータ」アイコンをダブルクリック。
(Windows XPの場合は、[スタート] メニュー → [マイ コンピュータ] をクリック)
2. 「DPE」(CD-ROM ドライブ) アイコンを右クリックし、[エクスプローラ] をクリック。
3. 「Setup (または Setup.exe)」アイコン  をダブルクリック。

「DPE」アイコンや「Setup」アイコンが表示されない場合は、CD-ROM ドライブが正常に動作していない可能性があります。コンピュータの製造元にお問い合わせください。

「Setup」アイコンが見あたらない場合は、CD-ROMが壊れている可能性があります。巻末の「お客様ご相談窓口」までお問い合わせください。

対処方法 4 :

以下の手順で「デジタルフォトエキスパートアプリケーションインストーラ」を起動してください。

Windows XP の場合

1. [スタート] メニュー → [コントロール パネル] をクリック。
2. [プログラムの追加と削除] をクリック。
3. 画面左側の [プログラムの追加] アイコンをクリック。
4. [CD または フロッピー] ボタンをクリック。
5. 「デジタルフォトエキスパートアプリケーションインストーラ」を CD-ROM ドライブにセットし、[次へ] ボタンをクリック。
6. CD-ROM ドライブの「Setup.exe」が表示されたら、[完了] ボタンをクリック。「Setup.exe」が表示されない場合は、[E:¥Setup.exe] と入力し、[完了] ボタンをクリック。

[E:] には「デジタルフォトエキスパートアプリケーションインストーラ」をセットしたドライブ名を指定します。

Windows 2000 の場合

1. [スタート] メニュー → [設定] → [コントロール パネル] をクリック。
2. [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリック。
3. 画面左側の [プログラムの追加] アイコンをクリック。
4. [CD または フロッピー] ボタンをクリック。
5. 「デジタルフォトエキスパートアプリケーションインストーラ」を CD-ROM ドライブにセットし、[次へ] ボタンをクリック。
6. CD-ROM ドライブの「Setup.exe」が表示されたら、[完了] ボタンをクリック。「Setup.exe」が表示されない場合は、[E:¥Setup.exe] と入力し、[完了] ボタンをクリック。

[E:] には「デジタルフォトエキスパートアプリケーションインストーラ」をセットしたドライブ名を指定します。

Windows 98 の場合

1. [スタート] メニュー → [設定] → [コントロール パネル] をクリック。
2. [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリック。
3. [インストールと削除] タブが表示されているのを確認。
4. [インストール] ボタンをクリック。
5. 「デジタルフォトエキスパートアプリケーションインストーラ」を CD-ROM ドライブにセットし、[次へ] ボタンをクリック。
6. CD-ROM ドライブの「Setup.exe」が表示されたら、[完了] ボタンをクリック。「Setup.exe」が表示されない場合は、[E:¥Setup.exe] と入力し、[完了] ボタンをクリック。

[E:] には「デジタルフォトエキスパートアプリケーションインストーラ」をセットしたドライブ名を指定します。

共通

印刷できない。出力できない。

対処方法 1：

大きな画像を扱う場合や、大判プリンタを使用する場合には、仮想メモリの設定を適切に行い、十分なメモリ容量を確保しておいてください。また、スプールで大量のディスク容量を使用しますので、ハードディスクに十分な空き容量を確保しておいてください。

対処方法 2：

Windows XP、Windows 2000 の場合には、お使いのプリンタのプロパティの [詳細設定] タブの画面で [詳細な印刷機能を有効にする] のチェックマークを外すことをお勧めします。(→ P.1-3)

コンピュータがフリーズしてしまったようだ。

大量の画像や大きな画像を扱う場合、フォトレイアウトやカレンダーで多くのページを扱う場合、また大判プリンタを使用する場合には、コンピュータの能力や環境により、画像処理や印刷処理に非常に時間がかかる場合があります。フリーズと早合点して電源を切らず、処理が行われるまでしばらくお待ちください。

画像入力

スキャナやフィルムスキャナなどでスキャンができない。

コンピュータのCPUやハードディスクに負荷がかかっている状態（例：データ量の大きい画像をプリントしているときなど）でスキャナやフィルムスキャナを使用すると、スキャンできない場合があります。負荷のかかる作業を終えてから、スキャンしてください。

デジタル出力

シンプル出力時のインデックスプリントの結果が思う通りになっていない。

シンプル出力設定の[データ変換を行わない(補正やトリミングなどの反映もしない)]のチェックマークを外してみてください。(→ P.7-17) この設定にチェックマークが入っている場合、シンプル出力時に実行されるインデックスプリントには、補正やトリミングが反映されません。

ただし、[ファイル]メニューの[インデックス印刷] やツールバーの「インデックス」ボタンを使ってインデックス印刷のみを実行したときは、上記設定のチェックマークとは無関係に、補正やトリミングを反映したプリントが行われます。

CD-R/RW ディスクに画像データを書き込めない。

Windows XP でご使用の場合には「コンピュータの管理者」の権限で、Windows 2000 でご使用の場合には「Administrator」の権限でログオンしてから、画像データをCD-R/RWディスクに書き込んでください。コンピュータの管理者やAdministratorの権限でログオンしないと、画像データをCD-R/RWディスクへ書き込むことができません。

Digital Photo Expert以外のCD書き込みソフトがすでにインストールされていると、画像データをCD-R/RWディスクへ書き込む際に不具合が発生する可能性があります。不具合が発生した場合は、巻末の「お客様ご相談窓口」までお問い合わせください。

デザインフレーム

文字の一部が欠けてしまう。

対処方法 1 :

欠けている文字が左端の場合はテキストフレーム内の文字の先頭にスペースを、欠けている文字が右端の場合は文字の末尾にスペースを入れてください。

対処方法 2 :

テキストフレーム内の文字の配置を「左右中央寄せ(センタリング)」に変更してください。(→ P.9-24)

エラーメッセージが表示されたら

操作を間違えたり、何らかの問題で処理が実行できないときには、エラーメッセージが表示されます。ここでは、その原因と対処方法を説明します。



お願い

・接続している機器（スキャナやプリンタ、CD-ROM/CD-R/CD-RW ドライブなど）の説明書や「おかしいなと思ったら」（→ P. 11-2）も合わせてご覧ください。

インストール

サポートファイルを解凍中にエラーが発生しました。アクセスが拒否されました。

インストーラの起動中に「Setup.exe」ファイルがダブルクリックされたため、インストーラが2重に起動された状態になりました。起動しているインストーラをすべて終了し、もう一度「デジタルフォトエキスパートアプリケーションインストーラ」をCD-ROMドライブにセットし直してください。このとき、インストーラが起動するまでに時間がかかることがあります。インストーラをCD-ROMドライブにセットしたら、インストール画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

管理者権限で実行してください。

「コンピュータの管理者」や「Administrator」の権限がないユーザ名でインストールを行おうとしています。

Windows XPでご使用の場合には「コンピュータの管理者」の権限で、Windows 2000でご使用の場合には「Administrator」の権限でログオンしてから、インストールを行ってください。コンピュータの管理者やAdministratorについては、Windowsの説明書をご覧ください。

固定ドライブのフォルダを選択してください。

Digital Photo Expertは、リムーバブルメディア（リムーバブルハードディスク、MOディスクなど）や、ネットワークで接続されたディスクなどにはインストールできません。固定のハードディスクドライブのフォルダを選択してください。

これらのオプションをインストールするのに十分な空き容量がありません。ディスクの空き容量を確保するか、または、選択を変更してください。

インストールに必要な空き容量が不足しています。[キャンセル] ボタンをクリックしていったんインストール作業を中止し、ハードディスクの空き容量を確保してから再度インストールを行ってください。または、インストール先のディスクを選択し直してください。

起動

ご使用中の Windows には対応していません。

Digital Photo Expert は、Windows 95 ではご使用になれません。Windows XP や Windows 2000、Windows 98 Second Edition でご使用ください。

コンピュータの日付が、1971 年～2036 年の間に設定されている必要があります。日付をこの範囲に設定して、アプリケーションを立ち上げなおしてください。

コンピュータの時計の日付を正しく設定した後、Digital Photo Expert を起動してください。

User グループまたは Administrators グループのユーザーでログオンを行ってください。

Windows XP または Windows 2000 でご使用の場合には、User グループまたは Administrators グループに所属するユーザ名で Digital Photo Expert を起動してください。

このプログラムを動かすためには、インターネットエクスプローラ 4.0 以上をインストールする必要があります。

Digital Photo Expert を使うには、Internet Explorer 4.0 以上が必要です。新しいバージョンの Internet Explorer をインストールしてから Digital Photo Expert を起動してください。

起動している Digital Photo Expert アプリケーションの総数がすでに制限 (5) に達しています。他のアプリケーションを終了させてから立ち上げなおしてください。

Windows 98 の場合は、合計 5 個までのサービスを同時に起動することができます。すでに 5 個のサービスを同時に起動しているため、新しいサービスを起動することができません。すでに起動しているサービスのうちいずれかを終了させてから、新しいサービスを起動してください。

ハードディスクの残量が不足しているため、プログラムを起動できません。不要なファイルを削除して、X ドライブ上に 600 メガバイト以上の容量を確保してしてください。

ハードディスクの空き容量が不足しているため、サービスを起動できません。X ドライブ上の不要なファイルを削除して、600MB 以上の容量を確保してください。(エラーメッセージの X にはドライブ名が入ります。)

このアプリケーションは、データファイルのダブルクリック、ドラッグアンドドロップ等による起動はできません。

オーダーマネージャ、デジタル同プリ、デジタル出力、証明写真は、データファイルのドラッグアンドドロップによる起動はできません。証明写真は、データファイルのダブルクリックによる起動もできません。

[スタート] メニューの [プログラム] → [Digital Photo Expert] からプログラムを選択するか、デスクトップのアイコンをダブルクリックして起動してください。(→ P.2-3)

共通操作

ハードディスク残量不足のため、プログラムを中断します。

ハードディスクの空き容量が不足したため、プログラムを続けられません。[OK] をクリックしていったんプログラムを終了し、Digital Photo Expertをインストールしたドライブから不要なファイルを削除して、もう一度処理をやり直してください。

ハードディスク残量不足のため、処理を中止します。不要なファイルを削除して、X: ドライブ上に 500 メガバイト以上の容量を確保してから、再試行してください。

ハードディスクの空き容量が不足しているため、処理を中止しました。Xドライブ上の不要なファイルを削除して、500MB以上の容量を確保してから、もう一度処理をやり直してください。(エラーメッセージのXにはドライブ名が入ります。)

ハードディスク残量不足のため、処理を中止します。不要なファイルを削除して、X: ドライブ上に十分な容量を確保してから、再試行してください。

ハードディスクの空き容量が不足しているため、処理を中止しました。Xドライブ上の不要なファイルを削除して、500MB以上の容量を確保してから、もう一度処理をやり直してください。(エラーメッセージのXにはドライブ名が入ります。)

メモリ不足のため、プログラムを中断します。

処理中にメモリが不足したため、プログラムを続けられません。[OK] をクリックしていったんプログラムを終了し、再起動してから、もう一度処理をやり直してください。頻繁にメモリ不足になる場合は、コンピュータのメモリを増やすことをお勧めします。

バグ、ハードウェア障害などの原因により、プログラムを中断します。

何らかのエラーが起きました。Digital Photo Expertを再起動して、もう一度、処理をやり直してください。それでも直らない場合は、巻末の「お客様ご相談窓口」までお問い合わせください。

CD-R 出力処理を行うほかのアプリケーションが稼働中のため、処理を継続できません。

デジタル出力やオーダーマネージャなどでCD-R出力を行っているときは、コンピュータへの負荷が大きいため、処理が継続できなくなることがあります。CD-R出力が終了してから、処理を行ってください。

Administrator 権限がない、もしくは、指定されたドライブは CD-R ドライブとして利用できません。

対処方法 1 :

Windows XP でご使用の場合には「コンピュータの管理者」の権限で、Windows 2000 でご使用の場合には「Administrator」の権限でログオンしてから、インストールを行ってください。コンピュータの管理者や Administrator については、Windows の説明書をご覧ください。

対処方法 2 :

書き込み機能を持たない CD-R ドライブが選択されています。書き込み機能を持つ CD-R ドライブに指定し直してください。

指定されたドライブは CD-R ドライブとして利用できない、もしくは、他のアプリケーションによる CD-R への書き込み処理中です。

対処方法 1 :

書き込み機能を持たない CD-R ドライブを選択して CD 出力をしようとしています。書き込み機能を持つ CD-R ドライブに指定し直してください。

対処方法 2 :

他のサービスで CD-R ドライブが使用されています。他のサービスで行っている処理が終了してから、書き込み処理を行ってください。

プリンタのインストールを行ってください。

プリンタが正しく接続されているか、プリンタドライバがインストールされているかを確認してください。詳しくは、プリンタに付属の説明書をご覧ください。

通常使うプリンタが使用できません。通常使うプリンタを確認してください。

通常使うプリンタが正しく接続されているか、プリンタの電源が入っているかを確認してください。詳しくは、プリンタに付属の説明書をご覧ください。

プリンタ xxxx が使用できません。

プリンタが正しく接続されているか、プリンタの電源が入っているかを確認してください。詳しくは、プリンタに付属の説明書をご覧ください。

印刷ジョブを開始できませんでした。

プリンタが正しく接続されているか、プリンタの電源が入っているかを確認してください。詳しくは、プリンタに付属の説明書をご覧ください。

画像入力／画像一覧

無効なディレクトリです。

画像入力バーに登録したドライブやフォルダ(ファイルデバイス)はすでに削除または移動されています。あるいは、ドライブ名やフォルダ名が変更されています。いったんファイルデバイスを削除し、もう一度登録し直してください。(→ P. 3-5, 3-7)

ディスクをセットしてください。

画像入力バーに登録したドライブにディスクがセットされていません。ディスクをセットしてください。

フィルムスキャナが見つかりません。

画像入力バーに登録したハイパーフォト・スキャナが接続されていません。ハイパーフォト・スキャナの接続を確認してから、もう一度やり直してください。接続については、ハイパーフォト・スキャナに付属の説明書をご覧ください。

No such TWAIN device : xxx

画像入力バーに登録した TWAIN デバイス (スキャナなど) が接続されていません。TWAIN デバイスの接続を確認してから、もう一度やり直してください。接続については、TWAIN デバイスに付属の説明書をご覧ください。

xxx を開けませんでした。

画像入力バーに登録した TWAIN デバイス (スキャナなど) が接続されていません。TWAIN デバイスの接続を確認してから、もう一度やり直してください。接続については、TWAIN デバイスに付属の説明書をご覧ください。

イメージの読み込みに失敗しました。xxx

TWAIN デバイスを使った画像入力時に、画像の読み込みに失敗しました。ハードディスクの空き容量が不足していないか、画像の縦横比率が大きすぎないか、画像が大きすぎないか (1 辺が 8,688 ピクセル以上) を確認してください。(xxx にはエラーの文字列が入ります。)

イメージの転送に失敗しました。サイズの設定を確認してください。

TWAIN デバイスを使った画像入力時に、画像の読み込みに失敗しました。TWAIN デバイスのドライバで、画像サイズが大きすぎないか (1 辺が 8,688 ピクセル以上) を確認してください。なお、このエラーの後、Digital Photo Expert が正常に動作するまでに、数分かかることがあります。

48ビットカラーもしくは16ビットグレースケールには対応していません。

TWAIN デバイスからの画像入力は、48ビットカラーや16ビットグレースケールの形式には対応していません。24ビットカラーまたは8ビットグレースケールに設定してください。

以下の画像の読み込みに失敗しました。

xxx(yyy)、xxx(yyy) xxx(yyy)...

Digital Photo Expert では読めない画像が存在しています。Digital Photo Expert で読めるのは、JPEG、TIFF、BMP、Flashpix、PhotoCD、PNG形式の画像だけです。(エラーメッセージのxxx(yyy)にはファイル名および理由が入ります。)

総画像数が制限(999)に達しています。

画像一覧に画像を追加できるのは、最大999個までです。一覧上の不要な画像を削除してから、画像入力をやり直してください。

総画像数(xxxx)が制限(999)を超えます。画像を選択し直してください。

選択している画像数が制限を超えています。選択している画像数を減らしてください。(エラーメッセージのxxxxには画像数が入ります。)

グループ番号がZに達しています。**対処方法1:**

画像一覧に表示されている画像の番号が「Z」からはじまる英文字になっているため、画像を追加できません。「Z」を別の英文字に変更してから、画像入力をやり直してください。

対処方法2:

[ファイル]メニューの[同じグループに追加]にチェックマークをつけてから、画像入力をやり直してください。

既に使われている番号があります。xxxx

入力した画像番号はすでに存在しています。別の番号を指定してください。(エラーメッセージのxxxxには画像番号が入ります。)(→ P.3-22)

指定された名前は既に存在します。

指定したボタン名はすでに画像入力バーに存在しています。別の名前を指定してください。(→ P.3-4, 3-6)

登録できるアイコンは20個までです。

画像入力バーに追加できるボタンは20個までです([入力設定]ボタンは含みません)。すでに存在しているボタンを削除してから、新しいボタンを追加してください。(→ P.3-3)

画像補正

短辺が300ピクセル以上かつ、アスペクト比が20以下の画像のみ補正できます。

切り抜き処理は、短辺が300ピクセル以上で、アスペクト比が20以下の画像のみ補正できます。複数の画像を選択している場合は、全ての画像がこの条件を満たす必要があります。

画像が大きすぎるため、処理できません。

補正対象の画像サイズが大きすぎて処理できません。

切り抜きの場合：切り抜き領域、ぼかし量を小さくすると処理できる場合があります。(→ P.4-24)

任意角回転の場合：画像サイズを小さくしてください。

外部アプリの場合：外部アプリで拡大した後の画像サイズが、長辺8688ピクセル、アスペクト比が64以下になるように処理してください。

メモリが足りません。

メモリが不足しています。大きな画像を扱う場合は、仮想メモリの設定を適切に行い、十分なメモリ容量を確保しておいてください。

ゴミ／キズを検出できませんでした。

ゴミ／キズ除去ができませんでした。画像処理アプリケーションソフトを使って、ゴミ／キズを除去してください。

指定領域が大きすぎます。

ゴミ／キズ除去の[ペイント][コピー]ボタンを使って指定した領域が大きすぎて処理ができません。領域を小さく指定してから、もう一度やり直してください。

赤目除去に失敗しました。

赤目除去ができませんでした。[自動]ボタンで思ったように赤目除去が行われなかった場合は、[マニュアル]ボタンを使って画像を補正してください。それでも思うようにいかない場合は、画像処理アプリケーションソフトを使って赤目を除去してください。画像によっては、赤目領域を正しく認識できないものがあります。それらの画像については、(→ P.4-17)をご覧ください。

外部編集アプリケーションが設定されていません。

[外部アプリ起動]で使うアプリケーションソフトが設定されていません。[画像補正]メニューの[設定]→[外部アプリ起動]で、使用するアプリケーションソフトを設定してください。(→ P.4-30)

画像が複数選択されています。画像を 1 つ選択してください。

複数の画像を選択しているときには、[任意角回転] および [外部アプリ起動] は使えません。画像を 1 つだけ選択してから、もう一度やり直してください。(→ P.4-7) (→ P.4-28)

画像の更新に失敗しました。

外部アプリケーションソフトで保存した画像形式は、Digital Photo Expert ではサポートしていません。Digital Photo Expert でサポートしている画像形式に変更してから保存をし直してしてください。(→ P.4-28)

外部編集アプリケーションによる変更を保存してください。

外部アプリケーションソフトで編集した画像を保存してください。保存しないと、外部アプリケーションソフトの編集結果を Digital Photo Expert の各サービスに反映させることはできません。(→ P.4-28)

外部編集アプリケーションパス名が不正です。

[画像補正] メニューの [設定] → [外部アプリ起動] で指定したアプリケーションソフトのパス名が正しくありません。正しく設定し直してください。(→ P.4-30)

ハードディスク残量が足りません。不要なファイルを削除してください。

ハードディスクの空き容量が不足しているため画像補正を実行できません。システムがインストールされているドライブ、またはオーダーを管理しているドライブの不要なファイルを削除して容量を確保してください。

デジタル同プリ

現在選択中のプリンタが使用できません。

プリンタが正しく接続されているか、プリンタドライバがインストールされているか、プリンタが使用できる状態になっているかを確認してください。詳しくは、プリンタに付属の説明書をご覧ください。

(サービス名) のプリンタが選択できません。デフォルトのプリンタを選択します。

プリンタが選択できません。「印刷設定」の「プリンタ」(→ P.6-18)を確認してください。(エラーメッセージの(サービス名)には「同時プリント」「インデックス」「大伸ばし」のいずれかが入ります。)

[OK] ボタンをクリックすると、デフォルトのプリンタが選択されます。

選択したファイルは差込ロゴに使用できません。

差込ロゴに使用できないフォーマットのファイルが指定されました。「インデックスのロゴ」の画像形式を参照して、ファイルを指定し直してください。(→ P.12-16)

差込ロゴの画像データが大きすぎます。長辺 1524 ピクセル以下のデータを用意してください。

差込ロゴに使用できない画像サイズのファイルが指定されました。長辺が 1,524 ピクセル以下のデータを指定してください。

印刷を中止しました。

[印刷] 画面で、[キャンセル] ボタンをクリックしたときに表示されます。

デジタル出力

ディスクをセットしてください。

シンプル出力先のドライブにディスクがセットされていません。ディスクをセットしてください。

ブランク CD をセットしてください。

QuickCD 出力先のドライブにディスクがセットされていません。
あるいは、すでにデータが書き込まれたディスクがセットされています。QuickCD 出力では、データの追記はできません。何も書き込まれていないブランクディスクをセットしてください。

次のディスクをセットしてください。

データがひとつのディスクに収まりません。新しいディスクをセットしてください。

ディスクを検知できませんでした。ディスクを取り出して再度挿入し、アクセスランプが消えてからやり直してください。

挿入したディスクがコンピュータで検知できませんでした。いったんディスクをドライブから取り出した後、もう一度ディスクを挿入し、ドライブのアクセスランプが消えてからデジタル出力の操作をやり直してください。

出力画像数 (m) が制限 (n) を超えています。

1 回の操作で出力する画像数が、[QuickCD 出力設定] で設定した画像数を超えています。設定内の画像数を変更するか、[出力画像数を制限する] のチェックマークを外してから、再度出力を実行してください。(エラーメッセージの m, n には画像数が入ります。) (→ P.7-19)

出力データがディスクに収まりません。

対処方法 1 :

1 ファイルの容量が大きすぎて、1 つのディスクに収まりません。ディスク内にある不要なデータを削除して容量を確保してください。

対処方法 2 :

容量が大きいディスクに変えてください。たとえば、出力対象としてフロッピーディスクを指定した場合は、MO や CD-R/RW ディスクに変えてください。

このディスクでは書き込みができません。

対処方法 1：

ライトプロテクトされた（書き込み禁止になっている）ディスクがセットされています。ライトプロテクトを解除してからセットし直してください。

対処方法 2：

フロッピーディスクやMOディスクの場合は、フォーマットしたディスクをセットしてください。

対処方法 3：

CDディスクがセットされています。CD-R/RWディスクをセットしてください。

対処方法 4：

Digital Photo Expert 以外のアプリケーションソフトで書き込んだ CD-R/RW ディスクには、追加でデータを書き込むことはできません。新しい CD-R/RW ディスクをセットするか、Digital Photo Expert で書き込んだ CD-R/RW ディスクをセットしてください。

空きディスク領域が足りません。

データを書き込むために必要な空き容量が不足しています。ハードディスクの空き容量を確保してから再度書き込みを行ってください。または、書き込み先のディスクを選択し直してください。

出力可能なデバイスが設定されていません。

出力先のデバイスが設定されていません。「シンプル出力設定」の「デバイス」で出力先のデバイスを設定してください。（→ P.7-17）

このディスクには書き込むスペースがありません。

データを書き込むために必要な空き容量が不足しています。新しい CD-R/RW ディスクをセットし直してください。

イメージデータのサイズがメディアのサイズを超えています。

書き込むデータが大きすぎてディスクには収まりません。画像の数を少なくしてください。また QuickCD 出力の場合は、「QuickCD 出力設定」の「TIFF を付加する」のチェックマークをはずして、データをより小さくしてください。（→ P.7-18）

初期化に失敗しました。

何らかの理由で CD-R/RW ディスクへの書き込みに失敗しました。Digital Photo Expert を再起動し、もう一度処理をやり直してください。

CD-R ドライブが見つかりません。

CD-R/RW ドライブが正しく接続されているかを確認してください。

既に同じ名前のディレクトリが存在しています。異なる名前を設定してください。

書き込み先のディスク内に同じ名前のディレクトリが存在しています。「シンプル出力設定」の「ディレクトリ」でディレクトリ名を変更してください。(→ P.7-17)

ディレクトリは1階層のみにしてください。

ディレクトリの指定は1階層のみです。「¥」のパス区切り文字で階層を指定することはできません。

既に同じ名前のファイルが存在しています。異なる名前を設定してください。

書き込み先のディスク内に同じ名前のファイルが存在しています。画像データのファイル名を変更してから、もう一度やり直してください。

出力中に予期しないエラーが発生しました。

何らかのエラーが起きました。Digital Photo Expert を再起動して、もう一度、処理をやり直してください。それでも直らない場合は、巻末の「お客様ご相談窓口」までお問い合わせください。

証明写真

ファイルの内容に異常があるか、サポートされていないファイル形式のため、指定されたファイルを開くことはできません。

サポートされていない形式のファイルか、あるいは壊れているファイルを指定したため、ファイルを開くことができません。

(ファイル名) ファイル名が長すぎます。

ファイルを開いたり、保存するときのファイル名に、本システムで扱える文字数以上のファイル名が指定されています。ファイル名を短くしてください。

登録名を入力してください。

「シート設定」や、写真サイズを新規に作成する画面で、登録名が入力されていません。登録名を入力してください。(→ P.8-13)

登録名 * はすでに使用されています。**

入力した登録名はすでに使用されています。別の名称を入力してください。(エラーメッセージの *** には入力した登録名が入ります。)

“,” を使用することはできません。

登録名や写真サイズには“,”を使用することはできません。別の名称を入力してください。

「無題」「なし」「任意」は使用できません。

登録名や写真サイズには「無題」「なし」「任意」を使用することはできません。別の名称を入力してください。

写真サイズ1と写真サイズ2では異なる登録名を設定してください。

写真サイズ1と写真サイズ2で「任意」を選択した場合には、同じ登録名を設定することはできません。写真サイズ1と写真サイズ2の「サイズを登録する」の右側の欄にはそれぞれ異なる登録名を入力してください。(→ P.8-13)

印刷枚数を入力してください。

「カラー」と「モノクロ」の欄に印刷枚数が設定されていません。印刷枚数を入力してください。(→ P.8-12)

ページ指定が正しくありません。

「ファイル」メニューの「印刷」を選択したときに表示される画面の「ページ指定」が正しくありません。実在していないページ数が入力されていないか、あるいは、間違った文字を入力していないかを確認してください。

使用中のシート設定の削除／名称変更はできません。

削除（あるいは名称変更）しようとしている「シート設定」は、現在プレビューエリアに表示している画像で使用中のため削除（名称変更）できません。

この写真サイズ (*) を使用しているシート設定があるため、削除／名称変更はできません。**

削除（あるいは名称変更）しようとしている「写真サイズ」は、「シート設定」で使用されているため削除（名称変更）できません。（エラーメッセージの *** には、選択中の写真サイズの登録名が入ります。）

ページからはみ出る写真は印刷されません。

指定した写真サイズと印刷枚数では、すべての写真が 1 ページに収まりません。[ツール] メニューの [環境設定] - [ページ設定] - [ページサイズ] で、ページサイズを指定し直してください。（→ P.8-18）

「シート設定」を新しく作成している場合は、写真サイズと印刷枚数の指定をやり直してください。（→ P.8-12）

写真が大きいため、現在のページでは 1 枚も表示できません。大きなページを選んでからやり直してください。

選択している写真のサイズが大きいため、指定されているページサイズでは表示できません。[ツール] メニューの [環境設定] - [ページ設定] - [ページサイズ] で、ページサイズを変更してください。（→ P.8-18）

システム内部ファイルが上限を超えたのでファイルを開けません。サービスを再起動してからやり直してください。

[再印刷] の対象ファイルが圧縮画像を含む場合、圧縮画像の解凍処理で生じる内部ファイル数がシステムの許容量を超えました。そのため、ファイルの読み込みができません。証明写真のサービスを再起動してから、もう一度やり直してください。

デザインフレーム（フォトレイアウト、カレンダー）

ファイルの内容に異常があるか、サポートされていないファイル形式のため、指定されたファイルを開くことはできません。

サポートされていない形式のファイルか、あるいは壊れているファイルを指定したため、ファイルを開くことができません。

(ファイル名) ファイル名が長すぎます。

ファイルを開いたり、保存するときのファイル名に、本システムで扱える文字数以上のファイル名が指定されています。ファイル名を短くしてください。

ページ指定が正しくありません。

[印刷] 画面のページ指定が正しくありません。「0123456789」や「-」以外の文字が入力されていないか、編集中の文書のページ範囲以外を指定していないかを確認してください。

フォント名が正しくありません。

フォントを指定する画面で、フォント名リストにないフォント名が入力されています。フォント名リストのフォントを指定し直してください。(→ P.9-24)

スタイルが正しくありません。

フォントを指定する画面で、スタイルリストにないスタイルが入力されています。スタイルリストのスタイルを指定し直してください。(→ P.9-24)

サイズが正しくありません。

フォントを指定する画面の「サイズ」に、数値以外の文字または少数点2位以下の数値が入力されています。サイズを指定し直してください。(→ P.9-24)

オーダーマネージャ – 共通

***** ドライブにオーダー管理ディレクトリが見つかりません。新規に作成しますか？**

コンピュータのドライブ構成を変更したため、オーダー管理用のディレクトリが見つかりません。新しい管理用のディレクトリを作成する場合は、[はい] をクリックしてください。(エラーメッセージの *** にはドライブ名が入ります。)

***** ドライブにオーダー管理ディレクトリを作成することができませんでした。処理を中止します。**

コンピュータのドライブ構成が変更されているため、オーダー管理用のディレクトリを新しく作成しようとしたが失敗しました。ドライブ構成を確認してください。(エラーメッセージの *** にはドライブ名が入ります。)

***** ドライブは、ハードディスクではありません。処理を中止します。**

コンピュータのドライブ構成を変更したため、ハードディスクではないドライブがオーダー管理用に指定されています。ドライブ構成を確認してください。(エラーメッセージの *** にはドライブ名が入ります。)

作業中のオーダーがあるため、オーダーマネージャを終了できません。

作業中のオーダーがある場合は、オーダーマネージャを終了できません。オーダーをすべて終了してから、オーダーマネージャを終了してください。

ハードディスク残量が不足しています。オーダー管理画面で不要なオーダーを削除してください。

オーダー管理の画面で不要なオーダーを削除してから、オーダーマネージャを終了してください。(→ P.5-17)

オーダーマネージャの終了時には、オーダー情報がハードディスクに保存されます。Windows のシステムドライブ (通常は C) とオーダー管理用ドライブが同一のとき、このハードディスクの空き容量が 600MB 未満のときに表示されます。

作業中のオーダーがあるため、環境設定ダイアログを表示できません。

作業中のサービスがある場合は、環境設定の画面を表示できません。サービスをすべて終了してから、環境設定の画面を表示してください。

同じ項目名がすでに用いられています。別の名称を指定してください。

オーダー属性項目には、すでに同名の項目があります。別の項目名を指定してください。

新パスワードと確認パスワードが一致しません。

新しいパスワードと確認パスワードとが一致しません。正しいパスワードを入力してください。

入力された旧パスワードは間違っています。

パスワードの変更時に入力された古いパスワードが間違っています。正しいパスワードを入力してください。

オーダーマネージャ – 新規オーダー

必須項目 (*) に文字列を入力してください。**

新規オーダーを作成するときに、(***) は必須項目です。必ず入力してください。(***) にはオーダー属性項目が入ります。

ハードディスクの残量不足のため、オーダーを生成できません。オーダー管理画面で不要なオーダーを削除してください。

ハードディスクの空き容量が不足しているため、新しいオーダーを作成することができません。オーダー管理の画面で不要なオーダーを削除してください。(→ P.5-17)

オーダーマネージャ – オーダー管理

ハードディスクの残量不足のため、オーダーを生成できません。不要なオーダーを削除してください。

ハードディスクの空き容量が不足しているため、新しいオーダーを作成したり、オーダーを再利用したり、複製することができません。オーダー管理の画面で不要なオーダーを削除してください。(→ P.5-17)

ハードディスクの残量不足のため、再編集できません。不要なオーダーを削除してください。

ハードディスクの空き容量が不足しているため、オーダーの再編集ができません。オーダー管理の画面で不要なオーダーを削除してください。(→ P.5-17)

ハードディスクの残量不足のため、印刷できません。不要なオーダーを削除してください。

ハードディスクの空き容量が不足しているため、オーダーの印刷ができません。オーダー管理の画面で不要なオーダーを削除してください。(→ P.5-17)

選択されたオーダーはサービス実行中のため、再編集できません。

選択されたオーダーはすでにサービス実行中です。

選択されたオーダーはサービス実行中のため、再利用できません。

選択されたオーダーはすでにサービス実行中です。

選択されたオーダーはサービス実行中のため、複製できません。

選択されたオーダーはすでにサービス実行中です。いったんサービスを終了してから、もう一度やり直してください。

選択されたオーダーはサービス実行中のため 明細表示できません。

選択されたオーダーはサービス実行中のため、明細表示はできません。いったんサービスを終了してから、もう一度やり直してください。

サービス実行中のオーダーが含まれているため、選択されたオーダーを複製できません。

選択されたオーダーの中にサービス実行中のものが含まれています。いったんサービスを終了してから、もう一度やり直してください。

サービス実行中のオーダーが含まれているため、選択されたオーダーを削除できません。

選択されたオーダーの中にサービス実行中のものが含まれています。いったんサービスを終了してから、もう一度やり直してください。

選択されたオーダーはサービス実行中のため、削除できません。

選択されたオーダーはすでにサービス実行中です。いったんサービスを終了してから、もう一度やり直してください。

指定されたディスクの残量不足のため、選択されたオーダーを保存できません。

指定したディスクの空き容量が不足しているため、オーダーを保存できません。保存先のドライブを選択し直してください。フロッピーディスクやMOディスクの場合は、別のディスクをセットし直してください。

ハードディスクの残量不足のため、選択されたオーダーの CD イメージを作成できません。

CD-R への書き込みの際に、ハードディスクの残量不足のため、処理が中断しました。Windows のシステムがインストールされているドライブ (通常は C) の空き容量を確認してください。

指定されたドライブは読み取り専用のため、選択されたオーダーを保存できません。

指定したディスクが読み取り専用のため、オーダーを保存できません。読み取り専用を解除するか、別のディスクをセットし直してください。

サービス実行中のオーダーが含まれているため、選択されたオーダーを保存できません。

選択されたオーダーの中にサービス実行中のものが含まれています。いったんサービスを終了してから、もう一度やり直してください。

選択されたオーダーはサービス実行中のため保存できません。

選択されたオーダーは、サービス実行中です。いったんサービスを終了してから、もう一度やり直してください。

指定されたディスクではオーダーを保存できません。

保存しようとしたCD-Rディスクには、オーダーを保存できません。別のCD-Rディスクをセットしてください。

選択されたドライブが準備されていません。

ディスクがセットされていないなどドライブの準備ができていないため、オーダーの保存や復元ができません。ドライブを使えるようにしてから、やり直してください。

保存処理中にエラーが発生しました。保存処理を中止します。

何らかのエラーが起こったため、保存処理が中止されました。Digital Photo Expertを再起動して、もう一度処理をやり直してください。それでもエラーが発生する場合は、巻末の「お客様ご相談窓口」までお問い合わせください。

CD-R への保存処理中にエラーが発生しました。オーダーマネージャを再起動して、再度保存処理を実行してください。

CD-Rへの保存処理中にエラーが発生したため、保存処理が中止されました。オーダーマネージャを再起動して、再度保存処理を実行してください。

選択されたドライブへのアクセス権がありません。

選択されたドライブへのアクセス権がないため、オーダーの保存や復元ができません。

指定されたドライブは読取り専用のため、選択されたオーダーを削除できません。

読み取り専用のドライブのため、[オーダー復元]の画面でオーダーを削除できません。(→ P.5-16)

ハードディスクの残量不足のため、選択されたオーダーを復元できません。

ハードディスクの空き容量が不足しているため、選択されたオーダーを復元できません。オーダー管理の画面で不要なオーダーを削除してください。(→ P.5-17)

復元処理中にエラーが発生しました。復元処理を中止します。

何らかのエラーが起こったため、復元処理が中止されました。Digital Photo Expertを再起動して、もう一度処理をやり直してください。それでもエラーが発生する場合は、巻末の「お客様ご相談窓口」までお問い合わせください。

選択されたドライブにはオーダーが保存されていません。

選択されたドライブにはオーダーが保存されていません。オーダーが保存されているドライブを選択してください。

フォーマットされていません。今すぐフォーマットしますか？

指定されたドライブは未フォーマットの状態、オーダーを保存できません。[はい]をクリックしてフォーマットを実行してください。

選択されたオーダーはサービス実行中のため印刷できません。

選択されたオーダーはサービス実行中のため印刷できません。いったんサービスを終了してから、印刷をやり直してください。

本システムでは扱えない長い名称をもつファイルもしくはディレクトリを検知したため、指定されたドライブにアクセスできません。

指定したドライブの中に、本システムで扱える文字数を超えるファイル名またはディレクトリ名があるため、Digital Photo Expertでは指定したドライブを使用することはできません。

ディスクを検知できませんでした。ディスクを取り出して再度挿入し、アクセスランプが消えてからドライブを選択し直してください。

ディスクを検知できませんでした。ディスクがセットされている場合はいったんディスクを取り出してから、再度ディスクを挿入してください。その後、アクセスランプが消えるのを確認してから、ドライブを選択し直してください。

オーダーマネージャ — 統計情報管理

指定されたディスクの残量不足のため、保存できません。

指定したディスクの空き容量が不足しているため、統計情報を保存できません。保存先のドライブを選択し直してください。フロッピーディスクやMOディスクの場合は、別のディスクをセットし直してください。

保存処理中にエラーが発生しました。保存処理を中止します。

何らかのエラーが起こったため、保存処理が中止されました。Digital Photo Expertを再起動して、もう一度処理をやり直してください。それでもエラーが発生する場合は、巻末の「お客様ご相談窓口」までお問い合わせください。

作業中のオーダーがあるため、統計情報を削除できません。

現在、サービス実行中のオーダーがあります。いったんサービスを終了してから、もう一度やり直してください。

ハードディスクの残量不足のため、データの変更処理ができません。オーダー管理画面で不要なオーダーを削除してください。

ハードディスクの空き容量が不足しているため、データの変更処理ができません。オーダー管理の画面で不要なオーダーを削除してください。(→ P.5-17)

入力されたパスワードは間違っています。

パスワードを間違えて入力しました。正しいパスワードを入力してください。

オーダーマネージャ – アートワーク管理

同じ ID を持つ複数のアートワークが異なるカテゴリに存在します。本システム上においてアートワーク ID が一意になるよう、アートワークバックアップダイアログで不要なアートワークを削除してください。

同じ ID を持つアートワークが異なるカテゴリに存在しています。[ツール] メニューの [アートワークのバックアップ] → [バックアップ] を選択したときに表示される画面で、不要なアートワークを削除してください。(→ P.5-35)

指定された ID が誤っています。09-XXXX-XX の形式で入力してください。

アートワークを登録する場合は、アートワークの ID を 09-XXXX-XX の形式で入力してください。

既に同じ ID が登録されています。

すでに同じ ID のアートワークが登録されています。別のアートワークの ID を入力してください。

アートワークディレクトリは読み取り専用のため、指定されたデータを登録できません。

アートワークが保存されているドライブやフォルダが読み取り専用のため、アートワークを登録できません。読み取り専用を解除してから、もう一度やり直してください。

ハードディスクの残量不足のため、選択されたデータを登録できません。

アートワークが保存されているハードディスクの空き容量が不足しているため、アートワークを登録できません。ハードディスクの空き容量を確保してから再度登録を行ってください。

フォーマットに不備があるため、指定されたファイルは利用できません。

アートワークとして登録できないフォーマットのファイルが指定されました。テンプレートの場合は「xxxx.bk」を、フレームの場合は「xxxx.frm」という形式のファイルを指定してください。(xxxx にはファイル名が入ります。)

カテゴリが選択されていません。

カテゴリを選択してから、アートワークの登録をしてください。

サブカテゴリが選択されていません。

サブカテゴリを選択してから、アートワークの登録をしてください。

アートワークディレクトリが読み取り専用のため、削除できません。

指定したドライブやフォルダが読み取り専用のため、アートワークを削除できません。削除する場合は、読み取り専用を解除してください。

削除したいカテゴリを選択してください。

カテゴリを選択してから、アートワークの削除をしてください。

削除したいサブカテゴリを選択してください。

サブカテゴリを選択してから、アートワークの削除をしてください。

削除したいファイルを選択してください。

アートワークを選択してから、削除をしてください。

ハードディスクの残量不足のため、新規作成できません。

ハードディスクの空き容量が不足しているため、新しいカテゴリやサブカテゴリを作成できません。ハードディスクの空き容量を確保してから、再度新規作成を行ってください。

既に同じカテゴリ名が登録されています。

すでに同じカテゴリ名が登録されています。別の名前を入力してください。

アートワークディレクトリが読み取り専用のため、新規作成できません。

アートワークが保存されているドライブやフォルダが読み取り専用のため、新しいカテゴリやサブカテゴリを作成できません。読み取り専用を解除してから、もう一度やり直してください。

アートワークディレクトリは読み取り専用のため、名称変更できません。

アートワークが保存されているドライブやフォルダが読み取り専用のため、カテゴリやサブカテゴリ名を変更できません。読み取り専用を解除してから、もう一度やり直してください。

このカテゴリはアートワークインストール時に作成されているため、名称の変更はできません。新規作成によって登録されたカテゴリのみ名称変更が可能です。

アートワークのインストール時に作成されているカテゴリの名称は変更できません。

このサブカテゴリはアートワークインストール時に作成されているため、名称の変更はできません。新規作成によって登録されたカテゴリのみ名称変更が可能です。

アートワークのインストール時に作成されているサブカテゴリの名称は変更できません。

アートワークファイルを一つ選択してください。

アートワークの詳細情報を見るときは、アートワークを一つだけ選択してください。複数のアートワークが選択されていたり、アートワークがまったく選択されていない場合、詳細情報を見ることはできません。

指定されたアートワークファイルが見つかりません。

指定したアートワークが見つかりませんでした。入力したアートワークの ID を確認して、もう一度検索をやり直してください。

指定された ID が誤っています。XX-XXXX-XX の形式で入力してください。

検索するときのアートワークの ID の指定が間違っています。XX-XXXX-XX の形式で入力してください。

選択されたドライブが準備されていません。

ディスクがセットされていないなどドライブの準備ができていないため、アートワークのバックアップや再インストールができません。ドライブを使えるようにしてから、やり直してください。

選択されたドライブへのアクセス権がありません。

選択されたドライブへのアクセス権がないため、登録されたアートワークのバックアップや再インストールができません。

ディスクがフォーマットされていません。今すぐフォーマットしますか？

指定されたドライブは未フォーマットの状態で、アートワークを保存できません。[はい] をクリックしてフォーマットを実行してください。

本システムでは扱えない長い名称をもつファイルもしくはディレクトリを検知したため、指定されたドライブにアクセスできません。

指定したドライブの中に、長すぎる名前前のファイル名またはディレクトリ名があるため、Digital Photo Expert では指定したドライブを使用することはできません。

ディスクを検知できませんでした。ディスクを取り出して再度挿入し、アクセスランプが消えてからドライブを選択し直してください。

ディスクを検知できませんでした。ディスクがある場合はいったんディスクを取り出してから、再度ディスクを挿入してください。その後、アクセスランプが消えるのを確認してから、ドライブを選択し直してください。

アートワークを利用する他のアプリケーションが稼働中のため、処理を続行できません。

デザインフレーム（フォトレイアウト、カレンダー）が起動しているため、アートワークのバックアップができません。デザインフレームを終了してから、処理を行ってください。

選択されたドライブは読み取り専用のため、選択されたアートワークをバックアップできません。

指定したドライブが読み取り専用のため、登録されたアートワークをバックアップできません。読み取り専用を解除するか、別のドライブを指定し直してください。

選択されたドライブにはアートワークが保存されていません。

指定したドライブにはアートワークが保存されていません。アートワークが保存されているドライブを指定し直してください。

選択されたドライブは読み取り専用のため、選択されたアートワークを削除できません。

指定したドライブが読み取り専用のため、アートワークを削除できません。削除する場合は、読み取り専用を解除してください。

指定されたドライブの残量不足のため、選択されたアートワークをバックアップできません。

ハードディスクの空き容量が不足しているため、選択されたアートワークをバックアップできません。ハードディスクの空き容量を確保してから再度バックアップを行ってください。または、バックアップ先のディスクを選択し直してください。

ハードディスクの残量不足のため、選択されたアートワークをインストールできません。

ハードディスクの空き容量が不足しているため、選択されたアートワークをインストールできません。アートワークがインストールされているハードディスクドライブの空き容量を確保してから再度インストールを行ってください。

バックアップ保存処理中にエラーが発生しました。バックアップ処理を中止します。

何らかのエラーが起こったため、バックアップ処理が中止されました。Digital Photo Expertを再起動して、もう一度処理をやり直してください。それでもエラーが発生する場合は、巻末の「お客様ご相談窓口」までお問い合わせください。

インストール処理中にエラーが発生しました。インストール処理を中止します。

何らかのエラーが起こったため、インストール処理が中止されました。Digital Photo Expertを再起動して、もう一度処理をやり直してください。それでもエラーが発生する場合は、巻末の「お客様ご相談窓口」までお問い合わせください。

削除処理中にエラーが発生しました。削除処理を中止します。

何らかのエラーが起こったため、削除処理が中止されました。Digital Photo Expertを再起動して、もう一度処理をやり直してください。それでもエラーが発生する場合は、巻末の「お客様ご相談窓口」までお問い合わせください。

付録

付録

この章では、インストールしたサービス内容の変更やDigital Photo Expertの再インストール、アンインストール（削除）などについて説明します。

ソフトウェアの変更と修正

すでにインストールした Digital Photo Expert のサービス内容を変更したり、再インストールする方法を説明します。



お願い

- ・ Windows XP でソフトウェアの変更と修正を行う場合は、「コンピュータの管理者」の権限でログオンしてから行ってください。
- ・ Windows 2000 でソフトウェアの変更と修正を行う場合は、「Administrator」の権限でログオンしてから行ってください。
- ・ デジタル同プリなどの各サービスが起動している場合、ソフトウェアの変更や修正はできません。すべてのサービスを終了してから変更や修正を行ってください。

用意する CD-ROM

ソフトウェアの変更と修正をするときは、次の CD-ROM ディスクを使います。このディスクは、インストールのときに使用したディスクと同じものです。

■ デジタルフォトエキスパートアプリケーションインストーラ

Digital Photo Expert をインストール、または変更や修正をするためのディスクです。



お願い

- ・ アートワーク（デザインフレーム用のテンプレートやフレーム）を追加したい場合はインストール（→ P.1-10）と同様の作業を、削除したい場合はアンインストール（→ P.12-9, 12-13）の作業を行ってください。
- ・ QuickCD ビューアについては、変更、修正の操作はできません。

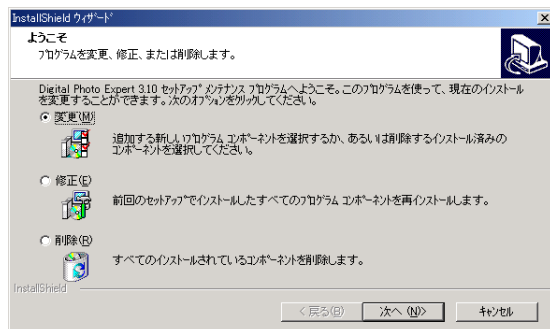
ソフトウェアの変更

すでにインストールしたサービス内容の追加や削除を行います。

1

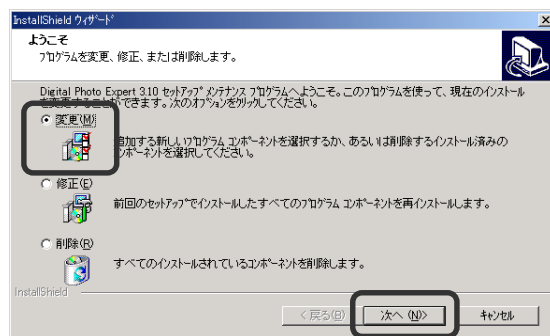
付属の「デジタルフォトエキスパートアプリケーションインストーラ」をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。

- ・ しばらくするとインストーラが起動し、次のような画面が自動的に表示されます。



- ・この画面が表示されない場合は、[スタート] ボタンをクリックし [ファイル名を指定して実行] を選択します。表示された画面の「名前」に [E:¥Setup.exe] と入力し、[OK] ボタンをクリックしてください。「E:」にはCD-ROMドライブ名を指定します。詳しくは、「おかしなと思ったら」の「インストール」(→ P. 11-2) をご覧ください。

2 [変更] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

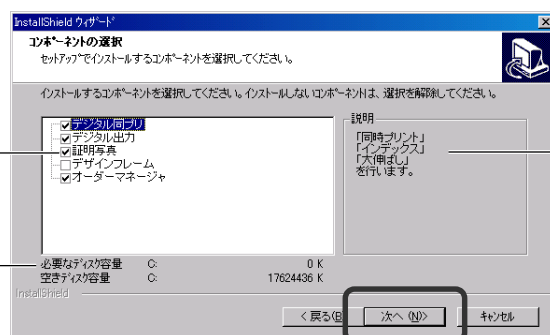


3 サービスの内容を変更し、[次へ] ボタンをクリックします。

- ・現在インストールされているサービスには、サービス名の前にチェックマークがついています。追加でインストールしたいサービスがある場合はチェックマークをつけ、削除したいサービスの場合はチェックマークを外します。

チェックマークをはずしたサービスは、インストールされません

ここで必要なディスク容量と空きディスク容量を確認できます



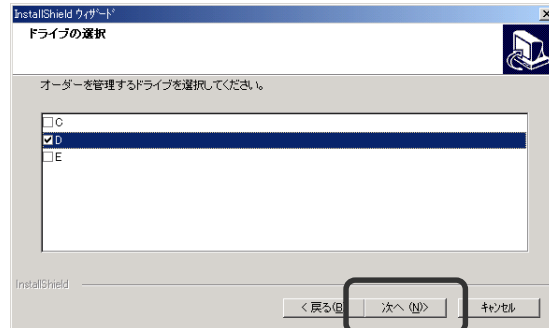
左側のサービス名をクリックすると、ここに説明が表示されます



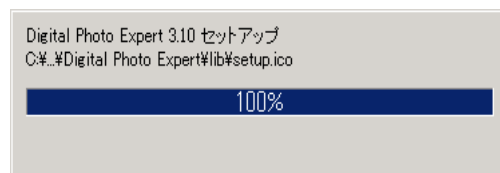
お願い

- ・インストール先のドライブの空き容量が不足している場合はエラーメッセージが表示されます。この場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしていったんインストール作業を中止し、ハードディスクの空き容量を確保してから再度インストールを行ってください。「必要なディスク容量」と「空きディスク容量」は、画面で確認できます。

- 4** オーダーを管理するドライブを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。
- ・手順3で [オーダーマネージャ] を選択しなかった場合、この画面は表示されません。この場合は、手順5に進んでください。



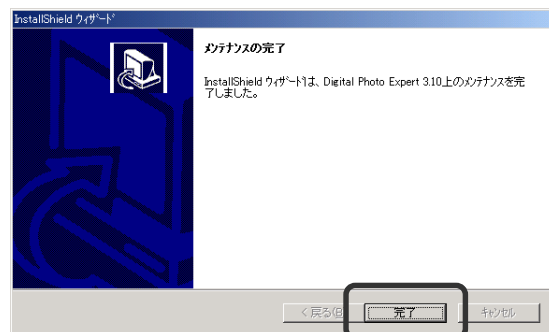
- ・ここで選択したドライブに、オーダーマネージャが管理するデータが保存されます。複数のドライブをご使用の場合には、Digital Photo Expertをインストールしたドライブとは別のドライブを選択することをおすすめします。
- ・ソフトウェアがインストールされます。



お願い

- ・インストール中は、CD-ROMをCD-ROMドライブから抜かないようにしてください。

- 5** [完了] ボタンをクリックします。



- ・インストールが完了すると、Windowsのデスクトップに、インストールしたサービスのショートカットアイコンが表示されます。また、[スタート]メニューにもショートカットが登録されます。

6 「デジタルフォトエキスパートアプリケーションインストーラ」をCD-ROMドライブから取り出します。

- ・取り出したCD-ROM ディスクは、大切に保管しておいてください。

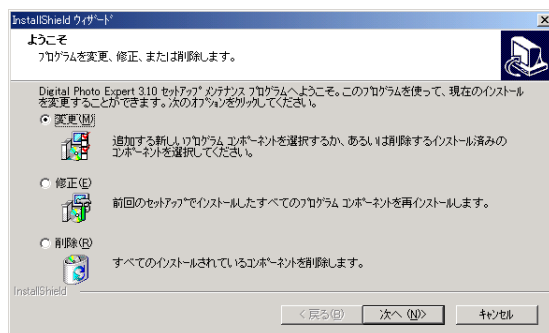
これで、ソフトウェアの変更作業は終了です。

ソフトウェアの修正

前回インストールしたサービスと同じサービスを、再度インストールし直します。この操作は、ソフトウェアの不具合が生じたときなどに行ってください。

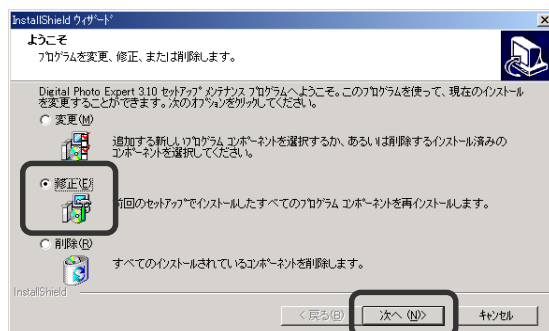
1 付属の「デジタルフォトエキスパートアプリケーションインストーラ」をコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。

- ・しばらくするとインストーラが起動し、次のような画面が自動的に表示されます。

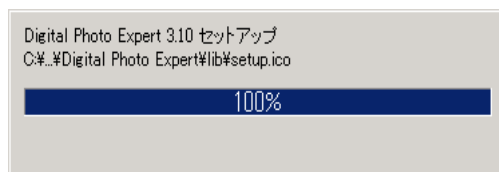


- ・この画面が表示されない場合は、[スタート] ボタンをクリックし [ファイル名を指定して実行] を選択します。表示された画面の「名前」に [E:\Setup.exe] と入力し、[OK] ボタンをクリックしてください。「E:」にはCD-ROMドライブ名を指定します。詳しくは、「おかしいと思ったら」の「インストール」(→ P. 11-2) をご覧ください。

2 [修正] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



- ・ソフトウェアがインストールされます。

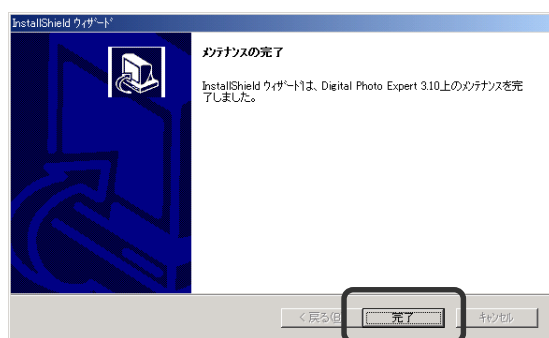


お願い

- ・インストール中は、CD-ROM を CD-ROM ドライブから抜かないようにしてください。

3

[完了] ボタンをクリックします。



4

「デジタルフォトエキスパートアプリケーションインストーラ」をCD-ROMドライブから取り出します。

- ・取り出したCD-ROM ディスクは、大切に保管しておいてください。

ソフトウェアのアンインストール (削除)

何らかの理由でDigital Photo Expertのインストールに失敗した場合は、古いソフトウェアを以下の手順でアンインストールしてください。アンインストール方法は、Windowsの種類によって異なります。



お願い

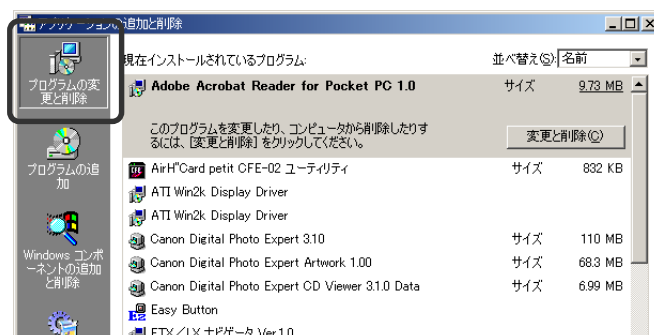
- ・Windows XPでアンインストールを行う場合は、「コンピュータの管理者」の権限でログオンしてから行ってください。
- ・Windows 2000でアンインストールを行う場合は、「Administrator」の権限でログオンしてから行ってください。
- ・デジタル同プリなどの各サービスが起動している場合は、アンインストールできません。すべてのサービスを終了してからアンインストールを行ってください。
- ・Windowsのエクスプローラなどで直接Digital Photo Expertのフォルダを削除した場合は、システム内に不要なファイルが残ってしまいます。必ず、ここで説明している方法で削除してください。

Windows XP、Windows 2000の場合

■ Digital Photo Expertのアンインストール

Digital Photo Expertをアンインストールすると、インストール先に指定したフォルダの中のファイルはすべて削除され、すべてのアートワークデータとQuickCDビューアも自動的にアンインストールされます。

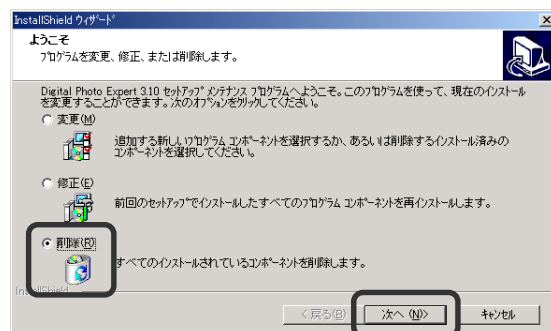
- 1 Windows XPの場合は、[スタート] ボタンをクリックし、[コントロール パネル] をクリックします。
Windows 2000の場合は、[スタート] ボタンをクリックし、[設定] → [コントロール パネル] を選択します。
- 2 Windows XPの場合は、[プログラムの追加と削除] アイコンをクリックします。
Windows 2000の場合は、[アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。
・アプリケーションの追加や削除を行う画面が表示されます。
- 3 [プログラムの変更と削除] アイコンが選択されていることを確認します。



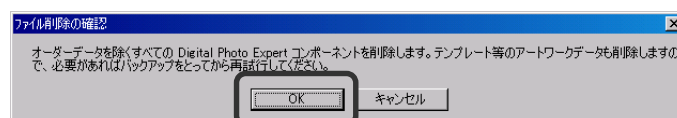
4 [Canon Digital Photo Expert 3.10] を選択し、[変更 / 削除] ボタンをクリックします。



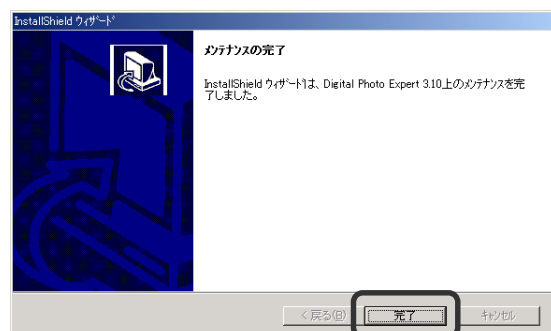
5 [削除] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



6 表示されたメッセージを確認し、[OK] ボタンをクリックします。 ・アンインストール作業を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。



7 [完了] ボタンをクリックします。



- ・これで、Digital Photo Expert、アートワーク、QuickCD ビューアが削除されました。削除が完了すると、Windowsのデスクトップに表示されていたDigital Photo Expertのショートカットアイコンや [スタート] メニューに登録されていたショートカットも削除されます。



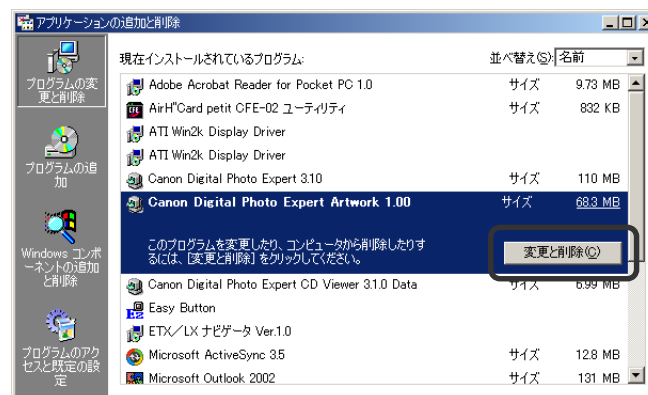
メモ

- ・アンインストール作業では、オーダー管理用のドライブ (インストール時に指定したドライブ) に入っているオーダー情報用フォルダは削除されません。
- ・統計情報管理のサービス履歴やテンプレート統計の情報、各オーダーの明細表示で表示する印刷情報は削除されます。

■ アートワークのアンインストール

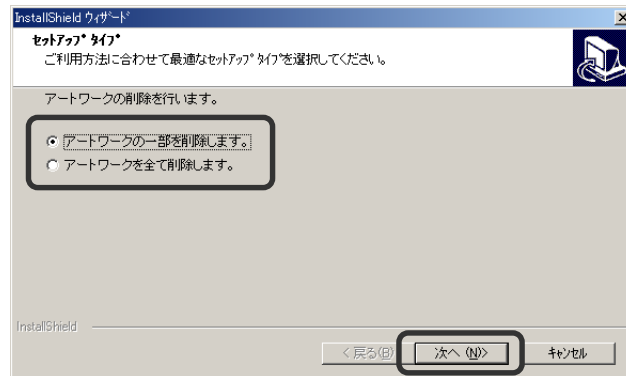
Digital Photo Expert をアンインストールすると、アートワークも自動的にアンインストールされます。(→ P.12-7) アートワークだけをアンインストールしたい場合は、次の手順で行ってください。

- 1 Windows XP の場合は、[スタート] ボタンをクリックし、[コントロール パネル] をクリックします。
Windows 2000 の場合は、[スタート] ボタンをクリックし、[設定] → [コントロール パネル] を選択します。
- 2 Windows XP の場合は、[プログラムの追加と削除] アイコンをクリックします。
Windows 2000 の場合は、[アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。
・アプリケーションの追加や削除を行う画面が表示されます。
- 3 [プログラムの変更と削除] アイコンが選択されていることを確認します。
- 4 [Canon Digital Photo Expert Artwork 1.00] を選択し、[変更 / 削除] ボタンをクリックします。



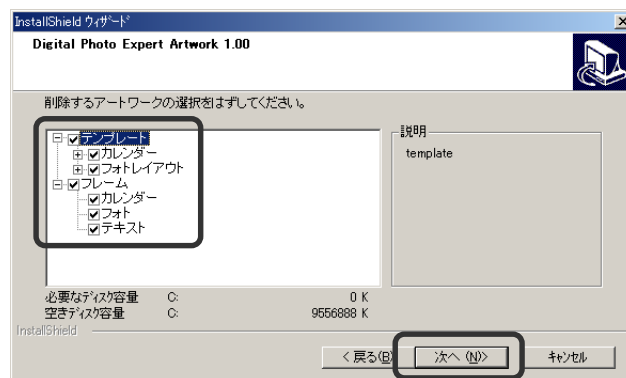
- 5** 一部のテンプレートやフレームだけを削除したい場合は、[アートワークの一部を削除します] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

すべてのテンプレートとフレームを削除したい場合は、[アートワークを全て削除します] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



- 6** [アートワークを全て削除します] を選択した場合には、削除を確認するメッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。

[アートワークの一部を削除します] を選択した場合には、削除したいテンプレート、フレームのカテゴリ、サブカテゴリを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



- 7** 「メンテナンスの完了」の画面が表示されたら [完了] ボタンをクリックします。
・これで、アートワークが削除されました。

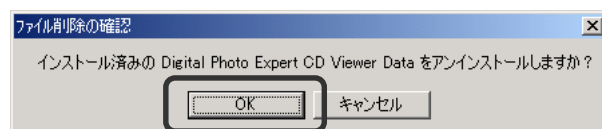
■ QuickCD ビューアのアンインストール

Digital Photo Expert をアンインストールすると、QuickCD ビューアも自動的にアンインストールされます。(→ P.12-7) QuickCD ビューアだけをアンインストールしたい場合は、次の手順で行ってください。

- 1 Windows XP の場合は、[スタート] ボタンをクリックし、[コントロール パネル] をクリックします。
Windows 2000 の場合は、[スタート] ボタンをクリックし、[設定] → [コントロール パネル] を選択します。
- 2 Windows XP の場合は、[プログラムの追加と削除] アイコンをクリックします。
Windows 2000 の場合は、[アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。
・アプリケーションの追加や削除を行う画面が表示されます。
- 3 [プログラムの変更と削除] アイコンが選択されていることを確認します。
- 4 [Canon Digital Photo Expert CD Viewer 3.1.0 Data] を選択し、[変更 / 削除] ボタンをクリックします。



- 5 表示されたメッセージを確認し、[OK] ボタンをクリックします。
・アンインストール作業を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。



- ・これで、QuickCD ビューア が削除されました。

Windows 98 の場合

■ Digital Photo Expert のアンインストール

Digital Photo Expert をアンインストールすると、インストール先に指定したフォルダの中のファイルはすべて削除され、すべてのアートワークデータとQuickCDビューアも自動的にアンインストールされます。

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] → [コントロール パネル] を選択します。
- 2 [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。
・ [アプリケーションの追加と削除のプロパティ] 画面が表示されます。
- 3 [インストールと削除] タブが表示されているのを確認します。
- 4 [Canon Digital Photo Expert 3.10] を選択し、[追加と削除] ボタンをクリックします。



- 5 [削除] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。
- 6 表示されたメッセージを確認し、[OK] ボタンをクリックします。
・ アンインストール作業を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。
- 7 [完了] ボタンをクリックします。
・ これで、Digital Photo Expert、アートワーク、QuickCDビューアが削除されました。削除が完了すると、Windowsのデスクトップに表示されていたDigital Photo Expertのショートカットアイコンや [スタート] メニューに登録されていたショートカットも削除されます。



メモ

- ・ アンインストール作業では、オーダー管理用のドライブ（インストール時に指定したドライブ）に入っているオーダー情報用フォルダは削除されません。

■ アートワークのアンインストール

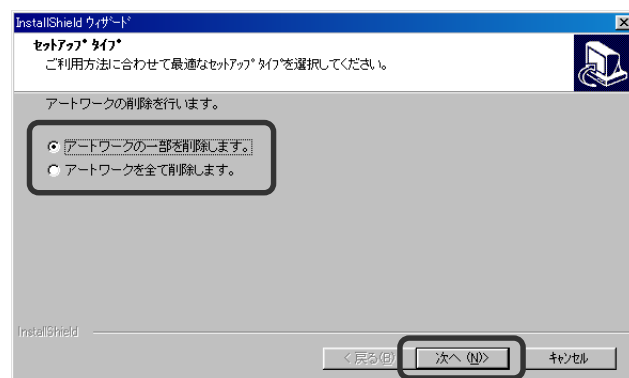
Digital Photo Expert をアンインストールすると、アートワークも自動的にアンインストールされます。（→ P.12-12）アートワークだけをアンインストールしたい場合は、次の手順で行ってください。

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] → [コントロール パネル] を選択します。
- 2 [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。
・[アプリケーションの追加と削除のプロパティ] 画面が表示されます。
- 3 [インストールと削除] タブが表示されているのを確認します。
- 4 [Canon Digital Photo Expert Artwork 1.00] を選択し、[追加と削除] ボタンをクリックします。



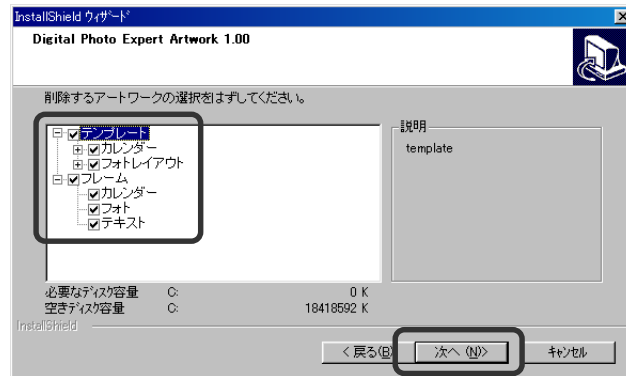
- 5 一部のテンプレートやフレームだけを削除したい場合は、[アートワークの一部を削除します] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

すべてのテンプレートとフレームを削除したい場合は、[アートワークを全て削除します] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



- 6 [アートワークを全て削除します]を選択した場合には、削除を確認するメッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。

[アートワークの一部を削除します]を選択した場合には、削除したいテンプレート、フレームのカテゴリ、サブカテゴリを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



- 7 「メンテナンスの完了」の画面が表示されたら [完了] ボタンをクリックします。
・これで、アートワークが削除されました。

■ QuickCD ビューアのアンインストール

Digital Photo Expert をアンインストールすると、QuickCD ビューアも自動的にアンインストールされます。（→ P.12-12）QuickCD ビューアだけをアンインストールしたい場合は、次の手順で行ってください。

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] → [コントロール パネル] を選択します。
- 2 [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。
・ [アプリケーションの追加と削除のプロパティ] 画面が表示されます。
- 3 [インストールと削除] タブが表示されているのを確認します。

4 [Canon Digital Photo Expert CD Viewer 3.1.0 Data] を選択し、[追加と削除] ボタンをクリックします。



- ## 5 表示されたメッセージを確認し、[OK] ボタンをクリックします。
- ・ アンインストール作業を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。
 - ・ これで、QuickCD ビューア のアンインストール作業は終了です。

インデックスのロゴ

インデックスを印刷するときに挿入するロゴの画像ファイルは、以下の形式やサイズで作成してください。

■ 画像形式

JPEG (.jpg)、TIFF (.tif)、BMP (.bmp)、Flashpix (.fpx)、PNG (.png) 形式で作成します。() 内は拡張子です。

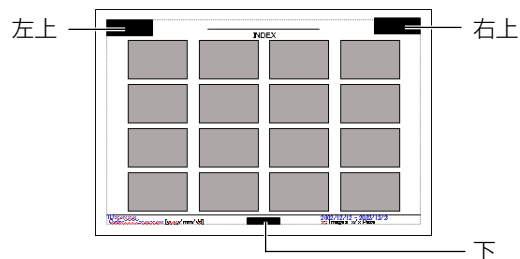
■ 画像サイズ

長辺が 1,524 ピクセル以下で作成します。

■ インデックス上のロゴサイズ (単位は mm)

インデックス上のロゴは、以下のサイズで印刷されます。

デザインサイズ	左上	右上	下
CD	30×10	30×10	18×5
L判	21×7	21×7	15×3
2L判	30×10	30×10	25×5
KG	21×7	21×7	15×3
A4	45×15	45×15	35×7
六切	45×15	45×15	35×7



メモ

- ・ロゴ用の画像は、ロゴサイズ内に収まるように、拡大縮小されて配置されます (画像の縦横比は一定)。そのため、一番きれいに配置するには、上記ロゴサイズの比率でロゴを作成することをおすすめします。
- ・解像度は通常 150dpi で十分です。細かい文字などが入っている場合は、300dpi 位で作成してください。

索引

索引

索引

記号/英文字	
180度回転	4-7
ATAPI 接続	1-3, 7-3
CD-R/RW ディスク	5-15, 7-2
CD-R/RW ドライブ	1-3, 7-3
CHP ボタン	7-14
CMYD	4-5, 4-10, 4-29
Digital Photo Expert	1-5, 12-2
DPOF (Digital Print Order Format)	3-15
DPOF モード	3-14
Exif 2.2	4-9, 4-12
HTML	7-19
Internet Explorer	1-3, 5-17, 11-7
Photo CD モード	3-16
Photoshop	4-28, 4-30
QuickCD	3-16
QuickCD 出力	7-3, 7-10
QuickCD 出力設定	7-10, 7-18
SCSI 接続	7-3
TIFF	7-18
TWAIN デバイス	3-2, 3-3, 3-8

ア行	
アートワーク管理	5-5, 5-27
アートワークの ID	5-31
カテゴリの操作	5-33
カテゴリ、サブカテゴリ	5-28
検索	5-30
更新	5-29
サービスカテゴリ	5-28
削除	5-32
テンプレート	5-28
登録	5-30
バックアップ	5-35
フレーム	5-29
プロパティ (詳細情報)	5-29
アートワークの ID	5-31
アンインストール	
- Windows XP/Windows 2000 の場合	
Digital Photo Expert	12-7

QuickCD ビューア	12-11
アートワーク	12-9
アンインストール - Windows 98 の場合	
Digital Photo Expert	12-12
QuickCD ビューア	12-14
アートワーク	12-13
[色補正を全画像に適用] ボタン	4-5
デジタル出力	7-15
デジタル同プリ	6-11
印刷	
カレンダー	10-8
証明写真	8-6
デジタル出力	7-20
デジタル同プリ	6-16
デジタル同プリ (インデックス)	6-15
デジタル同プリ (大伸ばし)	6-13
デジタル同プリ (同時プリント)	6-7
フォトレイアウト	9-11, 9-13
印刷設定	
デジタル出力	7-22
デジタル同プリ	6-5, 6-12, 6-14, 6-18
印刷の対象となる画像 (デジタル同プリ)	6-7
印刷範囲の指定 (デジタル同プリ)	6-10
印刷付帯情報 (証明写真)	8-17
印刷プレビュー (フォトレイアウト)	9-29
印刷枚数 (デジタル同プリ)	3-15, 6-9
インストーラ	
QuickCD ビューア	1-5, 1-12
アートワーク	1-5, 1-10
デジタルフォトエキスパートアプリケーション	1-5, 1-6, 12-2, 12-5
インストール	1-5
Digital Photo Expert	1-6
QuickCD ビューア	1-12
アートワーク	1-10
インデックス	
デジタル出力	7-19, 7-20, 7-22
デジタル同プリ	6-2, 6-14, 6-20
インデックスのロゴ	12-16
上書き保存	
証明写真	8-22
フォトレイアウト	9-31

エクスプローラビュー	3-11
エラーメッセージが表示されたら	11-6
オーダー	
印刷	5-17
印刷項目の設定	5-26
画像の再利用	5-13
検索	5-11
再編集	5-12
削除	5-17
復元	5-16
複製	5-14
保存	5-15
明細	5-17
履歴の確認	5-10
オーダー ID	5-7, 5-23
オーダー ID のリセット	5-23
オーダー管理	5-5, 5-10
オーダー属性 (オーダーマネージャ)	5-19
オーダー属性項目	
設定	5-23
入力	5-6
オーダーマネージャ	2-2, 5-4
起動	5-2
終了	5-3
大伸ばし	6-2, 6-12, 6-21
おかしいと思ったら	11-2
同じグループに追加	3-10, 3-13, 3-18, 3-22

カ行

顔の範囲指定 (証明写真)	8-5
顔範囲マーク (証明写真)	8-2
画像一覧	3-11, 3-17
画像の回転、反転	3-22
画像の逆順	3-21
画像の選択/非選択	3-18, 4-4
画像のプロパティ	3-23
画像の追加と削除	3-17
順序と番号の変更	3-21
証明写真	8-2
デジタル出力	7-4
デジタル同プリ	6-3
フォトレイアウト	9-6
画像形式で保存 (フォトレイアウト)	9-31
画像順序の変更	3-21
画像入力	3-2, 3-17
TWAIN デバイスからの入力	3-2, 3-8
エクスプローラを使った画像入力	3-17
ファイルデバイスからの入力	3-2, 3-11
ボタンの追加と削除	3-3
画像入力バー	3-3, 3-8
証明写真	8-2
デジタル出力	7-4
デジタル同プリ	6-3
フォトレイアウト	9-6
画像の回転	3-22, 3-23
画像の逆順	3-21
画像の切り替え	3-19, 4-4
証明写真	8-8
デジタル出力	7-15
デジタル同プリ	6-11
画像の選択/非選択	3-18, 4-4
画像の反転	3-23
画像の編集 (フォトレイアウト)	
回転	9-22
画像の一括挿入	9-20
画像の移動	9-21
サイズ変更	9-21
削除	9-21
選択/選択解除	9-20
フォトフレームへの貼り込み	9-19
画像の有効/無効	3-20
画像番号	3-21
画像番号の変更	3-22
画像補正	4-2
赤目除去	4-6, 4-15
色点補正	4-11
色補正	4-10, 4-29
回転	4-7
外部アプリ起動	4-28, 4-30
切抜き	4-24
光源色補正	4-13
ゴミキズ除去	4-6, 4-18
自動色補正	4-6, 4-9
シャープネス	4-22
設定	4-29
セピア	4-21, 4-30
ソフトフォーカス	4-23
任意角回転	4-7
反転	4-8
モノクロ	4-20

画像補正ツールバー	2-7, 4-6
カレンダー	10-3
証明写真	8-2
デジタル出力	7-4
デジタル同プリ	4-3, 6-3
フォトレイアウト	9-4
[画像補正] メニュー	4-3, 4-7
カテゴリ	
アートワーク管理	5-28
カレンダー	10-4
フォトレイアウト	9-4, 9-8
画面内での色補正 (補正指定エリア)	4-5
画面の構成	
カレンダー	10-3
証明写真	8-2
デジタル出力	7-4
デジタル同プリ	6-3
フォトレイアウト	9-3
カレンダー	2-2, 10-2
開始年月の変更	10-7, 10-11
休日の設定	10-12
フォント指定	10-10
環境設定	
オーダーマネージャ	5-23
証明写真	8-17
起動	
オーダーマネージャからのサービスの起動	2-3, 5-8
オーダーマネージャの起動	5-2
サービス単独の起動	2-3
クイック印刷	
カレンダー	10-8
証明写真	8-7
デジタル同プリ	6-8, 6-13, 6-15
フォトレイアウト	9-11
検索	
アートワーク管理	5-30
オーダー管理	5-11
オーダー属性項目	5-7
統計情報管理	5-20
困ったときには	11-1
コンテキストメニュー	2-11
デジタル出力	7-15
デジタル同プリ	6-10
コンピュータの確認	1-2

サ行

サービス	
オーダーマネージャから起動したサービスの終了	5-9
オーダーマネージャからの起動	2-3, 5-8
サービス単独での起動	2-3
サービスの内容	2-2
サービスの表示設定	5-25
サービスカテゴリ	
アートワーク管理	5-28
カレンダー	10-4
フォトレイアウト	9-4, 9-8
サービス履歴 (オーダーマネージャ)	5-19
再印刷 (証明写真)	8-20
サイズの指定 (デジタル同プリ)	6-9
[サイズを全画像に適用] ボタン	6-11
削除	
アートワーク管理	5-32
オーダー管理	5-17
フォトレイアウト	9-21
サブカテゴリ	
アートワーク管理	5-28
カレンダー	10-4
フォトレイアウト	9-4, 9-8
左右反転	4-8
シート設定	8-2, 8-5, 8-9
シート設定詳細情報 (証明写真)	8-2, 8-5
シート設定の作成 (証明写真)	8-12
システム ID の設定	5-26
写真サイズ	8-9
写真サイズの編集	8-10
写真用途の作成	8-9
写真用途の作成 (一時的)	8-14
写真用途の整理	8-16
終了	
オーダーマネージャから起動したサービスの終了	5-9
オーダーマネージャの終了	5-3
サービス単独の終了	2-4
出力	
QuickCD 出力	7-12
シンプル出力	7-9
出力デバイス設定	7-6, 7-16
出力の対象となる画像	7-8, 7-12
出力範囲の指定	7-14

上下反転	4-8
証明写真	2-2, 8-2
新規オーダー	5-4, 5-6, 5-14
新規作成 (フォトレイアウト)	9-30
新規 (証明写真)	8-20
シンプル出力	7-2, 7-6
シンプル出力設定	7-6, 7-17
全画像の選択/選択解除	3-19
全画像の有効/無効	3-20
[選択] ボタン (オーダーマネージャ)	5-7
ソフトウェア (Digital Photo Expert)	
アンインストール (削除)	12-7
インストール	1-5
起動と終了	2-3
修正	12-5
全体構成	2-2
変更	12-2

タ行

対応していないデータ形式	3-12
単位系 (証明写真)	8-18
ツールバー	2-7
カレンダー	10-3
証明写真	8-2
デジタル出力	7-4
デジタル同プリ	6-3
フォトレイアウト	9-4
ツールバーのカスタマイズ	2-9
ツールバーの使い方	2-7
デザインフレーム	2-2
デジタルカメラモード	3-14, 3-15
デジタル出力	2-2, 7-2
印刷	7-20
印刷設定	7-22
出力設定	7-16
デジタル同プリ	2-2, 6-2
印刷	6-16
印刷設定	6-18
印刷範囲の指定	6-10
印刷枚数の指定	6-9
サイズの指定	6-9
テンプレート	
アートワーク管理	5-28
フォトレイアウト	9-4, 9-7, 9-14
テンプレート ID ボックス	9-4, 9-15

テンプレート統計 (オーダーマネージャ)	5-19
統計情報管理	5-5, 5-18
検索	5-20
削除	5-22
パスワード設定	5-25
保存	5-21
動作環境	1-2
同時プリント	6-2, 6-5, 6-9, 6-18
ドライバソフト	3-8

ナ行

名前を付けて保存	
証明写真	8-22
フォトレイアウト	9-31
入力動作の設定	7-24

ハ行

バッファアンダーランエラー	7-3
左 90 度回転	4-7
左 90 度回転ボタン	3-22
ビューアアプリ	7-19
表示の切り替え	
デジタル出力	7-5
デジタル同プリ	6-4
表示の変更	5-20
開く (フォトレイアウト)	9-30
ファイルデバイス	3-2, 3-5, 3-11
ファイルモード	3-14, 3-15, 3-16
フォト (フォトレイアウト)	9-6
フォトレイアウト	2-2, 9-2
プリンタの設定	8-19
プリンタのプロパティ	6-18
フレーム (アートワーク管理)	5-29
フレーム (フォトレイアウト)	9-5, 9-7, 9-16
移動	9-18
サイズ変更	9-18
削除	9-17
選択/選択解除	9-17
追加	9-16
編集	9-18
プレビューエリア	
証明写真	8-2
デジタル出力	7-4
デジタル同プリ	6-3

プレビューペイン	
デジタル出力	7-5
デジタル同プリ	6-4
プロパティ	
アートワーク管理	5-29
画像	3-23
ページ	9-28
ページ設定 (証明写真)	8-18
ページの編集 (フォトレイアウト)	9-25
削除	9-25
セレクトビュー (表示の切り替え)	9-27
追加	9-25
表示の単位設定	9-28
表示倍率の変更	9-27
複写	9-25
プロパティ (詳細情報の表示)	9-28
ページの切り替え	9-26
ページプレビュー (証明写真)	8-2
ヘルプ機能	2-5
補正指定エリア	4-3, 4-5, 4-29
証明写真	8-2
デジタル出力	7-4
デジタル同プリ	6-3

マ行

[枚数を全画像に適用] ボタン	6-11
右90度回転	4-7
右90度回転ボタン	3-22
右クリック	2-11
文字ツールバー	2-7
カレンダー	10-3
フォトレイアウト	9-4
文字の編集 (フォトレイアウト)	9-23
削除	9-23
選択	9-23
配置	9-24
編集	9-24
文字入力	9-23
フォントの指定	9-24
元に戻す	2-6

ラ行

レイアウトエリア	
カレンダー	10-3
フォトレイアウト	9-4
レイアウトエリアの編集	
画像	9-19
テンプレート	9-14
フレーム	9-16
ページ	9-25
文字	9-23